HP Officejet Pro L7300/L7500/L7600/L7700

ユーザー ガイド (本書)



HP Officejet Pro L7300/L7500/ L7600/L7700 All-in-One シリーズ

ユーザー ガイド（本書）

著作権情報

第 1 版 2006 年 10 月

本書に記載されている内容は事前の通知なしに変更されることがあります。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。 本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

本ソフトウェアをコピーおよび使用するライセンスは、本ソフトウェアまたは本機能について触れているか、参照しているすべての資料の中で、本ソフトウェアが "RSA Data Security, Inc. MD4 メッセージ ダイジェスト アルゴリズム" として識別されている場合に付与されます。

ライセンスは、派生物を作成および使用するためにも付与されます。ただし、このような派生物について触れているか、参照しているすべての資料の中で、その派生物が "RSA Data Security, Inc. MD4 メッセージダイジェスト アルゴリズムから派生" したものとして識別されていることが前提となります。

RSA Data Security, Inc. では、本ソフトウェアの商品性または特定の目的に対する本ソフトウェアの適合性に関し、一切の主張を行いません。 本ソフトウェアは、明示または黙示の保証を一切含まない、"現状のまま" の状態で提供されます。

これらの告知は、本書および本ソフトウェアのすべての部分のコピーに含まれている必要があります。

商標

Intel®, Pentium® は、米国やその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows ® XP は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Secure Digital メモリ カードは本製品によってサポートされています。 SD ロゴは所有者の商標です。

コピーの制限

多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。 疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書：
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙：
  - 郵便切手
  - 食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズチェック、郵便為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

1. HP オールインワン 付属の文書に記載されているすべての説明を読んで、十分に理解してください。

2. この製品を電源に接続するときは、必ずアース付きの電源コンセントを使用してください。 コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。

3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。

4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。

5. この製品を水気のある場所に設置したり、濡れた手で触ったりしないでください。

6. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。

7. 製品は、ライン コードを踏んだりまたいだりして傷つけないように、保護された場所に設置してください。

8. 製品が正常に動作しない場合は、「保守とトラブルシューティング」を参照してください。

9. お客様が修理可能なパーツは含まれていません。 修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。

製品の制限付き物質

HP の製品には、寿命を終えた際に特別な扱いを必要とする次のような物資が含まれています。

スキャナの蛍光ランプ内の水銀 (< 1.5 mg)

リサイクル情報については、http://www.hp.com/go/recycle、 地域の関係当局、または http://www.eiae.org の Electronics Industries Alliance に連絡してください。

詳細については、再利用を参照してください。

目次

1 はじめに

本製品に関するその他のリソース 12
アクセシビリティ 14
HP オールインワン 各部の確認 14
前面図 15
印刷サプライ部 16
メモリ カード スロット 16
背面図 17
コントロール パネル 17
コントロール パネルのボタンとランプ 18
カラー ディスプレイ 20
2 行のディスプレイ 21
接続情報 21

2 アクセサリのインストール

両面印刷ユニットのインストール 23
トレイ 2 の取り付け 23
プリント ドライバでのアクセサリの有効化 24
Windows コンピュータでアクセサリを有効にするには 25
Macintosh コンピュータでアクセサリを有効にするには 25

3 オールインワンの使用

コントロール パネルのメニューの使用 26
コントロール パネルのメッセージ タイプ 27
ステータス メッセージ 27
警告メッセージ 27
エラー メッセージ 27
重要なエラー メッセージ 28
デバイスの設定の変更 28
HP ソリューション センターの使用 (Windows) 29
HP フォト イメージング ソフトウェアの使用 29
文字と記号 31
コントロール パネルのキーパッドからの文字と記号の入力 31
文字を入力するには 32
スペース、ポーズ、記号を入力するには 32
文字、数字、記号を消去するには 32
ビジュアル キーボードを使用した文字の入力 (一部のモデルのみ) 32
ファックス番号をダイヤルするときに使用できる記号 (一部のモデルのみ) 34

原稿のセット 34
自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット 34
スキャナのガラス板への原稿のセット 35
印刷メディアの選択 36
印刷メディアの選択と使用のヒント 36
サポートされたメディアの仕様の理解 38
使用可能なサイズの理解 38
使用可能なメディアのタイプと重量の理解 41
最小余白の設定 42
メディアのセット 42
トレイの設定 45
特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷 46
特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Windows) 47
特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Mac OS) 47
フチ無し印刷 48
フチ無し文書を印刷するには (Windows) 48
フチ無し文書を印刷するには (Mac OS) 49
短縮ダイヤルの設定 (一部のモデルのみ) 49
ファックス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定 49
短縮ダイヤル エントリを設定するには 50
短縮ダイヤル グループを設定するには 50
ネットワーク フォルダの短縮ダイヤル エントリとしての設定 (一部のモデルのみ) 52
短縮ダイヤル エントリを設定するには 52
短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示 52
短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷するには 53
短縮ダイヤル エントリの一覧を表示するには 53

4 印刷

プリント設定の変更 54
現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更するには (Windows) 54
将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更するには (Windows) 54
設定を変更するには (Mac OS) 55
両面印刷 (2 面印刷) 55
ページの両面に印刷する場合のガイドライン 55
両面印刷を実行するには (Windows) 56
自動両面印刷を実行するには (Mac OS) 56
印刷ジョブのキャンセル 56

5 コピー

コントロール パネルからのコピーの作成 58
コピー設定の変更 58
原稿のトリミング (カラー ディスプレイ モデルのみ) 59

コピー ジョブのキャンセル 59

6 スキャン
原稿のスキャン 60
ダイレクト デジタル ファイリングの設定 (一部のモデルのみ) 61
ネットワーク フォルダへの原稿のスキャン 62
コンピュータ上のプログラムへの原稿のスキャン (直接接続) 62
メモリ デバイスへの原稿の送信 63
埋め込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用 64
TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン 64
TWAIN 互換プログラムからスキャンするには 65
WIA 互換プログラムからスキャンするには 65
スキャンした原稿の編集 65
スキャンした写真またはグラフィックの編集 65
光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集 65
スキャン設定の変更 66
スキャン ジョブのキャンセル 66

7 メモリ デバイスの使用 (一部のモデルのみ)
メモリ カードの挿入 67
デジタル カメラの接続 68
ストレージ デバイスの接続 70
写真の表示 71
写真の表示 (カラー ディスプレイ モデルのみ) 71
コンピュータを使用した写真の表示 71
コントロール パネルからの写真の印刷 71
フォト シートを使用した写真の印刷 72
パノラマ写真の印刷 75
パスポート写真の印刷 77
ビデオ アクション (動画) の印刷 78
コンピュータへの写真の保存 79

8 ファックス (一部のモデルのみ)
ファックスの送信 80
基本的なファックスの送信 80
電話からのファックスの手動送信 81
ダイヤル モニタリングを使用したファックス送信 82
ファックス一斉送信オプションを使用したファックスの送信 (カラー ディスプレイ搭載モデルのみ) 83

ファックスの受信 84
ファックスの手動受信 84
バックアップ ファックス受信のセットアップ 85
受信済みファックスのメモリからの再印刷 87
別の番号へのファックスの転送 87
迷惑ファックス番号の拒否 89
迷惑ファックス モードの設定 89
迷惑ファックス一覧に番号を追加 89
迷惑ファックス一覧から番号を削除 90
拒否するファックス番号のリストの表示 91
ファックス設定の変更 91
ファックスのヘッダーの設定 91
応答モード (自動応答) の設定 92
応答までの呼び出し回数の設定 92
着信識別応答呼び出し音のパターンの変更 93
ファックスのエラー補正モードの設定 94
ファックスのエラー補正モードを設定するには 94
ダイヤル方式の設定 94
ダイヤル方式を設定するには 94
リダイヤル オプションの設定 95
リダイヤル オプションを設定するには 95
ファックス速度の設定 95
インターネット経由のファックス 96
ファックス設定のテスト 96
レポートの使用 97
ファックス確認レポートの印刷 97
ファックス エラー レポートの印刷 98
ファックス ログの印刷と表示 99
ファックスのキャンセル 100

9 構成と管理
デバイスの管理 101
管理タスクの概要 101
デバイスの監視 103
デバイスの管理 103

デバイス管理ツールの使用 105
埋め込み Web サーバ 105
埋め込み Web サーバを開くには 106
埋め込み Web サーバのページ 106
ツールボックス (Windows) 107
ツールボックスを開くには 107
ツールボックス タブ 107
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) 108
HP プリンタ ユーティリティを開くには 108
HP プリンタ ユーティリティのパネル 109
ネットワーク プリンタ セットアップ ユーティリティ (Mac OS) 109
HP Web Jetadmin ソフトウェア 110
HP インスタント サポート 110
セキュリティおよびプライバシー 111
HP Instant Support (HP インスタント サポート) にアクセスするには 111
myPrintMileage 112
自己診断テスト ページの理解 112
ネットワーク設定ページの理解 114
チャネル範囲の定義 115
ネットワーク オプションの構成 116
基本的なネットワーク設定の変更 116
ワイヤレス セットアップ ウィザードの使用 116
ネットワーク設定の表示と印刷 116
ワイヤレスをオンまたはオフに設定する 117
詳細なネットワーク設定の変更 117
リンク速度の設定 117
IP 設定を表示するには 118
IP 設定を変更するには 118

デバイスのファックス機能のセットアップ (一部のモデルのみ) 118
ファックス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 119
自宅またはオフィスに合った正しいファックス セットアップの選択 120
適切なファックス セットアップの選択 121
ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし) 123
ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ 124
ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスの
セットアップ 125
ケース D： 同じ回線でファックスと着信識別サービスを一緒に利用 126
ケース E： 電話とファックスを一緒に利用する 127
ケース F： 電話とファックスとボイスメール サービスを一緒に利用す
る 128
ケース G： 同じ回線でファックスとコンピュータ モデムを一緒に利用
する (電話の着信なし) 129
ケース H： 電話とファックスとコンピュータ モデムを一緒に利用する ...132
ケース I： 電話とファックスと留守番電話を一緒に利用する 136
ケース J： 電話とファックスとコンピュータ モデムと留守番電話を一
緒に利用する 138
ケース K： 電話とファックスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと
ボイス メールを一緒に利用する 143
シリアル方式のファックスのセットアップ 145
デバイスの構成 (Windows) 145
直接接続 146
デバイス接続前にソフトウェアをインストールするには (推奨) 146
ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するには 147
ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するには 147
ネットワーク接続 148
ネットワークにデバイスをインストールするには 149
デバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールす
るには 150
[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするに
は 150
デバイスの構成 (Mac OS) 150
ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアをインストールするには 151
ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するには 151

デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ) 152
802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解 153
コントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには 155
インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows) 155
SecureEasySetup (SES) を使用してワイヤレス通信をセットアップするには 157
ワイヤレス ネットワークでデバイスをセットアップするには (Mac OS) 158
ワイヤレス通信をオフにするには 158
ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドライン 158
ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン 159
ハードウェア アドレスを WAP に追加するには 159
その他のガイドライン 159
デバイスの Bluetooth 通信のセットアップ 160
埋め込み Web サーバでデバイスの Bluetooth 通信をセットアップするには ..161
Bluetooth によるデバイスの接続 161
Windows での Bluetooth によるデバイスの接続 161
Mac OS での Bluetooth によるデバイスの接続 163
デバイスの Bluetooth のセキュリティ設定 164
パスキーを使用した Bluetooth デバイスの認証 164
Bluetooth デバイスでのデバイスの表示/非表示を設定するには 165
埋め込み Web サーバでの Bluetooth 設定のリセット 165
ソフトウェアのアンインストールと再インストール 165

10 保守とトラブルシューティング
サポートされているインク カートリッジ 169
インク カートリッジの交換 170
プリントヘッドのメンテナンス 171
プリントヘッドの状態を確認するには 172
印刷品質診断ページを印刷するには 172
プリントヘッドの位置を調整するには 173
ライン フィード キャリブレーションを行うには 174
プリントヘッドをクリーニングするには 174
プリントヘッド コンタクトを手動でクリーニングするには 175
プリントヘッドを交換するには 177
印刷サプライ品の保管 179
インク カートリッジの保管 179
プリントヘッドの保管 179
デバイスのクリーニング 180
スキャナ ガラスのクリーニング 180
自動ドキュメント フィーダ (ADF) のクリーニング 181
外側のクリーニング 185
トラブルシューティング ヒントとリソース 185

印刷上の問題の解決 186
デバイスの電源が突然切れる 187
コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される 187
デバイスが応答しない (何も印刷されない) 187
デバイスがプリントヘッドを受け付けない 188
印刷するのに長時間かかる 189
空白ページまたはページの一部だけが印刷される 189
ページの一部が印刷されない、または正しくない 190
テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない 190
ページの半分が印刷された後、用紙が排出される 191
印刷品質の不良と予期しないプリント結果 191
印刷品質が不良 192
無意味な文字が印刷される 192
インクがにじむ 193
テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る 193
印字が薄いか色が鮮やかでない 194
カラーが白黒で印刷される 194
間違った色で印刷される 194
印刷結果のカラーがにじむ 194
色が正しい位置に印刷されない 195
テキストまたはグラフィックスの線やドットが欠落している 195
給紙の問題の解決 195
オプションのトレイ 2 を挿入できない 195
別の給紙問題が発生した場合 195
コピーの問題の解決 197
コピーが排出されない 197
何もコピーされない 198
間違った原稿がコピーされた 198
原稿の一部がコピーされない、または薄い 198
サイズが小さくなる 199
コピーの品質が悪い 199
正しくコピーされない 199
エラー メッセージが表示される 200
ページの半分が印刷された後、用紙が排出される 200

スキャンの問題の解決 200
スキャナが動作しない 201
スキャンに時間がかかりすぎる 201
文書の一部またはテキストがスキャンされない 202
テキストを編集できない 202
エラー メッセージが表示される 203
スキャンした画像の品質が良くない 203
正しくスキャンされない 205
ネットワーク フォルダにスキャンできない (ダイレクト デジタル ファイリング) 205
ファックスの問題の解決 207
ファックス テストに失敗した 207
写真 (メモリ カード) の問題の解決 222
メモリ カードを読み取ることができない 222
メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない 223
メモリ カードの一部の写真が印刷されず、印刷ジョブがキャンセルされる 223
ページの半分が印刷された後、用紙が排出される 223
本体の管理に関する問題の解決 223
埋め込み Web サーバを開くことができない 224
インストールの問題のトラブルシューティング 224
ハードウェアの取り付けに関連する推奨事項 225
ソフトウェアのインストールに関連する推奨事項 225
位置調整ページに関連する問題の解決 226
ソフトウェアのインストールに関連する問題の解決 226
ネットワークの問題の解決 227
ワイヤレス通信に関連する問題の解決 229
メディア詰まりの除去 231
本体に詰まったメディアの除去 231
ADF のメディア詰まりの除去 234
メディア詰まりを避けるためのヒント 236

A HP サプライ品とアクセサリ
印刷サプライ品のオンライン注文 237
アクセサリ 237
サプライ品 237
インク カートリッジ 238
プリントヘッド 238
HP メディア 238

B サポートおよび保証
電子サポートの取得 239
HP テレフォン サポートの取得 239
電話をかける前の用意 240
電話サポート番号 240

Hewlett-Packard による限定保証 242
製品をお送りいただくための準備 242
製品をお送りいただく前のインク カートリッジとプリントヘッドの取り外し 243
コントロール パネル カバーの取り外し 244
製品の梱包 246

C デバイスの仕様
物理的仕様 247
製品特性と機能 247
プロセッサとメモリの仕様 248
システム要件 248
ネットワーク プロトコルの仕様 249
埋め込み Web サーバの仕様 250
印刷の仕様 250
印刷解像度 250
コピーの仕様 250
ファックスの仕様 251
スキャンの仕様 251
ダイレクト デジタル ファイリングの仕様 252
環境仕様 252
電気仕様 252
発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル) 252
サポートされているデバイス 253
メモリ カードの仕様 253

D 法規について
FCC 準拠声明 254
Shielded cables 254
Exposure to radio frequency radiation (wireless products only) 255
米国電話網ユーザーへの告知 256
カナダ電話網ユーザーへの告知 257
ヨーロッパエコノミックエリア電話網ユーザーへの告知 258
その他の法規について 258
EMI 規定 (韓国) 258
VCCI 宣言 (日本) 259
規制モデル番号 259
電源コードの規定 259
LED 分類 259

ワイヤレス製品の法規規定 259
Notice to users in Canada/Note à l'attention des utilisateurs Canadien 260
Notice to users in Brazil/Notificação de Normas de Uso de Dispositivos Sem Fio do Brasil 260
EU のユーザーに対する告知 (英語) 261
フランスのユーザーに対する告知 262
ドイツのユーザーに対する告知 263
イタリアのユーザーに対する告知 264
スペインのユーザーに対する告知 265
適合宣言書 266
環境認可プログラム 268
削減と排除 268
消費電力 268
バッテリ情報 268
材料の安全性に関するデータ シート 269
再利用 269
製品梱包 269
プラスチック 269
EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理 269
HP 製品とサプライ品 269
索引...270

1　はじめに

このガイドでは、本製品の使用方法と問題の解決方法について詳しく説明します。

- 本製品に関するその他のリソース
- アクセシビリティ
- HP オールインワン 各部の確認

本製品に関するその他のリソース

本ガイドに含まれていない製品情報と詳細なトラブルシューティング リソースは、次のリソースから取得できます。

入手先	説明	場所
セットアップ ポスター	設定情報が図示されています。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。
セットアップ ガイド	本製品の設定手順、保証、および安全に関する情報が記載されています。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。
Readme ファイルとリリース ノート	最新情報とトラブルシューティング ヒントが記載されています。	スタータ CD に搭載されています。
埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続)	ネットワーク上の任意のコンピュータからステータス情報の表示、設定の変更、および本製品の管理を行うことができます。 詳細については、埋め込み Web サーバを参照してください。	あらゆる標準 Web ブラウザから利用できます。
ツールボックス (Microsoft® Windows®)	プリントヘッドの状態についての情報と、メンテナンス サービスへのアクセスが提供されます。 詳細については、ツールボックス (Windows)を参照してください。	通常、ツールボックスは、利用可能なインストール オプションの 1 つとしてデバイス ソフトウェアと共にインストールされます。
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)	プリント設定の構成、機器の調整、プリントヘッドのクリーニング、設定ページの印刷、サプライ品のオンライン注文、Web サイトでのサポート情報検索のためのツールが含まれています。 ワイヤレス印刷用に設定を構成することもできます。	通常、HP プリンタ ユーティリティは、デバイス ソフトウェアと共にインストールされます。

(続き)

入手先	説明	場所
	詳細については、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) を参照してください。	
HP Instant Support (HP インスタント サポート)	印刷問題をすばやく識別、診断、そして解決するのに役立ちます。 詳細については、HP インスタント サポートを参照してください。	あらゆる標準 Web ブラウザ、またはツールボックスから利用できます (Windows)。
コントロール パネル	操作についてのステータス情報、エラー情報、および警告情報が表示されます。	詳細については、コントロール パネルを参照してください。
ログとレポート	生じたイベントについての情報が提供されます。	詳細については、デバイスの監視を参照してください。
自己診断テスト ページ	• 製品に関する情報 : 　• 製品名 　• モデル番号 　• シリアル番号 　• ファームウェア バージョン番号 • 取り付けられているアクセサリ (両面印刷ユニットなど) • トレイとアクセサリから印刷されたページ数 • インクの量 • プリントヘッドの状態	詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。
ネットワーク設定ページ	ネットワーク設定情報を提供します。	詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
印字品質診断ページ	印字品質に影響を与える問題を診断し、印刷出力を改善するためにメンテナンス ツールを実行する必要があるかどうかを判断できます。	詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。
HP Web サイト	最新のプリンタ ソフトウェア、製品およびサポート情報が提供されます。	www.hp.com/support www.hp.com
HP 電話サポート	HP の連絡先情報が一覧表示されます。 保証期間中は、このサポートは無料で提供されます。	詳細については、HP テレフォン サポートの取得を参照してください。
HP フォト イメージング ソフトウェアのヘルプ	ソフトウェアの使用方法についての情報が提供されます。	詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。

アクセシビリティ

本製品には、障害のある方でもご利用いただけるよう数々の機能が備えられています。

視覚

デバイス ソフトウェアは、お使いのオペレーティング システムのアクセシビリティ オプションと機能をご使用いただくことにより、視覚障害をお持ちの方にもご利用いただけます。 また、スクリーン リーダー、点字リーダー、ボイス ツー テキスト アプリケーションなどのテクノロジーもサポートしています。 色覚障害をお持ちの方のために、ソフトウェアとコントロール パネルで使われているカラー ボタンとタブには、該当の操作を表した簡単なテキストまたはアイコン ラベルが付いています。

移動性

移動が困難なユーザー向けには、デバイス ソフトウェア機能がキーボード コマンドを通じて実行できるようになっています。 ソフトウェアは StickyKeys、ToggleKeys、FilterKeys、および MouseKeys などの Windows アクセシビリティ オプションもサポートしています。 本製品のドア、ボタン、用紙トレイ、用紙ガイドなどは体力と到達範囲に制限があるユーザーでも操作できるようになっています。

サポート

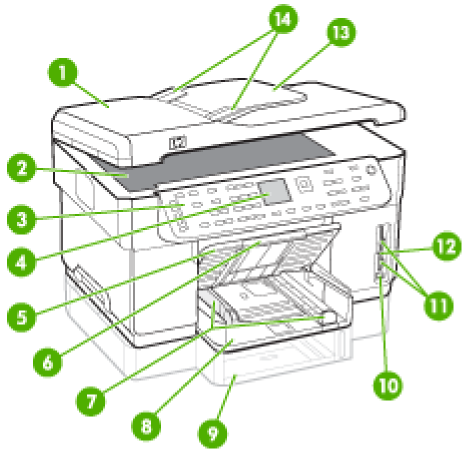
本製品のアクセシビリティの詳細について、および製品のアクセシビリティに対する HP の取り組みについては、HP の Web サイト www.hp.com/accessibility をご覧ください。

Mac OS のアクセシビリティ情報については、Apple の Web サイト www.apple.com/accessibility をご覧ください。

HP オールインワン 各部の確認

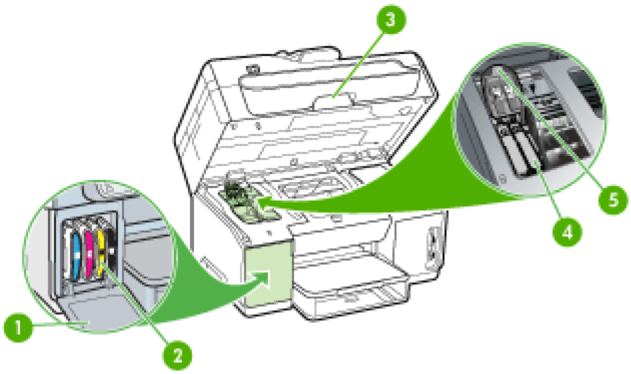
- 前面図
- 印刷サプライ部
- メモリ カード スロット
- 背面図
- コントロール パネル
- 接続情報

前面図



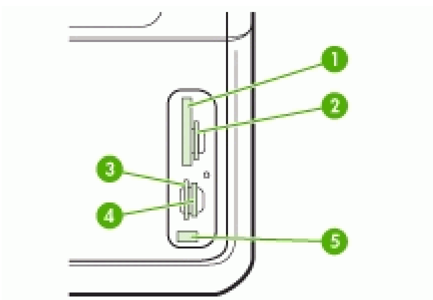
1	自動ドキュメント フィーダ (ADF)
2	スキャナ ガラス
3	コントロール パネル (お使いの HP オールインワン モデルによって異なります)
4	ディスプレイ (お使いのモデルによって異なります)
5	排紙トレイ
6	伸縮排紙トレイ
7	縦方向/横方向用紙ガイド
8	トレイ 1
9	トレイ 2 (一部のモデル)
10	前面 USB (Universal Serial Bus) ポート (PictBridge 対応)
11	メモリ カード スロット
12	メモリ デバイス ランプ
13	ドキュメント フィーダ トレイ
14	横方向用紙ガイド

印刷サプライ部



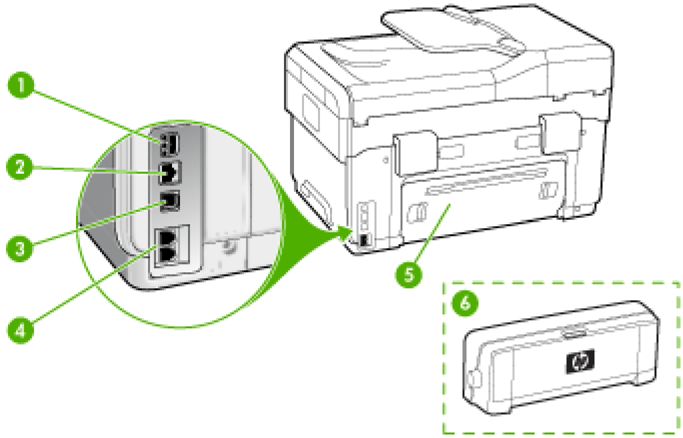
1	インク カートリッジ カバー
2	インク カートリッジ
3	プリントキャリッジ アクセス ドア
4	プリント ヘッド
5	プリントヘッド ラッチ

メモリ カード スロット



1	CompactFlash (Type I および II)
2	Secure Digital、MultimediaCard (MMC)、Secure MMC
3	xD
4	Memory Stick、Magic Gate Memory Stick、Memory Stick Duo、Memory Stick Pro
5	前部ユニバーサル シリアル バス (USB) ポート (PictBridge 対応)

背面図



1	電源入力
2	Ethernet ネットワーク ポート
3	後部 USB (Universal Serial Bus) ポート
4	ファックス ポート (1 - 電話回線接続用、2 - 電話機接続用) (一部のモデル)
5	後部アクセス パネル (両面印刷ユニットのないモデル)
6	自動両面印刷アクセサリ (両面印刷ユニット) (一部のモデル)

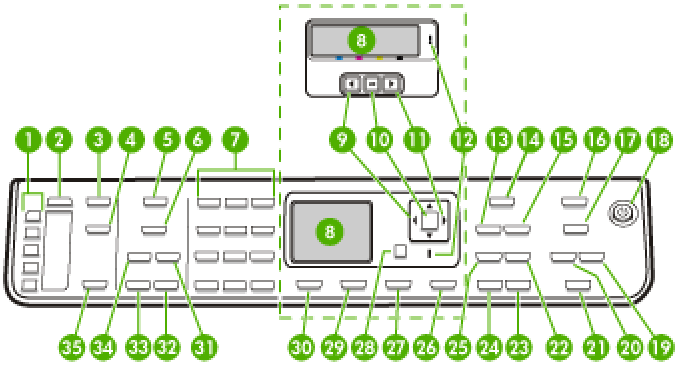
コントロール パネル

コントロール パネルのレイアウトと利用可能な機能は、お使いのモデルによって異なります。

この後で、コントロール パネルのボタン、ランプ、ディスプレイについて説明します。 お使いのモデルによっては、搭載されていない機能があります。

コントロール パネルのボタンとランプ

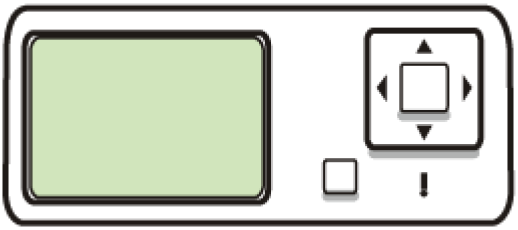
次の図と表を使って、コントロール パネルの機能について説明します。



番号	名称および説明
1	ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン： 先頭の 5 つの短縮ダイヤル番号をダイヤルします。
2	**[短縮ダイヤル]**： 短縮ダイヤルを選択します。
3	**[スキャン メニュー]**： スキャンの送信先メニューで、スキャンの送信先を選択します。
4	**[デジタル ファイリング]**： 文書のスキャンと保存、ネットワーク上の他のユーザーとの文書の共有を行います。
5	**[ファックス メニュー]**： ファックス メニューで、オプションを選択します。
6	このボタンの名前と機能は、本製品が販売された国/地域によって異なります。 **[解像度]**： 送信するファックスの解像度を調整します。 **[迷惑ファックスを拒否]**： 迷惑ファックスを拒否の設定メニューで、迷惑ファックスを管理します。 この機能を使用するためには、発信者 ID サービスを利用する必要があります。
7	キーパッド： ファックス番号や値、文字を入力します。
8	ディスプレイ： メニューとメッセージを表示します。
9	左矢印： ディスプレイの値を小さくします。
10	**[OK]**： ディスプレイのメニューまたは設定を選択します。
11	右矢印： ディスプレイに表示されている値を大きくします。
12	注意ランプ： 点滅している場合は、注意が必要なエラーが発生していることを示します。
13	**[縮小/拡大]**： 印刷するコピーのサイズを変更します。
14	**[コピー メニュー]**： コピー メニューでオプションを選択します。
15	**[コピー枚数]**： 印刷枚数を選択します。
16	**[フォト メニュー]**： フォト メニューで、オプションを選択します。

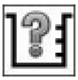
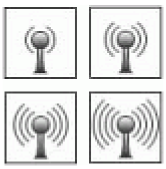
番号	名称および説明
17	このボタンの名前と機能は、本製品が販売された国/地域によって異なります。 **[フォト シート]**: メモリ カード スロットにメモリ カードが挿入されている場合、フォトシートを印刷します。 フォトシートには、メモリカード内のすべての写真のサムネイル ビューが表示されます。 フォトシート上で印刷したい写真を選択し、そのフォトシートをスキャンすることで写真を印刷できます。 **[回転]**: ディスプレイ上の現在のイメージを回転します。 回転したイメージは印刷できます。
18	**[電源]**: 本体電源のオン/オフを切り替えます。 本体の電源がオンのときは、電源ボタンが点灯します。 ジョブの実行中はランプが点滅します。 本体の電源をオフにしていても、必要最小限の電力が供給されています。 電力の供給を完全に遮断するには、本体の電源をオフにした後に電源ケーブルを抜いてください。
19	**[縮小]**: ディスプレイ上のイメージを縮小します。
20	**[拡大]**: ディスプレイ上のイメージを拡大します。
21	**[フォト プリント]**: フォト機能を選択します。 メモリ カードやストレージ デバイスから写真を印刷したり、コンピュータに写真を保存したりするときに使用します。
22	**[品質]**: コピー印字品質を [高画質]、[標準]、[はやい] から選択します。
23	**[コピー スタート - カラー]**: カラー コピーを開始します。
24	**[コピー スタート - モノクロ]**: モノクロ コピーを開始します。
25	**[丁合]**: コピー終了後すぐに使用できるように、コピーをページ順に並べます。
26	**[キャンセル]**: ジョブを停止したり、メニューや設定を終了したりします。
27	**[ヘルプ メニュー]**: ヘルプ メニューを表示します。 一覧からヘルプ トピックを選択できます。 トピックを選択すると、接続されたコンピュータのモニタに詳しいヘルプ情報が表示されます。
28	**[戻る]**: 1 つ上のメニューを表示します。
29	**[両面]**: 両面コピーまたはファックス送信を行います。
30	**[セットアップ]**: セットアップ メニューで、レポートの作成、ファックスなどのメンテナンス設定の変更、ヘルプ メニューの表示を行います。 ヘルプ メニューで選択したトピックに関するヘルプがコンピュータ画面に表示されます。
31	**[自動応答]**: このボタンが点灯している場合、デバイスは自動的に着信に応答します。 このボタンがオフのときは、ファックスの着信に応答しません。
32	**[ファックス スタート - カラー]**: カラー ファックスの送信を開始します。
33	**[ファックス スタート - モノクロ]**: モノクロ ファックスの送信を開始します。
34	**[リダイヤル/ポーズ]**: 最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。または、ファックス番号に 3 秒間のポーズを挿入します。
35	**[スキャン スタート]**: スキャンを開始し、スキャンの送信先ボタンで選択した送信先に画像を送信します。

カラー ディスプレイ



注記 搭載されているディスプレイの種類は、モデルによって異なります。

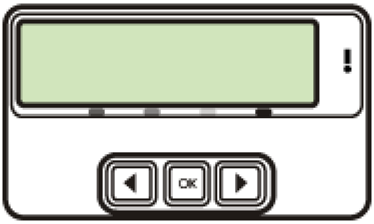
カラー ディスプレイでは、画面の下部に次のアイコンを表示して重要な情報を提供します。 アイコンの中には、お使いの製品がネットワークに接続可能な場合にのみ表示されるものがあります。 ネットワーク接続の詳細については、ネットワーク オプションの構成を参照してください。

アイコン	用途
	インク カートリッジ内のインクの量を示します。 アイコンの色はインク カートリッジの色に対応しており、アイコンの残量レベルはインク カートリッジの残量レベルに対応しています。
	不明なインク カートリッジがセットされていることを示します。 インク カートリッジに他社製のインクが入っている場合にこのアイコンが表示されます。
	有線ネットワーク接続の状態を示します。
	製品がワイヤレス ネットワークに対応しているにもかかわらず、ワイヤレス ネットワーク接続が存在しないことを示します。 このアイコンはワイヤレス ネットワークに接続していない場合はグレー、接続している場合は青色になります。 これはインフラストラクチャ モード用です (この機能は、一部のモデルでサポートされます)。 詳細については、デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)を参照してください。
	ワイヤレス ネットワーク接続が存在することを示します 信号強度は曲線の数で示されます。これはインフラストラクチャ モード用です(この機能は、一部のモデルでサポートされます)。 詳細については、デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)を参照してください。
	アドホック (ピア ツー ピア) のワイヤレス ネットワーク接続が存在することを示します。(この機能は、一部のモデルでサポートされます)。 詳細については、デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)を参照してください。

(続き)

アイコン	用途
	Bluetooth アダプタがインストールされ、接続されていることを示します 別売の Bluetooth アダプタが必要です。 詳細については、アクセサリを参照してください。 Bluetooth の設定方法の詳細については、ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドラインを参照してください。

2 行のディスプレイ



注記 搭載されているディスプレイの種類は、モデルによって異なります。

2 行のディスプレイには、ステータス メッセージ、エラー メッセージ、メニュー オプション、アドバイスが表示されます。 メモリ カードを挿入するか、カメラを接続すると、ディスプレイが写真モードになり、フォト メニューの上部が表示されます。

接続情報

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
USB 接続	1 台のコンピュータ。 USB ケーブルで後部 USB 2.0 高速ポートに接続。	Web スキャンを除くすべての機能をサポートします。 詳細については、埋め込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用を参照してください。	詳細な手順については、セットアップ ガイドを参照してください。
Ethernet (有線) 接続	ハブまたはルーターを使用してコンピュータを 5 台まで接続。	Web スキャンを含むすべての機能がサポートされます。	セットアップ ガイドの指示に従います。詳細な手順については、このガイドのローカル共有ネットワークでデバイスを共有するにはを参照してください。

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
プリンタ共有	コンピュータ 5 台まで。 ホスト コンピュータの電源を常にオンにしておく必要があります。オフの場合、他のコンピュータから本製品に印刷することはできません。	ホスト コンピュータに装備されている機能はすべてサポートされます。 別のコンピュータからサポートされているのは印刷だけです。	ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するにはの指示に従ってください。
802.11 ワイヤレス	ハブまたはルーターを使用してコンピュータを 5 台まで接続。	Web スキャンを含むすべての機能がサポートされます。	デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)の指示に従ってください。
HP bt300 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ/PC アダプタ	1 台の Bluetooth デバイスまたはコンピュータ。	PDA、カメラ付き携帯、または Bluetooth 対応コンピュータなどの Bluetooth デバイスから印刷します。	デバイスの Bluetooth 通信のセットアップの指示に従ってください。

2 アクセサリのインストール

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 両面印刷ユニットのインストール
- トレイ 2 の取り付け
- プリント ドライバでのアクセサリの有効化

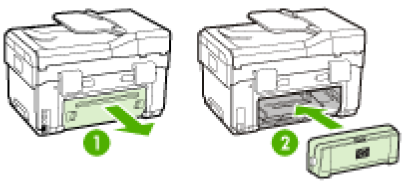
両面印刷ユニットのインストール

注記 この機能は、一部のモデルで使用できます。

オプションの自動両面印刷ユニットを取り付けると、用紙の両面に自動的に印刷できます。 両面印刷ユニットの詳細については、両面印刷 (2 面印刷)を参照してください。

両面印刷ユニットを取り付けるには

1. 背面アクセス パネルのボタンを押して、本体からパネルを外します。
2. 両面印刷ユニットを本体に取り付け、ロックされる位置まで押し込みます。 両面印刷ユニットを取り付けるときにユニットのボタンを押さないでください。ボタンは、本体から取り外すときに押します。



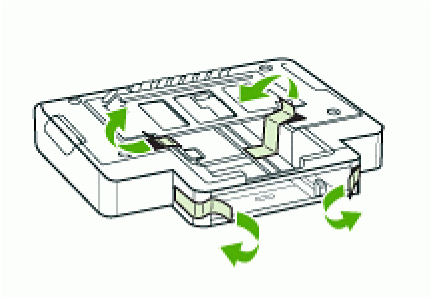
トレイ 2 の取り付け

注記 この機能は、一部のモデルで使用できます。

トレイ 2 には普通紙 350枚までセット可能です。 注文の詳細については、アクセサリを参照してください。

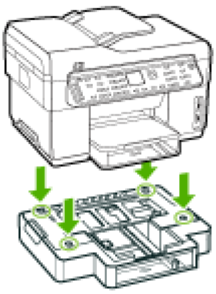
トレイ 2 を取り付けるには

1. トレイを開梱し、梱包テープと梱包材を取り除き、設置場所にトレイを置きます。 安定した平らな場所に設置する必要があります。



2. 本体の電源を切り、電源コードのプラグを取り外します。
3. 本体をトレイの上に置きます。

△ **注意** 本体の底とトレイの間に指や手をはさまないように注意してください。



4. 電源コードを接続し、本体の電源を入れます。
5. プリント ドライバでトレイ 2 を有効にします。 詳細については、プリント ドライバでのアクセサリの有効化を参照してください。

プリント ドライバでのアクセサリの有効化

- Windows コンピュータでアクセサリを有効にするには
- Macintosh コンピュータでアクセサリを有効にするには

Windows コンピュータでアクセサリを有効にするには

Windows コンピュータにデバイス ソフトウェアをインストールした後、本製品でトレイ 2 を使用するためには、プリント ドライバでトレイ 2 を有効にする必要があります (両面印刷ユニットを有効にする必要はありません)。

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、次に **[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. プリンタ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**、**[文書デフォルト]**、または **[詳細設定]** を選択します。
3. 次のいずれかのタブを選択します： **[設定]**、**[デバイスの設定]**、または **[デバイス オプション]**。 (タブの名前は、プリント ドライバとオペレーティング システムによって異なります。) 選択したタブで、有効にするアクセサリをクリックし、ドロップダウン メニューの **[装着済み]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。

Macintosh コンピュータでアクセサリを有効にするには

Mac OS では、デバイス ソフトウェアをインストールすると、プリント ドライバですべてのアクセサリが自動的に有効になります。 アクセサリを後から追加する場合は、次の手順に従います。

1. Dock の **[プリンタ設定ユーティリティ]** アイコンをクリックします。
2. **[プリンタ リスト]** ウィンドウで、設定するデバイスを一度クリックして選択します。
3. **[プリンタ]** メニューから、**[情報を表示]** をクリックします。
4. **[名前と場所]** ドロップダウン メニューをクリックし、**[インストール可能なオプション]** を選択します。
5. 有効にするアクセサリをオンにします。
6. **[変更を適用]** をクリックします。

3 オールインワンの使用

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- コントロール パネルのメニューの使用
- コントロール パネルのメッセージ タイプ
- デバイスの設定の変更
- HP ソリューション センターの使用 (Windows)
- HP フォト イメージング ソフトウェアの使用
- 文字と記号
- 原稿のセット
- 印刷メディアの選択
- メディアのセット
- トレイの設定
- 特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷
- フチ無し印刷
- 短縮ダイヤルの設定 (一部のモデルのみ)

コントロール パネルのメニューの使用

以下のセクションでは、コントロール パネル ディスプレイに表示されるトップレベル メニューについて説明します。 メニューを表示するには、使用する機能のメニュー ボタンを押します。

注記 コントロール パネルのディスプレイの種類 (カラー ディスプレイまたは 2 行のディスプレイ) は、ご使用のモデルによって異なります。

- **スキャン メニュー**： HP フォト イメージング ソフトウェアなどの送信先一覧を表示します。 モデルによっては、写真をスキャンして焼き増ししたり、メモリ カードにスキャン画像を送信することができます。
- **ファックス メニュー**： ファックス番号や短縮ダイヤル番号を入力したり、ファックス メニューを表示することができます。 次のオプションがあります。
  - 解像度の変更
  - 明るくする/暗くする
  - ファックスの遅延送信
  - 新しいデフォルトの設定

- **コピー メニュー**： 次のオプションがあります。
  - コピー枚数の選択
  - 縮小/拡大
  - 用紙タイプとサイズの選択
- **フォト メニュー**：次のオプションがあります。
  - 印刷オプションの選択
  - 特別機能の使用
  - 編集
  - コンピュータへの転送
  - フォト シートの選択

コントロール パネルのメッセージ タイプ

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ステータス メッセージ
- 警告メッセージ
- エラー メッセージ
- 重要なエラー メッセージ

ステータス メッセージ

ステータス メッセージには、デバイスの現在の状態が表示されます。 このメッセージは正常の動作を知らせるものであり、メッセージをクリアするための操作は不要です。 デバイスの状態が変わると、メッセージも変更されます。 デバイスの電源が入っている場合、準備が完了し、ビジー状態ではなく、警告メッセージが保留中でないときは、ステータス メッセージ [**準備ができています**] が表示されます。

警告メッセージ

警告メッセージは注意が必要なイベントについて知らせますが、デバイスは通常どおり使用できます。 警告メッセージには、[**シアン インクの残量がわずかです**] などがあります。 このようなメッセージは、ユーザーがその状態を解決するまで表示されます。

エラー メッセージ

エラー メッセージは、用紙の追加や詰まった用紙の除去など、何らかの操作をユーザーが実行する必要があることを伝えます。 通常、このメッセージが表示されるときは赤の注意ランプが点滅します。 適切なボタンを押して、印刷を実行してください。

エラー メッセージにエラー コードが含まれる場合は、電源ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度電源を入れます。 ほとんどの状況では、この

操作を行うと問題が解決されます。 メッセージが消えない場合は、デバイスの修理が必要である可能性があります。 エラー コードを書き留め、HP Instant Support (HP インスタント サポート) にアクセスして、メッセージの原因についてお調べください。 詳細については、HP インスタント サポートを参照してください。

重要なエラー メッセージ

重要なエラー メッセージは、デバイスの障害について知らせます。 これらのメッセージの一部は、電源ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度電源を入れると消すことができます。 重要なエラーが消えない場合は、修理が必要です。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。

デバイスの設定の変更

デバイス設定は、次の場所で変更することができます。

- コントロール パネル
- HP ソリューション センター (Windows) または HP デバイス マネージャ (Mac OS)詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。
- 埋め込み Web サーバ 詳細については、埋め込み Web サーバを参照してください。

注記 HP ソリューション センター または HP デバイス マネージャ で設定を行うときは、コントロール パネルから行われた設定 (スキャン設定など) を表示することはできません。

コントロール パネルから設定を変更するには

1. コントロール パネルで、使用中の機能のメニュー ボタン (コピー メニューなど) を押します。
2. 変更するオプションに移動するには、次のいずれかの方法を使用します。
   - コントロール パネルのボタンを押し、左または右の矢印キーを使って値を調整します。
   - コントロール パネルに表示されるメニューからオプションを選択します。
3. 目的の値を選択し、**[OK]** を押します。

HP フォト イメージング ソフトウェアから設定を変更するには (Mac OS)

1. Dock の **[HP デバイス マネージャ]** のアイコンをクリックします。
2. **[デバイス]** ドロップダウン メニューでデバイスを選択します。
3. **[情報と設定]** メニューで、変更する項目をクリックします。

埋め込み Web サーバから設定を変更するには

1. 埋め込み Web サーバを開きます。
2. 変更する設定を含むページを選択します。
3. 設定を変更し、**[適用]** をクリックします。

HP ソリューション センターの使用 (Windows)

Windows コンピュータでは、HP ソリューション センター が HP Photosmart ソフトウェア のエントリ ポイントです。 HP ソリューション センターを使用すると、印刷設定の変更、ファックス セットアップ ウィザードの起動、サプライ品の注文、オンスクリーン ヘルプへのアクセスができます。

HP ソリューション センター で使用できる機能は、取り付けたデバイスによって異なります。 HP ソリューション センター は、選択したデバイスに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされます。 選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能のアイコンは HP ソリューション センター に表示されません。

コンピュータ上の HP ソリューション センター にアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。 そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、HP Photosmart ソフトウェア を完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。 詳細については、デバイスに付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

HP ソリューション センター を開く方法については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用 を参照してください。

HP フォト イメージング ソフトウェアの使用

HP フォト イメージング ソフトウェアを使用すると、コントロール パネルからは利用できない数多くの機能にアクセスすることができます。

このソフトウェアは、セットアップ中にコンピュータにインストールされます。 詳細については、デバイスに付属のセットアップ マニュアルを参照してください。

HP フォト イメージング ソフトウェアへのアクセス方法は、オペレーティング システム (OS) により異なります。たとえば、Windows コンピュータの場合、HP フォト イメージング ソフトウェアのエントリ ポイントは、HP Photosmart ソフトウェア ウィンドウです。Macintosh コンピュータの場合、HP フォト イメージング ソフトウェアのエントリ ポイントは、HP Photosmart Studio ウインドウです。いずれにしても、エントリ ポイント

は、HP フォト イメージング ソフトウェアおよびサービスを起動する基点となります。

Windows コンピュータで HP Photosmart ソフトウェア にアクセスするには

1. 次のいずれかの操作を行います。
   - Windows デスクトップで、HP Photosmart ソフトウェアのアイコンをダブルクリックします。
   - Windows タスクバーの右端のシステム トレイにある **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンをダブルクリックします。
   - タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** をポイントします。次に、**[HP]** を選択し、をクリックします。
2. 複数の HP デバイスを取り付けている場合は、ご使用の製品名のタブを選択してください。

注記　Windows コンピュータの場合、HP Photosmart ソフトウェアで使用できる機能はインストールしたプリンタによって異なります。このソフトウェアは、選択したデバイスに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされます。選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能のアイコンはこのソフトウェアに表示されません。

ヒント　コンピュータ上の HP Photosmart ソフトウェアにアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生している可能性があります。そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、HP Photosmart ソフトウェア を完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。詳細については、デバイスに付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

Macintosh コンピュータで HP Photosmart Studio ソフトウェアを起動するには

1. Dock の HP Photosmart Studio アイコンをクリックします。
   HP Photosmart Studio ウィンドウが表示されます。
2. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   HP デバイス マネージャ ウィンドウが表示されます。
3. **[デバイス]** ドロップダウン メニューでデバイスを選択します。
   ここで、スキャン、ファックスの送信、文書のインポート、インク カートリッジのインク残量の確認などの保守作業を実行することができます。

> 注記 Macintosh コンピュータの場合、HP Photosmart Studio ソフトウェアで使用できる機能は選択したデバイスによって異なります。

> ヒント HP Photosmart Studio ソフトウェアが起動したら、Dock の HP Photosmart Studio アイコンを選択し、その上にマウスを置いた状態にすると、Dock メニューのショートカットにアクセスすることができます。

文字と記号

コントロール パネルのキーパッドを使用して文字と記号を入力できます。 また、コントロール パネルのビジュアル キーボードを使用して文字と記号を入力することもできます (一部のモデルのみ)。 有線または無線ネットワーク、ファックス ヘッダー、短縮ダイヤルを設定するときに、ビジュアル キーボードはカラー ディスプレイに自動的に表示されます。

ファックス番号や電話番号をダイヤルするときも、キーパッドから記号を入力することができます。 デバイスは、番号をダイヤルするときに、記号に応じた動作をします。 たとえば、ファックス番号の途中にダッシュがある場合は、デバイスがダイヤルするときに、そこで一定の間隔が置かれます。 この間隔は、ファックス番号をダイヤルする前に、外線番号を入力する必要がある場合などに役に立ちます。

> 注記 ファックス番号にダッシュなどの記号を含める場合は、キーパッドからその記号を入力する必要があります。

コントロール パネルのキーパッドからの文字と記号の入力

コントロール パネルのキーパッドから文字と記号を入力できます。

文字の入力が終わったら、**[OK]** を押して入力内容を確定します。

文字を入力するには

1. 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。 下のボタンに示すように、a、b、c の文字は数字 2 に対応しています。



> ヒント　ボタンを繰り返し押すと、そのボタンで入力可能な文字が順に表示されます。 言語および国と地域の設定によっては、キーパッドに表示されるもの以外の文字も使用できる場合があります。

2. 正しい文字が表示された後、そのまま少し待つと、カーソルが自動的に右に進んで文字が確定します。または右の矢印ボタンを押して手動で確定します。 名前の次の文字に対応する数字を押します。 正しい文字が出てくるまで、繰り返し数字ボタンを押してください。 単語の最初の文字は自動的に大文字になります。

スペース、ポーズ、記号を入力するには

- スペースを挿入するには、**[スペース]** を押します。
- ポーズを入力するには、**[リダイヤル/ポーズ]** を押します。 番号の途中にダッシュが挿入されます。
- [**@**] などの記号を入力するには、**[記号]** ボタンを繰り返し押して、記号のリストをスクロールします。 アスタリスク [*****]、ダッシュ [**-**]、アンパサンド [**&**]、ピリオド [**.**]、スラッシュ [**/**]、括弧 [**( )**]、アポストロフィ [**'**]、イコール [**=**]、ナンバー [**#**]、アット [**@**]、下線 [**_**]、プラス [**+**]、感嘆符 [**!**]、セミコロン [**;**]、疑問符 [**?**]、コンマ [**,**]、コロン [**:**]、パーセント [**%**]、概算 [**~**] があります。

文字、数字、記号を消去するには

▲ 間違えた場合は、左の矢印ボタンを押して消去し、正しく入力し直してください。

ビジュアル キーボードを使用した文字の入力 (一部のモデルのみ)

文字を入力する場合、カラー ディスプレイに自動的に表示されるビジュアル キーボードを利用して、文字と記号を入力することができます。 有線または

無線ネットワーク、ファックスのヘッダー、短縮ダイヤルなどを設定するときに、ビジュアル キーボードは自動的に表示されます。

ビジュアル キーボードを使用して文字を入力するには

1. ビジュアル キーボードの文字、数字、記号は、矢印キーを押して選択します。

   小文字、大文字、数字、記号を入力するには

   - 小文字を入力するには、ビジュアル キーボードの [**abc**] ボタンを選択し、**[OK]** を押します。
   - 大文字を入力するには、ビジュアル キーボードの [**ABC**] ボタンを選択し、**[OK]** を押します。
   - 数字と記号を入力するには、ビジュアル キーボードの [**123**] ボタンを選択し、**[OK]** を押します。

   スペースを追加するには

   スペースを追加するには、ビジュアル キーボードの右矢印ボタンを選択し、**[OK]** を押します。

   > 注記　ビジュアル キーボードの右の矢印ボタンを使用して、スペースを追加します。 コントロール パネルの矢印ボタンを使用してスペースを追加することはできません。

2. 文字、数値、または記号を強調表示したら、コントロール パネルの **[OK]** を押して確定します。
   選択内容がカラー ディスプレイに表示されます。

   > ヒント　文字、数字、記号を消去するには、ビジュアル キーボード上の [**クリア**] ボタンを選択して、**[OK]** を押します。

3. 文字、数値、記号の入力が終わったら、ビジュアル キーボードの [**完了**] ボタンを選択して、**[OK]** を押します。

ファックス番号をダイヤルするときに使用できる記号 (一部のモデルのみ)

* などの記号を入力するには、**[記号]** ボタンを繰り返し押して、記号一覧をスクロールします。 次の表は、ファックスまたは電話番号、ファックスのヘッダー情報、短縮ダイヤル エントリで使用できる記号です。

使用できる記号	説明	以下の場合に使用可能
*	ダイヤルに必要な場合に、アスタリスク記号を表示します。	ファックスのヘッダー名、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファックスまたは電話番号、ダイヤル モニタ機能の番号
-	自動的にダイヤルするときは、番号に一定の間隔が挿入されます。	ファックスのヘッダー名、ファックス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファックスまたは電話番号
( )	市外局番などが読み取りやすくなるように、番号に左あるいは右かっこを入れます。 これらの記号はダイヤルには影響しません。	ファックスのヘッダー名、ファックス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファックスまたは電話番号
W	W を入れると、自動的ダイヤルの際に、ダイヤル トーンを待ってからダイヤルします。	短縮ダイヤル番号、ファックスまたは電話番号
R	R は、自動ダイヤル中に電話の切替ボタンと同じように動作します。	短縮ダイヤル番号、ファックスまたは電話番号
+	プラス記号を表示します。 この記号はダイヤルには影響しません。	ファックスのヘッダー名、ファックス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファックスまたは電話番号

原稿のセット

コピー、ファックス、スキャンする原稿は、自動ドキュメント フィーダまたはスキャナのガラス板にセットします。 自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿は、デバイスに自動的に給紙されます。

自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット

片面または両面、1 ページまたは複数ページの A4 またはレター サイズの文書は、ドキュメント フィーダ トレイにセットすると、コピー、スキャン、またはファックスすることができます。

△ **注意** ADF に写真をセットしないでください。写真が破損する可能性があります。

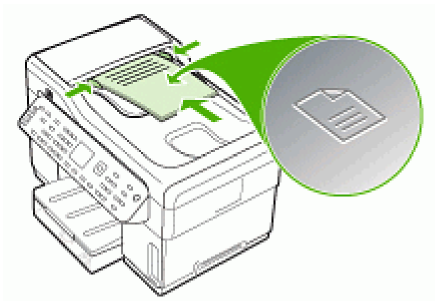
注記 両面のリーガル サイズの文書は ADF でコピー、スキャン、または ファックスすることができません。[**ページに合わせる**] コピーなど、一部 の機能は原稿を ADF にセットすると動作しません。原稿はガラス板にセ ットしてください。

ドキュメント フィーダ トレイには、最大 50 枚の普通紙をセットできます。

ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットしま す。 原稿の上側が先になるようにトレイに置きます。 自動ドキュメント フィーダに用紙をスライドさせます。正しくセットされると、ビープ音が 鳴るか、セットした用紙を認識したことを示すメッセージがディスプレイ に表示されます。

   ヒント 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法について は、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。

2. 用紙の両端に当たって止まるまで、横方向用紙ガイドをスライドさせま す。

注記 デバイスのカバーを持ち上げる前に、ドキュメント フィーダ トレイ から原稿をすべて取り出してください。

スキャナのガラス板への原稿のセット

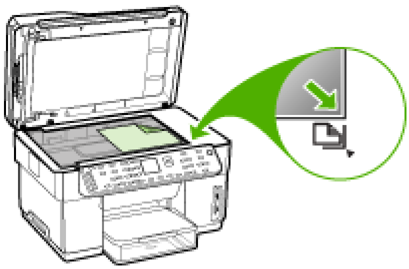
ガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 サイズまたはレター用紙までの 原稿をコピー、スキャン、またはファックスすることができます。 一部のモ デルでは、リーガル サイズの原稿をガラス板にセットできます。 原稿に複数 のフルサイズのページがある場合は、自動ドキュメント フィーダにセットし てください モデルがガラス板へのリーガル サイズの原稿のセットをサポート していない場合は、リーガル サイズの原稿を自動ドキュメント フィーダにセ ットしてください。

注記　ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、多くの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。

スキャナのガラス板に原稿をセットするには

1. すべての原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り出してから、カバーを持ち上げてください。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

ヒント　原稿のセット方法については、ガラス板の端に示されているガイドを参照してください。



3. カバーを閉じます。

印刷メディアの選択

デバイスは、ほとんどのタイプのオフィス用メディアに印刷できるようデザインされています。 印刷メディアを大量に購入する前に、さまざまなタイプの印刷メディアをテストすることをお勧めします。 最適な印刷品質を得るには、HP メディアを使用してください。 HP メディアの詳細については、HP Web サイト (www.hp.com) にアクセスしてください。

印刷メディアの選択と使用のヒント

最適な結果を得るには、次のガイドラインに従ってください。

- 必ず、デバイスの仕様に準拠したメディアを使用してください。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- トレイには、一度に 1 つのタイプのメディアしかセットしないでください。
- トレイ 1 とトレイ 2 には、印刷面を下にし、トレイの右端と後端に用紙を合わせてメディアをセットします。 トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。 詳細については、メディアのセットを参照してください。

- トレイ 2 は普通紙のみをセットするようデザインされています。
- トレイにメディアを入れすぎないでください。詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- 用紙詰まり、プリント品質の低下、およびそれ以外の印刷の問題を防ぐには、次のメディアを使用しないでください：
  - 複数の部分からなるフォーム
  - 損傷したり曲がったり、しわのよったメディア
  - カットアウトや穴のあいたメディア
  - 厚いメディアや浮き彫りのあるメディア、またはインクをうまく受付けないメディア
  - 軽すぎたり簡単に伸びてしまうメディア

カードおよび封筒

- 表面が滑らかな封筒、糊付き、留め金や窓のついた封筒は避けます。 縁が厚かったり不揃い、または丸まっている封筒、しわがあったり裂けていたり、その他にも破損があるカードや封筒は避けます。
- しっかりと作られた封筒を使用し、縁がしっかりと折られていることを確認します。
- 折り返し片が上にくるようにして封筒をセットします。

フォト メディア

- 写真を印刷するには、**[ベスト]** モードを使用します。 このモードでは、他のモードより印刷速度が遅くなり、コンピュータのメモリも多く必要になります。
- OHP フィルムは、印刷するたびに取り出して乾かします。 乾いていないメディアを積み重ねると、にじみが発生する場合があります。

OHP フィルム

- ざらざらの面が下になり、粘着テープがデバイス後部にくるようにして OHP フィルムを挿入します。
- OHP フィルムを印刷するには、**[ノーマル]** モードを使用します。 次のページが排紙トレイに排出される前にインクが完全に乾くよう、このモードでは乾燥時間が長くかかります。
- OHP フィルムは、印刷するたびに取り出して乾かします。乾いていないメディアを積み重ねると、にじみが発生する場合があります。

カスタムサイズのメディア

- デバイスでサポートされているカスタム サイズのメディアだけを使用します。
- 使用しているアプリケーションでカスタム サイズのメディアをサポートしている場合は、文書を印刷する前に、アプリケーションでメディア サイズを設定します。 サポートされていない場合は、プリンタ ドライバでサイズを設定します。 既存の文書をカスタム サイズの用紙に印刷する場合は、正しく印刷するために文書の再フォーマットが必要になる場合があります。

サポートされたメディアの仕様の理解

使用可能なサイズの理解 および 使用可能なメディアのタイプと重量の理解 の表を使用して、デバイスで使用する正しいメディアと、そのメディアに利用できる機能を判断します。

- 使用可能なサイズの理解
- 使用可能なメディアのタイプと重量の理解

使用可能なサイズの理解

注記　トレイ 2 および両面印刷ユニットは、一部のモデルのみで利用できます。

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
標準サイズのメディア				
U.S. レター (216 x 279 mm、8.5 x 11 インチ)	✔	✔	✔	✔
216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)*	✔	✔		
U.S. リーガル (216 x 356 mm、8.5 x 14 インチ)	✔	✔		✔
A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)	✔	✔	✔	✔
U.S. エグゼクティブ (184 x 267 mm、7.25 x 10.5 インチ)	✔	✔	✔	✔
U.S. ステートメント (140 x 216 mm、5.5 x 8.5 インチ)	✔			✔
B5 (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)	✔	✔	✔	✔
A5 (148 x 210 mm、5.8 x 8.3 インチ)	✔		✔	✔
6 x 8 インチ*	✔		✔	

(続き)

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
フチ無し A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)*	✔			
フチ無し A5 (148 x 210 mm、5.8 x 8.3 インチ)*	✔			
フチ無し B5 (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)*	✔			
封筒				
米国 10 号封筒 (105 x 241 mm、4.12 x 9.5 インチ)*	✔			
Monarch 封筒 (98 x 191 mm、3.88 x 7.5 インチ)*	✔			
HP グリーティング カード封筒 (111 x 152 mm、4.38 x 6 インチ)*	✔			
A2 招待状用封筒 (111 x 146 mm、4.37 x 5.75 インチ)*	✔			
DL 封筒 (110 x 220 mm、4.3 x 8.7 インチ)*	✔			
C5 封筒 (162 x 229 mm、6.4 x 9 インチ)*	✔			
C6 封筒 (114 x 162 mm、4.5 x 6.4 インチ)*	✔			
封筒長形 3 号 (120 x 235 mm、4.7 x 9.3 インチ)*	✔			
封筒長形 4 号 (90 x 205 mm、3.5 x 8.1 インチ)*	✔			
カード				
インデックス カード (76.2 x 127 mm、3 x 5 インチ）*	✔			
インデックス カード (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)*	✔		✔	
インデックス カード (127 x 203 mm、5 x 8 インチ)*	✔		✔	
A6 カード (105 x 148.5 mm、4.13 x 5.83 インチ)*	✔		✔	
フチ無し A6 カード (105 x 148.5 mm、4.13 x 5.83 インチ)*	✔			
はがき** (100 x 148 mm、3.9 x 5.8 インチ)*	✔			

(続き)

用紙サイズ	トレイ 1	トレイ 2	両面印刷ユニット	ADF
フォト メディア				
フォト メディア (76.2 x 127 mm、3 x 5 インチ)*	✔			
フォト メディア (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)*	✔			
フォト メディア (5 x 7 インチ)*	✔			
フォト メディア (8 x 10 インチ)*	✔			
フォト メディア (10 x 15 cm)*	✔			
L 判 (89 x 127 mm、3.5 x 5 インチ)*	✔			
フチ無しフォト メディア (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)*	✔			
フチ無しフォト メディア (5 x 7 インチ)*	✔			
フチ無しフォト メディア (8 x 10 インチ)*	✔			
フチ無しフォト メディア (8.5 x 11 インチ)*	✔			
フチ無しフォト メディア (10 x 15 cm)*	✔			
フチ無し L 判 (89 x 127 mm、3.5 x 5 インチ)*	✔			
それ以外のメディア				
幅 76.2 ～ 216 mm、長さ 127 ～ 356 mm まで (幅 3 ～ 8.5 インチ、長さ 5 ～ 14 インチまで) のカスタムサイズのメディア*	✔			
幅 127 ～ 216 mm、長さ 241 ～ 305 mm まで (幅 5 ～ 8.5 インチ、長さ 9.5 ～ 12 インチまで) のカスタムサイズのメディア (ADF)				✔
パノラマ (4 x 10 インチ、4 x 11 インチ、4 x 12 インチ)*	✔			
フチ無しパノラマ (4 x 10 インチ、4 x 11 インチ、4 x 12 インチ)*	✔			

* 片面印刷または両面印刷のために ADF で使用することはできません。

** デバイスで使用できるのは、普通紙官製はがきおよびインクジェット用官製はがきのみです。 フォト光沢官製はがきは使用できません。

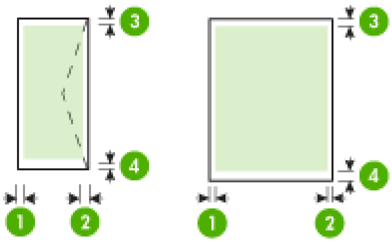
使用可能なメディアのタイプと重量の理解

注記 トレイ 2 および両面印刷ユニットは、一部のモデルのみで利用できます。

トレイ	種類	重量	容量
トレイ 1	用紙	60 ～ 105 g/m^2 (ボンド紙 16 ～ 28 ポンド)	普通紙 250 枚まで (厚さ 25 mm または 1 インチ)
	OHP 用紙		最高 70 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	フォト メディア	280 g/m^2 (75 lb ボンド紙)	最高 100 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	ラベル		最高 100 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	封筒	75 ～ 90 g/m^2 (ボンド紙封筒 20 ～ 24 ポンド)	最高 30 枚 (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	カード	200 g/m^2 まで (インデックス カード 110 ポンド)	80 枚まで
トレイ 2	普通紙のみ	60 ～ 105 g/m^2 (ボンド紙 16 ～ 28 ポンド)	普通紙 350 枚まで (厚さ 35 mm または 1.38 インチ)
両面印刷ユニット	用紙	60 ～ 105 g/m^2 (ボンド紙 16 ～ 28 ポンド)	該当せず
排紙ビン	使用可能なすべてのメディア		普通紙 150 枚まで (テキスト印刷)

最小余白の設定

文書のマージンは、縦方向に指定されたマージン以上に設定する必要があります。



メディア	(1) 左マージン	(2) 右マージン	(3) 上部マージン	(4) 下部マージン*
U.S. レター U.S. リーガル A4 U.S. エグゼクティブ U.S. ステートメント 8.5 x 13 inch B5 A5 カード カスタムサイズのメディア フォト メディア	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)
封筒	3.3 mm (0.13 インチ)	3.3 mm (0.13 インチ)	16.5 mm (0.65 インチ)	16.5 mm (0.65 インチ)

* Windows を実行中のコンピュータでこの余白を設定するには、プリンタ ドライバの **[詳細]** タブをクリックし、**[余白の最小化]** を選択します。

注記　両面印刷ユニット (一部のモデルで利用できます) を使用中は、上部と下部の最小余白は 12 mm (0.47 インチ) 以上でなければなりません。

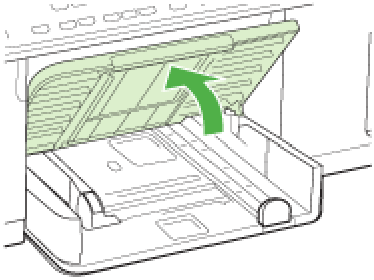
メディアのセット

このセクションには、デバイスにメディアをセットする手順が記載されています。

注記　トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。 注文の詳細については、印刷サプライ品のオンライン注文を参照してください。

トレイ 1 (メイン トレイ) にメディアをセットするには

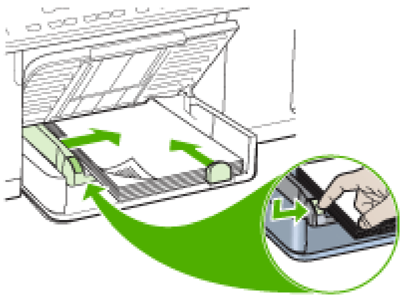
1. 排紙トレイを持ち上げます。



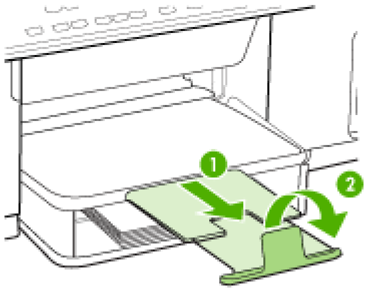
2. 印刷面を下にしてトレイの右端に沿ってメディアを挿入します。 メディアの束がトレイの右端と後端に沿い、トレイのラインからはみ出さないよう確認します。

> **注記** デバイスが印刷しているときには、用紙をセットしないでください。

3. メディア ガイドをトレイに移動し、セットしたメディア サイズに調整します。次に、排紙トレイを下げます。

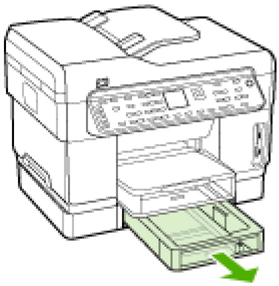


4. 排紙トレイの拡張部を引き出します。



トレイ 2 にメディアをセットするには

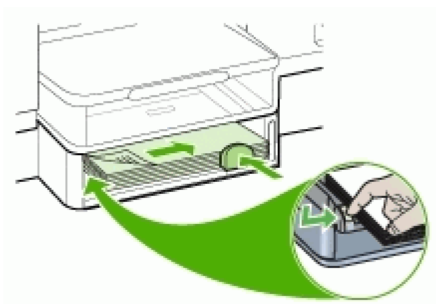
1. トレイ正面下部をつかみ、トレイをデバイスから引き出します。



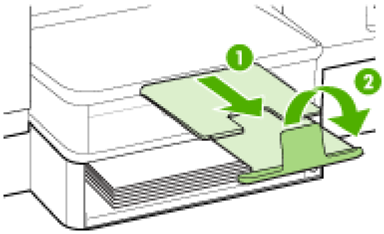
2. 印刷面を下にしてトレイの右端に沿って用紙を挿入します。 用紙の束がトレイの右端と後端に沿い、トレイのラインからはみ出さないよう確認します。

   注記 トレイ 2 には普通紙しかセットできません。

3. メディア ガイドをスライドし、セットした用紙サイズに調整します。



4. トレイをゆっくりと再度挿入します。
5. 排紙トレイの拡張部を引き出します。



トレイの設定

注記 トレイ 2 を利用できるのは、一部のモデルのみです。注文の詳細については、印刷サプライ品のオンライン注文を参照してください。

デフォルトでは、デバイスはトレイ 1 から給紙するように設定されています。トレイ 1 が空の場合、デバイスはトレイ 2 (挿入され、メディアがセットされている場合) から給紙します。 以下の機能を使用して、このデフォルト設定を変更できます。

- **トレイ ロック**： トレイをロックして特殊な用紙を保護し、レターヘッドやあらかじめ印刷された用紙が誤って使用されないようにします。 文書の印刷中に用紙切れになった場合、ロックしたトレイのメディアが印刷ジョブを完了するために使用されることはありません。
- **デフォルトのトレイ**： この機能を使用して、デバイスが最初にメディアを給紙するトレイを設定します。

注記 トレイ ロックとデフォルト トレイ設定を使用するには、デバイス ソフトウェアで自動トレイ選択オプションが選択されていなければなりません。 デバイスがネットワーク上にある場合、デフォルト トレイを設定すると、設定はデバイスのすべてのユーザに影響します。

トレイ 2 は普通紙のみをセットするようデザインされています。

次の表には、それぞれの印刷ニーズに応じてトレイ設定を使用する方法が一覧されています。

実行内容...	手順
両方のトレイに同じメディアをセットし、1 つのトレイが空になった場合、もう 1 つのトレイから給紙するように設定する。	• トレイ 1 とトレイ 2 にメディアをセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。 • トレイ ロックが無効にされていることを確認します。
特殊メディアと普通紙の両方 (OHP フィルムまたはレターヘッドなど) をトレイにセットする。	• 特殊なメディアはトレイ 1 に、普通紙はトレイ 2 にセットします。 • トレイ ロックがトレイ 1 に設定されていることを確認します。
両方のトレイにメディアをセットするが、どちらかのトレイから最初に給紙するよう設定する。	• トレイ 1 とトレイ 2 にメディアをセットします。 • デフォルト トレイが目的のトレイに設定されていることを確認します。

トレイを設定するには

1. 本体の電源がオンになっていることを確認します。
2. 次のいずれかを行います：
   - **埋め込み Web サーバ**： **[設定]** タブをクリックし、左パネルから **[用紙処理]** をクリックします。
   - **プリンタ ドライバ (Windows)**： **[機能]** タブまたは **[カラー]** タブのいずれかにある **[プリンタ サービス]** ボタンをクリックし、**[用紙の取り扱い]** を選択します。
   - **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[用紙の取り扱い]** をクリックします。
   - **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[用紙の取り扱い]** を **[プリンタ設定]** パネルからクリックします。
   - **コントロールパネル**：**[セットアップ]** ボタンを押し、**[基本設定]** を選択し、**[デフォルト トレイ]** または **[トレイのロック]** を選択します。
3. 目的のトレイ設定を変更し、**[OK]** または **[適用]** をクリックします。

特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷

- 特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Windows)
- 特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Mac OS)

特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Windows)

1. 適切なメディアをセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 文書を開いた状態で、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[用紙/機能]** タブをクリックします。
4. **[サイズ]** ドロップダウン リストからメディア サイズを選択します。

   カスタム サイズのメディアを設定するには :

   a. **[カスタム]** ボタンをクリックします。
   b. 新しいカスタム サイズの名前を入力します。
   c. **[幅]** と **[高さ]** ボックスで寸法を入力し、**[保存]** をクリックします。
   d. **[OK]** を 2 回クリックして、[プロパティ]、または [基本設定] ダイアログ ボックスを終了します。 ダイアログ ボックスを再度開きます。
   e. 新しいカスタム サイズを選択します。
5. 用紙の種類を選択するには :
   a. **[詳細]** を **[タイプ]** ドロップダウン リストからクリックします。
   b. 任意のメディア タイプをクリックして、**[OK]** をクリックします。
6. **[ソース]** ドロップダウン リストからメディア ソースを選択します。
7. その他の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
8. 文書を印刷します。

特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Mac OS)

1. 適切なメディアをセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. **[ファイル]** メニューの **[用紙設定]** をクリックします。
3. メディア サイズを選択します。
4. カスタム サイズのメディアを設定するには :
   a. **[カスタム サイズの管理]** を **[用紙サイズ]** プルダウン メニューでクリックします。
   b. **[新規]** をクリックし、**[用紙サイズ名]** ボックスにサイズの名前を入力します。
   c. **[幅]** と **[高さ]** ボックスで寸法を入力し、必要に応じて余白を設定します。
   d. **[完了]** または **[OK]** をクリックし、**[保存]** をクリックします。
5. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックし、新しいカスタム サイズを選択します。
6. **[OK]** をクリックします。
7. **[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックします。
8. **[用紙の取り扱い]** パネルを開きます。

9. **[排紙先の用紙サイズ]** の下にある **[用紙に合わせて調節]** タブをクリックし、カスタマイズされた用紙サイズを選択します。
10. それ以外の任意の設定を変更し、**[OK]** または **[印刷]** をクリックします。

フチ無し印刷

フチ無し印刷を使用すると、特定の用紙タイプおよび一部の標準サイズの用紙の端まで印刷することができます。

注記 ソフトウェア アプリケーションでファイルを開き、画像サイズを割り当てます。 画像サイズが、その画像を印刷するメディアのサイズに合っていることを確認します。

この機能には、**[印刷機能のショートカット]** タブからアクセスすることもできます。 プリンタ ドライバを開き、**[印刷機能のショートカット]** タブを選択し、この印刷ジョブのドロップダウン リストから印刷機能のショートカットを選択します。

フチ無し文書を印刷するには (Windows)

1. 適切なメディアをセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 印刷するファイルを開きます。
3. アプリケーションからプリンタ ドライバを開きます。
   a. **[ファイル]** をクリックし、**[印刷]** をクリックします。
   b. **[プロパティ]** または **[設定]** をクリックします。
4. **[用紙/品質]** タブをクリックします。
5. **[サイズ]** ドロップダウン リストからメディア サイズを選択します。
6. **[フチ無し印刷]** チェックボックスを選択します。
7. **[ソース]** ドロップダウン リストからメディア ソースを選択します。
8. **[タイプ]** ドロップダウン リストからメディアのタイプを選択します。
9. 写真を印刷する場合は、**[印刷品質]** ドロップダウン リストから **[高画質]** を選択します。 または、**[最大 dpi]** を選択します。この場合、最適な印刷品質を得るために最大解像度 4800 x 1200 dpi* による印刷が可能になります。
   *最大解像度 4800 x 1200 dpi は入力データ解像度を 1200 dpi に設定し、カラー印刷した場合 この設定では、一時的に大量のハードディスク容量 (400 MB 以上) が使用されることがあり、印刷に時間がかかります。
10. その他の印刷設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
11. 文書を印刷します。
12. 切り取りタブ付きのフォト メディアに印刷した場合は、タブを切り取って、文書を完全にフチ無しにします。

フチ無し文書を印刷するには (Mac OS)

1. 適切なメディアをセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 印刷するファイルを開きます。
3. **[ファイル]** をクリックし、**[用紙設定]** をクリックします。
4. フチ無しメディアのサイズを選択して **[OK]** をクリックします。
5. **[ファイル]** をクリックし、**[印刷]** をクリックします。
6. **[用紙の種類/品質]** パネルを開きます。
7. **[用紙]** タブをクリックし、**[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。
8. 写真を印刷する場合は、**[品質]** ドロップダウン リストから **[高画質]** を選択します。 または、**[最大 dpi]** を選択します。この場合、最大解像度 4800 x 1200 dpi* による印刷が可能になります。

   *最大解像度 4800 x 1200 dpi は入力データ解像度を 1200 dpi に設定し、カラー印刷した場合この設定では、一時的に大量のハードディスク容量 (400 MB 以上) が使用されることがあり、印刷に時間がかかります。
9. メディア ソースを選択します。 厚いメディアまたはフォト メディアに印刷する場合は、手差しオプションを選択します。
10. その他の設定値を選択した後、**[プリント]** をクリックします。
11. 切り取りタブ付きのフォト メディアに印刷した場合は、タブを切り取って、文書を完全にフチ無しにします。

短縮ダイヤルの設定 (一部のモデルのみ)

頻繁に使うファックス番号やネットワーク フォルダは、短縮ダイヤル エントリとして設定できます。 そうすれば、コントロール パネルからすぐにダイヤルすることができます。 これらの送信先の最初の 5 つのエントリは、コントロール パネルの 5 つの短縮ダイヤル ボタンに関連付けられます。

ファックス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定

ファックス番号またはファックス番号のグループを短縮ダイヤル エントリとして保存することができます。 短縮ダイヤル エントリ 1 ～ 5 は、コントロール パネルの対応する 5 つの短縮ダイヤル ボタンと関連付けられます。

設定される短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷については、短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示を参照してください。

短縮ダイヤル エントリを設定するには

- **埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続)**: 埋め込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。次に、左枠の **[ファックス短縮ダイヤル]** をクリックします。
    - エントリを追加するには: **[ファックス短縮ダイヤル エントリの簡易追加]** セクションのフィールドに必要な情報を入力します。
    - エントリを編集または削除するには、**[ファックス短縮ダイヤル アドレス帳]** セクションでエントリを選択し、**[編集]** アイコンまたは **[削除]** アイコンをクリックします。
    - 完了したら、**[適用]** をクリックします。
- **HP Photosmart ソフトウェア**: HP Photosmart ソフトウェア を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS)**: **[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファックス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **コントロール パネル**: **[セットアップ]** を押し、[**短縮ダイヤルの設定**] オプションを選択します。
    - エントリを追加または変更するには: [**個別の短縮ダイヤル**] または [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、矢印キーを押して未使用のエントリ番号に移動するか、キーパッドから番号を入力します。 ファックス番号を入力し、**[OK]** を押します。 市外局番、PBX システム外の番号のアクセス コード (通常は 9 または 0)、長距離電話のプレフィックスなど、間隔や他の必要な番号を含めます。 名前を入力し、**[OK]** を押します。
    - 1 つまたはすべてのエントリを削除するには: [**短縮ダイヤルを削除**] を選択し、矢印キーで削除する短縮ダイヤルをハイライトし、**[OK]** を押します。

短縮ダイヤル グループを設定するには

ファックス番号の同じグループに定期的に情報を送信する場合は、操作を簡略化するために、グループの短縮ダイヤル エントリを設定できます。 グループの短縮ダイヤル エントリは、コントロール パネルの短縮ダイヤル ボタンに関連付けることができます。

短縮ダイヤルのグループにメンバーを追加するには、メンバーが短縮ダイヤル一覧にあらかじめ含まれている必要があります。 各グループには最大 20 個のファックス番号を追加でき、各ファックス番号には最大 50 文字を含めることができます。

- **埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続)**: 埋め込み Web サーバを開き、**設定** タブをクリックします。次に、左枠の **ファックス短縮ダイヤル**

をクリックします。 **[ファックス短縮ダイヤル アドレス帳]** で、エントリの番号 (たとえば **26 ～ 50**) を含むリンクをクリックします。

- グループを追加するには、**[ファックス短縮ダイヤル アドレス帳]** の **[新規グループ]** ボタンをクリックし、選択した部分から個別のエントリを選択します。 適切なグループ情報を入力し、**[適用]** をクリックします。
- エントリを編集または削除するには、**[ファックス短縮ダイヤル アドレス帳]** でエントリを選択し、**[編集]** アイコンまたは **[削除]** アイコンをクリックします。
- グループを削除するには： エントリを選択し、 [**削除**] ボタンをクリックします。
- 完了したら、[**適用**] をクリックします。

- **HP Photosmart ソフトウェア**：HP Photosmart ソフトウェア を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS)**：**[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファックス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **コントロール パネル**：**[セットアップ]** ボタンを押し、[**短縮ダイヤルの設定**] オプションを選択します。
  - グループを追加するには: [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、登録されていない短縮ダイヤルを選択し、**[OK]** を押します。 矢印キーで短縮ダイヤルをハイライトし、**[OK]** を押して選択します（チェックマークが短縮ダイヤルの横に表示されます）。 このグループに追加短縮ダイヤルを追加するには、同じ手順を繰り返します。 作業が終了した後、[**選択終了**] オプションを選択し、**[OK]** を押します。 オンスクリーン キーボードでグループ短縮ダイヤルの名前を入力し、[**完了**] を選択します。
  - グループにエントリを追加するには: [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、変更するグループ短縮ダイヤルを選択し、**[OK]** を押します。 矢印キーで短縮ダイヤルをハイライトし、**[OK]** を押して選択します（チェックマークが短縮ダイヤルの横に表示されます）。 このグループに追加短縮ダイヤルを追加するには、同じ手順を繰り返します。 作業が終了した後、[**選択終了**] オプションを選択し、**[OK]** を押します。 **[グループ名]** 画面の [**完了**] を選択します。

- グループからエントリを削除するには: [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、変更するグループ短縮ダイヤルを選択し、**[OK]** を押します。 矢印キーで短縮ダイヤルをハイライトし、**[OK]** を押して選択します（チェックマークが短縮ダイヤルから削除されます）。 このグループに追加短縮ダイヤルを削除するには、同じ手順を繰り返します。 作業が終了した後、[**選択終了**] オプションを選択し、**[OK]** を押します。 **[グループ名]** 画面の [**完了**] を選択します。
- グループを削除するには: [**短縮ダイヤルを削除**] を選択し、矢印キーで削除する短縮ダイヤルをハイライトし、**[OK]** を押します。

ネットワーク フォルダの短縮ダイヤル エントリとしての設定 (一部のモデルのみ)

最大 10 個のネットワーク フォルダを短縮ダイヤル エントリとして保存できます。 5 つのエントリは、コントロール パネルの対応する 5 つの短縮ダイヤル ボタンと関連付けられます。 グループの短縮ダイヤル エントリを設定することはできません。 ダイレクト デジタル ファイリング短縮ダイヤルを使用すると、デジタル文書をスキャン、保存し、短縮ダイヤルを使用して送信するためのフォルダを作成できます。 わかりやすい名前、ネットワーク パス、ユーザー名、パスワード、オプションの PIN の各フィールドを使用して、新しいダイレクト デジタル ファイリング短縮ダイヤル エントリを追加します。

設定される短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷については、短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示を参照してください。

短縮ダイヤル エントリを設定するには

埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続)： 埋め込み Web サーバを開き、**設定** タブをクリックします。次に、左枠の **ダイレクト デジタル ファイリング短縮ダイヤル** をクリックします。

- エントリを追加または変更するには： **[ダイレクト デジタル ファイリング短縮ダイヤル アドレス帳]** のエントリを選択し、**[編集]** ボタンをクリックします。必要な変更を加えて、**[適用]** をクリックします。
- エントリを削除するには： エントリを選択し、[**削除**] ボタンをクリックします。
- 完了したら、[**適用**] をクリックします。

短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示

設定済みのすべての短縮ダイヤル エントリの一覧は印刷または表示することができます。 一覧の各エントリには、次の情報が含まれます。

- 短縮ダイヤル番号 (最初の 5 つのエントリは、コントロール パネルの 5 つの短縮ダイヤル ボタンに対応します)
- ファックス番号またはファックス番号のグループに関連付けられている名前

- ファックスの短縮ダイヤル一覧の場合は、ファックス番号 (またはグループのすべてのファックス番号)
- ネットワーク フォルダ一覧の場合は、フォルダ パス名

短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷するには

埋め込み Web サーバ： **[設定]** タブを選択し、左枠から **[ファックス短縮ダイヤル]** を選択します。次に、ブラウザから **[ファックス短縮ダイヤル アドレス帳]** ページを印刷します。

短縮ダイヤル エントリの一覧を表示するには

- **埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続)**： 埋め込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。次に、左枠の [**ファックス短縮ダイヤル**] をクリックします。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS)**：**[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファックス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **HP Photosmart ソフトウェア**： HP Photosmart ソフトウェア を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。

4 印刷

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- プリント設定の変更
- 両面印刷 (2 面印刷)
- 印刷ジョブのキャンセル

プリント設定の変更

プリント設定 (用紙のサイズやタイプ) は、アプリケーション、またはプリンタ ドライバから変更できます。 アプリケーションから加えた変更は、プリンタ ドライバから加えた変更に優先します。 ただし、アプリケーションを終了すると、ドライバで設定がデフォルトの設定に戻ります。

注記 プリント ジョブすべてにプリント設定を設定するには、プリンタ ドライバで変更を加えます。

Windows のプリンタ ドライバ機能の詳細については、プリンタ ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。 特定のアプリケーションから印刷する方法については、そのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更するには (Windows)

1. 印刷する文書を開きます。
2. **[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします (使用するアプリケーションに応じて、異なるオプションがあります)。
3. 設定を変更し、**[OK]** をクリックし、**[印刷]**、または類似のコマンドをクリックします。

将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更するには (Windows)

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. プリンタ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**、**[文書デフォルト]**、または **[詳細設定]** を選択します。
3. 設定を変更して、**[OK]** をクリックします。

設定を変更するには (Mac OS)

1. **[ファイル]** メニューの **[用紙設定]** をクリックします。
2. 用紙サイズなど、必要な設定を変更して、**[OK]** をクリックします。
3. **[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックして、プリンタ ドライバを開きます。
4. 用紙タイプなど、必要な設定を変更して、**[OK]** または **[プリント]** をクリックします。

両面印刷 (2 面印刷)

オプションの自動両面印刷アクセサリ (両面印刷ユニット) を使って自動的に行うか、またはメディアを裏返してデバイスに再度給紙することにより、手動でメディアの両面に印刷できます。

- ページの両面に印刷する場合のガイドライン
- 両面印刷を実行するには (Windows)
- 自動両面印刷を実行するには (Mac OS)

ページの両面に印刷する場合のガイドライン

- 必ず、デバイスの仕様に準拠したメディアを使用してください。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- アプリケーション、またはプリンタ ドライバで両面印刷オプションを指定します。
- OHP フィルム、封筒、フォト用紙、光沢のあるメディア、60 g/m^2 (ボンド紙 16 ポンド) 未満の用紙、または 105 g/m^2 (ボンド紙 28 ポンド) を超える用紙には、両面印刷をしないでください。 これらのタイプのメディアを使用すると、メディア詰まりが発生する場合があります。
- レターヘッド、あらかじめ印刷された用紙、およびウォーターマークやあらかじめ穴の開いた用紙など、ページの両面に印刷する場合特別の方向に挿入することが必要な特殊メディアもあります。 Windows を実行しているコンピュータから印刷すると、メディアの最初の面から印刷されます。 Mac OS を実行しているコンピュータから印刷すると、2 番目の面が最初に印刷されます。 正面を下に向けてメディアをセットします。
- 両面印刷でメディアの片面に印刷されると、インクが乾燥する間、デバイスは用紙を保留して待機します。 インクが乾燥すると、用紙はデバイスに再度給紙され、2 番目の面が印刷されます。 印刷が完了すると、用紙は排紙トレイに排出されます。 印刷が完了するまで、用紙をつかまないでください。
- サポートされているカスタムサイズのメディアの両面に印刷するには、用紙の上下を逆にして、もう一度デバイスに給紙します。詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

両面印刷を実行するには (Windows)

1. 適切なメディアをセットします。 詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドラインおよびメディアのセットを参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。 詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。
3. 文書を開いた状態で、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします。
4. **[各種機能]** タブをクリックします。
5. **[両面印刷]** ドロップダウン リストを選択します。 自動両面印刷を行うには、**[自動]** が選択されていることを確認します。
6. 文書の画面上のレイアウトに合うように各ページを自動的にサイズ変更するには、**[レイアウトの保存]** が選択されていることを確認します。 このオプションをクリアすると、不要な改ページが挿入されることがあります。
7. 綴じ込み方法に応じて、**[上綴じ]** チェック ボックスをオンまたはオフにします。 綴じ込み例については、プリンタ ドライバのグラフィックスを参照してください。
8. 必要に応じて、**[綴じ込みレイアウト]** ドロップダウン リストから綴じ込みレイアウトを選択します。
9. その他の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
10. 文書を印刷します。

自動両面印刷を実行するには (Mac OS)

1. 適切なメディアをセットします。詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドラインおよびメディアのセットを参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。 詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。
3. **[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックします。
4. **[両面印刷]** パネルを開きます。
5. 両面に印刷するオプションを選択します。
6. 適切なアイコンをクリックして、綴じ方向を選択します。
7. その他の設定を変更し、**[印刷]** をクリックします。

印刷ジョブのキャンセル

以下の方法を使用して印刷ジョブをキャンセルできます。

コントロールパネル： ✕ (**[キャンセル]** ボタン) を押します。 これにより、現在処理中のジョブがクリアされます。 処理待機中のジョブには影響しません。

Windows： コンピュータ画面の右下端に表示されているプリンタ アイコンをダブルクリックします。 印刷ジョブを選択し、キーボードの **削除** キーを押します。

Mac OS： **[プリンタ設定ユーティリティ]** でプリンタをダブルクリックします。 印刷ジョブを選択して **[保留]** をクリックし、**[削除]** をクリックします。

5 コピー

高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、さまざまな種類やサイズの用紙で作成することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- コントロール パネルからのコピーの作成
- コピー設定の変更
- 原稿のトリミング (カラー ディスプレイ モデルのみ)
- コピー ジョブのキャンセル

コントロール パネルからのコピーの作成

コントロール パネルから高画質のコピーを作成できます。

コントロール パネルからコピーを作成するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス板または ADF を使用して原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   - モノクロ コピーを開始するには、**[コピー スタート - モノクロ]** を押します。
   - カラー コピーを開始するには、**[コピー スタート - カラー]** を押します。

   注記 カラー原稿の場合は、**[コピー スタート - モノクロ]** を押すとモノクロ コピーになり、**[コピー スタート - カラー]** を押すとフルカラー コピーになります。

コピー設定の変更

コピー設定をカスタマイズすると、ほぼすべてのコピーに対応することができます。

コピー設定を変更しても、その変更は現在のコピー操作にのみ反映されます。 今後すべてのコピー操作にその設定を適用するようにするには、その変更をデフォルトとして設定する必要があります。

現在の設定を今後も使用できるようにデフォルトとして保存するには

1. **[コピー メニュー]** で設定を変更します。
2. **[コピー メニュー]** を押し、[**新しいデフォルトの設定**] が表示されるまで矢印キーを押します。
3. 矢印キーを押して **[はい]** を選択し、**[OK]** を押します。

原稿のトリミング (カラー ディスプレイ モデルのみ)

原稿をコピーする前に、**[コピー メニュー]** の [**トリミング**] 設定を使用して、コピーする領域を選択することができます。 [**トリミング**] 設定を選択するとスキャンが始まり、カラー ディスプレイに原稿のプレビューが表示されます。

トリミングを行うと画像の寸法が変わり、ファイル サイズは小さくなります。

ヒント [**縮小/拡大**] 設定を変更することで、トリミングした画像のサイズを調整できます。 [**ページに合わせる**] を使用すると、フチありのコピーが作成されます。 トリミングした画像を拡大すると、画像の解像度によっては印刷の品質が低下する可能性があります。

コントロール パネルから画像をトリミングするには

1. コピー 領域で **[コピー メニュー]** を押し、[**トリミング**] を選択します。
2. 矢印ボタンを使用して、トリミング領域の左上隅の位置を設定します。
3. **[OK]** を押します。
4. 矢印ボタンを使用して、トリミング領域の右下隅の位置を設定します。
5. **[OK]** を押します。
   カラー グラフィック ディスプレイにトリミングされた画像が表示されます。

コピー ジョブのキャンセル

▲ コピーを中止するには、コントロール パネルの **[キャンセル]** を押します。

6 スキャン

原稿をスキャンし、ネットワーク上のフォルダやコンピュータ上のプログラムなど、さまざまな場所に送信することができます。 コントロール パネル、HP フォト イメージング ソフトウェア、コンピュータ上の TWAIN 互換または WIA 互換プログラムを使用できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 原稿のスキャン
- 埋め込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用
- TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン
- スキャンした原稿の編集
- スキャン設定の変更
- スキャン ジョブのキャンセル

原稿のスキャン

スキャンはコンピュータからでも、コントロール パネルからでも行うことができます。 このセクションでは、コントロール パネルからのスキャン方法についてのみ説明します。

注記 HP Photosmart ソフトウェア を使用して、パノラマなどの画像をスキャンすることもできます。 このソフトウェアを使用すれば、スキャンした画像を編集したり、スキャンした画像を使用して特別なプロジェクトを作成することができます。 コンピュータからのスキャン方法や、スキャン画像の調整、サイズ変更、回転、トリミング、鮮明度調整については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン HP Photosmart ソフトウェア ヘルプを参照してください。

スキャン機能を使用するには、デバイスとコンピュータを接続して電源をオンにします。 また、スキャンを実行する前に、コンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要があります。 Windows を実行しているコンピュータでプリンタ ソフトウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時刻の横にあるシステム トレイに、デバイスのアイコンが表示されていることを確認します。 Mac OS を実行しているコンピュータでこれを確認するには、HP デバイス マネージャを開き、**[画像のスキャン]** をクリックします。 スキャナを利用できる場合は、HP ScanPro アプリケーションが起動します。 利用できない場合は、スキャナが見つからなかったことを示すメッセージが表示されます。

注記　Windows システム トレイにある HP Digital Imaging Monitor アイコンを閉じると、デバイスからスキャン機能の一部が失われ、[**接続していません**] というエラー メッセージが表示されます。 このエラー メッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動するか、または HP Photosmart ソフトウェア を起動すると、機能を完全に回復させることができます。

ダイレクト デジタル ファイリングの設定 (一部のモデルのみ)

ダイレクト デジタル ファイリングは、文書をスキャンしてフォルダに保存し、ネットワーク上で他のユーザーと共有できるようにする機能です。 コンピュータ上で埋め込み Web サーバを使用すると、ダイレクト デジタル ファイリングの短縮ダイヤルを設定できます。

注記　ダイレクト デジタル ファイリングの実装には、ネットワークの概念に関する基本的な理解が必要です。 これらの機能の設定は、ネットワークの経験を有するユーザーが行う必要があります。

ネットワーク フォルダを設定するには

▲ ネットワーク上にフォルダを作成します。 このフォルダは、ダイレクト デジタル ファイリング機能を使用してスキャンされるファイルを保存するために使用されます。

注記　ネットワーク フォルダを使用するすべてのユーザーが、フォルダの内容の書き込みと変更を含めて、フォルダのアクセス許可を持っていることを確認します。 フォルダのアクセス許可を変更する方法については、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

短縮ダイヤル番号を設定するには

1. Web ブラウザを開き、デバイスに割り当てられている IP アドレスを入力します。 例えば、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。 http://123.123.123.123

   注記　デバイスはネットワークに接続されている必要があります。 デバイスの IP アドレスは、コントロール パネルから取得できます。

2. **[設定]** タブをクリックします。
3. **[アドレス帳]** の **[ダイレクト デジタル ファイリング短縮ダイヤル]** をクリックします。

4. 短縮ダイヤル エントリの情報を入力し、目的のスキャン設定を変更します。

   注記　個人識別番号 (PIN) を追加して、許可のないユーザーがこの短縮ダイヤルを使用できないようにすることもできます。 PIN を設定すると、デバイスのコントロール パネルでは、短縮ダイヤルを使用するたびに PIN の入力を求められます。 PIN を無効にするには、PIN フィールドを空白にします。

5. **[追加]** をクリックします。 エントリがダイレクト デジタル ファイリングの短縮ダイヤル アドレス帳に追加されます。

ネットワーク フォルダへの原稿のスキャン

原稿のスキャン画像は、コンピュータ ベースのソフトウェアを使用しなくても、直接ネットワーク フォルダに送信することができます。 共有フォルダは、ファイル サーバまたはネットワークの任意のコンピュータに配置することができます。

この機能を使用する前に、前述のように埋め込み Web サーバ (EWS) を使用して、ダイレクト デジタル ファイリング短縮ダイヤル アドレス帳にフォルダの場所を指定する必要があります。 詳細については、ネットワーク フォルダの短縮ダイヤル エントリとしての設定 (一部のモデルのみ) またはデバイスに付属の [セットアップ ガイド] を参照してください。

ネットワーク フォルダにスキャン画像を送信するには

1. スキャナのガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) に原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **[デジタル ファイリング]** を押し、以下のいずれかを実行します。
   - ディスプレイの短縮ダイヤル エントリから送信先を選択します。
   - ディスプレイの 5 つの短縮ダイヤル ボタンのいずれかを押して、送信先を選択します。

   注記　短縮ダイヤル エントリに PIN を設定した場合は、続行する前に PIN を入力する必要があります。

3. **[スキャン スタート]** を押します。

注記　ネットワーク トラフィックの状況や接続速度によっては、接続に時間がかかることがあります。

コンピュータ上のプログラムへの原稿のスキャン (直接接続)

USB ケーブルを使用してデバイスが直接コンピュータに接続されている場合は、以下の手順に従います。

スキャンが完了すると、選択したプログラムが開き、スキャンした文書が表示されます。

HP フォト イメージング ソフトウェアからコンピュータ上のプログラムにスキャン画像を送信するには

1. コンピュータで HP フォト イメージング ソフトウェアを開きます。 詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。
2. 詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。

コントロール パネルからコンピュータ上のプログラムにスキャン画像を送信するには (直接接続)

1. スキャナのガラス板または ADF に原稿をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **[スキャン メニュー]** ボタンまたは **[スキャンの送信先]** ボタンを押します。
3. 矢印キーを押して、使用するプログラム (HP フォト イメージング ソフトウェアなど) を選択し、**[OK]** を押します。
4. **[スキャン スタート]** を押します。

コントロール パネルからコンピュータ上のプログラムにスキャン画像を送信するには (ネットワーク接続)

1. スキャナのガラス板または ADF に原稿をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **[スキャン メニュー]** ボタンまたは **[スキャンの送信先]** ボタンを押します。
3. [**コンピュータの選択**] を選択します。
4. 使用可能なコンピュータの一覧からコンピュータ名を選択し、**[OK]** を押します。
5. 矢印キーを押して、使用するプログラム (HP フォト イメージング ソフトウェアなど) を選択します。
6. **[OK]** または **[スキャン スタート]** を押します。

メモリ デバイスへの原稿の送信

挿入してあるメモリ カードや前面 USB ポートに接続したストレージ デバイスに、スキャンした画像を JPEG 画像または PDF ファイルとして送信するこ

とができます。 品質や用紙サイズの設定など、その他のスキャン オプションもあります。

メモリ デバイスにスキャンするには

1. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。
2. メモリ デバイスを挿入します。
3. **[スキャン スタート]** を押します。
   - **[スキャン メニュー]** が表示され、さまざまなオプションまたはスキャン先が表示されます。 デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。
   - デバイスをコンピュータに直接接続している場合、[**スキャンの送信先**] メニューが表示されます。
4. 矢印キーを押して [**メモリ デバイス**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
   デバイスによって画像がスキャンされ、そのファイルがメモリ カードまたはストレージ デバイスに保存されます。

埋め込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用

Web スキャンは埋め込み Web サーバの機能の一部であり、Web ブラウザを使用してデバイスで写真や文書をスキャンし、コンピュータに出力することができます。 この機能は、コンピュータにデバイス ソフトウェアをインストールしなかった場合でも利用できます。

▲ **[情報]** タブをクリックし、左枠の **[Web スキャン]** をクリックします。**[画像タイプ]** と **[ドキュメントのサイズ]** の選択を行い、**[スキャン]** または **[プレビュー]** をクリックします。

埋め込み Web サーバの詳細については、埋め込み Web サーバを参照してください。

TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン

デバイスは TWAIN 互換および WIA 互換であり、TWAIN 互換または WIA 互換のスキャン デバイスをサポートするプログラムを使用できます。 TWAIN 互換または WIA 互換プログラムでは、スキャン機能にアクセスし、スキャン画像を直接プログラムに送信することができます。

TWAIN は、ネットワーク接続および直接接続の両方について、すべての Windows および Mac OS オペレーティング システムでサポートされています。

Windows オペレーティング システムでは、WIA がサポートされているのは Windows XP での直接接続のみです。 Mac OS ではサポートされていません。

TWAIN 互換プログラムからスキャンするには

一般的に、**[取得]**、**[ファイルの取得]**、**[スキャン]**、**[新規オブジェクトのインポート]**、**[挿入元]**、**[スキャナ]** のようなコマンドがある場合、そのソフトウェア プログラムは TWAIN 互換です。 プログラムに互換性があるかどうかわからない場合、またはコマンドの名前がわからない場合は、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

TWAIN 互換プログラム内からスキャンを開始します。 コマンドおよび手順の詳細については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

注記 ファックスの受信中に TWAIN スキャンを開始すると、エラー メッセージが表示され、スキャンは実行されません。 ファックスが受信されるのを待ってから、スキャンを再開してください。

WIA 互換プログラムからスキャンするには

一般的に、**[挿入]** メニューまたは **[ファイル]** メニューに **[画像/スキャナまたはカメラから]** のようなコマンドがある場合、そのソフトウェア プログラムは WIA 互換です。プログラムに互換性があるかどうかわからない場合、またはコマンドの名前がわからない場合は、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

WIA 互換プログラム内からスキャンを開始します。コマンドおよび手順の詳細については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

スキャンした原稿の編集

HP Photosmart ソフトウェア を使用してスキャンした画像を編集できます。 OCR (光学式文字認識) ソフトウェアを使用して、スキャンした文書を編集することもできます。

スキャンした写真またはグラフィックの編集

HP Photosmart ソフトウェア を使用して、スキャンした写真またはグラフィックを編集できます。 このソフトウェアを使用して、明度、コントラスト、彩度などさまざまな調整を行います。 HP Photosmart ソフトウェア を使用して、スキャンした画像を回転することもできます。

詳細については、オンスクリーン HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ を参照してください。

光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集

OCR ソフトウェアを使用すると、スキャンしたテキストを任意のワード プロセッサ プログラムにインポートして編集することができます。 これによ

り、ファックス、レター、新聞の切り抜き、その他多くの文書を編集することができます。

編集に使用するワード プロセッサ プログラムは指定できます。 ワード プロセッサ アイコンが表示されていないかアクティブでない場合は、コンピュータにワード プロセッサ ソフトウェアをインストールしていないか、インストール中にそのプログラムをスキャナ ソフトウェアが認識していません。 ワード プロセッサ プログラムへのリンクの作成方法については、HP フォト イメージング ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

OCR ソフトウェアは、スキャンされたカラー テキストをサポートしていません。 カラー テキストは、常に白黒のテキストに変換されてから、OCR に送信されます。 このため、最終的な文書のすべてのテキストは、元の色にかかわらず白黒になります。

一部のワード プロセッサ プログラムとデバイスとの相互作用は複雑であるため、スキャンしたテキストをワードパッド (Windows のアクセサリ) に送信し、テキストを切り取ってから、目的のワード プロセッサ プログラムに貼り付けた方がよい場合もあります。

スキャン設定の変更

スキャン設定を変更するには

- **HP デバイス マネージャ (Mac OS)**： **[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[スキャン プリファレンス]** を選択します。
- **Windows**： デバイス ソフトウェアを開き、**[設定]** を選択します。次に、**[スキャン設定とプリファレンス]** を選択し、利用可能なオプションから選択して設定を行います。

スキャン ジョブのキャンセル

▲ コントロール パネルの **[キャンセル]** を押します。

7 メモリ デバイスの使用 (一部のモデルのみ)

デバイスには、デジタル カメラの数種類のメモリ カードを読み取ることができるメモリ カード リーダーが搭載されています。 デバイスを使用して、これらのメモリ カードから写真を保存することができます。 さらに、メモリ カードに保存されている写真のサムネール ビューを表示するフォト シートを印刷することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

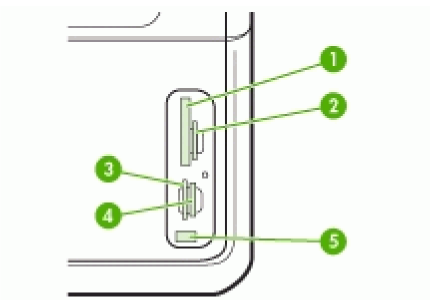
- メモリ カードの挿入
- デジタル カメラの接続
- ストレージ デバイスの接続
- 写真の表示
- コントロール パネルからの写真の印刷
- コンピュータへの写真の保存

メモリ カードの挿入

デジタル カメラで写した写真を保存しておくのにメモリ カードを使用している場合は、そのメモリ カードをデバイスに挿入し、写した写真を印刷したり保存したりすることができます。

△ **注意** アクセス中にメモリカードを取り外そうとすると、カード内のファイルが損傷することがあります。 フォト ランプが点滅していない場合にのみ、カードを安全に取り外すことができます。 また、複数のメモリカードを同時に装着することも絶対に避けてください。メモリカード内のファイルが損傷します。

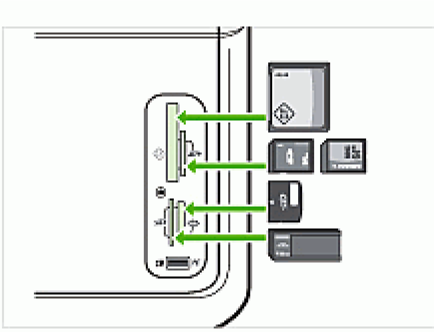
デバイスでは、以下のメモリ カードをサポートしています。 各タイプのメモリカードは、そのカードに適したスロットにのみ差し込むことができます。



1	CompactFlash (Type I および II)
2	Secure Digital、MultimediaCard (MMC)、Secure MMC
3	xD
4	Memory Stick、MagicGate Memory Stick、Memory Stick Duo、Memory Stick Pro
5	前部ユニバーサル シリアル バス (USB) ポート (PictBridge 対応)

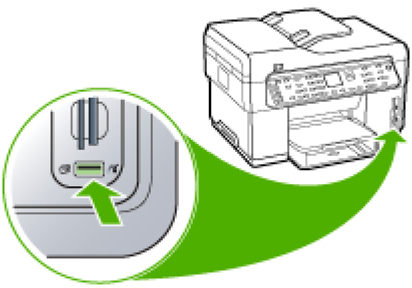
メモリ カードを挿入するには

1. メモリ カードのラベルが左、接点がデバイス側を向くようにメモリ カードを持ちます。
2. メモリ カードを対応するメモリ カード スロットに挿入します。



デジタル カメラの接続

PictBridge 対応の前面の USB ポートはメモリ カード スロットの下にあります。



注記　サイズの制限により USB デバイスがこのポートに合わないか、デバイスのコネクタが 11 mm より短い場合、このポートでデバイスを使用するには、USB 延長ケーブルをお買い求めいただく必要があります。

カメラが指定する写真とは、デジタル カメラでプリントのマークをつけた写真のことです。 カメラによっては、ページ レイアウト、部数、向き、その他の印刷設定が指定されます。

デバイスは、2 つの業界標準形式である PictBridge および DPOF (Digital Print Order Format) ファイル形式 1.1 をサポートしているので、印刷する写真を再選択する必要はありません。

- **PictBridge** 標準により、印刷の指示はカメラ本体に保存されます。 PictBridge を使用して写真を印刷するには、カメラを PictBridge モードにして、USB ケーブルを使ってデバイスの前面 USB ポートにカメラを接続します。
- **DPOF** 標準では、印刷の説明がファイルとしてメモリ カードに保存されます。 写真を DPOF ファイルから印刷するには、カメラからメモリ カードを取り出して、デバイスの適切なスロットに挿入する必要があります。

カメラが指定した写真を印刷するときは、デバイスの印刷設定は適用されません。ページ レイアウトの PictBridge または DPOF 設定と印刷部数が、デバイスの設定よりも優先されます。

注記 ただし、写真に印刷用のタグを付ける機能のないデジタル カメラもあります。 お使いのデジタル カメラが PictBridge 標準または DPOF ファイル形式 1.1 をサポートしているかどうかについては、カメラのマニュアルを参照してください。

PictBridge 標準を使用して、カメラが指定した写真を印刷するには

1. デジタル カメラに付属する USB ケーブルを使用して、デバイス前面の USB ポートにカメラを接続します。
2. カメラの電源をオンにして、PictBridge モードになっていることを確認します。

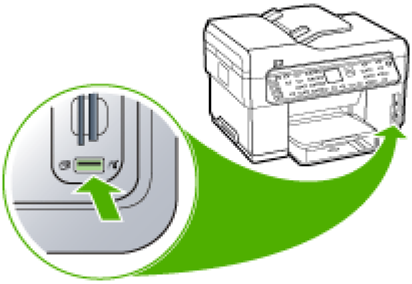
   注記 USB モードを PictBridge モードに変更する方法を確認するには、カメラのマニュアルを参照してください。 PictBridge モードの説明には、カメラによって異なる用語が用いられています。 例えば、一部のカメラには [**デジタル カメラ**] の設定と [**ディスク ドライブ**] 設定があります。 このような場合、[**デジタル カメラ**] の設定が PictBridge モードの設定になります。

DPOF 標準を使用して、カメラが指定した写真を印刷するには

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. 指示にしたがって、以下のいずれかを実行します。
   - DPOF のタグが付いた写真をすべて印刷するには、**[OK]** を押します。 DPOF のタグが付いた写真がすべて印刷されます。
   - 矢印キーを押して [**いいえ**] を強調表示し、**[OK]** を押します。 これで、DPOF 印刷が回避されます。

ストレージ デバイスの接続

キーチェーン ドライブ、ポータブル ハード ドライブ、ストレージ モードに設定されたデジタル カメラなどのストレージ デバイスは、前面の USB ポートに接続できます。 前面の USB ポートはメモリ カード スロットの下にあります。



注記 ストレージ モードに設定されたデジタル カメラは、前面の USB ポートに接続できます。 デバイスはこのモードのカメラを通常のストレージ デバイスとして認識します。 このセクションでは、ストレージ モードのデジタル カメラをストレージ デバイスと呼びます。

サイズの制限により USB デバイスがこのポートに合わないか、デバイスのコネクタが 11 mm より短い場合、このポートでデバイスを使用するには、USB 延長ケーブルをお買い求めいただく必要があります。 サポートする USB デバイスの詳細については、サポートされているデバイスを参照してください。

USB モードをストレージ モードに変更する方法を確認するには、カメラのマニュアルを参照してください。 ストレージ モードを表すには、カメラによってさまざまな用語が用いられています。例えば、一部のカメラには [**デジタル カメラ**] の設定と [**ディスク ドライブ**] 設定があります。 このような場合、[**ディスク ドライブ**] 設定がストレージ モード設定になります。 カメラのストレージ モードが機能しない場合は、カメラのファームウェアのアップグレードが必要な場合があります。 詳細については、カメラに付属のマニュアルを参照してください。

ストレージ デバイスを接続したら、ストレージ デバイスに保存されたファイルを使って以下のことが行えます。

- コンピュータにファイルを転送する
- 写真を表示する (カラー ディスプレイのみ)

- コントロール パネルを使用して写真を編集する (カラー ディスプレイのみ)
- 写真を印刷する

△ **注意** アクセス中はストレージ デバイスの接続を絶対に切断しないでください。 切断してしまうとストレージ デバイスのファイルが損傷するおそれがあります。 メモリ カード スロットの横のステータス ランプが点滅していないときだけ、ストレージ デバイスを安全に取り外すことができます。

写真の表示

デバイスのカラー ディスプレイに写真を表示することができます。
HP Photosmart ソフトウェア を使用して写真を表示することもできます。

写真の表示 (カラー ディスプレイ モデルのみ)

デバイスのカラー ディスプレイに写真を表示して選択することができます。

写真を表示するには

1. メモリ カードをデバイスの適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. **[フォト メニュー]** を押します。
   [**Photosmart Express**] メニューが表示されます。 デフォルトでは、[**表示と印刷**] が強調表示されます。
3. カラー ディスプレイに見たい写真が表示されるまで矢印キーを押します。

   ヒント 矢印キーを押し続けると、すべての写真をすばやく確認することができます。

コンピュータを使用した写真の表示

デバイスに付属する HP Photosmart ソフトウェア を使用して写真を表示および編集できます。

詳細については、オンスクリーン HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ を参照してください。

コントロール パネルからの写真の印刷

デバイスでは、ファイルをコンピュータに転送することなく、メモリ カードまたはストレージ デバイスから直接写真を印刷することができます。 フチ無し写真を印刷したり (1 枚の用紙に 1 つ)、複数の写真を 1 枚の用紙に印刷することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• フォト シートを使用した写真の印刷
• パノラマ写真の印刷
• パスポート写真の印刷
• ビデオ アクション (動画) の印刷

フォト シートを使用した写真の印刷

フォト シートを使うと、コンピュータを使わずに直接メモリ カードやストレージ デバイスから写真を選択して印刷を行うことができて便利です。 フォト シートには保存されている写真のサムネイル ビューが表示され、長さは数ページになることもあります。 各サムネイルにはファイル名、インデックス番号、日付が表示されています。

フォト シートは、写真の簡単なカタログ作成にも利用できます。



注記 デバイスからアクセスできるのは、JPEG および TIFF 画像ファイルのみです。 他のタイプのファイルを印刷するには、ファイルをメモリ カードまたはストレージ デバイスからお使いのコンピュータに転送して HP Photosmart ソフトウェア を使用します。

フォト シートからの写真の印刷には、3 つのステップが必要です。

• メモリ カードまたはストレージ デバイスの写真のフォト シートを印刷
• フォト シートを記入
• フォト シートをスキャン

フォト シートを印刷するには

1. メモリ カードをデバイスの適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. 適切なディスプレイを選択します。

カラー ディスプレイ モデルの場合

a. **[フォト メニュー]** を押し、次に [**表示と印刷**] を選択します。
[OK] を押すと、最新の写真がディスプレイに表示されます。
b. **[OK]** を押して、印刷メニューを表示します。
c. 矢印キーを押して [**プロジェクト**] を選択します。
d. 矢印キーを押して [**フォト シート**] を選択します。
e. 矢印キーを押して [**フォトシートの印刷**] を選択し、**[OK]** を押します。
f. 矢印キーを押して適切な [**用紙サイズ**] と [**用紙の種類**] を選択します。

2 行のディスプレイ モデルの場合

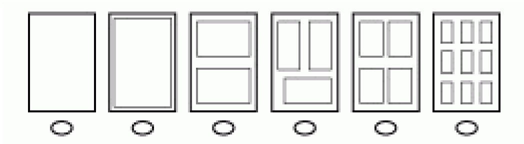
a. **[フォト メニュー]** ボタンを押します。
カードまたはストレージ デバイスで見つかったファイル数を示すメッセージが表示されます。
b. **[フォト シート]** ボタンを押し、矢印キーを押して [**印刷**] を選択し、**[OK]** を押します。

フォト シートを完了するには

1. フォト シートのサムネイル画像の下にある円を黒いペンか鉛筆で塗りつぶして、印刷する写真を選択します。 写真を 2 部以上印刷する場合は、2 番目または 3 番目の円を塗りつぶします。 選択した各写真は、3 部まで印刷できます。

   ヒント メモリ カードのすべての写真を印刷する場合は、フォト シートのステップ 2 のレイアウト オプションの下にある [**すべての写真を選択**] の円を塗りつぶします。 各写真が 1 部ずつ印刷されます。

2. フォト シートの ステップ 2 から 円を塗りつぶして、レイアウト スタイルを 1 つだけ選択します。

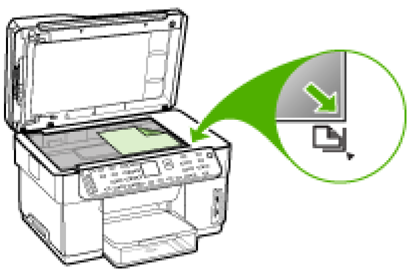


   注記 フォト シートによる印刷設定よりも詳細な設定が必要な場合は、コントロール パネルから写真を直接印刷してください。

3. (オプション) 写真に日付と時刻のスタンプを印刷する場合は、フォト シートのステップ 2 のレイアウト オプションの下にある [**日付スタンプ**] の円を塗りつぶします。

完了したフォト シートをスキャンするには

1. フォト シートの印刷面を下にして、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。 フォトシートの短辺と長辺が、ガラス板の右端と前端に揃っていることを確認します。 カバーを閉じます。



2. フォト シートをスキャンするときには、そのフォト シートの印刷に使用したメモリ カードまたはストレージ デバイスがデバイスに装着されていることを確認してください。

3. フォト メディアをデバイスに挿入していることを確認してください。
4. **[フォト メニュー]** ボタンを押します。
5. 適切なディスプレイを選択します。

カラー ディスプレイ モデルの場合

a. 矢印キーを押して [**表示と印刷**] を選択し、**[OK]** を押します。
b. 矢印キーを押して [**プロジェクト**] を選択し、[**フォト シート**] を選択します。
c. 矢印キーを押して [**フォトシートのスキャン**] を選択し、**[OK]** を押します。
d. 画面の指示に従って、用紙のサイズと種類を選択し、**[OK]** を押します。

2 行のディスプレイ モデルの場合

▲ **[フォト シート]** ボタンを押し、矢印キーを押して [**スキャン**] を選択し、**[OK]** を押します。

デバイスでフォト シートがスキャンされて、選択した写真が印刷されます。

パノラマ写真の印刷

メモリ カードまたはストレージ デバイスからは、複数のパノラマ写真を選択し、印刷できます。

注記 このデバイスでは、複数の写真をつなぎ合わせてパノラマ写真を作成することはできません。HP Photosmart ソフトウェアなどの別のソフトウェア アプリケーションを使用する必要があります。

パノラマ写真を印刷するには

1. メモリ カードをデバイスの適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. **[フォト メニュー]** を押します。
   [**Photosmart Express**] メニューが表示されます。デフォルトでは、[**表示と印刷**] が強調表示されます。
3. **[OK]** を押して [**表示と印刷**] を選択します。
   [OK] を押すと、最新の写真がディスプレイに表示されます。
4. 矢印キーを押して、メモリ カードまたはストレージ デバイスの写真をスクロールします。
5. 印刷する写真が表示されたら、**[OK]** を押します。
   [**印刷**] メニューが表示されます。
6. 矢印キーを押して [**プロジェクト**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
   [**プロジェクト**] メニューが表示されます。

7. 矢印キーを押して [**パノラマ印刷**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
8. 画面の指示に従い、10 x 30 cm (4 x 12 インチ) のパノラマ フォト用紙を給紙トレイにセットし、**[OK]** を押します。
   [OK] を押すと、選択した写真が再表示されます。
9. (オプション) 印刷設定を変更するか、印刷する追加の写真を選択します。

   選択した写真を複数印刷するには
   a. **[OK]** を押して、選択メニューを表示します。
   b. 矢印キーを押して [**コピー枚数**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
   c. 矢印キーを押して部数を増やすか減らし、**[OK]** を押します。

   選択した写真を印刷前に編集するには
   a. **[OK]** を押して、選択メニューを表示します。
   b. 矢印キーを押して [**編集**] を強調表示し、**[OK]** を押します。

   印刷する追加の写真を選択するには
   a. 矢印キーを押して、メモリ カードまたはストレージ デバイスの写真をスクロールします。
   b. 印刷する写真が表示されたら、**[OK]** を押します。
   c. **[OK]** を押して [**選択して印刷**] を選択します。
   d. 印刷する写真ごとに、この操作を繰り返します。
10. 印刷設定の変更と写真の選択を終了したら、**[OK]** を押して選択メニューを表示します。
11. 矢印キーを押して [**選択終了**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
   [**印刷サマリー**] 画面が表示されます。
12. 矢印キーを押して次のいずれかのオプションを強調表示し、**[OK]** を押します。

[**印刷オプション**]	印刷する用紙の種類と、写真に日付と時刻のスタンプを印刷するかどうかを手動で指定できます。 デフォルトでは、[**日付表示**] は [**オフ**] に設定されます。 必要に応じて、[**新しいデフォルトの設定**] オプションを使ってこのデフォルト設定を変更できます。
[**印刷プレビュー**] (カラー ディスプレイのみ)	印刷されたページのプレビューを表示します。 印刷前に設定を確認し、間違いによって用紙やインクを無駄に消費するのを防ぐことができます。
[**今すぐ印刷**]	選択したサイズとレイアウトで写真を印刷します。

パスポート写真の印刷

メモリ カードやストレージ デバイスから、パスポート サイズの写真を印刷できます。 パスポート写真のガイドラインや制限について質問がある場合は、地域のパスポート発行機関にお問い合わせください。

パスポート写真を印刷するには

1. メモリ カードをデバイスの適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
   [**Photosmart Express**] メニューが表示されます。デフォルトでは、[**表示と印刷**] が強調表示されます。
2. **[OK]** を押して [**表示と印刷**] を選択します。
   [OK] を押すと、最新の写真がディスプレイに表示されます。
3. 矢印キーを押して、メモリ カードまたはストレージ デバイスの写真をスクロールします。
4. 印刷する写真が表示されたら、**[OK]** を押します。
   [**印刷**] メニューが表示されます。
5. 矢印キーを押して [**プロジェクト**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
   [**プロジェクト**] メニューが表示されます。
6. 矢印キーを押して [**パスポート写真**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
7. 矢印キーを押して、印刷するサイズを強調表示し、**[OK]** を押します。
   [OK] を押すと、選択した写真が再表示されます。
8. (オプション) 印刷設定を変更するか、印刷する追加の写真を選択します。

   選択した写真を複数印刷するには

   a. **[OK]** を押して、選択メニューを表示します。
   b. 矢印キーを押して [**コピー枚数**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
   c. 矢印キーを押して部数を増やすか減らし、**[OK]** を押します。

   選択した写真を印刷前に編集するには

   a. **[OK]** を押して、選択メニューを表示します。
   b. 矢印キーを押して [**編集**] を強調表示し、**[OK]** を押します。

   印刷する追加の写真を選択するには

   a. 矢印キーを押して、メモリ カードまたはストレージ デバイスの写真をスクロールします。
   b. 印刷する写真が表示されたら、**[OK]** を押します。
   c. **[OK]** を押して [**選択して印刷**] を選択します。
   d. 印刷する写真ごとに、この操作を繰り返します。
9. 印刷設定の変更と写真の選択を終了したら、**[OK]** を押して選択メニューを表示します。

10. 矢印キーを押して [**選択終了**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
[**印刷サマリー**] 画面が表示されます。
11. 矢印キーを押して次のいずれかのオプションを強調表示し、**[OK]** を押します。

[**印刷オプション**]	印刷する用紙の種類と、写真に日付と時刻のスタンプを印刷するかどうかを手動で指定できます。 デフォルトでは、[**用紙の種類**] は [**普通紙**] に設定され、 [**日付表示**] は [**オフ**] に設定されます。 必要に応じて、[**新しいデフォルトの設定**] オプションを使ってこれらのデフォルト設定を変更できます。
[**印刷プレビュー**] (カラー ディスプレイのみ)	印刷されたページのプレビューを表示します。印刷前に設定を確認し、間違いによって用紙やインクを無駄に消費するのを防ぐことができます。
[**今すぐ印刷**]	選択したサイズとレイアウトで写真を印刷します。

ビデオ アクション (動画) の印刷

[**ビデオ アクション プリント**] オプションを使用すると、メモリ カードやストレージ デバイスのビデオ ファイルから、一連の写真を続けて印刷することができます。 このオプションでは、ビデオに表示される順に、ビデオの 9 フレームをまとめて 1 枚の用紙に印刷します。 これらのビデオ フレームはデバイスによって自動的に選択されます。

ビデオ アクション (動画) を作成するには

1. メモリ カードをデバイスの適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
[**Photosmart Express**] メニューが表示されます。デフォルトでは、[**表示と印刷**] が強調表示されます。
2. **[OK]** を押して [**表示と印刷**] を選択します。
[OK] を押すと、最新の写真がディスプレイに表示されます。
3. 矢印キーを押して、メモリ カードまたはストレージ デバイスの写真やビデオをスクロールします。
4. 印刷するビデオが表示されたら、**[OK]** を押します。
[**印刷**] メニューが表示されます。
5. 矢印キーを押して [**プロジェクト**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
[**プロジェクト**] メニューが表示されます。
6. 矢印キーを押して [**ビデオ アクション プリント**] を強調表示し、**[OK]** を押します。
7. 矢印キーを押して、印刷するサイズを強調表示し、**[OK]** を押します。
8. 矢印キーを押して、印刷する用紙の種類を強調表示し、**[OK]** を押します。

9. ビデオが再び表示されたら、**[OK]** を押して続行します。
10. (オプション) ビデオを編集するか、印刷します。

選択した写真を印刷前に編集するには

a. **[OK]** を押して、選択メニューを表示します。
b. 矢印キーを押して **[編集]** を強調表示し、**[OK]** を押します。

今すぐ印刷するには

▲ **[今すぐ印刷]** を選択し、**[OK]** を押します。

コンピュータへの写真の保存

デジタル カメラで写真を撮った後、すぐに印刷することも、コンピュータに保存することもできます。 写真をコンピュータに保存するには、メモリ カードをデジタル カメラから取り出して、デバイスの適切なメモリ カード スロットに挿入します。

デバイスの前面 USB ポートに、デジタル カメラやキーチェーン ドライブなどのストレージ デバイスを接続すると、そのデバイスから写真を保存することもできます。

写真を保存するには

1. メモリ カードをデバイスの適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. **[フォト メニュー]** を押します。
3. 適切なディスプレイを選択します。

カラー ディスプレイ モデルの場合

a. 矢印キーを押して [**名前の変更**] を選択します。
b. 矢印キーを押して [**コンピュータに転送**] を選択し、コンピュータの名前を選択します。
c. コンピュータの画面に表示される指示に従って、コンピュータに写真を保存します。

2 行のディスプレイ モデルの場合

a. 矢印キーを押して [**写真の転送**] を選択し、**[OK]** を押します。
b. 矢印キーを押して [**はい**] を選択します。
c. 矢印キーを押して [**コンピュータに転送**] を選択し、コンピュータの名前を選択します。
d. コンピュータの画面に表示される指示に従って、コンピュータに写真を保存します。

8 ファックス (一部のモデルのみ)

このデバイスを使用して、カラー ファックスを含むファックスの送受信ができます。 ファックスを後で送信するように設定したり、短縮ダイヤルを設定してよく使用するファックス番号にすばやく簡単にファックスを送信することができます。 コントロール パネルで、解像度や送信するファックスの薄さと濃さのコントラストなど、さまざまなファックスのオプションも設定できます。

デバイスが直接コンピュータに接続されている場合は、HP フォト イメージング ソフトウェアを使用して、コントロール パネルからは利用できない方法でファックスを処理できます。HP フォト イメージング ソフトウェアの詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。

注記 ファックス機能を使用する前に、デバイスのファックス機能を正しく設定しておいてください。 初期セットアップで、コントロール パネルまたはデバイス付属のソフトウェアを使って、既に設定されている場合もあります。 ファックス機能が正しく設定されているかどうかは、コントロール パネルからファックス セットアップ テストを実行して確かめることができます。 ファックス テストを実行するには、**[セットアップ]** を押し、**[ツール]** を選択します。次に **[ファックス テストを実行]** を選択し、**[OK]** を押します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファックスの送信
- ファックスの受信
- ファックス設定の変更
- インターネット経由のファックス
- ファックス設定のテスト
- レポートの使用
- ファックスのキャンセル

ファックスの送信

さまざまな方法でファックスを送信できます。 コントロール パネルを使用すれば、モノクロまたはカラーでファックスを送信できます。 付属の電話機から手動でファックスを送信することもできます。 この方法では、ファックスを送信する前に受信者と通話することができます。

基本的なファックスの送信

1 ページまたは複数ページのモノクロ ファックスをコントロール パネルを使って簡単に送信できます。

注記　ファックスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファックスを送信する**前に**ファックス送受信の確認を有効にします。

ヒント　電話やダイヤル モニタ機能を使用して、ファックスを手動で送信することもできます。 この機能では、ダイヤルするペースを指定できます。 通話料金をコーリング カードで支払いたいときなど、ダイヤル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能が役に立ちます。

コントロール パネルから基本的なファックスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。

   注記　複数のページをファックスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。 ガラス板から複数ページの原稿をファックス送信することはできません。

2. キーパッドを使ってファックス番号を入力するか、**[短縮ダイヤル]** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**[リダイヤル/ポーズ]** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。

   ヒント　入力するファックス番号間に一定の間隔を加えるには、**[リダイヤル/ポーズ]** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 **[-]** が表示されるまで、**[記号 (*)]** ボタンを繰り返し押します。

3. **[ファックス スタート - モノクロ]** または **[ファックス スタート - カラー]** を押します。
   - **デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると**、入力した番号にドキュメントが送信されます。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと**、[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。 原稿が印刷面を下にしてガラス板にセットされていることを確認し、**[はい]** を選択します。

   ヒント　受信者からの知らせで、送信したファックスの品質に問題があることがわかった場合は、ファックスの解像度やコントラストを変えてみます。

電話からのファックスの手動送信

電話のダイヤル ボタンのほうがデバイスのコントロール パネルのキーパッドよりもダイヤルしやすい場合など、同一電話回線上の電話からファックスを送信することができます。 これを行うには、電話をデバイスの背面にある 2-EXT ポートに接続します。 ファックスを手動で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が電話の受話器から聞こえます。 このため、ファックスの送信にコーリング カードが使用しやすくなります。

受信者側のファックス機の設定状態によって、受信者が電話に出たり、ファックス機が応答する場合があります。 受信者が電話に出たら、ファックスを送信する前に会話をすることができます。 ファックス機が応答した場合、受信中のファックス機からトーン音が聞こえてから、そのファックス機に直接ファックスを送信できます。

電話から手動でファックスを送信するには

1. 原稿をセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。

   注記 ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は使用できません。 原稿はドキュメント フィーダ トレイにセットしてください。

2. デバイスに接続された電話のダイヤルキーから、番号をダイヤルします。

   注記 手動でファックスを送信するときは、デバイスのコントロールパネルのキーパッドは使用しないでください。 受信者の番号をダイヤルするには、電話機のダイヤルを押します。

3. 受信者が応答した場合、ファックスを送信する前に会話をすることができます。

   注記 ファックス機が応答すると、受信中のファックス機からファックスのトーン音が聞こえます。 次の手順に進んで、ファックスを送信します。

4. ファックスを送信する準備ができたら、**[ファックス スタート - モノクロ]** または **[ファックス スタート - カラー]** を押します。

   注記 メッセージが表示された場合は、**[ファクス送信]** を選択し、もう一度 **[ファックス スタート - モノクロ]** または **[ファックス スタート - カラー]** を押します。

   ファックス送信前に受信者と話している場合は、ファックスのトーン音が聞こえたらファックス機の **[スタート]** ボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。
   ファックスの送信中は、電話回線は無音になります。 この時点で、受話器を置くことができます。 ファックス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

ダイヤル モニタリングを使用したファックス送信

ダイヤル モニタリングを使用すると、通常電話するように、コントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。 ファックスをダイヤル モニタリングで送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声がデバイスのスピーカーから聞こえます。 これにより、ダイヤル中に音声ガイダンスに応答することも、ダイヤルするペースを指定することもできます。

ヒント　コーリング カードの PIN の入力に時間がかかると、デバイスからファックス トーンの送信が開始されてしまい、コーリング カード サービス会社が PIN を認識できない場合があります。 その場合は、短縮ダイヤル番号を使用して、コーリング カードの PIN をあらかじめ登録しておいてください。

注記　音量をオンにしないと、ダイヤル トーンは聞こえません。

コントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファックスを送信するには

1. 原稿をセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。

   注記　複数のページをファックスする場合は、送信する原稿を印刷面を上にしてドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファックス送信することはできません。詳細については、メディアのセットを参照してください。

2. **[ファックス スタート - モノクロ]** または **[ファックス スタート - カラー]** を押します。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、**ダイヤル トーンが聞こえます。
   - **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと、**[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。 原稿が印刷面を下にしてガラス板にセットされていることを確認し、[**はい**] を選択します。
3. ダイヤル トーンが聞こえたら、コントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
4. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

   ヒント　コーリング カード PIN を短縮ダイヤルに登録し、コーリング カードを使ってファックスを送信する場合は、PIN の入力を求めるメッセージに対して **[短縮ダイヤル]** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押し、PIN を登録した短縮ダイヤル番号を選択します。

受信側のファックス機が応答すると、ファックスが送信されます。

ファックス一斉送信オプションを使用したファックスの送信 (カラー ディスプレイ搭載モデルのみ)

グループ短縮ダイヤルを設定しなくても、ファックスを複数の受信者に一度に送信できます。

注記　このファックスについて指定した受信者の一覧は保存されず、モノクロでのファックス送信についてのみ機能します。 同じ受信者一覧に他のファックスも送信する場合は、グループ短縮ダイヤル一覧を作成してください。 詳細については、ファックス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定を参照してください。

コントロール パネルから複数の受信者にファックスを一斉送信するには

1. **[ファックス メニュー]** を押し、[**ファックスの一斉送信**] を選択します。
2. キーパッドを使用してファックス番号を入力するか、矢印キーを押して短縮ダイヤルを利用します。

   注記　最大 20 個のファックス番号を追加できます。

3. **[ファックス スタート - モノクロ]** を押します。
4. 画面の指示に従って、ドキュメント フィーダ トレイの中央に、原稿を印刷面が上、上側が先になるようにセットします。詳細については、メディアのセットを参照してください。
5. もう一度 **[ファックス スタート - モノクロ]** を押します。

ファックスの受信

ファックスは、自動で受信することも、手動で受信することもできます。 **[自動応答]** オプションをオフにした場合は、手動でファックスを受信する必要があります。 **[自動応答]** オプションをオンにすると (デフォルトの設定)、デバイスは [**応答呼出し回数**] 設定で指定されている呼び出し回数の後、自動的に着信に応答し、ファックスを受信します (デフォルトの [**応答呼出し回数**] 設定は 5 回です)。

デバイスでリーガル サイズの用紙を使用するように設定されていないときに、リーガル サイズのファックスを受信すると、デバイスにセットされている用紙に収まるようにファックスのサイズが自動で縮小されます。 [**自動縮小**] 機能を無効に設定している場合、デバイスはファックスを 2 ページに印刷します。

ファックスの手動受信

電話中に接続を維持しながら、通話先の相手からファックスを送ってもらうことができます。 これをファックスの手動受信と呼びます。 このセクションでは、ファックスを手動受信する方法について説明します。

次のように設定した電話で、ファックスを手動受信することができます。

- デバイスの 2-EXT ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、デバイスに直接接続されていない電話

ファックスを手動で受信するには

1. デバイスの電源がオンになっていて、用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイから原稿を取り除きます。
3. デバイスが応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、[**応答呼出し回数**] を多めに設定します。 または、**[自動応答]** の設定をオフにし、デバイスが自動的に受信ファックスに応答しないようにします。
4. 送信者と電話がつながっている場合は、相手のファックス機で **[スタート]** を押すように指示します。
5. 送信中のファックス機からファックス トーンが聞こえたら、次の操作を行います。
   a. コントロール パネルの **[ファックス スタート - モノクロ]** または **[ファックス スタート - カラー]** を押します。
   b. 画面の指示に従って、[**ファックス受信**] を選択します。
   c. デバイスのファックス受信が始まったら、受話器を置くことも、そのまま待機することもできます。 ファックスの転送中、電話回線は無音になります。

バックアップ ファックス受信のセットアップ

好みとセキュリティ要件に応じて、デバイスが受信したファックスをすべて保存するか、エラー状態の間に受信したファックスのみを保存するか、どのファックスも保存しないかを設定することができます。

以下の [**バックアップ ファクス受信**] モードがあります。

[**オン**]	デフォルトの設定です。 [**バックアップ ファクス受信**] が [**オン**] の場合、デバイスは受信したすべてのファックスをメモリに保存します。 こうしておけば、メモリに保存されている最近印刷したファックスを最大 8 件まで再印刷することができます。 **注記** メモリが少なくなると、デバイスは新たにファックスを受信するたびに、印刷済みのファックスを古い順に消去します。 メモリが印刷されていないファックスでいっぱいになると、デバイスは着信ファックスに応答しなくなります。 **注記** きめの細かいカラー写真など、サイズの大きなファックスを受信した場合は、メモリ容量の制限により、メモリに保存されないことがあります。
[**エラーの場合のみ**]	デバイスは、エラーによってファックスの印刷ができない場合 (用紙切れなど) にのみ、ファックスをメモリに保存します。 デバイスはメモリの容量が許す限り、受信したファックスを保存し続けます (メモリがいっぱいになると、デバイスは着信ファックスに応答しなくなります)。 エラー状態が解消すると、メモリに保存されたファックスは自動的に印刷され、メモリから消去されます。
[**オフ**]	ファックスはメモリにまったく保存されません。 たとえば、セキュリティ保護のために [**バックアップ ファクス受信**] をオフにすることができます。 印刷できないエラー状態 (用紙切れなど) が発生すると、デバイスは着信ファックスに応答しなくなります。

注記 [**バックアップ ファクス受信**] がオンの状態でデバイスの電源をオフにすると、デバイスのエラー発生中に受信した印刷待ちのファックスも含めて、メモリに保存されたファックスはすべて消去されます。 このような場合は、印刷していないファックスをもう一度送ってもらうように送信者に依頼してください。 受信したファックス一覧を見るには、[**ファクス ログ**]を印刷します。 デバイスの電源がオフになっても[**ファクス ログ**]は削除されません。

コントロール パネルから、バックアップ ファクス受信を設定するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファックスの詳細設定**] を選択し、[**バックアップ ファックス受信**] を選択します。
3. 右矢印ボタンを押して [**オン**]、[**エラーの場合のみ**]、または [**オフ**] を選択します。
4. **[OK]** を押します。

埋め込み Web サーバでバックアップ ファックス受信を設定するには

▲ **[設定]** タブを選択し、左枠で **[ファックス]** を選択し、**[詳細]** サブタブを選択し、**[バックアップ ファックス受信]** ドロップダウン メニューの **[オン]** を選択します。

受信済みファックスのメモリからの再印刷

[**バックアップ ファクス受信**] モードを [**オン**] に設定すると、デバイスにエラーがあるかどうかに関係なく、受信したファックスはメモリに保存されます。

注記 メモリがいっぱいになると、新たにファックスを受信するたびに、印刷済みのファックスが古い順に消去されます。 保存されたファックスがどれも印刷されていない場合、デバイスは、ファックスを印刷するかメモリから削除するまで、新たなファックス受信に応答しません。 セキュリティまたはプライバシー保護のために、メモリ内のファックスを削除することもできます。

メモリに保存されたファックスの容量に応じて、メモリにまだ保存されていれば、最近印刷したファックスを最大 8 件まで再印刷することができます。 たとえば、最後に受信したプリントアウトをなくしても、ファックスを再印刷できます。

コントロール パネルから、メモリに保存されているファックスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **[セットアップ]** を押します。
3. [**ツール**] を選択し、[**メモリ内のファックスを再印刷**] を選択します。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファックスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファックスの印刷を中止する場合は、**[キャンセル]** を押します。

コントロール パネルから、メモリに保存されたすべてのファックスを削除するには

▲ 使用している機種に応じて、次のいずれかの操作を行います。
- **2 行ディスプレイ**： **[電源]** ボタンを押してデバイスの電源をオフにします。
  電源をオフにすると、メモリに保存されているファックスはすべて削除されます。
- **カラー ディスプレイ**： **[セットアップ]** を押し、[**ツール**] を選択し、[**ファックス ログの消去**] を選択します。

埋め込み Web サーバでファックス ログを消去するには

▲ **[設定]** タブを選択し、左枠で **[ファックス]** を選択し、**[オプション]** サブタブを選択し、**[ファックス ログの消去]** の **[消去]** をクリックします。

別の番号へのファックスの転送

受信したファックスを他のファックス番号に転送するようにデバイスを設定することができます。 カラー ファックスを受信した場合は、モノクロで転送されます。

転送の前に、転送先のファックス番号を確認することをお勧めします。 テストでファックスを送信し、転送先のファックス機がファックスを受信できるか確認してください。

コントロール パネルからファックスを転送するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファックスの詳細設定**] を選択し、[**モノクロでファックスを転送**] を選択します。
3. [**オン - 転送**] または [**オン - 印刷と転送**] が表示されるまで右矢印ボタンを押し、**[OK]** を押します。
   - ファックスのバックアップ コピーをデバイスで印刷せずに、別の番号に転送する場合は [**オン - 転送**] を選択します。

     注記 指定されたファックス機に (電源が入っていない場合など) ファックスを転送できない場合は、デバイスでファックスを印刷します。 デバイスが受信ファックスのエラー レポートも印刷するように設定されている場合は、エラー レポートも印刷されます。

   - ファックスのバックアップ コピーを印刷し、別の番号に転送もする場合は [**オン - 印刷と転送**] を選択します。
4. 指示画面で、転送先ファックス機の番号を入力します。
5. 指示画面で、開始日時と終了日時を入力します。
6. **[OK]** を押します。

   コントロールパネルに [**ファクスの転送**] が表示されます。

   [**ファクスの転送**] の設定中にデバイスの電源が切れても、デバイスは [**ファクスの転送**] 設定と電話番号を保存しています。 再び装置の電源が入ると、[**ファクスの転送**] 設定は [**オン**] になっています。

   注記 ファックスの転送をキャンセルするには、ディスプレイに [**ファクスの転送**] メッセージが表示されているときに、コントロール パネルの **[キャンセル]** を押すか、[**ファックス転送 (モノクロ)**] メニューから [**オフ**] を選択します。

埋め込み Web サーバを使用してファックスを転送するには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファックス]** をクリックし、**[オプション]** サブタブをクリックします。
2. **[ファックスの転送]** ドロップダウン メニューから、**[オン — 印刷と転送]** または **[オン — 転送]** を選択します。
3. ボックスに **[ファックス転送番号]** を入力し、**[適用]** をクリックします。

迷惑ファックス番号の拒否

電話会社の発信者 ID サービスに加入すると、特定のファックス番号を拒否して、デバイスが今後それらの番号から受信したファックスを印刷しないようにすることができます。 ファックスの受信があったとき、デバイスは、その番号を迷惑ファックス番号リストと比較して、その受信を拒否するべきかどうかを判断します。 番号が、拒否ファックス番号リストの番号と一致した場合、ファックスは印刷されません (拒否できるファックス番号の最大数は、モデルによって異なります)。

> **注記** この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません。 お住まいの国/地域でサポートされていない場合、[**ファクスの基本設定**] メニューに [**迷惑ファクスを拒否の設定**] は表示されません。

迷惑ファックス モードの設定

デフォルトの [**迷惑ファクスを拒否**] モード設定は [**オン**] です。 電話プロバイダの発信者 ID サービスに加入していない、またはこの機能を使用したくない場合は、設定をオフにすることができます。

迷惑ファックス モードを設定するには

▲ 一部の機種には、**[迷惑ファックスを拒否]** ボタンがあります。使用している機種に応じて、次のいずれかの操作を行います。

- **[迷惑ファックスを拒否] ボタン**： **[迷惑ファックスを拒否]** ボタンを押し、[**迷惑ファックスを拒否**] オプションを選択し、[**オン**] または [**オフ**] を選択します。
- **カラー ディスプレイ メニュー**： **[セットアップ]** を押し、[**基本ファックス メニュー**] を選択し、[**迷惑ファックスを拒否の設定**] を選択し、[**迷惑ファックスを拒否**] を選択して、[**オン**] または [**オフ**] を選択します。

迷惑ファックス一覧に番号を追加

迷惑ファックス一覧に番号を追加するには 2 通りの方法があります。 発信者 ID 履歴から番号を選択するか、または任意の番号を入力します。 迷惑ファックス一覧にある番号は、[**迷惑ファクスを拒否**] モードが [**オン**] にセットされている場合に拒否されます。

発信者 ID 一覧から番号を選択するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファックスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファックスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストに番号を追加**] を押し、[**番号の選択**] を押します。

4. 右矢印ボタンを押して、受信したファックス番号をスクロールします。拒否するファックス番号が表示されたら、**[OK]** を押して選択します。
5. [**次を選択?**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - **迷惑ファックス番号リストに別の番号を追加する場合**は、[**はい**] を押し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - **終了する場合**は、[**いいえ**] を押します。

拒否する番号を手動で入力するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファックスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファックスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストに番号を追加**] を押し、[**番号の入力**] を押します。
4. キーパッドを使ってファックス番号を入力し、**[OK]** を押します。
   受信したファックスのヘッダーに表示されている番号は実際と異なる場合があるので、ヘッダーの番号ではなく、コントロール パネルのディスプレイに表示されるファックス番号を入力してください。
5. [**追加しますか?**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - **迷惑ファックス番号リストに別の番号を追加する場合**は、[**はい**] を押し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - **終了する場合**は、[**いいえ**] を押します。

埋め込み Web サーバで拒否する番号を入力するには

▲ **[設定]** タブを選択し、左枠で **[ファックス]** を選択し、**[ブロック対象ファックス]** サブタブを選択し、**[ファックス番号]** フィールドに拒否する番号を入力します。 **[適用]** ボタンをクリックします。

迷惑ファックス一覧から番号を削除

ファックス番号を拒否する必要がなくなった場合は、その番号を迷惑ファックス一覧から削除することができます。

迷惑ファックス番号リストから番号を削除するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファックスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファックスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストから番号を削除**] を押します。
4. 右矢印ボタンを押して、拒否したファックス番号をスクロールします。削除するファックス番号が表示されたら、**[OK]** を押して選択します。
5. [**削除しますか?**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - **迷惑ファックス番号リストから別の番号を削除する場合**は、[**はい**] を押し、削除する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - **終了する場合**は、[**いいえ**] を押します。

埋め込み Web サーバで迷惑ファックス番号リストから番号を削除するには

▲ 埋め込み Web サーバを開きます。 詳細については、埋め込み Web サーバを開くにはを参照してください。 **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファックス]** を選択し、**[迷惑ファックスを拒否]** サブタブをクリックします。次に、拒否する番号を **[ファックス番号]** フィールドで追加または削除し、**[適用]** をクリックします。

拒否するファックス番号のリストの表示

拒否するファックス番号のリストは、埋め込み Web サーバからのみ表示することができます。埋め込み Web サーバを使用するには、ネットワークに接続している必要があります。

埋め込み Web サーバで拒否するファックス番号リストを表示するには

▲ 埋め込み Web サーバを開きます。詳細については、埋め込み Web サーバを開くにはを参照してください。 **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファックス]** を選択し、**[迷惑ファックスを拒否]** サブタブをクリックします。

ファックス設定の変更

デバイスに付属の [セットアップ ガイド] の手順を実行した後、初期設定を変更したり、ファックスのその他のオプションを設定したりするには、次の手順に従います。

ファックスのヘッダーの設定

ファックスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファックスの上部に名前とファックス番号が印刷されます。 デバイス用にインストールしたソフトウェアを使用して、ファックス ヘッダーを設定することをお勧めします。 ここに記されているとおり、コントロール パネルからファックスのヘッダーを設定することもできます。

> **注記** 一部の国または地域では、法令等によりファックスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

ファックスのヘッダーを設定または変更するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファックスの基本設定**] を押し、[**ファックスヘッダ**] を押します。
3. 数値キーパッドで個人名または会社名を入力し、**[OK]** を押します。
4. キーパッドを使用してファックス番号を入力し、**[OK]** を押します。

埋め込み Web サーバでファックスのヘッダーを設定または変更するには

▲ **[設定]** タブを選択し、左枠で **[ファックス]** を選択し、**[基本]** サブタブを選択し、**[ファックスヘッダ名]** および **[ファックス番号]** を入力します。**[適用]** ボタンをクリックします。

応答モード (自動応答) の設定

応答モードでは、デバイスが電話の着信に自動で応答するかどうかを設定します。

- デバイスでファックスに [**自動的に**] 応答するには、**[自動応答]** をオンにします。 デバイスが、すべての受信電話とファックスに自動で応答します。
- ファックスに [**手動で**] 応答するには、**[自動応答]** をオフにします。 受信ファックスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、デバイスはファックスを受信しません。

コントロール パネルで応答モードを手動または自動に設定するには

▲ **[自動応答]** を押して、希望の設定に合わせてランプのオン/オフを切り替えます。
[自動応答] ランプが点灯している場合は、デバイスが自動的に応答します。 ランプが点灯していない場合、デバイスは着信への応答を行いません。

埋め込み Web サーバで応答モードを手動または自動に設定するには

1. 埋め込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックし、左枠から **[ファックス]** を選択し、**[基本]** サブタブをクリックします。
2. **[その他のファックス基本設定]** セクションの **[自動応答]** ドロップダウンメニューで **[オン]** または **[オフ]** を選択します。

応答までの呼び出し回数の設定

[自動応答] 設定をオンにした場合、デバイスが自動的に着信音に応答するまでの呼び出し回数を指定できます。

[**応答呼出し回数**] 設定は、特にデバイスと同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。デバイスが応答する前に留守番電話で応答する必要があるからです。 デバイスの応答呼出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を少なくし、デバイスの呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、デバイスが電話回線を監視します。 デバイスがファックス受信音を検出した場合、デバ

イスはファックスを受信します。 着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。

コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファックスの基本設定**] を押し、[**応答呼び出し回数**] を押します。
3. キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、左または右矢印ボタンを押して呼び出し回数を変更します。
4. **[OK]** を押して設定します。

埋め込み Web サーバで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. 埋め込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックし、左枠から **[ファックス]** を選択し、**[基本]** サブタブをクリックします。
2. **[その他のファックス基本設定]** セクションの **[応答呼び出し回数]** ドロップダウン メニューで回数を選択します。

着信識別応答呼び出し音のパターンの変更

多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。 この着信識別サービスでは、番号ごとに異なる呼び出し音のパターンが割り当てられます。 デバイスが特定の呼び出し音の着信に応答するように設定することができます。

着信識別音が設定されている電話回線にデバイスを接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファックス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。 ファックス番号には、2 回または 3 回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。 デバイスは、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファックスの受信を開始します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン [**全タイプ**] を使用してください。

コントロール パネルで着信識別応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. デバイスがファックスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. **[セットアップ]** を押します。
3. [**ファックスの詳細設定**] を押し、[**応答呼出し音のパターン**] を押します。
4. 右矢印ボタンを押してオプションを選択し、**[OK]** を押します。
   ファックス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、デバイスは着信に応答して、ファックスを受信します。

埋め込み Web サーバで応答呼び出し音のパターンを設定するには

▲ **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファックス]** をクリックし、**[詳細]** サブタブをクリックします。次に、**[応答呼び出し音のパターン]** ドロップダウン メニューで応答呼出し音のパターンを選択し、**[適用]** ボタンをクリックします。

ファックスのエラー補正モードの設定

通常、デバイスは、ファックスの送受信時に電話回線上の信号を監視します。 エラー補正の設定がオンになっており、伝送中にエラー信号を検出した場合、デバイスはファックスの一部の再送信を要求することができます。

ファックスの送受信に問題がある場合や、伝送中のエラーを受け入れる場合にのみ、エラー補正をオフにしてください。 他の国や地域にファックスを送信するときや他の国や地域からファックスを受信するとき、または衛星電話回線を使用しているときに、この設定をオフにすると便利な場合があります。

ファックスのエラー補正モードを設定するには

- **埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続**）： 埋め込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックし、左枠で **[ファックス]** をクリックします。次に、**[詳細]** タブをクリックし、**[エラー補正モード]** ドロップダウン メニューで **[オン]** または **[オフ]** を選択し、**[適用]** ボタンをクリックします。
- **コントロール パネル**： **[ファックス メニュー]** を押し、[**ファックスの詳細設定**] メニューを開き、[**エラー解決モード**] オプションを使用します。

ダイヤル方式の設定

トーン ダイヤル モードまたはパルス ダイヤル モードに設定するには、次の手順に従います。 工場出荷時のデフォルトの設定は [**トーン**] です。 電話回線でトーン ダイヤルを使用できないことがわかっている場合以外は、この設定を変更しないでください。

注記 パルス ダイヤル オプションは、一部の国/地域では利用できません。

ダイヤル方式を設定するには

- **埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続)**： 埋め込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファックス]** をクリックします。次に、**[基本事項]** タブをクリックし、**[トーン回線またはパルス回線]** ドロップダウン メニューで選択を行い、**[適用]** ボタンをクリックします。
- **コントロール パネル**： **[セットアップ]** を押し、[**ファックスの基本設定**] を押し、[**トーン回線またはパルス回線**] オプションを使用します。

リダイヤル オプションの設定

受信側のファックス機が応答しないか、ビジー状態であるためにデバイスがファックスを送信できなかった場合、デバイスはビジー リダイヤルまたは応答なしリダイヤル オプションの設定に応じてリダイヤルします。 このオプションのオンとオフを切り替えるには、次の手順に従います。

- **ビジー リダイヤル**： このオプションをオンにすると、デバイスはビジー信号を受信した場合に自動的にリダイヤルします。 このオプションの工場出荷時のデフォルトの設定は [**オン**] です。
- **応答なしリダイヤル**： このオプションをオンにすると、デバイスは受信側のファックス機が応答しない場合に自動的にリダイヤルします。 このオプションの工場出荷時のデフォルトの設定は [**オフ**] です。

リダイヤル オプションを設定するには

- **埋め込み Web サーバ (ネットワーク接続)**： 埋め込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックし、左枠から **[ファックス]** をクリックし、**[詳細]** タブをクリックします。
- **コントロール パネル**： **[セットアップ]** を押し、[**ファックスの詳細設定**] を押し、[**ビジー リダイヤル**] または [**応答なしリダイヤル**] オプションを使用します。

ファックス速度の設定

ファックスを送受信するときにデバイスと相手のファックス機の間で通信する、ファックス速度を設定することができます。 デフォルトのファックス速度は [**はやい**] です。

以下のサービスを使用している場合は、必要に応じて、ファックス速度の設定を遅くします。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- FoIP (Fax over Internet Protocol)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファックスの送受信に問題がある場合は、[**ファックス速度**] 設定を [**標準**] または [**おそい**] に設定することをおすすめします。 次の表は、使用可能なファックス速度設定の一覧です。

ファックス速度の設定	ファックス速度
[はやい]	v.34 (33600 ボー)
[標準]	v.17 (14400 ボー)
[おそい]	v.29 (9600 ボー)

コントロール パネルからファックス速度を設定するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファックスの詳細設定**] を選択し、[**ファックス速度**] を押します。
3. 矢印キーを使用してオプションを選択し、**[OK]** を押します。

インターネット経由のファックス

デバイスを使用して、インターネット経由でファックスを送受信できる低コスト電話サービスを利用できる場合があります。 この方法は、FoIP(Fax over Internet Protocol) と呼ばれます。 次のような場合は、(電話会社が提供する) FoIP サービスを使用しているはずです。

- ファックス番号と一緒に特別のアクセス コードをダイヤルしている
- インターネットに接続する IP コンバータ ボックスがあり、ファックス接続用のアナログ電話ポートがある

注記 電話コードをデバイスの "1-LINE" と書かれたポートに接続した場合だけファックスの送受信が可能で、Ethernet ポートは使用できません。 つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファックス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

一部のインターネット ファックス サービスでは、デバイスが高速 (33600bps) でファックスを送受信していると正常に動作しない場合があります。 インターネット ファックス サービスの使用中に、ファックスの送受信で問題が起きたら、ファックス速度を遅くしてください。 [**ファックス速度**] の設定を [**はやい**] (デフォルト) から [**標準**] にすれば、ファックス速度が遅くなります。 この設定の変更については、ファックス速度の設定 を参照してください。

また、インターネット ファックスサービスがファックスをサポートしているか電話会社に確認してください。

ファックス設定のテスト

ファックス設定をテストしてデバイスの状態を調べ、正常にファックス送信できるように設定されたことを確認することができます。 このテストは、デバイスのファックス機能のセットアップが完了した後に実行してください。 テストの内容は次のとおりです。

- ファックスのハードウェアをテストする
- 正しい種類の電話コードがデバイスに接続されていることを確認する
- 電話線が正しいポートに接続されていることを確認する
- ダイヤル トーンを検出する
- アクティブな電話回線を検出する
- 電話回線の接続状態をテストする

テスト結果は、レポートとしてデバイスから印刷されます。 テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

ファックス設定をテストするには

1. ご家庭や職場に適した設定方法で、デバイスのファックス設定を行います。
2. テストを開始する前に、インク カートリッジとプリントヘッドが取り付けられていて、フルサイズの用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
3. コントロール パネルの **[セットアップ]** を押します。
4. [**ツール**] を選択し、[**ファックス テストを実行**] を選択します。
   デバイスのディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
5. レポートの内容を確認します。
   - テストにパスしてもファックスの送受信に問題がある場合は、レポートに記載されているファックス設定をチェックして、正しく設定されているかどうかを確認します。 設定がブランクになっていたり、正しく設定されていなかったりすると、ファックスの送受信に問題が発生します。
   - テストにパスしなかった場合は、レポートで問題の解決方法を確認します。

レポートの使用

ファックスの送受信のたびに、エラー レポートと確認のレポートを自動印刷するように、デバイスを設定できます。 必要に応じてシステム レポートを手動で印刷することもできます。これらのレポートには、デバイスに関する役に立つシステム情報が含まれています。

デフォルトの設定では、ファックスの送受信に問題があった場合にのみ、デバイスでレポートが印刷されます。 送受信するたびに、ファックスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。

ファックス確認レポートの印刷

ファックスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファックスを送信する**前に**、ファックス送受信の確認を有効にします。 [**送信**] または [**送受信**] を選択します。

デフォルトのファックス確認設定は、[**オフ**] です。 つまり、ファックスが送受信されるたびに確認レポートは印刷されません。 ただし、 送受信のたび

に、ファックスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。

ファックス送受信の確認を有効にするには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**レポートの印刷**] を押し、[**ファックスの確認**] を押します。
3. 右矢印ボタンを押して次のいずれかの設定を選択し、**[OK]** を押します。

[**オフ**]	ファックスの送受信に問題がない時は、ファックス確認レポートを印刷しません。 これがデフォルト設定値です。
[**送信**]	ファックスの送信ごとにファックス確認レポートを印刷します。
[**受信**]	ファックスの受信ごとにファックス確認レポートを印刷します。
[**送受信**]	ファックスの送受信ごとにファックス確認レポートを印刷します。

ヒント [**送信**] または [**送受信**] を選択して、メモリから送信するファックスをスキャンする場合は、ファックスの最初のページの画像を[**ファクス送信の確認**] レポートに含めることができます。 **[セットアップ]** を押し、[**ファックスの確認**] を押し、次に [**ファックス送信時**] を再び押します。 [**ファクス送信レポートの画像**] メニューから [**オン**] を選択します。

ファックス エラー レポートの印刷

送受信中にエラーが起きたときにレポートを自動印刷するようにデバイスを設定できます。

ファックス エラー レポートを自動的に印刷するようにデバイスを設定するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**レポートの印刷**] を押し、[**ファックス エラー レポート**] を押します。
3. 右矢印ボタンを押して次のいずれかの設定を選択し、**[OK]** を押します。

[**送受信**]	ファックス エラーが発生するたびに印刷されます。これがデフォルト設定値です。
[**オフ**]	ファックス エラー レポートは印刷されません。
[**送信**]	送受信エラーが発生するたびに印刷されます。
[**受信**]	受信エラーが発生するたびに印刷されます。

ファックス ログの印刷と表示

デバイスが送受信したファックスのログを印刷できます。 ログの各エントリには、次の情報が含まれます。

- 送受信の日付と時刻
- 種類 (受信または送信)
- ファックス番号
- 所要時間
- ページスウ
- 送受信の結果 (ステータス)

ログには、コントロール パネルから送信されたファックスと、受信したファックスすべてが表示されます。

埋め込み Web サーバでファックス ログを表示するには

▲ [**情報**] タブで、左枠の [**ログ**] をクリックし、[**ファックス ログ**] サブタブをクリックします。

ログには、HP フォト イメージング ソフトウェアから送信されたファックスと、受信したファックスすべてが表示されます。

HP フォト イメージング ソフトウェアでファックス ログを表示するには

1. コンピュータで HP フォト イメージング ソフトウェアを開きます。 詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアの使用を参照してください。
2. 詳細については HP フォト イメージング ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

ログには、コントロール パネルと HP フォト イメージング ソフトウェアから送信されたファックスと、受信したファックスすべてが表示されます。

コントロール パネルからファックス ログを印刷するには

1. コントロール パネルで **[セットアップ]** を押します。
2. 矢印キーを押して [**レポートの印刷**] に移動し、**[OK]** を押します。
3. 矢印キーを押して [**ファックス ログ**] に移動し、**[OK]** を押します。
4. **[OK]** を再び押してログを印刷します。

ファックスのキャンセル

送受信中のファックスはいつでもキャンセルすることができます。

ファックスをキャンセルするには

▲ 送受信しているファックスを中止するには、コントロール パネルで **[キャンセル]** を押します。 ファックスの送受信が停止しない場合は、**[キャンセル]** をもう一度押します。

デバイスは、既に印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファックスをキャンセルします。 しばらく時間がかかる場合があります。

番号のダイヤルを中止するには

▲ ダイヤルを中止するには、**[キャンセル]** を押します。

9 構成と管理

このセクションは、デバイスを管理する管理者および担当者を対象としています。 このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスの管理
- デバイス管理ツールの使用
- 自己診断テスト ページの理解
- ネットワーク設定ページの理解
- ネットワーク オプションの構成
- デバイスのファックス機能のセットアップ (一部のモデルのみ)
- デバイスの構成 (Windows)
- デバイスの構成 (Mac OS)
- デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)
- デバイスの Bluetooth 通信のセットアップ
- ソフトウェアのアンインストールと再インストール

デバイスの管理

- 管理タスクの概要
- デバイスの監視
- デバイスの管理

管理タスクの概要

次の表は、デバイス管理に使用する一般的なツールの一覧です。 手順によっては他の方法もあります。 これらのツールへのアクセスと使用情報については、デバイス管理ツールの使用を参照してください。

注記 Mac OS ユーザーは、コントロール パネル、埋め込み Web サーバ、HP プリンタ ユーティリティをご利用いただけます。 Windows ユーザーは、コントロール パネル、埋め込み Web サーバ、プリンタ ドライバ、ツールボックス、HP Web Jetadmin、および myPrintMileage をご利用いただけます。

HP Web Jetadmin ソフトウェアの詳細については、HP Web Jetadmin ソフトウェアを開いて付属文書を参照してください。 myPrintMileage の詳細については、myPrintMileage Web サイトを参照してください。

操作内容...	使用するツール...					
	コントロール パネル パーツ	埋め込み Web サーバ	ツールボックス (Windows)	HP プリンタ ユーティリティ	HP Web Jetadmin	myPrint-Mileage *

(続き)

操作内容...	使用するツール...					
				ィリティ (Mac OS)	ソフトウェア	
デバイスの監視						
サプライ品の状態	✓	✓	✓	✓	✓	✓
サプライ品と用紙の使用状況		✓		✓		✓
操作とステータス	✓	✓	✓		✓	
デバイスの管理						
デバイスのメンテナンス	✓	✓	✓	✓		
デバイスのセキュリティ		✓			✓	
スキャナのバルブ時間	✓	✓				
トレイの設定	✓	✓	✓	✓		
デバイスの音量または制御ボタンの音量の設定	✓				✓	
アラートと通知					✓	

* myPrintMileage がインストールされている場合にのみ使用できます。

デバイスの監視

このセクションには、デバイスの監視手順が記載されています。

このツールを使用する場合...	次の情報を入手します。
コントロール パネル	処理中のジョブのステータス、デバイスの操作ステータス、およびインク カートリッジとプリントヘッドのステータスについての情報を取得します。
埋め込み Web サーバ	• **プリンタ ステータス情報**： **[情報]** タブをクリックし、左枠の利用可能なオプションをクリックします。 • **インク カートリッジとプリントヘッド ステータス**： **[情報]** タブをクリックし、左枠から **[インク サプライ]** をクリックします。 • **累計インクとメディア使用量**： **[情報]** タブをクリックし、左枠から **[使用状況]** をクリックします。
ツールボックス (Windows)	**インク カートリッジ情報**： **[推定インク レベル]** タブをクリックしてインク レベル情報を表示し、スクロールして **[カートリッジの詳細]** ボタンを表示します。 **[カートリッジの詳細]** ボタンをクリックし、交換インク カートリッジと有効期限に関する情報を表示します。 注記　表示されるインク残量は予測でしかありません。 実際のインク残量とは異なる場合があります。
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)	**インク カートリッジの情報**： **[情報とサポート]** パネルを開いて、**[サプライ品ステータス]** をクリックします。

デバイスの管理

このセクションには、デバイスの管理と設定の変更についての情報が記載されています。

このツールを使用する場合...	操作内容
コントロール パネル	• **言語と国/地域**： **[セットアップ]** を押し、[**基本設定**] メニューを開きます。 • **コントロール パネルの音量**：**[セットアップ]** を押し、[**基本設定**] メニューを開きます。 • **ファックス音のボリューム**： **[セットアップ]** を押し、**[ファックス音のボリューム]** を選択します。 • **自動レポート印刷**： **[セットアップ]** を押し、[**ファックスの詳細設定**] メニューを開きます。

(続き)

このツールを使用する場合...	操作内容
	• **ダイヤル方式の設定**： **[セットアップ]** を押し、[**ファックスの基本設定**] メニューを開きます。 • **リダイヤル オプションの設定**：**[セットアップ]** を押し、[**ファックスの詳細設定**] メニューを開きます。 • **デバイスの IP アドレスの表示** (詳細なネットワーク設定の変更を参照) • **日付と時刻の設定**： **[セットアップ]** を押し、[**ツール**] を押して、[**日付と時刻**] を押します。 • **スキャナのバルブ時間の設定**： **[セットアップ]** を押し、[**基本設定**] を選択し、[**バルブ時間の設定**] を選択します。
埋め込み Web サーバ	• **埋め込み Web サーバのパスワードの設定**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[セキュリティ]** をクリックします。 • **トレイ設定の変更**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[用紙の取り扱い]** をクリックします。 • **デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[デバイスサービス]** をクリックします。 • **言語と国/地域**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[国際]** をクリックします。 • **ファックス音のボリューム**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[ファックス]** をクリックし、**[ファックス音のボリューム]** オプションを調整します。 • **ネットワーク構成を設定する**： **[ネットワーキング]** タブをクリックし、左枠のオプションをクリックします。 • **静的 IP アドレスの設定**： **[ネットワーキング]** タブをクリックし、**[ワイヤ 802.3]** または **[ワイヤレス 802.11]** をクリックします。 **[IP アドレス設定]** セクションで、**[手動 IP]** を選択し、静的 IP アドレスを入力します。 必要に応じて、**[サブネット マスク]** および **[デフォルト ゲートウェイ]** を入力し、**[適用]** をクリックします。 詳細については、トラブルシューティング ヒントとリソースを参照してください。 注記　静的 IP アドレスをデバイスに割り当てることは、推奨されていません。 ただし、静的 IP アドレスによってパーソナル ファイアウォールとの競合など設定や印刷問題が解決されることもあります。 • **ダイレクト デジタル ファイリングの設定 [設定]** タブをクリックし、**[ダイレクト デジタル ファイリング短縮ダイヤル]** をクリックします。 • **自動ファックス レポート印刷**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[ファックス]** をクリックします。 次に **[詳細]** タブをクリックします。

(続き)

このツールを使用する場合...	操作内容
	• **ダイヤル方式の設定**：**[設定]** タブをクリックし、左枠から **[ファックス]** をクリックします。 次に **[基本]** タブをクリックします。 • **リダイヤル オプションの設定**： **[設定]** タブをクリックし、**[ファックス]** をクリックします。 **[詳細設定]** タブをクリックします。 • **サプライの注文**： 任意のタブで、**[サプライの注文]** ボタンをクリックし、画面の指示に従います。 • **サポート**： 任意のタブで、**[サポート]** ボタンをクリックし、画面の指示に従います。 • **Bluetooth の設定**： **[Bluetooth]** タブをクリックします。 • **日付と時刻の設定**： **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[時間サービス]** をクリックし、フィールドに必要な値を入力して、**[適用]** をクリックします。
ツールボックス (Windows)	• **トレイ設定の変更**： **[サービス]** タブの **[用紙の取り扱い]** をクリックします。 • **デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[サービス]** タブをクリックします。
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)	• **トレイ設定の変更**： **[用紙の取り扱い]** を **[プリンタ設定]** パネルからクリックします。 • **デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[情報とサポート]** パネルを開き、 実行する作業のボタンをクリックします。

デバイス管理ツールの使用

- 埋め込み Web サーバ
- ツールボックス (Windows)
- HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)
- ネットワーク プリンタ セットアップ ユーティリティ (Mac OS)
- HP Web Jetadmin ソフトウェア
- HP インスタント サポート
- myPrintMileage

埋め込み Web サーバ

デバイスがネットワークに接続されている場合、埋め込み Web サーバを使用してコンピュータからステータス情報の表示、設定の変更、およびデバイスの管理などを行うことができます。

注記　埋め込み Web サーバのシステム必要条件のリストについては、埋め込み Web サーバの仕様 を参照してください。

パスワードが必要となり、制限される設定もいくつかあります。

インターネットに接続しなくても、埋め込み Web サーバを開いて使用できます。ただし、一部の機能は使用できません。

埋め込み Web サーバを開くには

埋め込み Web サーバは、次の方法で開くことができます。

注記　プリンタ ドライバ (Windows) または HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS) から埋め込み Web サーバを開くには、デバイスがネットワークに接続され、IP アドレスが割り当てられている必要があります。

- **Web ブラウザ**：　コンピュータでサポートされている Web ブラウザで、デバイスに割り当てられている IP アドレスを入力します。
  例えば、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。 http://123.123.123.123
  デバイスの IP アドレスは、自己診断テスト ページに表示されています。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
  埋め込み Web サーバを開いた後、お気に入りに保存すると、後からすばやく開くことができます。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**：**[プリンタ設定]** パネルで、**[その他の設定]** をクリックし、**[埋め込み Web サーバを開く]** ボタンをクリックします。

埋め込み Web サーバのページ

埋め込み Web サーバには、製品情報を表示したりデバイス設定を変更できるページがあります。 ページには、別の E-サービスへのリンクも含まれています。

ページ/ボタン	内容
[情報] ページ	デバイス、インク サプライ品と使用状況についてのステータス情報、およびデバイス イベント (エラーなど) のログが表示されます。
[設定] ページ	デバイスに構成された設定が表示され、これらの設定を変更できます。
[ネットワーキング] ページ	ネットワーク ステータスとデバイスに構成されたネットワーク設定が表示されます。 これらのページは、デバイスがネットワーク接続されている場合にしか表示されません。 詳細については、ネットワーク オプションの構成を参照してください。
[Bluetooth] ページ	デバイスに構成された Bluetooth の設定が表示され、これらの設定を変更できます。

(続き)

ページ/ボタン	内容
[サポート] および [サプライの注文] ボタン	**[サポート]** ボタンは、HP Instant Support、myPrintMileage などの E-サービスを含む、多くのサポート サービスを提供します。 詳細については、HP インスタント サポートおよび myPrintMileageを参照してください。 **[サプライの注文]** ボタンで、サプライ品のオンライン注文に接続できます。

ツールボックス (Windows)

ツールボックスでは、デバイスのメンテナンス情報が提供されます。

注記 コンピュータがシステム要件を満たしている場合、ツールボックスは、フル インストール オプションを選択してスタータ CD からインストールできます。

ツールボックスを開くには

- HP ソリューション センター で、**[設定]** メニューをクリックし、**[印刷設定]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックス]** をクリックします。
- システム トレイの [HP Digital Imaging Monitor] を右クリックし、**[プリンタ モデル名]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックスの表示]** をクリックします。

ツールボックス タブ

ツールボックスには、次のタブが含まれます。

タブ	内容
推定インク レベル	• **インク量情報**： 各カートリッジの予想インク量が表示されます。 注記 表示されるインク残量は予測でしかありません。 実際のインク残量とは異なる場合があります。 • **オンライン ショップ**： デバイスの印刷サプライ品をオンラインで注文できる Web サイトにアクセスできます。 • **電話による注文**： デバイスのサプライ品を注文するための電話番号が表示されます。 一部の国/地域では電話番号が表示されません。 • **カートリッジの詳細**： 取り付けられたインク カートリッジの注文番号と有効期限が表示されます。
情報	**プリンタの情報**： myPrintMileage へのリンクが提供され、デバイス ハードウェアとプリントヘッド

(続き)

タブ	内容
	の状態の情報が表示されます。 [情報] タブには次のオプションがあります。 • ハードウェア情報 • myPrintmileage (インストールしている場合) • HP Instant Support (HP インスタント サポート) • HP プリントヘッドの状態
サービス	• **PQ (印字品質) 診断ページの印刷**： デバイスの印字品質に影響を与える問題を診断できます。 詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。 • **自己診断テスト ページの印刷**： デバイスの自己診断テスト ページを印刷できます。 このページにはデバイスとサプライ品についての情報が表示されます。 詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。 • **プリント ヘッド位置調整**： プリントヘッドの位置調整についての指示が記載されています。 詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。 • **プリントヘッドのクリーニング**： プリントヘッドのクリーニングについての指示が記載されています。 詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。 • **ライン フィード キャリブレーション**： ライン フィード キャリブレーションを実行できます。 詳細については、ライン フィード キャリブレーションを行うにはを参照してください。 • **用紙の取り扱い**： トレイ ロックを設定し、デフォルト トレイを選択できます (トレイ 2 が挿入されている場合)。 詳細については、トレイの設定を参照してください。

HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)

HP プリンタ ユーティリティには、印刷設定の構成、デバイスのキャリブレーション、プリントヘッドのクリーニング、自己診断テスト ページの印刷、サプライ品のオンライン注文、および Web サイトのサポート情報の検索などのツールが含まれています。

HP プリンタ ユーティリティを開くには

1. **[Finder]** の **[Go]** メニューから、**[コンピュータ]** を選択します。
2. **[ライブラリ]** を選択し、**[プリンタ]** を選択します。
3. **[hp]** を選択して **[ユーティリティ]** を選択し、**[HP Printer Selector]** を選択します。
4. デバイスを選択して **[ユーティリティの起動]** をクリックします。

HP プリンタ ユーティリティのパネル

情報とサポート パネル

- **サプライ品詳細**： 現在装着されているプリントヘッドとインク カートリッジについての情報が表示されます。
- **サプライ製品情報**： インク カートリッジの交換オプションを示します。
- **デバイス情報**： デバイスのモデル番号とシリアル番号についての情報が表示されます。 デバイスの自己診断テスト ページを印刷することもできます。このページにはデバイスとサプライ品についての情報が表示されます。詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。
- **印刷品質診断ページ**：**サプライ製品情報** デバイスの印字品質に影響を与える問題を診断できます。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。
- **クリーニング**：プリントヘッドのクリーニングについての指示が記載されています。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。
- **位置調整**：プリントヘッドの位置調整についての指示が記載されています。詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。
- **ライン フィード キャリブレーション**： ライン フィード キャリブレーションを実行できます。詳細については、ライン フィード キャリブレーションを行うにはを参照してください。
- **HP サポート**： HP Web サイトにアクセスし、デバイスのサポート、デバイスの登録、および使用済みのプリント サプライ品の返品とリサイクルについての情報を表示できます。

プリンタ設定パネル

- **トレイの設定**： トレイのデフォルト用紙タイプとサイズ、およびトレイの優先度を設定します。詳細については、トレイの設定を参照してください。
- **その他の設定**： 埋め込み Web サーバを起動してネットワーク設定を変更します。 ネットワーク接続のための IP 設定を行います。

ネットワーク プリンタ セットアップ ユーティリティ (Mac OS)

このツールにより、デバイスのネットワーク設定を行うことができます。 ネットワーク ロケーション名とワイヤレス モードなどのワイヤレス設定、およ

び TCP/IP アドレス、ルーター、サブネット マスクなどのワイヤ設定を行うことができます。

ネットワーク プリンタ セットアップ ユーティリティを開くには

1. **[Finder]** の **[Go]** メニューから、**[コンピュータ]** を選択します。
2. **[ライブラリ]** を選択し、**[プリンタ]** を選択します。
3. **[hp]** を選択して **[ユーティリティ]** を選択し、**[ネットワーク プリンタ セットアップ ユーティリティ]** を選択します。
4. 画面の指示に従って、デバイスのネットワーク設定を行います。

HP Web Jetadmin ソフトウェア

HP Web Jetadmin ソフトウェアは、HP と HP 以外のネットワーク周辺機器のインストール、設定 (個別またはバッチ モードの両方)、ステータスのモニタリング (サプライ品のレベルも含む)、リモート診断の実行、トラブルシューティングなどを行う Web ベースの管理ソリューションです。

このソフトウェアをインストールすると、標準 Web ブラウザを使用してイントラネット内ならどこからでもアクセスできます。 詳細およびソフトウェアのダウンロードについては、www.hp.com/go/webjetadmin を参照してください。

HP インスタント サポート

HP Instant Support (HP インスタント サポート) は、Web ベースのトラブルシューティング ツールのスイートです。 印刷問題をすばやく識別、診断、そして解決するのに役立ちます。

HP Instant Support (HP インスタント サポート) では、プリンタに関する次の情報を提供します。

- **トラブルシューティングのヒントへの簡単なアクセス**： お使いのプリンタにカスタマイズされたヒントを提供します。
- **特定のプリンタ エラーの解決**： お使いのプリンタ固有のエラー メッセージの解決に役立つ情報へすぐにアクセスできます。 問題の説明、および問題を解決または防止するための推奨事項を参照するには、メッセージ内のリンクをクリックします。
- **プリンタ ドライバ更新の通知**： プリンタ ドライバが更新された場合に通知します。 HP Instant Support (HP インスタント サポート) のホームページにメッセージが表示されます。メッセージ内のリンクをクリックすると、HP Web サイトのダウンロード セクションに直接アクセスします。
- **サポート サービスの入手**： お使いのプリンタに利用できるサポート サービスのリストが提供されます。
- **インクおよびメディアの使用量の管理 (myPrintMileage)**： デバイスのサプライ品の使用状況を管理し、予想するのに役立ちます。

- **お使いのプリンタの自己診断テスト**： お使いのプリンタに診断テストを実行します。 Instant Support (インスタント サポート) ページの **[自己ヘルプ]** メニューから **[プリンタ]** を選択し、プリンタの診断を開始します。 HP Instant Support (HP インスタント サポート) はコンピュータをチェックし、構成されたデバイスのリストが表示されます。 診断するデバイスを選択すると、HP Instant Support (HP インスタント サポート) によって作業の手順が示されます。
- **HP エクスパート ヘルプ オンライン (アクティブ チャット)**： Web 上でのリアルタイム チャットを通じて HP サポートからパーソナライズされたヘルプがいつでも入手できます。 質問、または問題の説明を送信するだけです。 最近のデバイス履歴、システム構成、および試した操作などが自動的に HP に転送され (承認後)、問題を再度説明する必要がありません。
- **ナレッジ データベース**： HP ナレッジ データベースを使用して、質問の答えをすばやく見つけることができます。

セキュリティおよびプライバシー

HP Instant Support (HP インスタント サポート) を使用する場合は、プリンタの詳細な情報 (シリアル番号、エラー状態、ステータスなど) を HP に送信します。 HP は、お客様のプライバシーを尊重し、この情報を HP Online Privacy Statement (welcome.hp.com/country/us/en/privacy.html) の規定に従って管理します。

> 注記 HP に送信されるすべてのデータを確認するには、使用している Web ブラウザの [**表示**] メニューから、**[ソース]** (Internet Explorer または Opera の場合) または **[ページ ソース]** (Netscape または Mozilla Firefox の場合) を選択します。

HP Instant Support (HP インスタント サポート) にアクセスするには

- **ツールボックス (Windows)**： **[情報]** タブをクリックし、**[HP Instant Support (HP インスタント サポート)]** をクリックします。
- **埋め込み Web サーバ**： **[サポート]** タブをクリックし、**[HP Instant Support (HP インスタント サポート)]** をクリックします。

  > 注記 **[サポート]** ボタンはすべてのページに表示されます。

> 注記 HP Instant Support (HP インスタント サポート) を開くのに使用した Web ページはブックマークを付けないでください。 このサイトにブックマークを付け、そのブックマークを使用してサイトに接続すると、 ページには現在の情報が表示されません。

myPrintMileage

myPrintMileage は HP が提供するサービスで、デバイスの使用状況をトラッキングおよび予想し、サプライ品注文を計画する手助けとなります。

myPrintMileage を使用するには、以下を実行しなければなりません：

- インターネット接続
- プリンタが接続されていること

myPrintMileage Web サイトでは、使用したインク量、ブラックとカラー インクのどちらを多く使用するか、および残りのインク量で印刷できる予想ページ数などの印刷の分析結果を確認できます。

myPrintMileage にアクセスするには

- **埋め込み Web サーバ**： **[サポート]** ボタンをクリックし、**[myPrintMileage]** をクリックします。

  注記 **[サポート]** ボタンはすべてのページに表示されます。

- **ツールボックス (Windows)**： **[情報]** タブをクリックし、**[myPrintMileage]** をクリックして画面の指示に従います。
- **Windows タスクバー**： Windows のタスクバーにある **[HP Digital Imaging]** アイコンを右クリックし、表示するデバイスを選択し、**[myPrintMileage]** をクリックします。

注記 myPrintMileage を開くのに使用した Web ページはブックマークを付けないでください。このサイトにブックマークを付け、そのブックマークを使用してサイトに接続すると、 ページには現在の情報が表示されません。

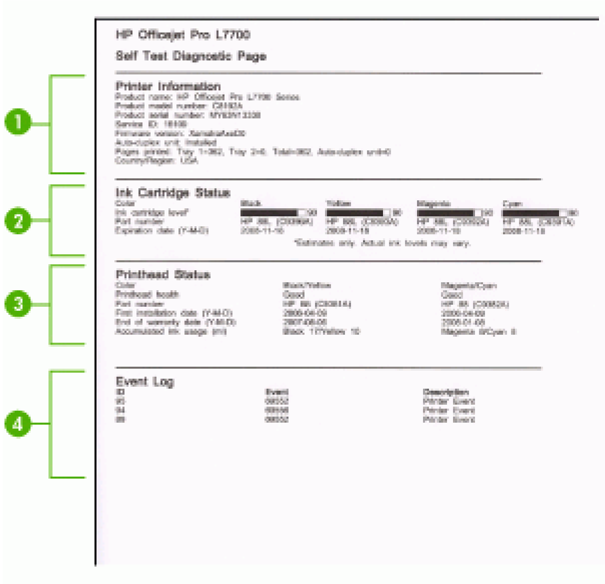
自己診断テスト ページの理解

自己診断テスト ページを使用して、次のような作業を行うことができます。

- 現在のデバイス情報、インク カートリッジの状態、およびプリントヘッドの状態を表示する
- 問題のトラブルシューティング
- 両面印刷ユニットなどのオプション アクセサリのインストールを確認する

自己診断テスト ページには、最新イベントのログも含まれます。

HP に連絡する場合は、電話をする前に自己診断テスト ページを印刷すると役立ちます。



1. **プリンタの情報**： デバイス情報 (製品名、モデル番号、シリアル番号、およびファームウェア バージョン番号など)、取り付けられているアクセサリ (両面印刷ユニットなど)、およびトレイとアクセサリから印刷されたページ数が表示されます。
2. **インク カートリッジの状態**： インクの推定残量レベル (グラフィックスによって表示)、パーツ番号、およびインク カートリッジの有効期限が表示されます。

   注記 表示されるインク残量は予測でしかありません。 実際のインク残量とは異なる場合があります。

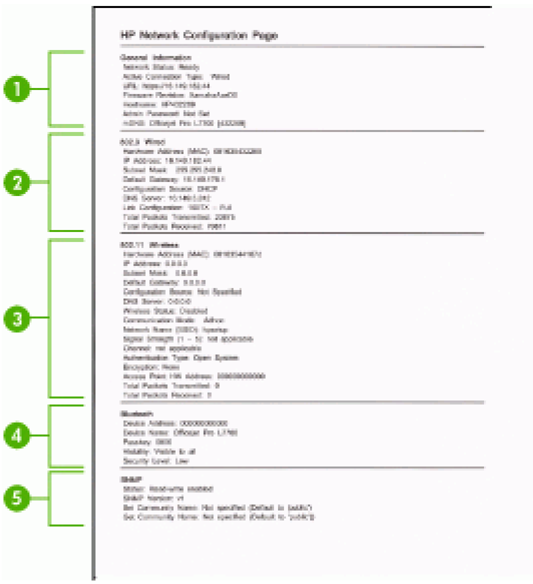
3. **プリント ヘッドの状態**： プリントヘッドの状態、パーツ番号、最初に取り付けられた日付、およびプリントヘッドの保証期限日、累計インク使用量が表示されます。 プリントヘッドのステータス オプションは次のとおりです： 良好、正常、および交換です。 状態が '正常' である場合は印刷品質を監視する必要がありますが、プリントヘッドを交換する必要はありません。 状態が '交換' である場合は、プリントヘッドを交換する必要があります。プリントヘッドを交換するまで、デバイスは機能しません。
4. **イベント ログ**： 最近発生したイベントのログが表示されます。

自己診断テスト ページを印刷するには

- **コントロールパネル：** **[セットアップ]** を押し、[レポートの印刷] を選択し、[セルフテスト レポート] を選択し、**[OK]** を押します。
- **ツールボックス (Windows)：** **[サービス]** タブをクリックし、**[自己診断テスト ページの印刷]** をクリックします。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)：** **[デバイス情報]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックし、**[設定ページの印刷]** をクリックします。

ネットワーク設定ページの理解

デバイスがネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定ページを印刷してデバイスのネットワーク設定を表示できます。 ネットワーク設定ページは、ネットワーク接続に関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。 HP に連絡する場合は、電話をする前にこのページを印刷すると役立ちます。



ネットワーク設定ページ

1. **一般情報：** ネットワークの現在の状態とアクティブな接続タイプに関する情報と、埋め込み Web サーバの URL などのそれ以外の情報が表示されます。
2. **802.3 ワイヤ：** IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイなどのアクティブなワイヤード ネットワーク接続に関する情報と、デバイスのハードウェア アドレスが表示されます。

3. **802.11 ワイヤレス**： IP アドレス、通信モード、ネットワーク名、認証タイプ、信号強度などの、アクティブなワイヤレス ネットワーク接続に関する情報が表示されます。
4. **Bluetooth**： デバイスの名前やアドレスなどのアクティブな Bluetooth ワイヤレス接続に関する情報と、パスキーが表示されます。
5. **SNMP**： 現在の SNMP 設定と状態に関する情報が、コミュニティ名設定も含めて表示されます。

コントロール パネルからネットワーク設定ページを印刷するには

- デバイスに 2 行ディスプレイが搭載されている場合： **[セットアップ]** ボタンを押し、[**ネットワーク設定**] を選択し、[**ネットワーク設定の印刷**] を選択し、**[OK]** を押します。
- デバイスにカラー ディスプレイが搭載されている場合： **[セットアップ]** ボタンを押し、[**ネットワーク**] を選択し、[**ネットワーク設定を表示**] を選択し、[**ネットワーク設定ページの印刷**] を選択し、**[OK]** を押します。

チャネル範囲の定義

次の表は、802.11 ワイヤレス チャネル範囲定義の一覧です。

最初の桁数はロケール番号を表します	
ロケール 0： チャンネル 1-11： • 高パワー 802.11b • 低パワー 802.11g	
ロケール 1： チャンネル 1-13： • 低パワー 802.11b • 低パワー 802.11g	
ロケール 2： チャンネル 1-14： • 低パワー 802.11b • 低パワー 802.11g 注記 802.11g はチャンネル 14 には許可されていません。	
2 番目の桁数は、アドホック互換モードを表します	0: アドホック接続ステータス ノミナル 1: アドホックは常に接続されているようにみえます
3 番目の桁数はインフラストラクチャ レート制限を表します	0: 802.11b または 802.11g 1: 802.11b のみ
4 番目の桁数は、アドホック レート制限を表します	0: 802.11b または 802.11g 1: 802.11b のみ

ネットワーク オプションの構成

次のセクションで説明する手順に従って、コントロール パネルで のネットワーク設定を管理することができます。 また、埋め込み Web サーバを使用するとより詳細なネットワーク設定を行うことができます。この Web サーバは既存のネットワーク接続を使用して Web ブラウザからアクセスできるネットワーク構成およびステータス ツールです。 詳細については、埋め込み Web サーバを参照してください。

基本的なネットワーク設定の変更

コントロール パネルのオプションを使用して、ワイヤレス接続の設定や管理を行ったり、さまざまなネットワーク管理タスクを実行したりできます。 このタスクには、ネットワーク設定の表示、ネットワークのデフォルト設定の復元、ワイヤレスのオン・オフ設定、ネットワーク設定の変更などが含まれます。

ワイヤレス セットアップ ウィザードの使用

ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用すると、デバイスへのワイヤレス接続を簡単に設定したり、管理したりできます。 ワイヤレス接続のセットアップ方法およびワイヤレス セットアップ ウィザードの詳細については、デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)を参照してください。

ネットワーク設定の表示と印刷

ネットワーク設定の一覧をコントロール パネルに表示したり、より詳細な構成ページを印刷することができます。 ネットワーク設定ページには、IP アドレス、リンク速度、DNS、mDNS など、重要なネットワーク設定が一覧表示されます。 ネットワーク設定については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**[OK]** を押します。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   - ワイヤード (Ethernet) ネットワークの設定を表示するには、[**ネットワーク設定を表示**] を選択し、[**概要を表示 (有線 LAN の場合)**] を選択します。
   - ワイヤレス ネットワークの設定を表示するには、[**ネットワーク設定を表示**] を押し、[**概要を表示 (無線 LAN の場合)**] を押します。
   - ネットワーク設定ページを印刷するには、[**ネットワーク設定を表示**] を選択し、[**ネットワーク設定ページの印刷**] を選択します。

ワイヤレスをオンまたはオフに設定する

ワイヤレスはデフォルトでオンに設定されています。ワイヤレスがオンの場合は、デバイス前面のブルーのインジケータが点灯します。 ワイヤレス ネットワークへの接続を保つには、無線を常にオンにしておく必要があります。 しかし、デバイスが有線ネットワークに接続されていたり、USB で接続されている場合は、無線は使用されません。 この場合、無線をオフにしておくことをお勧めします。

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**[OK]** を押します。
3. ワイヤレスをオンにするには、[**ワイヤレス**] を選択し、[**はい**] を選択します。オフにするには、[**いいえ**] を選択します。

詳細なネットワーク設定の変更

必要に応じて、ネットワークを詳細に設定することができます。 ただし、ネットワーク管理に詳しくない場合は、これらの設定を変更しないでください。 詳細設定には、[**リンク速度**]、[**IP 設定**]、および [**メモリ カード セキュリティ**] があります。

リンク速度の設定

ネットワーク上でのデータ送信速度を変更することができます。 デフォルトの設定は [**自動**] です。

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**[OK]** を押します。
3. [**詳細設定**] を選択し、[**接続速度**] を選択します。
4. リンク速度の横の、お使いのネットワーク機器と一致する番号を押します。
   - [**1. 自動**]
   - [**2. 10 Mb/sec 全二重通信**]
   - [**3. 10 Mb/sec 半二重通信**]
   - [**4. 100 Mb/sec 全二重通信**]
   - [**5. 100 Mb/sec 半二重通信**]

IP 設定を表示するには

- カラー ディスプレイ : コントロール パネルでデバイスの IP アドレスを表示するには、**[セットアップ]** ボタンを押し、[**ネットワーク**] を選択し、[**ネットワーク設定を表示**] を選択します。次に、[**概要を表示 (有線 LAN の場合)**] または [**概要を表示 (無線 LAN の場合)**] を選択します。
- 2 行のディスプレイ : デバイスの IP アドレスを表示するには、ネットワーク設定ページを印刷する必要があります。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

IP 設定を変更するには

デフォルトの IP 設定は [**自動**] で、IP 設定を自動的に行いますが、 ネットワーク管理に詳しい場合は、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイを手動で変更できます。

△ **注意** IP アドレスを手動で割り当てる場合は注意が必要です。 インストール時に無効な IP アドレスを割り当てると、各ネットワーク コンポーネントからデバイスに接続できなくなります。

1. **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**[OK]** を押します。
3. [**詳細設定**] を選択し、[**IP 設定**] を選択し、[**IP 設定**] を選択します。
4. IP 設定の横にある以下の番号を押します。
   - [**1. IP アドレス**]
   - [**2. サブネットマスク**]
   - [**3. デフォルト ゲートウェイ**]
5. 変更する内容を入力し、**[OK]** をクリックします。

デバイスのファックス機能のセットアップ (一部のモデルのみ)

[セットアップ ガイド] に記載されたすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファックスのセットアップを行ってください。 [セットアップ ガイド] は後で使用できるように保管してください。

このセクションでは、ファックス機能が同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、デバイスを設定する方法を説明します。

ヒント　ファックス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファックス セットアップ ユーティリティ (Mac OS) を使用して、応答モードやファックスのヘッダー情報などの重要なファックス設定を簡単に設定することもできます。 デバイス用にインストールしたソフトウェアから、ファックス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファックス セットアップ ユーティリティ (Mac OS) にアクセスできます。 ファックス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファックス セットアップ ユーティリティ (Mac OS) を起動したら、このセクションの手順に従ってファックスのセットアップを行います。

ファックス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)

デバイスのファックス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。 デバイスのファックス機能のセットアップの説明は、パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- お住まいの国または地域が下記の表になければ、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。 シリアル方式の電話の場合、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタの種類が違うため、デバイスの "2-EXT" ポートに接続することはできません。 電話機器はすべて壁の電話ジャックに接続してください。

  注記　シリアル方式の電話システムを使用する国または地域の場合、デバイス付属の電話コードに別の壁プラグが接続している可能性があります。 これにより、デバイスを差し込んでいる壁側のモジュラー ジャックに別の通信装置を接続できます。

- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。 パラレル方式の電話システムの場合、 背面の "2-EXT" ポートを使用して、共有する電話機器を電話回線に接続することができます。

  注記　パラレル方式の電話システムの場合は、デバイスに付属の 2 線式電話コードを使用して、壁の電話ジャックにデバイスを接続することをお勧めします。

表 9-1 パラレル タイプの電話の国または地域

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシア	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	南米	マレーシア

パラレル タイプの電話の国または地域 (続き)

メキシコ	フィリッピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

自宅またはオフィスに合った正しいファックス セットアップの選択

同じ電話回線をデバイスと共有する機器やサービスがある場合、ファックスを正常に使用するには、それらの機器やサービスの種類を知っておく必要があります。 これは、既存のオフィス機器をデバイスに直接接続しなければならない場合に重要です。また、正常にファックスを使用するには、ファックスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

自宅またはオフィスに合ったデバイスのセットアップ方法を調べるには、まずこのセクションの質問を最後まで読んで答えてみてください。 そして、1 つ後のセクションにある表から、ご自分の答えに対するセットアップ方法を選択してください。

以下の質問は必ず順番に読んでお答えください。

1. 電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。 (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)
   「はい」とお答えの方は ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
2. 構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システムを利用していますか。
   「はい」とお答えの方は ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。

3. 複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。
   「はい」とお答えの方は ケース D： 同じ回線でファックスと着信識別サービスを一緒に利用 に進んでください。ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
   着信識別サービスを利用しているかどうか不明ですか。 多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。
   この着信識別サービスでは、電話番号ごとに異なる呼び出し音パターンを使用します。 シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。 一方の電話番号をシングル呼び出し音にして電話用に、もう一方の電話番号をダブル呼び出し音にしてファックス用に割り当てることができます。 こうしておけば、電話が鳴ったときに電話かファックスかがわかります。
4. 同じ電話番号でデバイスのファックスと電話を一緒に利用しますか。
   続けて質問にお答えください。
5. デバイスと同じ電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用していますか。
   コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しているかどうか不明ですか。 次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しています。
   • ダイヤルアップ接続でコンピュータのソフトウェア アプリケーションから直接ファックスを送受信している。
   • ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している。
   • ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している。
   続けて質問にお答えください。
6. 同じ電話番号でデバイスのファックスと留守番電話を一緒に利用しますか。
   続けて質問にお答えください。
7. 同じ電話番号でデバイスのファックスと電話会社のボイス メール サービスを一緒に利用しますか。
   質問にすべて答えたら、次のセクションに進み、適切なファックス セットアップを選択します。

適切なファックス セットアップの選択

これで、同じ電話回線でデバイスと機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。自宅またはオフィスに合ったセットアップを選択できます。

表の 1 列目から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。 ご使用の電話方式に合わせて、2 列目、3 列目から適切なセットアップを選択します。 各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「いいえ」を選択してください。

注記 自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合は、デバイスを通常のアナログ電話のようにセットアップします。 付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。 他の電話コードを使用している場合は、ファックスの送受信に問題が発生することがあります。

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
いいえ (すべての質問に「いいえ」と回答しました。)	ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)	シリアル方式のファックスのセットアップ のお住まいの国に関する記述を参照してください。
DSL サービス (質問 1 のみに「はい」と回答しました。)	ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ	シリアル方式のファックスのセットアップ のお住まいの国に関する記述を参照してください。
PBX または ISDN システム (質問 2 のみに「はい」と回答しました。)	ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ	シリアル方式のファックスのセットアップ のお住まいの国に関する記述を参照してください。
着信識別サービス (質問 3 のみに「はい」と回答しました。)	ケース D： 同じ回線でファックスと着信識別サービスを一緒に利用	シリアル方式のファックスのセットアップ のお住まいの国に関する記述を参照してください。
電話 (質問 4 のみに「はい」と回答しました。)	ケース E： 電話とファックスを一緒に利用する	シリアル方式のファックスのセットアップ のお住まいの国に関する記述を参照してください。
電話とボイスメールサービス (質問 4 および 7 のみに「はい」と回答しました。)	ケース F： 電話とファックスとボイスメール サービスを一緒に利用する	シリアル方式のファックスのセットアップ のお住まいの国に関する記述を参照してください。
コンピュータ ダイヤルアップ モデム (質問 5 のみに「はい」と回答しました。)	ケース G： 同じ回線でファックスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデム	ケース H： 電話とファックスとコンピュータ モデムを一緒に利用する	適用できません。

(続き)

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
(質問 4 および 5 のみに「はい」と回答しました。)		
電話と留守番電話 (質問 4 および 6 のみに「はい」と回答しました。)	ケース I： 電話とファックスと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話 (質問 4 、 5 および 6 のみに「はい」と回答しました。)	ケース J： 電話とファックスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイスメール サービス (質問 4 、 5 および 7 のみに「はい」と回答しました。)	ケース K： 電話とファックスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する	適用できません。

ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に他の機器を何も接続しない場合は、次のようにデバイスを設定します。

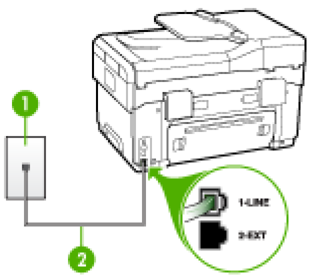


図 9-1 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する

単独のファクス回線の環境にデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。 この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **[自動応答]** の設定をオンにします。
3. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
4. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。 デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファックスに対して発信し、ファックスを受信します。

ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ

電話会社の DSL サービスを利用し、デバイスに機器を接続しない場合は、次のように壁側のモジュラージャックとデバイスの間に DSL フィルタを取り付けます。 デバイスが電話回線で正しく通信することができるように、DSL フィルタでデバイスを妨害する可能性のあるデジタル信号を除去します(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)

注記 DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、デバイスでファックスを送受信できなくなります。

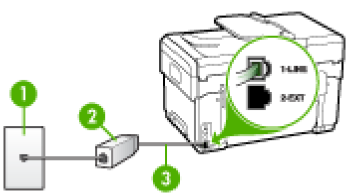


図 9-2 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSLプロバイダから支給された DSL (または ADSL) フィルタおよびコード

3	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する

DSL 環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタの空いているポートに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 付属のコードで DSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

   付属の電話コードは 1 本なので、このセットアップでは追加の電話コードが必要になる場合があります。

3. DSL フィルタの追加の電話コードを壁側のモジュラージャックに接続します。
4. ファックス テストを実行します。

ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファックスおよび電話用のポートにデバイスが接続されていることを確認してください。 また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

  注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。 たとえば、電話と G3 規格のファックスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。 ISDN コンバータのファックス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。このポートには "multi-combi" などのラベルが付いている場合があります。

- PBX システムを使用している場合は、電話の呼び出し音をオフにします。

  注記 多くのデジタル PBX システムでは、電話の呼び出し音が工場出荷時の設定で「オン」になっています。 電話の呼び出し音は、ファックス送信の妨害となり、デバイスでファックスの送受信ができなくなります。 電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

- PBX システムを使用している場合は、ファックス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで 壁側のモジュラー ジャックとお使いのデバイスを正しく接続します。 接続していない場合、ファックスを正しく行うことはできません。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。 付属の電話コードでは短すぎる場合、お近くの電器店からカプラーを購入して延長することができます。

ケース D： 同じ回線でファックスと着信識別サービスを一緒に利用

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合は、次のようにデバイスを設定します。

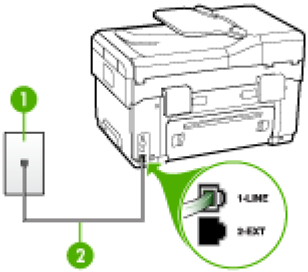


図 9-3 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する

着信識別サービスの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **[自動応答]** の設定をオンにします。

3. [**着信識別**] 設定を変更して、電話会社がお使いのファックス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。

> 注記 デバイスの工場出荷時の設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。 [**着信識別**] がファックス番号に割り当てられていた呼出し音のパターンと一致するように設定しないと、デバイスが電話とファックスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

4. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
5. ファックス テストを実行します。

デバイスでは、[**着信識別**] 設定で選択した呼び出し音のパターンの着信に対して、[**応答呼出し回数**] 設定で選択した呼び出し回数の後に自動応答します。デバイスは、ファックス受信トーンを送信側ファックスに対して発信し、ファックスを受信します。

ケース E： 電話とファックスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファックスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のようにデバイスを設定します。



図 9-4 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する
3	電話機 (オプション)

電話とファックスの共有回線環境にデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. 次のいずれかの操作を行います。
   - パラレル方式の電話システムを使用している場合、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
   - シリアル方式の電話の場合は、壁のプラグが接続されたデバイスのケーブルの一番先に電話を直接接続します。
3. ここで、デバイスでのファックス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   - 着信に [**自動**] で応答する設定の場合は、デバイスがすべての着信に応答し、ファックスを受信します。 この場合、デバイスではファックスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、デバイスが着信に応答する前に自分で応答する必要があります。 デバイスで着信を自動的に受信するには、**[自動応答]** 設定をオンにします。
   - ファックスを [**手動**] で受信する設定の場合は、ファックス受信に直接応答しなければ、デバイスでファックスを受信できません。 手動で着信に応答するようにデバイスを設定するには、**[自動応答]** をオフにします。
4. ファックス テストを実行します。

デバイスが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファックス機からのファックス トーンが聞こえた場合は、手動でファックスに応答します。

ケース F： 電話とファックスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファックスを一緒に受け、電話会社のボイスメールサービスも利用する場合は、次のようにデバイスを接続します。

注記 ファックスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファックスを自動受信することはできません。 ファックスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファックスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 これ以外にファックスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファックス専用の別回線を取得してください。

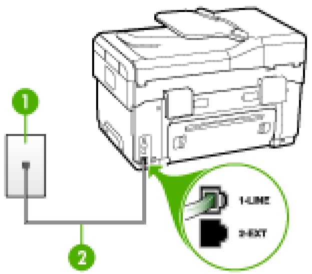


図 9-5 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

ボイスメールサービスの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **[自動応答]** の設定をオフにします。
3. ファックス テストを実行します。

ファックス着信に直接応答してください。そうしないとデバイスでファックスを受信できません。

ケース G： 同じ回線でファックスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

電話を受け付けないファックス回線を利用し、この回線にコンピュータ モデムを接続する場合は、次のようにデバイスをセットアップします。

注記　コンピュータにダイヤルアップ モデムがある場合、コンピュータのダイヤルアップ モデムはデバイスと電話回線を共有します。 モデムとデバイスを同時に使用することはできません。 たとえば、コンピュータのダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、デバイスのファックス機能を使用することはできません。

- コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でデバイスをセットアップするには
- コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのデバイスのセットアップ

コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でデバイスをセットアップするには

1 つの電話回線をファックスの送信とコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用している場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

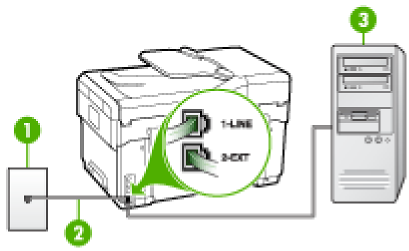


図 9-6 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する
3	モデム搭載コンピュータ

コンピュータ ダイヤルアップ モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

3. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. モデムのソフトウェアで、ファックスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

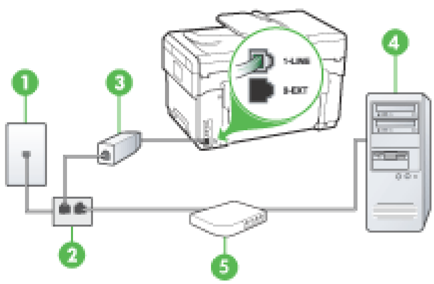
注記 モデムのソフトウェアで自動ファックス受信の設定を解除しないと、デバイスでファックスを受信できなくなります。

5. **[自動応答]** の設定をオンにします。
6. (オプション) [**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
7. ファックス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファックス受信トーンを送信側ファックスに対して発信し、ファックスを受信します。

コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのデバイスのセットアップ

DSL 回線があり、その電話回線を使用してファックスを送信する場合は、次の手順に従ってファックスをセットアップします。



1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL スプリッター デバイスに付属の電話ジャックの片方の端を、デバイス背部の 1-LINE ポートに接続します。 コードのもう一方の端を DSL/ADSL フィルタに接続します。
4	コンピュータ

(続き)

5	コンピュータの DSL/ADSL モデム

注記　パラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。



コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記　付属のコードで DSL フィルタとデバイス背面を接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
4. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
5. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
6. ファックス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファックス受信トーンを送信側ファックスに対して発信し、ファックスを受信します。

ケース H： 電話とファックスとコンピュータ モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファックスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムも接続する場合は、次のようにデバイスをセットアップします。

注記　コンピュータ モデムが電話回線をデバイスと共有しているので、モデムとデバイスの両方を同時に使用することはできません。 たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、デバイスのファックス機能を使用することはできません。

- 電話とファックスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する
- 電話とファックスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

電話とファックスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する

電話回線をファックスと電話の両方に使用する場合は、次の手順に従ってファックスをセットアップします。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータにデバイスをセットアップする方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

• コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。)



図 9-7 パラレル スプリッターの例

• コンピュータの電話ポートが 1 つある場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

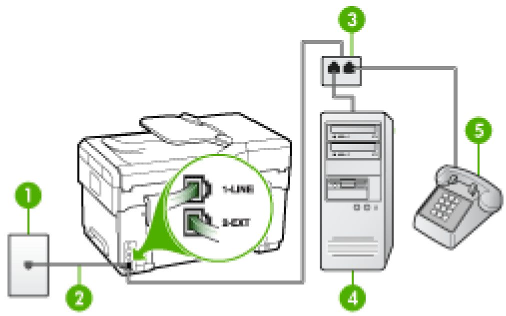


図 9-8 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス背面の 1-LINE ポートに差し込まれているデバイス付属の電話コード
3	パラレル スプリッター
4	コンピュータ
5	電話

電話ポートが 1 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 コードを壁側のモジュラー ジャックから切断し、パラレル スプリッターに差し込みます。
3. パラレル スプリッターの電話コードを、デバイス背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに接続します。
4. 電話をパラレル スプリッターに接続します。
5. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

6. モデムのソフトウェアで、ファックスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファックス受信の設定を解除しないと、デバイスでファックスを受信できなくなります。

7. ここで、デバイスでのファックス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   - 着信に [**自動**] で応答する設定の場合は、デバイスがすべての着信に応答し、ファックスを受信します。この場合、デバイスではファックスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、デバイスが着信に応答する前に自分で応答する必要があります。デバイスで着信を自動的に受信するには、**[自動応答]** 設定をオンにします。
   - ファックスを [**手動**] で受信する設定の場合は、ファックス受信に直接応答しなければ、デバイスでファックスを受信できません。手動で着信に応答するようにデバイスを設定するには、**[自動応答]** をオフにします。
8. ファックス テストを実行します。

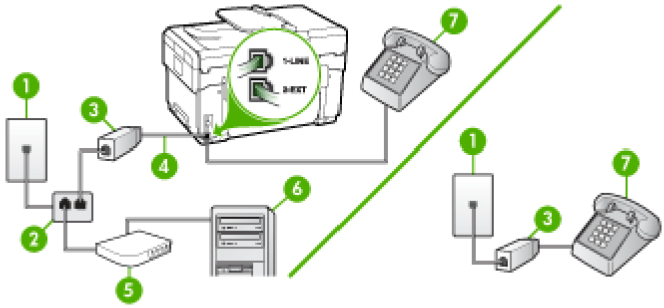
注記 コンピュータの背面に電話ポートが 2 つある場合には、パラレル スプリッターを使用する必要はありません。 電話はコンピュータのダイヤルアップ モデムの“OUT”ポートに差し込むことができます。

デバイスが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファックス機からのファックス トーンが聞こえた場合は、手動でファックスに応答します。

電話回線を電話、ファックス、およびコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用する場合は、次の手順に従ってファックスをセットアップします。

電話とファックスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

コンピュータに DSL/ADSL モデムがある場合は、次の手順に従います。



1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	デバイスに付属の電話コード
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ
7	電話

注記 パラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入する必要があります。パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。



コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL フィルタに接続する必要があります。そうしないと、電話をかけたときにノイズが発生します。

2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 付属のコードで DSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。 この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. パラレル方式の電話システムを使用している場合、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
4. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. ファックス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファックス受信トーンを送信側ファックスに対して発信し、ファックスを受信します。

ケース I： 電話とファックスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファックスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も応答する場合は、次のようにデバイスを設定します。

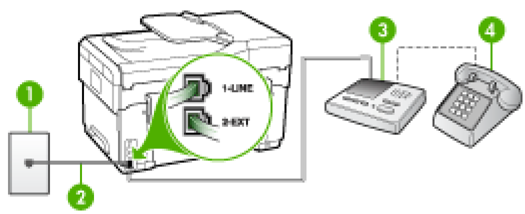


図 9-9 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	付属の電話コードを使用して、デバイス背面の 1-LINE ポートに接続します。
3	留守番電話

4	電話機 (オプション)

電話とファックスと留守番電話を一緒に利用する環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

   注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファックスからのファックス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファックスを受信できないことがあります。

3. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

   注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合は、留守番電話と電話の両方をデバイスに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入して使用します。 これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

5. **[自動応答]** の設定をオンにします。
6. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
7. デバイスの [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
8. ファックス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。 この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファックス トーンを待機しています。 ファックス受信トーンを検出すると、デバイスはファックス受信トーンを発信し、ファックスを受信します。ファックス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

ケース J : 電話とファックスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファックスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムと留守番電話も接続する場合は、次のようにデバイスをセットアップします。

> **注記** コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線をデバイスと共有しているので、モデムとデバイスの両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータのダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、デバイスのファックス機能を使用することはできません。

- 電話とファックスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する
- 電話とファックスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

電話とファックスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータにデバイスを設定する方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。)



図 9-10 パラレル スプリッターの例

• コンピュータの電話ポートが 1 つある場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

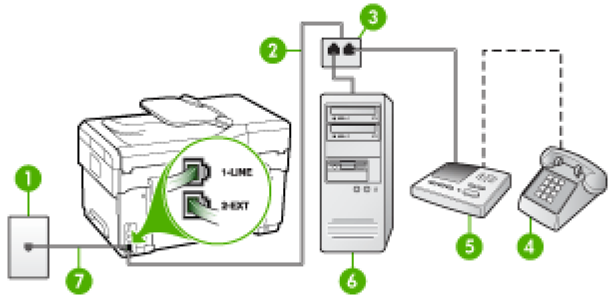


図 9-11 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッターに接続している電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

電話ポートが 1 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファックスからのファックス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファックスを受信できないことがあります。

4. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

   注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合は、留守番電話と電話の両方をデバイスに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入して使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

6. モデムのソフトウェアで、ファックスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

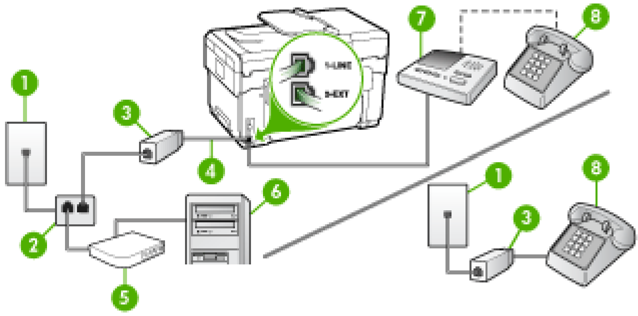
   注記 モデムのソフトウェアで自動ファックス受信の設定を解除しないと、デバイスでファックスを受信できなくなります。

7. **[自動応答]** の設定をオンにします。
8. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
9. デバイスの [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
10. ファックス テストを実行します。

   注記 2 つの電話ポートを持つコンピュータを使用している場合は、パラレル スプリッターは必要ありません。 留守番電話をコンピュータ背面の“OUT”ポートに差し込むことができます。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファックス トーンを待機しています。ファックス受信トーンを検出すると、デバイスはファックス受信トーンを発信し、ファックスを受信します。ファックス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

電話とファックスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する



1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	デバイス背面の 1-LINE ポートに接続されているデバイス付属の電話コード
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ
7	留守番電話
8	電話機 (オプション)

注記 パラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入する必要があります。パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。



コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL/ADSL フィルタは、DSL/ADSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL/ADSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL/ADSL フィルタに接続する必要があります。そうしないと、電話をかけたときにノイズが発生します。

2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL/ADSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 付属のコードで DSL/ADSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL/ADSL フィルタをスプリッターに接続します。
4. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイス背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。

   注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファックスからのファックス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファックスを受信できないことがあります。

5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
8. デバイスの [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します。

   注記 呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります。

9. ファックス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定した回数だけ呼び出し音が鳴った後にアンサーフォンが応答し、録音されている応答メッセージを再生します。 この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファックス トーンを待機しています。 ファックス着信トーンを検出すると、デバイスはファックス受信トーンを発信し、ファックスを受信します。ファックス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話が音声メッセージを録音できるようになります。

同じ電話回線を電話とファックスに使用しており、コンピュータの DSL モデムがある場合は、次の手順に従ってファックスをセットアップします。

ケース K： 電話とファックスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファックスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムも利用して電話会社のボイスメール サービスも利用する場合は、次のようにデバイスを設定します。

注記 ファックスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファックスを自動受信することはできません。ファックスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファックスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファックスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファックス専用の別回線を取得してください。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線をデバイスと共有しているので、モデムとデバイスの両方を同時に使用することができません。 たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、デバイスをファックスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータにデバイスをセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。



図 9-12 パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 2 つある場合は、下記の手順でデバイスをセットアップしてください。

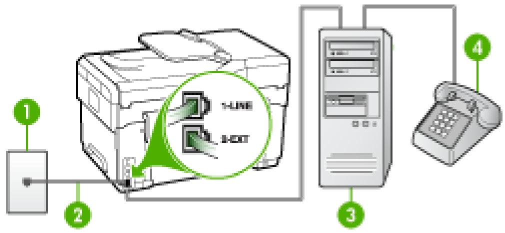


図 9-13 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する
3	モデム搭載コンピュータ
4	電話

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。
4. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファックス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファックスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファックス受信の設定を解除しないと、デバイスでファックスを受信できなくなります。

6. **[自動応答]** の設定をオフにします。
7. ファックス テストを実行します。

ファックス着信に直接応答してください。そうしないとデバイスでファックスを受信できません。

シリアル方式のファックスのセットアップ

シリアル方式の電話システムを使用してファックス用にデバイスをセットアップする方法の詳細については、お住まいの国/地域のファックス構成専用 Web サイトを参照してください。

オーストリア	www.hp.com/at/faxconfig
ドイツ	www.hp.com/de/faxconfig
スイス(フランス語)	www.hp.com/ch/fr/faxconfig
スイス(ドイツ語)	www.hp.com/ch/de/faxconfig
イギリス	www.hp.com/uk/faxconfig
フィンランド	www.hp.fi/faxconfig
デンマーク	www.hp.dk/faxconfig
スウェーデン	www.hp.se/faxconfig
ノルウェイ	www.hp.no/faxconfig
オランダ	www.hp.nl/faxconfig
ベルギー (オランダ語)	www.hp.be/nl/faxconfig
ベルギー (フランス語)	www.hp.be/fr/faxconfig
ポルトガル	www.hp.pt/faxconfig
スペイン	www.hp.es/faxconfig
フランス	www.hp.com/fr/faxconfig
アイルランド	www.hp.com/ie/faxconfig
イタリア	www.hp.com/it/faxconfig

デバイスの構成 (Windows)

デバイスを直接コンピュータに接続することも、ネットワーク上で他のユーザとデバイスを共有することもできます。

注記 インストール プログラムを実行するには、お使いのコンピュータに Microsoft Internet Explorer 6.0 がインストールされていなければなりません。

また、Windows 2000、Windows XP、または Windows Server 2003 にプリンタ ドライバをインストールするには、管理者権限がなければなりません。

デバイスをセットアップする際、HP ではソフトウェアをインストールした後でデバイスを接続するようお勧めしています。これは、インストール プログラムにより設定が簡単になるためです。 ただし、ケーブルを最初に接続した場合は、ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するにはを参照してください。

直接接続

USB ケーブルを使用して、デバイスをお使いのコンピュータに直接接続できます。

注記 デバイス ソフトウェアをインストールして Windows を実行しているコンピュータにデバイスを接続した場合、デバイス ソフトウェアを再インストールしなくても USB ケーブルを使用して同じコンピュータに別のデバイスを接続できます。

デバイスを設定する際、HP ではソフトウェアをインストールした後でデバイスを接続するようお勧めします。これは、インストール プログラムにより設定が簡単になるためです。ただし、ケーブルを最初に接続した場合は、ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するにはを参照してください。

デバイス接続前にソフトウェアをインストールするには (推奨)

1. 実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD のメニューが自動的に起動します。 CD メニューが自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。
3. CD メニューで **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従って操作します。
4. 画面の指示に従って、デバイスの電源を入れ、USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。 コンピュータ画面に **[新しいハードウェアの検出]** ウィザードが表示され、[プリンタ] フォルダにデバイスのアイコンが作成されます。

注記 デバイスを使用する必要があるときに、後から USB ケーブルを接続することもできます。

ローカル共有ネットワークとして知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するにはを参照してください。

ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するには

デバイス ソフトウェアのインストール前にデバイスをコンピュータに接続した場合、画面に **[新しいハードウェアの検出]** ウィザードが表示されます。

注記 デバイスの電源を入れた場合は、インストール プログラム実行中にデバイスの電源を切ったり、ケーブルをデバイスから外さないでください。 これに従わないとインストール プログラムが完了しません。

1. **[新しいハードウェアの検出]** ダイアログ ボックスにプリンタ ドライバを検索する方法が示されたら、[詳細] オプションを選択して **[次へ]** をクリックします。

   注記 **[新しいハードウェアの検出]**ウィザードでドライバの自動検索が実行されないようにしてください。

2. ドライバ位置を指定するチェックボックスを選択し、それ以外のチェックボックスがチェックされていないことを確認します。
3. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD メニューが表示された場合は、CD メニューを閉じます。
4. スタータ CD のルート ディレクトリの場所を指定し (D: など)、**[OK]** をクリックします。
5. **[次へ]** をクリックし、画面の指示に従います。
6. **[完了]** をクリックして **[新しいハードウェアの検出]** ウィザードを閉じます。 ウィザード が自動的に インストール プログラムを開始します (時間がかかることがあります)。
7. インストール プロセスを完了します。

注記 ローカル共有ネットワークとして知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するにはを参照してください。

ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するには

ローカル共有ネットワークでは、デバイスは選択したコンピュータ (サーバ) の USB コネクタに直接接続され、他のコンピュータ (クライアント) と共有されます。

注記 ローカル接続されたデバイスを共有する場合は、最新のオペレーティング システムを使用しているコンピュータをサーバとして使用してください。 例えば、Windows XP を実行しているコンピュータと別のバージョンの Windows を実行しているコンピュータがある場合、Windows XP を実行しているコンピュータをサーバとして使用します。

この構成は、小規模なグループの場合や使用量が少ない場合にのみ使用してください。 多くのユーザーが共有デバイスに印刷すると、接続されているコンピュータの速度は遅くなります。

共有されるのは印刷機能だけです。 スキャン、コピー、およびファックス機能は共有されません。

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. デバイスのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[共有]** タブをクリックします。
3. デバイスを共有するためのオプションを選択し、デバイスの共有名を入力します。
4. 他のバージョンの Windows を使用するクライアント コンピュータとデバイスを共有するには、**[追加ドライバ]** をクリックして、それぞれのバージョンのドライバをインストールできます。 スタータ CD が CD ドライブに挿入されていなければなりません。

ネットワーク接続

デバイスにネットワーク機能がある場合、デバイスをネットワークに直接接続してネットワーク環境で共有できます。 このタイプの接続では、埋め込み Web サーバを使用してネットワーク上のどこからでもデバイスを管理できます。

注記 インストール プログラムを実行するには、お使いのコンピュータに Microsoft Internet Explorer 6.0 がインストールされていなければなりません。

お使いのタイプのネットワークにインストール オプションを選択します :

- **クライアント/サーバ・ネットワーク** : ネットワークに専用プリント サーバとして機能しているコンピュータがある場合、デバイス ソフトウェアをサーバにインストールし、デバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールします。 詳細については、ネットワークにデバイスをインストールするにはおよびデバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするにはを参照してください。 この方法では、デバイスのすべての機能を共有することはできません。 クライアント コンピュータでは、デバイスによる印刷のみ実行できます。
- **ピア ツー ピア ネットワーク** : ピア ツー ピア ネットワークがある場合 (専用プリント サーバのないネットワーク)、デバイスを使用するコンピュータにソフトウェアをインストールします。 詳細については、ネットワークにデバイスをインストールするにはを参照してください。

また、Windows で **[プリンタの追加]** ウィザードを使用すると、両方のタイプのネットワークでネットワーク プリンタに接続することもできます。 詳細については、[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするにはを参照してください。

ネットワークにデバイスをインストールするには

次のようなネットワーク シナリオでは、以下の手順を使用してデバイス ソフトウェアをインストールします。

ピア ツー ピア ネットワークがある場合 (専用プリント サーバのないネットワーク)

1. デバイスのネットワーク ポートから保護カバーを取り外し、デバイスをネットワークに接続します。
2. プリンタ サーバとして機能するコンピュータ システム上で実行中のサードパーティ製のファイアウォールおよびアプリケーションをすべて閉じます。
3. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD のメニューが自動的に起動します。 CD メニューが自動的に起動しない場合、コンピュータの CD ドライブを開き、**[Setup.exe]** をダブルクリックします。
4. CD メニューで **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従います。
5. **[接続の種類]** 画面で **[ワイヤード ネットワーク/ワイヤレス]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
6. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

注記 Windows クライアント コンピュータとデバイスを共有するには、デバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするにはおよびローカル共有ネットワークでデバイスを共有するにはを参照してください。

デバイス ソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするには

プリント サーバとして機能しているコンピュータにプリンタ ドライバをインストールすると、印刷機能を共有できます。 ネットワーク デバイスを使用する個々の Windows ユーザーは、それぞれのコンピュータ (クライアント) にソフトウェアをインストールする必要があります。

クライアント コンピュータは、次の方法でデバイスに接続できます。

- [プリンタ] フォルダで、**[プリンタの追加]** アイコンをダブルクリックし、ネットワーク インストールに関する説明に従います。詳細については、[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするにはを参照してください。
- ネットワーク上のデバイスの位置を参照し、[プリンタ] フォルダにプリンタをドラッグします。
- デバイスを追加し、ネットワーク上の INF ファイルからソフトウェアをインストールします。 スタータ CD の INF ファイルは、CD のルート ディレクトリに格納されています。

[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. **[プリンタの追加]** をダブルクリックし、**[次へ]** をクリックします。
3. **[ネットワーク プリンタ]** または **[ネットワーク プリンタ サーバ]** を選択します。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. 次のいずれかの操作を行います。
   共有デバイスのネットワーク パスまたはキュー名を入力し、**[次へ]** をクリックします。 プリンタ モデルを選択するプロンプトが表示されたら、**[ディスク使用]** をクリックします。
   [次へ] をクリックし、共有プリンタの一覧からデバイスを選択します。
6. **[次へ]** をクリックし、画面の説明に従ってインストールを完了します。

デバイスの構成 (Mac OS)

USB ケーブルを使用して一台の Macintosh コンピュータにデバイスを接続することも、ネットワーク上で他のユーザとデバイスを共有することもできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアをインストールするには
- ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するには

ネットワークまたは直接接続用のソフトウェアをインストールするには

1. USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、設定アイコンをダブルクリックします。 また、スタータ CD でインストーラ フォルダを検索することもできます。
3. **[ソフトウェアのインストール]** をクリックし、画面の指示に従います。
4. 必要に応じて、デバイスを別の Macintosh コンピュータ ユーザと共有します。
   - **直接接続**： デバイスを別の Macintosh コンピュータ ユーザと共有します。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するにはを参照してください。
   - **ネットワーク接続の場合**： ネットワーク上でデバイスを使用する個々の Macintosh ユーザーは、それぞれのコンピュータ (クライアント) にデバイス ソフトウェアをインストールする必要があります。

ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するには

デバイスを直接接続した場合でも、ローカル共有ネットワークとして知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。この構成は、小規模なグループの場合や使用量が少ない場合にのみ使用してください。多くのユーザーが共有デバイスに印刷すると、接続されているコンピュータの速度は遅くなります。

Mac OS 環境でデバイスを共有するための基本的な必要条件：

- Macintosh コンピュータは TCP/IP によりネットワーク上で通信しなければならず、IP アドレスがなければなりません。 (AppleTalk はサポートされていません。)
- 共有されるデバイスは、ホスト Macintosh コンピュータ上の内蔵 USB ポートに接続されていなければなりません。
- 共有デバイスを使用するホスト Macintosh コンピュータとクライアント Macintosh コンピュータの両方にデバイス共有ソフトウェアがインストールされ、デバイス ドライバまたはデバイス PPD がインストールされていなければなりません。 (インストール プログラムを実行して、デバイス共有ソフトウェアと関連のヘルプ ファイルをインストールできます。)

USB デバイス共有についての詳細は、Apple Web サイト (www.apple.com)、またはコンピュータの Apple Macintosh Help を参照してください。

Mac OS を実行中のコンピュータでデバイスを共有するには

1. デバイスに接続されているすべての Macintosh コンピュータ (ホストおよびクライアント) のプリンタ共有をオンにします。 使用している OS のバージョンに応じて、次のいずれかの操作を行います。
   • **Mac OS 10.3**： **[システム環境設定]** を開き、**[プリントとファックス]** をクリックし、**[プリンタをほかのコンピュータと共有する]** チェックボックスをオンにします。
   • **Mac OS 10.4**： **[システム環境設定]** を開き、**[プリントとファックス]** をクリックし、**[共有]** タブをクリックし、**[これらのプリンタをほかのコンピュータと共有する]** チェック ボックスをオンにし、共有するプリンタを選択します。
2. ネットワーク上の他の Macintosh コンピュータ (クライアント) から印刷するには、次の手順に従います。
   a. 印刷するドキュメントで、**[ファイル]** をクリックし、**[用紙設定]** を選択します。
   b. **[対象プリンタ]** の横にあるドロップダウン メニューで、**[共有プリンタ]** を選択し、使用するデバイスを選択します。
   c. **[用紙サイズ]** を選択し、**[OK]** をクリックします。
   d. ドキュメントで、**[ファイル]** をクリックし、**[プリント]** を選択します。
   e. **[プリンタ]** の横にあるドロップダウン メニューで、**[共有プリンタ]** を選択し、使用するデバイスを選択します。
   f. 必要に応じて追加の設定を行い、**[プリント]** をクリックします。

デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)

デバイスのワイヤレス通信は、次のいずれかの方法でセットアップすることができます。

ワイヤレス通信モード	**インフラストラクチャ**	**アドホック***
コントロール パネル	✔	✔
ネットワーク ケーブル 詳細については、ワイヤレス ネットワークでデバイスをセットアップするには (Mac OS)またはインストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)を参照してください。	✔	✔

(続き)

SecureEasySetup (SES) 詳細については、SecureEasySetup (SES) を使用してワイヤレス通信をセットアップするにはを参照してください。	✔	

* アドホック ネットワークは、スタータ CD のワイヤレス接続ユーティリティを使用してセットアップすることができます。

注記 問題が発生した場合は、ワイヤレス通信に関連する問題の解決 を参照してください。

ワイヤレス接続でデバイスを使用するには、スタータ CD からインストール プログラムを最低 1 回実行して、ワイヤレス接続を作成しなければなりません。

デバイスがネットワーク ケーブルを使用してネットワーク接続されていないことを確認します。

送信デバイスには内蔵 802.11 機能があるか、または 802.11 ワイヤレス カードがインストールされていなければなりません。

デバイスとデバイスを使用するコンピュータは、同じサブネット上にある必要があります。

デバイス ソフトウェアをインストールする前に、ネットワークの設定を確認しておいてください。 システム管理者に問い合わせるか、または以下の作業を行います :

- ネットワークのネットワーク名または Service Set Identifier (SSID) と通信モード (インフラストラクチャまたはアドホック) を、ネットワークのワイヤレス アクセス ポイント (WAP) の構成ユーティリティ、またはコンピュータのネットワーク カードから取得します。
- ネットワークで使用する暗号化タイプを見つけます (Wired Equivalent Privacy (WEP) など)。
- ワイヤレス デバイスのセキュリティ パスワード、または暗号化キーを見つけます。

802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解

ネットワーク名 (SSID)

デフォルトでは、デバイスはワイヤレス ネットワーク名、または "hpsetup" という名前の Service Set Identifier (SSID) を探します。 お使いのネットワークには、異なる SSID があることがあります。

通信モード

通信モードには 2 つのオプションがあります :

- **アドホック**： アドホック ネットワーク上では、デバイスはアドホック通信モードに設定され、WAP を使用しないでその他のワイヤレス デバイスと直接通信します。
  アドホック ネットワーク上のデバイスはすべて次のとおりでなければなりません :
  - 802.11 互換
  - 通信モードがアドホックである
  - 同じネットワーク名 (SSID) である
  - 同じサブネットと同じチャンネル上にある
  - 同じ 802.11 セキュリティ設定がある
- **インフラストラクチャ (推奨)**： インフラストラクチャ ネットワークでは、デバイスはインフラストラクチャ通信モードに設定され、デバイスがワイヤードかワイヤレスかに関係なく、デバイスは WAP を通じてネットワーク上の他のデバイスと通信します。 WAP は一般的には、小さなネットワーク上でルーター、またはゲートウェイとして機能します。

セキュリティ設定

注記 デバイスで利用可能な設定については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

ワイヤレス セキュリティの詳細については、www.weca.net/opensection/pdf/whitepaper_wi-fi_security4-29-03.pdf を参照してください。

- **ネットワーク認証**： デバイスの出荷時のデフォルト設定は 'Open' で、これは認証や暗号化にセキュリティを必要としません。 他には 'OpenThenShared'、'Shared'、'WPA-PSK' (Wi-Fi® Protected Access Pre-Shared Key) などの値があります。
  WPA はネットワーク上のデータ保護のレベルと、既存および将来の Wi-Fi ネットワークのアクセス コントロールを向上させます。 802.11 基準のオリジナルのネイティブ セキュリティ機構である、WEP の既存の弱点に対応しています。

WPA2 は第二世代の WPA セキュリティで、認証を受けたユーザしかワイヤレス ネットワークにアクセスできないようにして、企業や Wi-Fi ユーザに高レベルの安全を提供します。

- **データの暗号化**：
  - Wired Equivalent Privacy (WEP) では、あるワイヤレス デバイスから別のワイヤレス デバイスにラジオ波上で送信するデータを暗号化することで、セキュリティを提供します。 WEP 対応のネットワーク上のデバイスは、WEP キーを使用してデータを暗号化します。 ネットワークで WEP を使用している場合、使用する WEP キーを知っている必要があります。
  - WPA では暗号化に、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) を現在使用可能な標準 Extensible Authentication Protocol (EAP) タイプの 1 つと共に使用し、802.1X 認証を採用しています。
  - WPA2 によって新しい暗号化スキームである Advanced Encryption Standard (AES) が提供されます。 AES は 暗号文ブロック連鎖モード (CCM) で定義され、Independent Basic Service Set (IBSS) をサポートして、アドホック モードで動作しているクライアント ワークステーション間のセキュリティを可能にします。

コントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには

ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用すると、デバイスへのワイヤレス接続を簡単に設定したり、管理したりできます。

注記 この方法を使用するには、ワイヤレス ネットワークがセットアップおよび実行されている必要があります。

1. デバイス ハードウェアをセットアップします (デバイスに付属のセットアップ ガイドまたはセットアップ ポスターを参照)。
2. コントロール パネルの **[セットアップ]** ボタンを押します。
3. 矢印ボタンを押して [**ネットワーク**] に移動し、**[OK]** を押します。
4. 矢印ボタンを押して [**ウィザード**] に移動し、**[OK]** を押します。
5. 画面の指示に従って、セットアップを完了します。

インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)

この方法では、ネットワークがセットアップおよび実行されている必要があります。

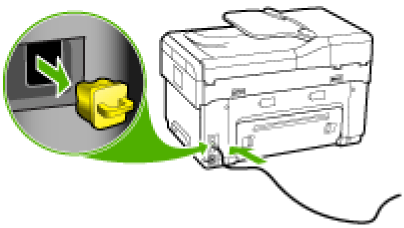
1. デバイス ハードウェアを設定します (セットアップ ガイドを参照)。
2. デバイスのネットワーク ポートから保護カバーを取り外します。
3. コンピュータで実行中のアプリケーションをすべて終了します。

4. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。CD のメニューが自動的に起動します。 CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。
5. CD メニューで **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従って操作します。
6. **[接続の種類]** 画面で **[ワイヤレス]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。

    注記 デバイスが検出できなかった場合は、一時的にネットワーク ケーブルを使用してデバイスと通信し、デバイスのワイヤレス設定を構成することもできます。

    ワイヤレス接続を確立できない場合は、次の手順に従って一時的にプリンタをネットワークに接続します。

    a. Ethernet ケーブルを使用してデバイスをネットワークに一時的に接続します。

    b. 画面に表示される指示に従って、ケーブルを取り外します。
7. **[ネットワーク名 (SSID) の選択]** 画面で、**[検出されたワイヤレス ネットワーク名 (SSID) の選択]** をクリックしてワイヤレス ネットワークを選択するか、**[ワイヤレス ネットワークの指定]** をクリックして新しいネットワーク名を入力します。
8. 新しいネットワーク名の入力を選択した場合は、コントロール パネルでネットワーク名を入力し、**[完了]** を押します。

    注記 入力した SSID が見つからない場合は、セキュリティ情報を指定するよう求められます。 ネットワークで暗号化を使用していない場合、セットアップは SSID を確認してから処理を続行します。
9. 名前を指定したネットワークにデバイスが接続できない場合は、画面の指示に従って適切な WEP キーまたは WPA パスフレーズをキーパッドで入力し、**[完了]** を押します。

注記 作業が終了したら、Ethernet ケーブルを取り外します。

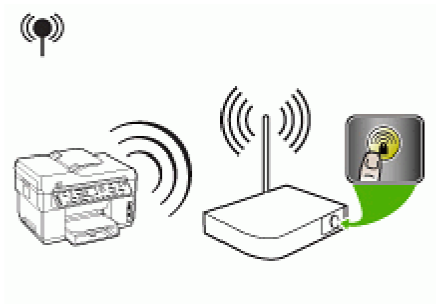
SecureEasySetup (SES) を使用してワイヤレス通信をセットアップするには

お使いのワイヤレス ルータが SES 互換の場合は、SES を使用してセットアップする以下の指示を参照してください。

注記 この方法を使用するには、SecureEasySetup とのワイヤレス アクセス ポイントが必要です。 アクセス ポイントは SecureEasySetup モードに設定します。 詳細については、アクセス ポイントのマニュアルを参照してください。

---

1. ワイヤレス ルータの SES ボタンを押します。



2. 2 分以内に、**[セットアップ]** を押します。 2 行ディスプレイのデバイスの場合は、[**ネットワーク**] を選択し、[**ワイヤレス セットアップ ウィザード**] を選択し、[**SecureEasySetup**] を選択して、画面の指示に従います。
3. 2 分ほど待ってから、デバイスの自己診断テスト ページを印刷し、SES 設定がルータのワイヤレス設定と一致していることを確認します。

   注記 接続が確立できない場合は、デバイスのネットワーク設定をリセットするか、ワイヤレス設定を変更して、この手順を繰り返す必要があります。 詳細については、ワイヤレス通信に関連する問題の解決を参照してください。

   ---

4. コンピュータで実行中のアプリケーションをすべて終了します。
5. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。CD のメニューが自動的に起動します。CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。
6. CD メニューで **[インストール]** をクリックし、画面の指示に従って操作します。
7. **[接続の種類]** ダイアログで **[ワイヤード ネットワーク/ワイヤレス]** を選択し、画面の指示に従います。

ワイヤレス ネットワークでデバイスをセットアップするには (Mac OS)

1. デバイス ハードウェアを設定します (セットアップ ガイドを参照)。
2. AirPort カードがコンピュータにインストールされていることを確認してください。
3. コンピュータで実行中のアプリケーションをすべて終了します。
4. [ユーティリティ] フォルダから **[AirPort Setup Assistant]** を開きます。ワイヤレス ネットワーク上での設定の詳細については、AirPort の説明書を参照してください。
5. アドホック ネットワークの場合は、メニュー バーで **[AirPort]** アイコンをクリックし、**[Computer to Computer Networks]** で [hpsetup] を選択します。 ワイヤレス ネットワークの場合は、**[AirPort]** アイコンをクリックし、**[その他]** をクリックしてネットワークに参加します。
6. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。CD のメニューが自動的に起動します。CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。
7. CD メニューで **[ソフトウェアのインストール]** をクリックし、画面の指示に従って操作します。
8. **[接続の種類]** 画面で、ワイヤレス ネットワーク オプションを選択し、**[完了]** をクリックします。
9. **[ネットワーク プリンタ セットアップ ユーティリティ]** の画面上の指示に従います。これは自動的に起動してプリンタ ドライバをインストールします。

ワイヤレス通信をオフにするには

コントロール パネルで、**[セットアップ]** を押し、[**ネットワーク メニュー**] を選択し、[**ワイヤレス**] を選択し、[**オン**] または [**オフ**] を選択します。

ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドライン

以下のヒントは、ワイヤレス ネットワークでのノイズの発生を減少するのに役立ちます。

- 無線シグナルを混乱させる原因となることがあるため、ワイヤレス デバイスをファイル キャビネットなどの大きな金属性の物体や電子レンジやコードレス電話などそれ以外の電磁デバイスから離しておきます。
- 大きな石造構造やそれ以外の建築構造は無線波を吸収してシグナル強度を弱めることがあるため、ワイヤレス デバイスをこれらの構造から離しておきます。
- インフラストラクチャ ネットワークでは、WAP をネットワーク上のワイヤレス デバイス間の中心位置に置きます。
- ネットワーク上のワイヤレス デバイスをすべて至近距離に置きます。

ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン

- ハードウェア アドレスを WAP に追加するには
- その他のガイドライン

ハードウェア アドレスを WAP に追加するには

MAC フィルタリングはセキュリティ機能で、WAP を通じてネットワークへアクセスできるデバイスの MAC アドレス (ハードウェア アドレスとも呼ばれる) のリストを WAP で構成します。

ネットワークにアクセスしようしているデバイスのハードウェア アドレスが WAP にない場合、WAP はネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。

WAP が MAC アドレスをフィルタすると、デバイスの MAC アドレスは WAP の容認された MAC アドレスのリストに追加されなければなりません。

1. ネットワーク設定ページを印刷します。 ネットワーク設定ページの詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
2. WAP の構成ユーティリティを開き、デバイスのハードウェア アドレスを容認された MAC アドレスのリストに追加します。

その他のガイドライン

ワイヤレス ネットワークをセキュアに保つには、以下のガイドラインに従います :

- パスワードには最低 20 のランダム文字を使用します。 WPA パスワードでは、63 文字まで使用できます。
- よくある語句、簡単な文字の順序 (すべて 1 など)、および個人的にわかりやすい情報は、パスワードには使用しないでください。 大文字と小文字、数字、そして許可されている場合には句読点などの特殊文字から構成された、ランダムな文字列を常に使用してください。
- パスワードは定期的に変更します。
- アクセス ポイントやワイヤレス ルータへの管理者アクセス用にメーカーから提供されたデフォルト パスワードは変更します。 管理者名を変更できるルータもあります。
- アクセス ポイントやルータは、窓の近くではなく、部屋の中央に置きます。
- ワイヤレス上での管理者アクセスは、できればオフにします。 こうすると、構成を変更する場合にはワイヤ Ethernet 接続を使用してルータに接続する必要があります。

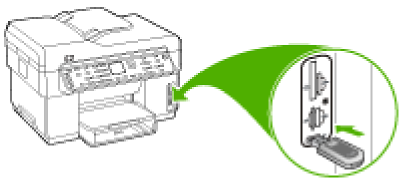
- できれば、ルータへのインターネット上のリモート管理者アクセスはオフにします。 Remote Desktop を使用して、ルータで起動しているコンピュータへ暗号化された接続を行い、インターネット上でアクセスしているローカル コンピュータから構成変更を行うことができます。
- 他者の'ワイヤレス ネットワークへ間違って接続することを防ぐため、推奨されていないネットワークへ自動的に接続する設定をオフにします。 これは、Windows XP ではデフォルトで無効にされています。

デバイスの Bluetooth 通信のセットアップ

HP Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタを使うと、Bluetooth デバイスからケーブルで接続せずに、ドキュメントを印刷できます。 デバイス前面の USB ポートに HP Bluetooth アダプタを差し込むだけで、PDA やカメラ付き携帯電話などの Bluetooth デバイスから印刷できます。 Bluetooth テクノロジを使用して、コンピュータからデバイスに印刷することもできます。

コントロール パネルからデバイスの Bluetooth 通信をセットアップするには

1. HP Bluetooth アダプタを前面の USB ポートに挿入します (下図を参照)。



2. Bluetooth デバイスには、互いに通信して接続を確立するときに、アドレスを交換するものがあります。 また、Bluetooth デバイスによっては、接続時に他のデバイスの名前を表示するものがあります。 デバイスの名前としてデフォルト名を表示しない場合は、デバイス名を変更できます。
必要に応じて、以下の操作を行います。

デバイスのアドレスを見つけるには

a. **[セットアップ]** を押します。
b. [**Bluetooth**] を選択し、[**デバイスのアドレス**] を選択します。 デバイスのアドレスが表示されます。この情報は読み取り専用です。
c. アドレスをオールインワン デバイスに入力するには、Bluetooth デバイスに同梱されている指示に従って操作してください。

デバイス名をデフォルトから変更するには

a. **[セットアップ]** を押します。

b. [**Bluetooth**] を選択し、[**デバイス名**] を選択します。

> **注記** お使いのデバイスには、出荷時に [**Officejet L7XXX Series**] という名前が設定されています。

c. キーパッドを使って新しい名前を入力します。

d. デバイスの名前を入力したら、**[OK]** を押します。
デバイスに接続して印刷するときに、入力した名前が Bluetooth デバイスに表示されます。

3. **[OK]** を押して、セットアップ メニューを終了します。

埋め込み Web サーバでデバイスの Bluetooth 通信をセットアップするには

▲ 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックし、各セクションの必須フィールドを設定し、**[適用]** をクリックします。

埋め込み Web サーバでデバイス名をデフォルトから変更するには

▲ 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックし、**[デバイス名]** フィールドに新しい名前を入力し、**[適用]** をクリックします。

Bluetooth によるデバイスの接続

Bluetooth 接続でも、USB 接続と同じ多くの印刷機能を利用できます。 たとえば、デバイスの状態やインク カートリッジの推定インク残量を確認することができます。

> **注記** Bluetooth で使用可能な唯一のソフトウェア機能は、印刷です。Bluetooth 接続で、スキャンとソフトウェアによるファックスの送受信を行うことはできません。 ただし、単独でのコピーとファックス機能は使用できます。

Windows での Bluetooth によるデバイスの接続

デバイスに接続するには、Windows XP を実行し、Microsoft Bluetooth プロトコル スタックまたは Widcomm/Broadcom Bluetooth プロトコル スタックのどちらかをインストールしておく必要があります。 コンピュータに Microsoft スタックと Widcomm/Broadcom スタックの両方をインストールす

ることは可能ですが、デバイスへの接続に使用できるのはどちらか 1 つのみです。

- **Microsoft スタック**： お使いのコンピュータに Windows XP Service Pack 2 がインストールされていれば、Microsoft Bluetooth プロトコル スタックもインストール済みです。 外部 Bluetooth アダプタは Microsoft スタックにより自動的にインストールされます。 お使いの Bluetooth アダプタが Microsoft スタックに対応しているのにアダプタが自動的にインストールされない場合は、Microsoft スタックが元々コンピュータに入っていないことが考えられます。 Bluetooth アダプタの Microsoft スタックへの対応状況については、アダプタ付属のマニュアルをご確認ください。
- **Widcomm/Broadcom スタック**： Bluetooth 内蔵の HP コンピュータをご使用の場合、または HP Bluetooth アダプタをすでにインストールしている場合は、Widcomm/Broadcom スタックもインストール済みです。 HP コンピュータに HP Bluetooth アダプタを差し込んで使用している場合、アダプタは Widcomm/Broadcom スタックにより自動的にインストールされます。

Microsoft スタックによりインストールおよび印刷を行うには

注記 コンピュータにデバイス ソフトウェアがインストールされていることを確認します。 このソフトウェアをインストールする目的は、Bluetooth 接続のためのプリンタ ドライバを使用できるようにしておくためです。 このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、再インストールの必要はありません。 デバイスに対して USB 接続と Bluetooth 接続の両方を使用する場合は、最初に USB 接続をインストールします。 詳細については、直接接続を参照してください。 USB 接続を使用しない場合は、**[接続タイプ]** 画面で **[このコンピュータに直接接続]** を選択します。 更に、**[デバイスを今すぐ接続]** 画面で、**[デバイスをお使いのコンピュータに接続できない...]** の横のチェックボックスを選択します。

1. HP Bluetooth アダプタをデバイス前面の USB ポートに接続します。
2. 外部 Bluetooth アダプタを使用する場合は、コンピュータが起動しており、Bluetooth アダプタをコンピュータの USB ポートに接続していることを確認します。 Service Pack 2 搭載の Windows XP がインストールされている場合は、Bluetooth ドライバも自動的にインストールされます。 Bluetooth プロファイルの選択画面が表示されたら、**[HCRP]** を選択します。
   コンピュータに Bluetooth が内蔵されている場合は、コンピュータが起動していることを確認します。
3. Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
4. **[プリンタの追加]** アイコンをダブルクリックします。
5. **[次へ]** をクリックし、次に **[Bluetooth プリンタ]** を選択します。

6. 画面に表示される指示に従って、インストールを行います。
7. 目的のプリンタで印刷を行います。

Widcomm/Broadcom スタックによりインストールおよび印刷を行うには

1. コンピュータにデバイス ソフトウェアがインストールされていることを確認します。
2. HP Bluetooth アダプタを前面の USB ポートに接続します。
3. デスクトップまたはタスクバーの **[My Bluetooth Places]** アイコンをクリックします。
4. **[範囲内のデバイスの検索]** をクリックします。
5. 使用可能なデバイスが検出されたら、デバイスの名前をダブルクリックしてインストールを完了します。
6. 目的のデバイスで印刷を行います。

Mac OS での Bluetooth によるデバイスの接続

デバイスを Bluetooth 内蔵の Mac に接続するか、外部 Bluetooth アダプタを取り付けることができます。

Bluetooth を使用してインストールおよび印刷を行うには

注記　Mac Bluetooth は OS で有効にする必要があります。 確認するには、**[システム環境設定]** を開き、**[ネットワーク]** をクリックし、**[ネットワーク ポート構成]** を選択し、**[Bluetooth]** がオンになっていることを確認します。

1. コンピュータにデバイス ソフトウェアがインストールされていることを確認します。
2. HP Bluetooth アダプタをデバイス前面の USB ポートに接続します。
3. コントロール パネルの **[電源]** ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度ボタンを押して電源を入れます。
4. コンピュータに HP Bluetooth アダプタを接続し、アダプタの電源を入れます。 コンピュータにアダプタ付属のソフトウェアがインストールされていることを確認します。 コンピュータに Bluetooth が内蔵されている場合は、コンピュータの電源だけを入れてください。
5. **[プリンタ設定ユーティリティ]** を開きます。
6. **[プリンター覧]** で、**[追加]** をクリックします。
   デバイスの検索が開始されます。
7. 使用している Mac OS のバージョンに応じて、次のいずれかの操作を行います。
   - ▲ **Mac OS 10.3**： プルダウン メニューから **[Bluetooth]** を選択します。
   - ▲ **Mac OS 10.4**： **[デフォルト ブラウザ]** タブで、接続の種類として **[Bluetooth]** が選択されていることを確認します。

8. プルダウン メニューから **[Bluetooth]** を選択します。 オールインワン デバイスを選択し、**[追加]** をクリックします。
   デバイス一覧にオールインワン デバイスが追加されます。
9. 目的のデバイスで印刷を行います。

デバイスの Bluetooth のセキュリティ設定

コントロール パネルのメニューまたは埋め込み Web サーバのいずれかで、次のデバイスのセキュリティ設定を有効にすることができます。

- Bluetooth デバイスからデバイスで印刷しようとすると、パスキー認証を要求します。
- 通信範囲内にある Bluetooth デバイスでのデバイスの表示/非表示を切り替えます。

パスキーを使用した Bluetooth デバイスの認証

デバイスのセキュリティ レベルを [高] または [低] に設定できます。

- [低]： デバイスはパスキーを要求しません。 通信範囲内のすべての Bluetooth デバイスから印刷できます。

  注記 デフォルトのセキュリティ設定は [低] です。 低レベル セキュリティでは、認証が要求されません。

- [高]： デバイスは、Bluetooth デバイスが印刷ジョブを送信するのを許可する前に、パスキーを要求します。 パスキーは 1～4 文字で数字のみで構成する必要があります。

  注記 デバイスでは、出荷時にあらかじめ 4 つのゼロのパスキー "0000" が定義されています。

コントロール パネルでデバイスがパスキー認証を要求するように設定するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**Bluetooth**] を選択し、**[パスキー]** を選択します。
3. キーパッドを使って新しいパスキーを入力します。
4. パスキーを入力したら、**[OK]** を押します。
5. **[セキュリティ レベル]** を選択し、[高] を選択します。
6. **[OK]** を押します。
   セキュリティ レベルが高い場合、認証が必要です。
   これで、デバイスにパスキー認証が設定されます。

埋め込み Web サーバでデバイスがパスキー認証を要求するように設定するには

▲ 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックし、[パスキー] セクションに新しいパスキーを入力し、[セキュリティ レベル] セクションで **[高]** をクリックし、**[適用]** をクリックします。

Bluetooth デバイスでのデバイスの表示/非表示を設定するには

デバイスを Bluetooth デバイスで表示できるようにする (パブリック) か、すべてに非表示 (プライベート) にするように設定できます。

- [**表示する**]： 範囲内のどの Bluetooth デバイスからでも、デバイスを使って印刷できます。
- [**表示しない**]： オールインワン デバイスのデバイス アドレスを記憶している Bluetooth デバイスだけが印刷できます。

注記 お使いのデバイスには、出荷時にデフォルトのアクセス レベル [**表示する**] が設定されています。

コントロール パネルからデバイスを非表示に設定するには

1. コントロール パネルの **[セットアップ]** を押します。
2. [**Bluetooth**] を押し、[**表示**] を押します。
3. 矢印ボタンを使用して [**表示しない**] を選択し、**[OK]** を押します。
   オールインワン デバイスは、デバイス アドレスを記憶していない Bluetooth デバイスからは利用できません。

埋め込み Web サーバからデバイスを非表示に設定するには

▲ 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックし、**[表示]** セクションの **[表示しない]** を選択し、**[適用]** をクリックします。

埋め込み Web サーバでの Bluetooth 設定のリセット

デバイスの Bluetooth 設定を工場出荷時のデフォルトにリセットするには、次の手順に従います。

1. 埋め込み Web サーバを開き、**[Bluetooth]** タブをクリックします。
2. [Bluetooth のリセット] セクションで **[Bluetooth のリセット]** をクリックし、**[適用]** をクリックします。

ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが不完全な場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールする必要があります。 デバイスのアプリケーション ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。 デバイス付属のソフトウェアをインストールしたときに追加されたア

ンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

ソフトウェアのアンインストール方法は、Windows コンピュータの場合は 3 種類、Macintosh コンピュータの場合は 1 種類あります。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1

1. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。
2. **[電源]** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
3. Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** を選択します。次に、**[HP]** を選択し、**[Officejet Pro L7XXX Series]** を選択して、**[アンインストール]** をクリックします。
4. 画面上の指示に従って操作してください。
5. 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**[いいえ]** をクリックします。
   共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
6. コンピュータを再起動します。
7. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、画面の指示に従います。デバイス接続前にソフトウェアをインストールするには (推奨)も参照してください。
8. ソフトウェアのインストールが完了したら、デバイスをコンピュータに接続します。
9. **[電源]** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
   デバイスを接続し、電源を入れると、すべてのプラグ アンド プレイ イベントが完了するまでに数分待たなければならないこともあります。
10. 画面上の指示に従って操作してください。

ソフトウェアのインストールが完了したら、Windows システム トレイに **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンが表示されます。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[設定]** を選択し、**[コントロール パネル]** を選択して、**[プログラムの追加と削除]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プログラムと機能]** をダブルクリックします。
2. **[HP Officejet Pro All-in-One Series]** を選択し、**[変更と削除]** または **[アンインストールと変更]** をクリックします。
   画面上の指示に従って操作してください。
3. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。
4. コンピュータを再起動します。

   注記 コンピュータを再起動する前にデバイスとコンピュータとの接続を解除することが重要です。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。

5. コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
6. 画面上の指示に従って操作します。デバイス接続前にソフトウェアをインストールするには (推奨)も参照してください。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 3

注記 この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
2. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。
3. **[アンインストール]** を選択して、画面上の指示に従って操作します。
4. コンピュータを再起動します。

   注記 コンピュータを再起動する前にデバイスとコンピュータとの接続を解除することが重要です。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。

5. デバイスのセットアップ プログラムをもう一度起動します。
6. **[インストール]** を選択します。
7. 画面上の指示に従って操作します。デバイス接続前にソフトウェアをインストールするには (推奨)も参照してください。

Macintosh コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールするには

1. **[HP デバイス マネージャ]** を起動します。
2. **[情報と設定]** をクリックします。

3. プルダウン メニューから **[HP AiO ソフトウェアのアンインストール]** を選択します。
画面上の指示に従ってください。
4. ソフトウェアのアンインストールが完了したら、コンピュータを再起動します。
5. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入します。
6. デスクトップで、CD-ROM を開き、**[HP All-in-One インストーラ]** をダブルクリックします。
7. 画面上の指示に従って操作します。デバイス接続前にソフトウェアをインストールするには (推奨)も参照してください。

10 保守とトラブルシューティング

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- サポートされているインク カートリッジ
- インク カートリッジの交換
- プリントヘッドのメンテナンス
- 印刷サプライ品の保管
- デバイスのクリーニング
- トラブルシューティング ヒントとリソース
- 印刷上の問題の解決
- 印刷品質の不良と予期しないプリント結果
- 給紙の問題の解決
- コピーの問題の解決
- スキャンの問題の解決
- ファックスの問題の解決
- 写真 (メモリ カード) の問題の解決
- 本体の管理に関する問題の解決
- インストールの問題のトラブルシューティング
- メディア詰まりの除去

サポートされているインク カートリッジ

利用可能なインク カートリッジは、国/地域によって異なります。 インク カートリッジにはさまざまなサイズがあります。 お使いのデバイスでサポートされているインク カートリッジの一覧については、自己診断テスト ページを印刷し、インク カートリッジの状態セクションの情報をお読みください (詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください)。

カートリッジ番号は次の場所で確認できます。

- セルフ テスト診断ページ (自己診断テスト ページの理解を参照)。
- 交換するインク カートリッジのラベル。
- **[Windows]**： 双方向通信を行っている場合は、**[ツールボックス]** の **[推定インク レベル]** タブをクリックし、**[カートリッジの詳細]** ボタンが表示されるまでスクロールします。次に、**[カートリッジの詳細]** をクリックします。
- **Mac OS**： **HP プリンタ ユーティリティの [情報とサポート]** パネルの **[サプライ製品情報]** をクリックし、**[市販サプライ品情報]** をクリックします。

注記 カートリッジのインクは、デバイスとカートリッジの準備を行う初期化プロセスと、プリンタのノズルをきれいに保ち、インクの流れをスムーズにするプリントヘッドサービスを含むさまざまな印刷プロセスに使用されます。 また、カートリッジ使用後インクが少しカートリッジに残ります。詳細については、www.hp.com/go/inkusage を参照してください。

インク カートリッジの交換

予想インク量はツールボックス (Windows)、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)、または埋め込み Web サーバから確認できます。 これらのツールの使用情報については、デバイス管理ツールの使用 を参照してください。 自己診断テスト ページを印刷してこの情報を表示することもできます (自己診断テスト ページの理解を参照)。

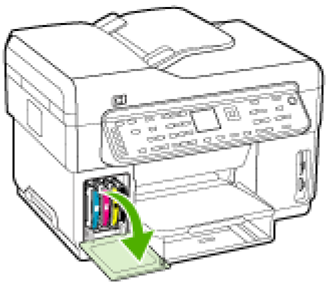
注記 表示されるインク残量は予測でしかありません。 実際のインク残量とは異なる場合があります。

カートリッジをパッケージから取り出したら、すぐに取り付けてください。 カートリッジをプリンタから長時間外したままにしないでください。

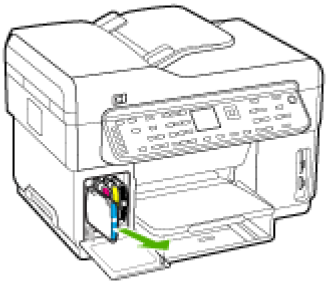
お使いのプリンタと使用するインク カートリッジについては、サプライ品を参照してください。

インク カートリッジを交換するには

1. インク カートリッジ カバーをゆっくりと開きます。



2. 交換の必要なインク カートリッジを、親指と人差し指ではさんで手前に引き、取り外します。



3. パッケージから新しいインク カートリッジを取り出します。
4. カートリッジをカラーコードされたスロットに揃え、カートリッジをスロットに挿入します。 正しく接するようにカートリッジをしっかりと押し下げます。
5. インク カートリッジ カバーを閉じます。

プリントヘッドのメンテナンス

印刷された文字が完全でないときや、プリント結果から点や行が抜けているときは、インク ノズルが詰まっているか、プリントヘッドのクリーニングが必要です。

プリント結果が落ちた場合は、以下の順序で該当のステップを完了します：

1. プリントヘッドの状態を確認します。 詳細については、プリントヘッドの状態を確認するにはを参照してください。
2. きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。 問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。 詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。
3. プリント ヘッド コンタクトを手動でクリーニングします。 詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。
4. クリーニングを行っても問題が解決しない場合は、プリントヘッドを交換します。 詳細については、プリントヘッドを交換するにはを参照してください。

△ **注意** プリントヘッドを改造したために生じた製品の損傷については、HP は責任を負いかねます。

プリントヘッドの状態を確認するには

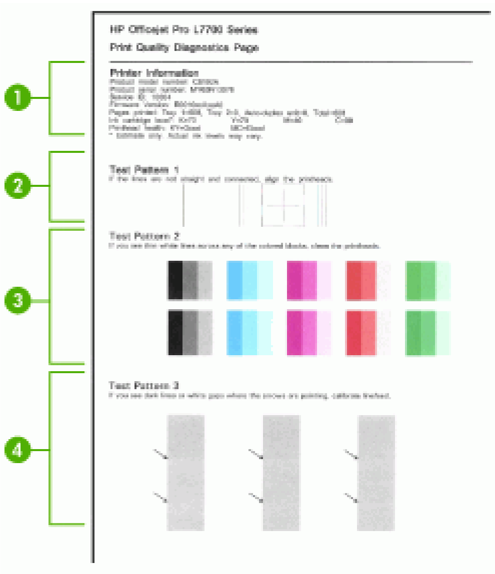
以下のいずれかの方法を使用して、プリントヘッドの状態を確認します。 プリントヘッドのどれかの状態があまりよくない場合は、メンテナンス機能のいずれかを実行するか、またはプリントヘッドをクリーニングします。

- **自己診断テスト ページの印刷**： きれいな白い用紙に自己診断テスト ページを印刷し、プリントヘッドの状態セクションを確認します。 詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。
- **埋め込み Web サーバ**： 埋め込み Web サーバを開きます。 詳細については、埋め込み Web サーバを開くにはを参照してください。 **[情報]** タブをクリックし、左枠の **[インク サプライ品]** をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： ツールボックスを開きます。 詳細については、ツールボックスを開くにはを参照してください。 **[情報]** タブをクリックし、**[プリントヘッド状態]** をクリックします。

印刷品質診断ページを印刷するには

印字品質診断ページを使用して、製品の印字品質に影響を与える問題を診断します。 これにより、印刷出力を改善するためにメンテナンス ツールを実行する必要があるかどうかを判断できます。 診断ページには、インク量情報やプリントヘッドの状態も表示されます。

- **コントロールパネル**： **[セットアップ]** ボタンを押し、[**レポートの印刷**] を選択し、[**印刷品質ページ**] を選択して **[OK]** を押します。
- **埋め込み Web サーバ**： **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[デバイス サービス]** をクリックします。次に、**[印刷品質]** セクションのドロップダウンリストから **[PQ (印刷品質) 診断ページを印刷する]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[PQ (印字品質) 診断ページの印刷]** をクリックして画面の指示に従います。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[PQ (印刷品質) 診断ページを印刷する]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックします。



1	**プリンタの情報**： 本製品の情報 (製品モデル番号、シリアル番号、およびファームウェア バージョン番号など)、トレイと両面印刷ユニットから印刷されたページ数、インクの残量についての情報やプリントヘッドの状態が表示されます。
2	**テスト パターン 1**： 線が直線でなかったりつながっていない場合は、プリントヘッドの位置調整を行います。 詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。
3	**テスト パターン 2**： 色のついたブロックのどれかに細い白線がある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行います。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。
4	**テスト パターン 3**： 矢印の向いている箇所に濃い線や白のギャップがある場合は、ライン フィード キャリブレーションを行います。 詳細については、ライン フィード キャリブレーションを行うにはを参照してください。

プリントヘッドの位置を調整するには

プリントヘッドを交換するたびに、最高の印字品質を得るためにプリントヘッドの位置調整が自動的に行われます。 ただし、印刷ページでプリントヘッ

ドが位置調整されていないように見える場合は、手動で調整プロセスを開始できます。

- **コントロールパネル**： **[セットアップ]** ボタンを押し、[**ツール**] を選択し、[**プリンタ位置の調整**] を選択し、**[OK]** を押します。 調整が終了したら、**[OK]** を押して続行します。
- **埋め込み Web サーバ**： **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[デバイス サービス]** をクリックします。次に、**[印刷品質]** セクションのドロップダウンリストから **[プリントヘッドのアライニング]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[プリントヘッドの位置調整]** をクリックして画面の指示に従います。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[位置調整]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックします。

ライン フィード キャリブレーションを行うには

- **コントロールパネル**： **[セットアップ]** ボタンを押し、[**ツール**] を選択し、[**改行を校正する**] を選択し、**[OK]** を押します。
- **埋め込み Web サーバ**： **[設定]** タブをクリックし、左枠で **[デバイス サービス]** をクリックし、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[改行を校正する]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[ラインフィードのキャリブレーション]** をクリックして画面の指示に従います。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[ラインフィードのキャリブレーション]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックします。

プリントヘッドをクリーニングするには

注記 クリーニングにはインクが使用されるため、プリントヘッドのクリーニングは必要な場合しか行わないでください。

クリーニングには最高 3.5 分間かかります。 処理中に雑音が発生することがあります。

- **コントロールパネル**：**[セットアップ]** ボタンを押し、[**ツール**] を選択し、[**プリントヘッドのクリーニング**] を選択します。
- **埋め込み Web サーバ**： **[デバイス設定]** タブをクリックし、左枠で **[デバイス サービス]** をクリックします。次に、**[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[プリントヘッドのクリーニング]** を選択し、**[診断を実行する]** をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[プリントヘッドのクリーニング]** をクリックして画面の指示に従います。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[クリーニング]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックします。

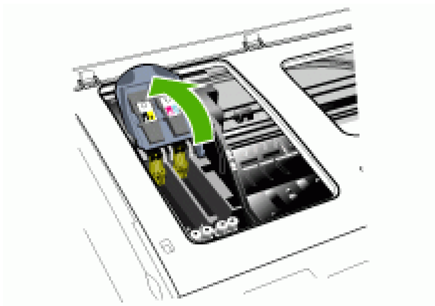
プリントヘッド コンタクトを手動でクリーニングするには

プリントヘッドを取り付けた後、印刷が行われないことを示すメッセージがコントロール パネルに表示される場合があります。 このメッセージが表示された場合は、プリントヘッドおよびデバイス内の電気コンタクトのクリーニングを行います。

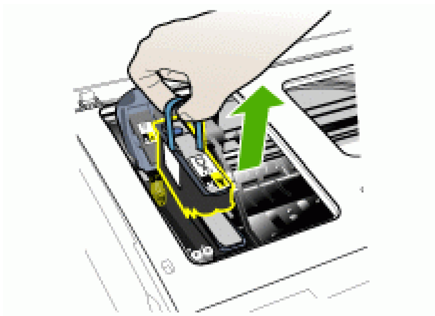
△ **注意** 電気コンタクトのクリーニングは、プリントヘッドをクリーニングした後でしか行わないでください。 電気コンタクトには、破損しやすい電子部品が装着されています。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするにはを参照してください。

---

1. 上部カバーを開きます。
2. キャリッジが自動的に左に移動しない場合は、**[OK]** ボタンを 5 秒間押し続けます。 キャリッジが止まるのを待ち、電源コードをプリンタから外します。
3. プリントヘッド ラッチを上げます。



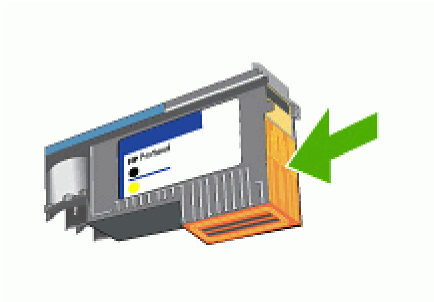
4. コントロール パネルのメッセージに対応するプリントヘッドのハンドルを持ち上げて、プリントヘッドをスロットから引き出します。



5. きれいで乾いた柔らかな糸くずのない布を用意します。 コーヒー フィルタ用紙やメガネのレンズ クリーニング用紙などが適しています。

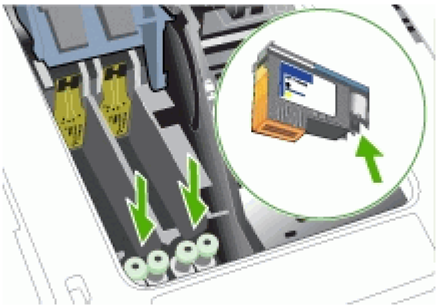
△ **注意** 水を使用しないでください。

6. プリントヘッドの電気コンタクトを拭きますが、ノズルには触れないでください。



📝 **注記** 電気コンタクトは小さな銅色の正方形で、プリントヘッドの片面にかたまっています。

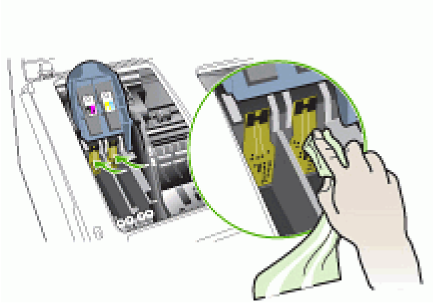
ノズルは、プリントヘッドの別の面にあります。 ノズルにはインクが見えます。



△ **注意** ノズルに触れると、損傷することがあります。 また、インクは衣類に染みをつけます。

7. クリーニング後、プリントヘッドを紙かペーパー タオルの上に置きます。 ノズルが上を向き、用紙に触れていないことを確認してください。

8. 本体内のプリントヘッド スロットの電気コンタクトを、清潔で乾燥した、柔らかい糸くずのない布でクリーニングします。



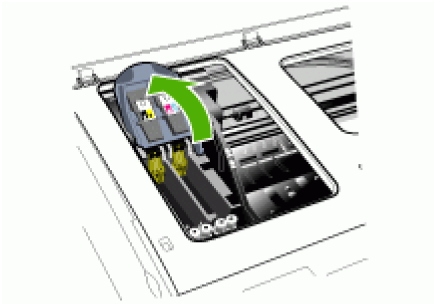
9. 電源コードを接続し、本体の電源を入れます。 コントロール パネルには、プリントヘッドがないと表示されているはずです。
10. プリントヘッドを対応するカラーで色分けされているスロットに挿入します (プリントヘッドのラベルがプリントヘッド ラッチの色と一致しなければなりません)。 正しく接するようにプリント ヘッドをしっかりと押し下げます。
11. プリントヘッド ラッチを前面に引き出し、ラッチが正しく挿入されるよう押し下げます。 ラッチを閉じるには、多少力を加える必要があります。
12. 必要に応じて、残りのプリントヘッドにも前述のステップを繰り返します。
13. 上部カバーを閉じます。
14. コントロール パネルにメッセージが表示されたままの場合は、前述の手順で、メッセージに対応するプリントヘッドのクリーニングを行います。
15. コントロール パネルにメッセージが表示されたままの場合は、メッセージに対応するプリントヘッドを交換します。
16. 本体がプリントヘッドを初期化し、位置調整ページを印刷するのを待ちます。 ページが印刷されない場合は、プリントヘッドの位置を手動で調整します。詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。

プリントヘッドを交換するには

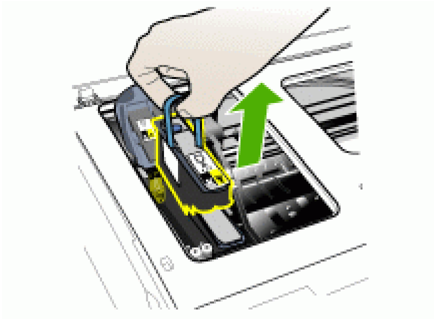
注記 お使いのプリンタと使用するプリントヘッドについては、サプライ品 を参照してください。

1. 上部カバーを開きます。
2. キャリッジが自動的に左に移動しない場合は、**[OK]** ボタンを 5 秒間押し続けます。 キャリッジが止まるのを待ちます。

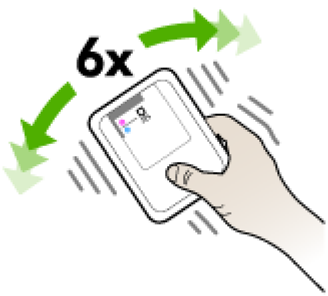
3. プリントヘッド ラッチを上げます。



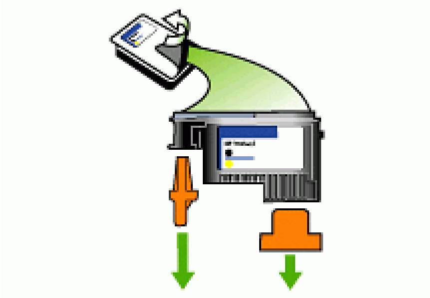
4. プリントヘッドのハンドルを持ち上げて、プリントヘッドをスロットから引き出します。



5. プリントヘッドを取り付ける前に、プリントヘッドをパッケージに入れたまま、上下に少なくとも 6 回振ります。



6. 新しいプリント ヘッドをパッケージから取り出し、オレンジ色の保護キャップを取ります。



△ **注意** キャップを取り外した後でプリントヘッドを振らないでください。

7. プリントヘッドを対応するカラーで色分けされているスロットに挿入します (プリントヘッドのラベルがプリントヘッド ラッチの色と一致しなければなりません)。正しく接するようにプリント ヘッドをしっかりと押し下げます。
8. プリントヘッド ラッチを前面に引き出し、ラッチが正しく挿入されるよう押し下げます。ラッチを閉じるには、多少力を加える必要があります。
9. 上部カバーを閉じます。
10. 本体がプリントヘッドを初期化し、位置調整ページを印刷するのを待ちます。ページが印刷されない場合は、プリントヘッドの位置を手動で調整します。詳細については、プリントヘッドの位置を調整するにはを参照してください。

印刷サプライ品の保管

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- インク カートリッジの保管
- プリントヘッドの保管

インク カートリッジの保管

インク カートリッジは、デバイス内に長期間置いておくことができます。インク カートリッジを取り外す場合は、ジッパー付きのビニール袋など、密封された容器に保管してください。

プリントヘッドの保管

プリントヘッドは、デバイス内に長期間置いておくことができます。プリントヘッドを取り外す場合は、ジッパー付きのビニール袋など、密封された容器に保管してください。

デバイスのクリーニング

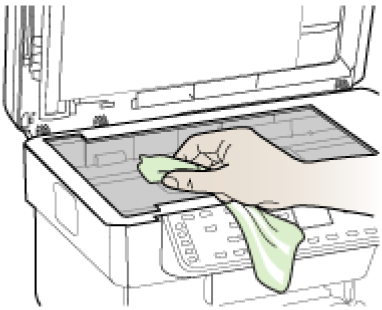
このセクションでは、本体を最高の状態に保つための方法について説明します。 必要に応じてこれらの保守手順を実行してください。

スキャナ ガラス、ADF カバーの保護シート、または ADF フレームのほこりや汚れにより、パフォーマンスが低下したり、スキャンの品質が低下したり、コピーを特定のページ サイズに合わせるなどの特殊機能の正確さが損なわれたりすることがあります。

スキャナ ガラスのクリーニング

スキャナ ガラスをクリーニングするには

1. 本体の電源をオフにします。
2. ADF を持ち上げます。
3. あまり強くないガラス用洗剤を吹き付けた、柔らかい、糸くずのない布でガラスをクリーニングします。 乾いた、柔らかい、糸くずのない布でガラスの水分を拭き取ります。



△ **注意**　スキャナ ガラスのクリーニングにはガラス用洗剤以外使用しないでください。 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などを含む洗剤は使用しないでください。これらの成分は、スキャナ ガラスを傷める可能性があります。 また、イソプロピル アルコールの使用も避けてください。ガラス面に縞模様が残ることがあります。

注意　ガラス用洗剤をガラス面に直接吹き付けないでください。 ガラス用洗剤を多く吹き付けると、洗剤が本体内に入り、スキャナを傷めることがあります。

4. ADF を閉じて、デバイスの電源を入れます。

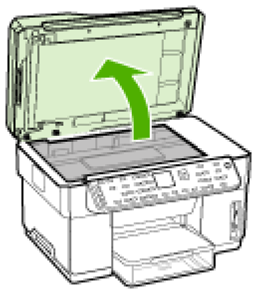
自動ドキュメント フィーダ (ADF) のクリーニング

ADF は、その使用量や用紙の種類に応じて定期的なクリーニングが必要です。 ADF を週に数回使用する場合は、月 1 回のクリーニングを推奨します。 お使いの製品に適したクリーニング計画を立ててください。

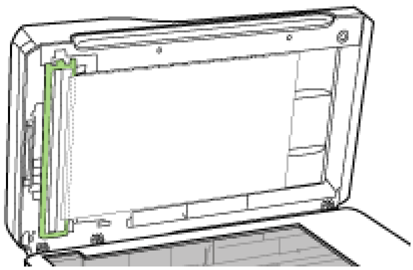
スキャンした文書に縞模様が入る場合、ADF フレームをクリーニングすると問題が解決することがあります。

ADF をクリーニングするには

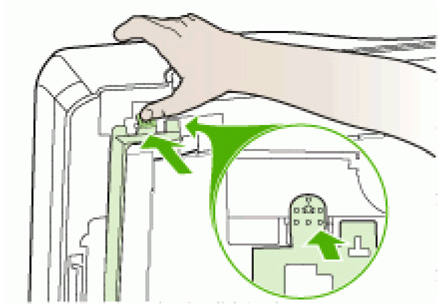
1. 本体の電源をオフにします。
2. ADF を持ち上げます。



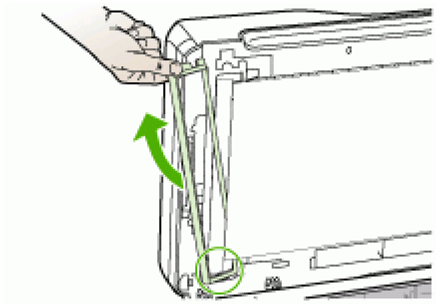
3. ADF の裏側にある ADF フレームの位置を確認します。



4. ADF フレーム リリース ボタンを押します。



5. ADF フレームを取り外します。



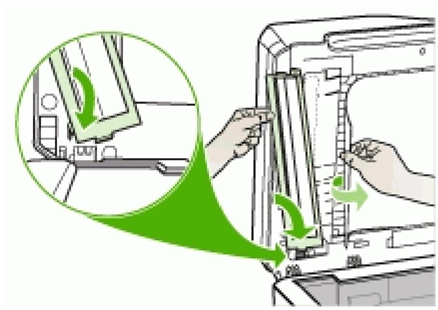
6. あまり強くないガラス用洗剤を吹き付けた、柔らかい、糸くずのない布で ADF フレームをクリーニングします。 ADF フレーム内側の白いストリップを含め、透明フィルムの両側をクリーニングします。



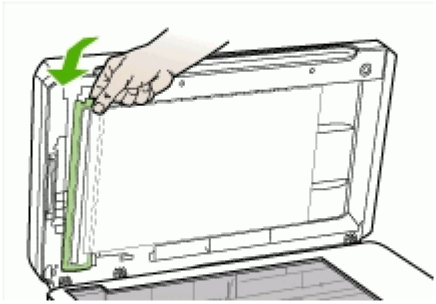
△ **注意** ガラス用洗剤以外は使用しないでください。 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などを含む洗剤は使用しないでください。これらの成分は、ADF フレームを傷める可能性があります。 また、イソプロピル アルコールの使用も避けてください。縞模様が残ることがあります。

7. 次の手順に従って ADF フレームを取り付けます。

   a. ADF 保護シートを持ち上げ、ADF フレームを取り付け穴に差し込みます。



b. ADF フレームを保護シートの下にスライドさせ、カチッと音がするまで押し込みます。

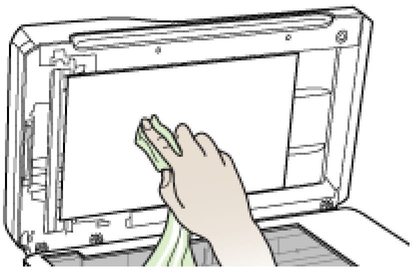


△ 注意 ADF が正常に動作するためには、ADF フレームを保護シートの下にする必要があります。

8. ADF を閉じて、デバイスの電源を入れます。

ADF 保護シートをクリーニングするには

1. 本体の電源をオフにします。
2. ADF を持ち上げます。
3. あまり強くないガラス用洗剤を吹き付けた、柔らかい、糸くずのない布で、白い ADF 保護シートをクリーニングします。 保護シートを軽く拭いて汚れを落とします。シートを強くこすらないでください。



4. 乾いた、柔らかい、糸くずのない布で保護シートの水分を拭き取ります。

△ 注意 保護シートを傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

5. 上記の手順でシートの汚れが十分に落ちない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返します。 湿らせた布で保護シートに残ったアルコールを完全に拭き取った後、乾いた、柔らかい、糸くずのない布で保護シートの水分を拭き取ります。
6. ADF を閉じて、デバイスの電源を入れます。

外側のクリーニング

注記 本体のクリーニングを行う前に、電源をオフにした後、電源コードをコンセントから抜きます。

柔らかい、糸くずのない布で、ケースのほこり、シミ、汚れなどを拭き取ります。 本体の外側はクリーニングの必要がありません。 本体の内側やコントロール パネルを濡らさないようにしてください。

トラブルシューティング ヒントとリソース

印刷問題を解決するには、以下のヒントとリソースを使用します。

- 用紙詰まりは、本体に詰まったメディアの除去を参照してください。
- 用紙が曲がったり持ち上がってしまうなどの給紙の問題は、給紙の問題の解決 を参照してください。
- 電源ランプがオンで点滅していない。 本体に初めて電源を入れた場合、プリントヘッドの取り付け後、初期化に約 12 分間かかります。
- コンピュータ画面にエラー メッセージが表示されていない。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、本体にしっかりと接続されていることを確認します。 本体が正しく機能している交流 (AC) 電源にしっかりと接続され、電源が入っていることを確認します。 電圧の要件については、電気仕様を参照してください。
- メディアがトレイに正しくセットされ、本体内部に詰まっていない。
- プリントヘッドとインク カートリッジが、色分けされたスロットに正しく取り付けられている。 正しく接するようにプリント ヘッドとインク カートリッジをしっかりと押し下げてください。 各プリントヘッドからオレンジ色の保護キャップを取り外してあることを確認します。
- プリントヘッド ラッチとカバーがすべて閉じられている。
- 後部アクセス パネルまたはオプションの両面印刷ユニットがしっかりと固定されている。
- 梱包テープと梱包材が取り外してある。
- 自己診断テスト ページを印刷できる。詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。

- 本体が現在のプリンタ、またはデフォルトのプリンタとして設定されている。 Windows では、[プリンタと FAX] フォルダで本体を通常使うプリンタに設定します。 Mac OS では、プリンタ設定ユーティリティで本体をデフォルトとして設定します。 詳細は、コンピュータ付属のマニュアルを参照してください。
- Windows 起動中のコンピュータで **[印刷の一時停止]** が選択されていない。
- タスクの実行中に、実行しているプログラム数が多すぎない。 タスクを再試行する前に、使っていないプログラムを閉じるか、またはコンピュータを再起動します。
- 有線ネットワークに静的 IP アドレス、ワイヤレス ネットワークに動的 IP アドレスを使用することも、その逆も可能です。 詳細については、IP 設定を変更するにはを参照してください。

静的 IP アドレスを設定するには

1. 埋め込み Web サーバを開き、**[ネットワーク]** タブをクリックし、左枠から **[ワイヤード (802.3)]** または **[ワイヤレス (802.11)]** を選択し、**[IP 設定]** サブタブをクリックします。
2. **[手動 IP]** を選択し、静的 IP アドレスを **[IP アドレス]** ボックスに入力します。
3. 必要に応じて **[サブネット マスク]** と **[デフォルト ゲートウェイ]** に値を入力し、**[適用]** をクリックします。

△ 注意　IP アドレスを変更すると、内蔵サーバとの現在の接続が中断することがあります。

印刷上の問題の解決

- デバイスの電源が突然切れる
- コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される
- デバイスが応答しない (何も印刷されない)
- デバイスがプリントヘッドを受け付けない
- 印刷するのに長時間かかる
- 空白ページまたはページの一部だけが印刷される
- ページの一部が印刷されない、または正しくない
- テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない
- ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

デバイスの電源が突然切れる

電源と電源の接続を確認します

正しく機能している交流 (AC) 電源に本体がしっかりと接続されていることを確認します。電圧の要件については、電気仕様を参照してください。

コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される

修復不可能なエラーが生じました

ケーブルをすべて (電源コード、ネットワーク ケーブル、USB ケーブルなど) 外し、約 20 秒間待ってからケーブルを再接続します。 問題が続くようであれば、最新のトラブルシューティング情報、または製品の修正と更新を HP Web サイト (www.hp.com/support) で見つけてください。

デバイスが応答しない (何も印刷されない)

本体がワイヤレス通信をサポートしている場合、ワイヤレス通信に関連する問題の解決も参照してください。

デバイス設定の確認

詳細については、トラブルシューティング ヒントとリソースを参照してください。

プリントヘッドの初期化を確認します

プリントヘッドを取り付けた場合、または交換した場合、数枚の位置調整ページが印刷され、プリントヘッドの位置調整が自動的に行われます。 このプロセスには約 12 分間かかります。 このプロセスが完了するまで、自動位置調整ページしか印刷できません。

デバイス ソフトウェアのインストールの確認

本体の電源が入っていないときに印刷すると、通常はコンピュータ画面に警告メッセージが表示されます。警告メッセージが表示されない場合は、デバイス ソフトウェアが正しくインストールされていない可能性があります。 これを解決するには、デバイス ソフトウェアを完全にアンインストールした後、再インストールします。 詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

ケーブル接続の確認

- ネットワーク/USB ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認します。
- 本体がネットワークに接続されている場合は、以下を確認します。
  - 本体後部のリンク ランプを確認します。
  - 本体の接続に電話線を使っていないことを確認します。
  - ネットワーク ハブ、スイッチ、またはルーターが正しく作動しています。

ネットワーク環境のための本体の設定の確認

正しいデバイス ドライバとプリンタ ドライバ ポートを使用していることを確認します。 ネットワーク接続の詳細については、デバイスの構成 (Windows)、デバイスの構成 (Mac OS)、またはネットワーク ベンダーから提供された文書を参照してください。

コンピュータにパーソナル ファイアウォール ソフトウェアがインストールされているかどうかの確認

パーソナル ソフトウェア ファイアウォールはセキュリティ プログラムで、コンピュータを侵入から保護します。 ただし、ファイアウォールはコンピュータと本体の通信を妨げることがあります。 本体との通信に問題が生じた場合は、ファイアウォールを一時的に無効にしてみます。 問題が解決しない場合は、ファイアウォールは通信問題の原因ではありません。 ファイアウォールを再度有効にします。

ファイアウォールを無効にすることで本体と通信できる場合は、本体に静的 IP アドレスを割り当て、ファイアウォールを再度有効にすると、問題が解決することがあります。詳細については、IP 設定を変更するにはを参照してください。

デバイスがプリントヘッドを受け付けない

プリントヘッド ラッチを確認する

プリント ヘッドのラッチが正しく閉じていることを確認します。

プリントヘッドの確認

- プリント ヘッドが色分けされているスロットに正しく挿入されていることを確認します。詳細については、プリントヘッドを交換するにはを参照してください。
- プリントヘッドを取り外してオレンジ色の保護キャップがプリントヘッドからはがされていることを確認します。

プリント ヘッドをクリーニングする

プリントヘッドのクリーニング手順を完了します。 詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

プリントヘッドの取り外しと本体の電源オフ

プリントヘッドを取り外した後、本体の電源を切り、約 20 秒間待ってからプリントヘッドを取り付けずに本体の電源を入れます。 本体が再起動したら、プリントヘッドを再度取り付けます。

印刷するのに長時間かかる

システム設定を確認します

コンピュータが、本製品を使用するための最低限のシステム必要条件を満たしていることを確認します。 詳細については、システム要件を参照してください。

デバイス ソフトウェアの設定の確認

印刷品質で **[ベスト]** または **[最大 dpi]** が選択されていると、印刷速度は遅くなります。 印刷速度を上げるには、デバイス ドライバで別の印刷設定を選択します。 詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

無線ノイズがないか確認します

本体がワイヤレス接続されていて印刷速度が遅い場合、無線シグナルが弱い可能性があります。 詳細については、ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドラインを参照してください。

空白ページまたはページの一部だけが印刷される

インク カートリッジが空になっていないか確認します

コントロール パネルで、使用中のカートリッジのインクの残量が少なくなっていないか、または空になっていないかどうかを確認します。 ツールボックス (Windows)、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)、または自己診断テスト ページ (自己診断テスト ページの理解を参照) でインクの残量を確認できます。 モノクロ テキストを印刷中に空白のページが印刷された場合、ブラック カートリッジが空の場合があります。 詳細については、インク カートリッジの交換を参照してください。

プリントヘッド ラッチを確認する

プリント ヘッドのラッチが正しく閉じていることを確認します。

プリントヘッドの確認

- プリント ヘッドが色分けされているスロットに正しく挿入されていることを確認します。詳細については、プリントヘッドを交換するにはを参照してください。
- プリントヘッドを取り外してオレンジ色の保護キャップがプリントヘッドからはがされていることを確認します。

プリント ヘッドをクリーニングする

プリントヘッドのクリーニング手順を完了します。詳細については、プリントヘッドのメンテナンスを参照してください。

プリントヘッドの取り外しと本体の電源オフ

プリントヘッドを取り外した後、本体の電源を切り、約 20 秒間待ってからプリントヘッドを取り付けずに本体の電源を入れます。 本体が再起動したら、プリントヘッドを再度取り付けます。

ページの一部が印刷されない、または正しくない

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

余白設定の確認

文書の余白設定が本体の印刷可能領域を超えていないことを確認します。 詳細については、最小余白の設定を参照してください。

カラー印刷設定を確認します

プリント ドライバで **[グレースケールで印刷]** が選択されていないことを確認します。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルなどにより生成) により、プリント結果が若干歪む場合があります。 本体を電磁界の元から離します。 電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない

メディアがセットされている方法を確認します

メディアの縦と横方向の用紙ガイドがメディアの束にぴったりと合い、トレイにセットされたメディアが多すぎないことを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。

メディア サイズを確認します

- 文書サイズが使用中のメディアより大きい場合、ページがはみ出すことがあります。
- プリンタ ドライバで選択したメディア サイズとトレイにセットされているメディアのサイズが一致していることを確認してください。

余白設定の確認

ページの端からテキストまたはグラフィックスがはみ出す場合は、文書のマージン設定が、本体の印刷可能領域以内であることを確認します。詳細については、最小余白の設定を参照してください。

ページの向き設定を確認します

アプリケーションで選択したメディアのサイズおよびページの方向がプリンタ ドライバでの設定と一致していることを確認します。詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルなどにより生成) により、プリント結果が若干歪む場合があります。本体を電磁界の元から離します。電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

前述の解決策でも問題が解決しない場合、アプリケーションが印刷設定を正しく解釈できないことにより問題が生じている場合があります。 特定のヘルプについては、リリース ノートで既知のソフトウェアの競合がないか確認するか、アプリケーションのマニュアルを参照するか、ソフトウェアの製造元にお問い合わせください。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

インク カートリッジの確認

インク カートリッジのインクがなくなったため、印刷ジョブが取り消された可能性があります。 インク カートリッジを交換し、印刷ジョブを本体に再送信します。詳細については、インク カートリッジの交換を参照してください。

印刷品質の不良と予期しないプリント結果

- 印刷品質が不良
- 無意味な文字が印刷される
- インクがにじむ
- テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る
- 印字が薄いか色が鮮やかでない
- カラーが白黒で印刷される
- 間違った色で印刷される

- 印刷結果のカラーがにじむ
- 色が正しい位置に印刷されない
- テキストまたはグラフィックスの線やドットが欠落している

印刷品質が不良

プリントヘッドとインク カートリッジを確認する

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

用紙品質の確認

用紙が湿っていたり粗すぎる場合があります。 メディアが HP 仕様を満たしていることを確認し、再度印刷してみます。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

本体にセットされているメディアのタイプの確認

- セットしたメディアのタイプがトレイにサポートされていることを確認します。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- プリント ドライバで、使用するメディアがセットされたトレイを選択していることを確認します。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルなどにより生成) により、プリント結果が若干歪む場合があります。本体を電磁界の元から離します。電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

無意味な文字が印刷される

印刷中のジョブが中断されると、本体がジョブの残りを認識しない場合があります。

印刷ジョブをキャンセルし、本体がレディー状態に戻るのを待ちます。 プリンタがレディー状態に戻らない場合は、ジョブをキャンセルしてから待ちます。 本体がレディーになったら、ジョブを再度送信します。 コンピュータがジョブを再試行するようプロンプトが表示されたら、**[キャンセル]** をクリックします。

ケーブル接続の確認

本体とコンピュータが USB ケーブルで接続されている場合、ケーブル接続が不良なために問題が生じることがあります。
ケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認します。 問題が解決しない場合は本体の電源を切り、本体からケーブルを外してから本体の電源

を入れ、プリンタ スプーラから残りのジョブを削除します。 電源ランプが点滅せずにオンになったら、ケーブルを再度接続します。

文書ファイルの確認

文書ファイルが損傷していることがあります。 同じアプリケーションから他の文書を印刷できる場合は、文書のバックアップ コピーを使用して印刷してください (バックアップされている場合)。

インクがにじむ

印刷設定の確認

- インク量を多く使用する文書を印刷している場合、プリント結果を扱う前に十分乾燥するようにしてください。 OHP フィルムの場合は特に注意してください。 プリンタ ドライバで **[ベスト]** 印刷品質を選択し、インクの乾燥時間を増やして、詳細設定 (Windows) またはインク機能 (Mac OS) のインク量を使用してインクの彩度を減らします。 ただし、インク彩度を減らすとプリント結果が洗い流されたような品質になる場合があります。
- リッチでブレンドされたカラーのあるカラー文書は、**[ベスト]** 印刷結果を使用して印刷した場合にシワがよる場合があります。 **[ノーマル]** などの別の印刷モードを使用してみるか、または鮮やかなカラーのある文書印刷用にデザインされた HP プレミアム用紙を使用してみます。詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

メディア タイプの確認

メディアの種類によっては、インクをうまく受け入れないものがあります。 このような種類のメディアでは、インクが乾くのに時間がかかり、インクがにじむ場合があります。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る

メディア タイプの確認

一部のメディアは、本製品での使用に適していません。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

印字が薄いか色が鮮やかでない

印刷モードの確認

プリンタ ドライバの **[エコノ ト]** モードまたは **[高速]** モードでは、すばやく印刷でき、ドラフトの印刷に適しています。 よりよい結果を得るには、**[ノーマル]** または **[ベス ト]** を選択します。詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

用紙タイプ設定の確認

OHP フィルムまたは他の特殊なメディアに印刷する場合は、プリント ドライバで対応するメディア タイプを選択してください。 詳細については、特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Windows)を参照してください。

カラーが白黒で印刷される

印刷設定の確認

プリンタ ドライバで **[グレースケールで印刷]** が選択されていないことを確認します。

間違った色で印刷される

印刷設定の確認

プリンタ ドライバで **[グレースケールで印刷]** が選択されていないことを確認します。

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

印刷結果のカラーがにじむ

インク カートリッジの確認

インク カートリッジが改造されていないことを確認します。 再充填の処理、および適合しないインクの使用によって、複雑な印刷システムに混乱が生じ、結果的に印刷品質が低下したり、さらに本体やプリントヘッドの故障の原因となったりする可能性があります。 再充填したインク カートリッジは保証またはサポートの対象となりません。 注文の詳細については、HP サプライ品とアクセサリを参照してください。

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

色が正しい位置に印刷されない

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

画像の配置の確認

ソフトウェア アプリケーションのズーム機能または印刷プレビュー機能を使用して、グラフィックスが配置されている間隔を確認してください。

テキストまたはグラフィックスの線やドットが欠落している

プリントヘッドの確認

きれいな白い用紙に印字品質診断ページを印刷します。問題の部分を確認し、推奨された操作を行います。詳細については、印刷品質診断ページを印刷するにはを参照してください。

給紙の問題の解決

用紙詰まりの解決についての情報は、本体に詰まったメディアの除去 を参照してください。

オプションのトレイ 2 を挿入できない

- トレイを再度挿入します。 トレイが本体の開口部と合っていることを確認します。
- 用紙詰まりを確認します。 詳細については、本体に詰まったメディアの除去を参照してください。

別の給紙問題が発生した場合

メディアがプリンタまたはトレイにサポートされていない場合

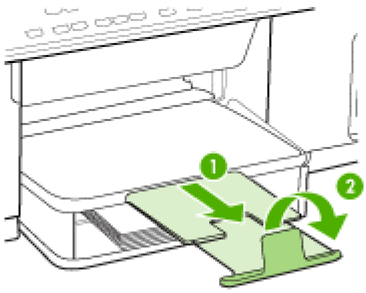
本体および使用中のトレイでサポートされているメディアのみを使用します。詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

メディアがトレイから供給されない

- トレイにメディアがセットされていることを確認します。詳細については、メディアのセットを参照してください。 メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。 ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。
- トレイのメディアが丸まっていないことを確認します。 丸まっている方向と逆の向きに曲げて真っ直ぐにします。
- トレイが完全にセットされていることを確認します。少数しか使用できない特殊なメディアの場合は、同じサイズの用紙の上にその特殊メディアを置いて、トレイにセットします。 (トレイがいっぱいになっていると、給紙がうまく行われるメディアもあります。)
- トレイ 2 (オプション) が正しく取り付けられていることを確認します。

メディアが正しく排出されない

- 排紙トレイの拡張部が引き出されていることを確認します。排紙トレイが引き出されていないと、印刷ページが本体から落下することがあります。



- 余分なメディアは排紙トレイから取り除いてください。 トレイにセットできる枚数には制限があります。

ページが曲がっている

- トレイにセットされたメディアが用紙ガイドと合っていることを確認します。 必要に応じてトレイを本体から引き出し、メディアを正しくセットして用紙ガイドがきちんと合っていることを確認します。
- 後部アクセス パネル、または両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認します。
- 印刷中は本体にメディアをセットしないでください。

一度に 2 枚以上給紙される

- メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。
- トレイに用紙がセットされすぎていないことを確認します。
- トレイが完全にセットされていることを確認します。少数しか使用できない特殊なメディアの場合は、同じサイズの用紙の上にその特殊メディアを置いて、トレイにセットします。(トレイがいっぱいになっていると、給紙がうまく行われるメディアもあります。)
- 本体にトレイ 2 (オプション) を再度取り付けるときは、ゆっくりと挿入します。 用紙の束がセットされた状態で急にトレイを挿入すると、用紙が本体内ですべって持ち上がり、用紙が詰まることや、一度に 2 枚以上給紙されることがあります。
- 最高のパフォーマンスと効率を実現するには、HP メディアを使用してください。

コピーの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

コピーが排出されない

- **電源の確認**
  電源コードがしっかりと接続され、本体の電源がオンになっていることを確認します。
- **本体のステータスの確認**
  - デバイスで別のジョブが実行されている可能性があります。 コントロール パネルのディスプレイで、ジョブのステータスを確認します。 実行中のジョブがある場合は、そのジョブが終了するまで待ちます。
  - デバイスで紙詰まりが発生している可能性があります。用紙が詰まっていないかどうかを確認します。メディア詰まりの除去を参照してください。
- **トレイの確認**
  メディアがセットされていることを確認します。詳細については、メディアのセットを参照してください。

何もコピーされない

- **トレイの確認**
  - ADF を使用してコピーしている場合は、原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
  - スキャナ ガラスからコピーしている場合は、ADF に何もセットされていないことを確認します。
- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- **設定の確認**
  コントラストの設定が明るすぎる可能性があります。 コントロール パネルの**[コピー]** ボタンを使用し、明るさを低くしてコピーを作成します。

間違った原稿がコピーされた

トレイの確認

スキャナ ガラスからコピーしている場合は、ADF に何もセットされていないことを確認します。

原稿の一部がコピーされない、または薄い

- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- **設定の確認**
  品質の設定が **[はやい]** (ドラフト品質のコピーが作成されます) になっていると、原稿の一部がコピーされないことや、コピーが薄くなることがあります。 設定を **[標準]** または **[高画質]** に変更します。
- **原稿の確認**
  - コピーの正確さは、原稿の品質やサイズによって異なります。 **[コピー]** メニューを使用してコピーの明るさを調整します。 原稿が明るすぎる場合、コントラストを調整しても、原稿の一部がコピーされないことがあります。
  - 背景に色が付いていると、前景が背景に混ざることや、背景の影が原稿と異なることがあります。

サイズが小さくなる

- コントロール パネルの拡大/縮小などのコピー機能が、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 コピー機能のサイズの設定が原寸になっていることを確認します。
- HP フォト イメージング ソフトウェアが、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 必要に応じて設定を変更します。 詳細については HP フォト イメージング ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

コピーの品質が悪い

- **コピーの品質を高めるための手順の実行**
  - 品質の良い原稿を使用します。
  - メディアを正しくセットします。メディアが正しくセットされていないと、メディアがまっすぐ給紙されず、明瞭にコピーされないことがあります。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
  - 原稿を保護するキャリア シートを使用します。
- **本体の確認**
  - ADF が正しく閉じられていない可能性があります。
  - 必要に応じて、スキャナ グラス、ADF 保護シート、ADF ウィンドウをクリーニングします。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。

正しくコピーされない

- **縦方向の白いまたはかすれたしま模様**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- **明るすぎる、または暗すぎる**
  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
- **不要な線**
  必要に応じて、スキャナ グラス、ADF 保護シート、ADF フレームをクリーニングします。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- **黒い点または縞が現れる**
  インク、接着剤、修正液、またはゴミがスキャナ ガラスまたは ADF 保護カバーに付着している可能性があります。本体をクリーニングしてみます。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。

- **テキストがはっきりしない**
  - コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
  - デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **テキストまたはグラフィックスにムラがある**

  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
- 斜めまたはゆがんでコピーされる
  - ADF 給紙トレイにセットされているメディアの量が多すぎないことを確認します。
  - ADF のメディア幅アジャスタがメディアの端にぴったりと合っていることを確認します。
- **大きなものモノクロ文字がまだらで、なめらかでない**

  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **ライト グレーからミディアム グレーの部分にざらざらしたまたは白い横線が現れる**

  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。詳細については、コピー設定の変更を参照してください。

エラー メッセージが表示される

“原稿をセットし直した後、ジョブを再ロードしてください”

[OK] ボタンを押し、残りの原稿 (最大 50 枚) を ADF にセットし直します。詳細については、メディアのセットを参照してください。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

インク カートリッジの確認

インク カートリッジのインクがなくなったため、印刷ジョブが取り消された可能性があります。インク カートリッジを交換し、印刷ジョブを本体に再送信します。詳細については、インク カートリッジの交換を参照してください。

スキャンの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

注記 コンピュータからスキャンを開始している場合は、ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

スキャナが動作しない

- **原稿の確認**
  原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、スキャナのガラス板への原稿のセットを参照してください。
- **本体の確認**
  一定時間操作が行われずに本体がパワーセーブ モードに入っていたため、処理が再開されるまで時間がかかっている可能性があります。 本体が [**準備完了**] 状態になるまで待ちます。

スキャンに時間がかかりすぎる

- **設定の確認**
  - 解像度の設定が高すぎると、スキャンに時間がかかり、作成されるファイルのサイズも大きくなります。 スキャンまたはコピーで良い結果を得るには、解像度を必要以上高く設定しないようにします。 解像度の設定を低くするとスキャンの速度が向上します。
  - TWAIN 経由で画像を取得する場合は、原稿をモノクロでスキャンするように設定を変更すると、問題が解決することがあります。 詳細については、TWAIN プログラムのオンスクリーン ヘルプを参照してください。
- **本体のステータスの確認**
  スキャンの前に印刷ジョブまたはコピー ジョブを送信した場合は、スキャナがビジー状態でなければ、スキャンが開始されます。 ただし、その場合は、印刷またはコピーとスキャンとでメモリが共有されるため、スキャンの速度が遅くなる可能性があります。

文書の一部またはテキストがスキャンされない

- **原稿の確認**
  - 原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - 原稿を ADF からスキャンした場合は、スキャナ ガラスから直接スキャンしてみます。詳細については、スキャナのガラス板への原稿のセットを参照してください。
  - 背景に色が付いていると、前景の画像が背景に混ざることがあります。 原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。
- **設定の確認**
  - メディアのサイズがスキャン原稿に対して十分であることを確認します。
  - HP フォト イメージング ソフトウェアを使用している場合、HP フォト イメージング ソフトウェアのデフォルトの設定が、現在行おうとしているタスクとは別のタスクを自動的に行うように設定されている可能性があります。 プロパティを設定する手順については、HP フォト イメージング ソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。

テキストを編集できない

- **設定の確認**
  - OCR ソフトウェアがテキストを編集するように設定されていることを確認します。
  - 原稿をスキャンするとき、編集可能なテキストが生成される文書の種類を選択します。 テキストがグラフィックスと認識されると、テキストに変換されません。
  - OCR プログラムに、OCR タスクを実行しないワードプロセッシング プログラムがリンクされている可能性があります。 プログラムのリンクの詳細については、製品ソフトウェアのヘルプを参照してください。
- **原稿の確認**
  - OCR の場合、原稿を ADF にセットするときは、原稿の先頭を前にして、読み取り面を上に向ける必要があります。原稿が正しくセットされていることを確認します。詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - 文字間の狭いテキストは OCR プログラムによって認識されない可能性があります。 OCR プログラムで変換するテキストの文字が失われていたり、つながったりしていると、たとえば、"rn" が "m" と認識される場合があります。

- OCR プログラムの正確さは、画像の品質、テキストのサイズ、原稿の構造、スキャン自体の品質によって異なります。 原稿の画像の品質が良いことを確認してください。
- 背景に色が付いていると、前景の画像と必要以上に混ざることがあります。原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。 原稿に対して OCR 操作を実行する場合、原稿上の色付きのテキストは適切にスキャンされません。

エラー メッセージが表示される

- **“TWAIN ソースを有効にできません”または“画像の取得中にエラーが発生しました”**
  - デジタル カメラや別のスキャナなど、本体以外のデバイスから画像を取得している場合、そのデバイスが TWAIN に準拠していることを確認します。 TWAIN に準拠していないデバイスは、デバイス ソフトウェアと連携しません。
  - USB デバイス ケーブルを使用してコンピュータ背面の正しいポートに接続していることを確認します。
  - 正しい TWAIN ソースが選択されていることを確認します。 ソフトウェアで、**ファイル** メニューの **スキャナの選択** を選択します。
- **“原稿をセットし直した後、ジョブを再開してください”**

  [OK] ボタンを押し、残りの原稿 (最大 50 枚) を ADF にセットし直します。詳細については、メディアのセットを参照してください。

スキャンした画像の品質が良くない

原稿が二次的な写真または画像である

新聞や雑誌などの印刷された写真は、細かなドットで元の写真を再現する方法が使用されているため、品質が低下しています。 多くの場合、インクのドットは、画像のスキャンや印刷を行うとき、または画像を画面上に表示するときに不要なパターンを生み出す可能性があります。 以下の方法で問題が解決しない場合は、現在よりも品質の良い原稿を使用する必要があります。

- パターンを削除するには、スキャン後に画像のサイズを縮小してみます。
- スキャンした画像を印刷し、品質が改善されるかどうかを確認します。
- 解像度と色の設定がスキャン ジョブの種類に適していることを確認します。
- 最良の結果を得るには、スキャンには ADF ではなく、フラットベッド型スキャナを使用します。

- **原稿の裏面のテキストや画像がスキャンされる**
  薄いメディアまたは透明度の高いメディアに印刷されている両面原稿は、裏側のテキストまたは画像が表面に透け、スキャナに取り込まれることがあります。
- **印刷した方が画質が良い**
  画面に表示される画像は、スキャンの質を必ずしも正確に表現しているとは限りません。
  - コンピュータ モニタの設定を調整して、使用する色数 (グレーのレベル数) を増やしてみます。 Windows コンピュータでこの調整を行うには、通常、Windows のコントロール パネルの **[画面]** を使用します。
  - 解像度と色の設定を調整してみます。
- **スキャンした画像がゆがんでいる (曲がっている)**
  原稿が正しくセットされていない可能性があります。 原稿を ADF にセットするときは必ずメディア ガイドを使用してください。詳細については、原稿のセットを参照してください。
- **スキャンした画像に汚れ、線、縦の白いストライプなどの問題がある**
  - スキャナ ガラスが汚れていると、最適な鮮明度の画像が得られません。デバイスのクリーニングを参照してクリーニングを実施します。
  - スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。
- **グラフィックスが原稿と異なって見える**
  グラフィックスの設定が実行中のスキャン ジョブの種類に適していない可能性があります。 グラフィックスの設定を変更してみてください。
- **スキャンの質を高めるための手順の実行**
  - ADF ではなく、フラットベッド型スキャナを使用してスキャンを実行します。
  - 質の良い原稿を使用します。
  - メディアを正しくセットします。 メディアが正しくセットされていないと、メディアがまっすぐ給紙されず、明瞭にスキャンされないことがあります。詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - スキャンしたページの用途に応じてソフトウェアの設定を調整します。
  - 原稿を保護するキャリア シートを使用します。
  - スキャナ ガラスをクリーニングします。詳細については、スキャナ ガラスのクリーニングを参照してください。

正しくスキャンされない

- **空白ページ**
  - 原稿の裏表が逆にセットされている可能性があります。原稿が正しくセットされていることを確認します。詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - フラットベッド型スキャナからスキャンするときに空白ページが作成される場合は、原稿が正しくセットされていることを確認してください。 フラットベッド型スキャナでは、原稿の表を下に向け、原稿の左上隅をスキャナ ガラスの右下隅に合わせてセットします。 また、ADF に何もセットされていないことを確認します。
- **明るすぎる、または暗すぎる**
  - 設定を調整してみます。 正しい解像度と色設定を必ず使用してください。
  - 原稿が非常に明るい (または暗い) か、色の付いた用紙に印刷されている可能性があります。
- **不要な線**

  スキャナ ガラスにインク、接着剤、修正液、またはゴミが付着している可能性があります。スキャナ ガラスをクリーニングしてみてください。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- **黒い点または縞**
  - スキャナ ガラスにインク、接着剤、修正液、またはゴミが付着しているか、スキャナ ガラスに汚れまたは傷があるか、ADF 保護シートが汚れている可能性があります。スキャナ ガラスと保護シートをクリーニングしてみてください。詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。クリーニングしても問題が解決しない場合は、必要に応じて、スキャナ ガラスまたは ADF 保護シートを交換します。
  - スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。
- **テキストが鮮明でない**

  設定を調整してみます。 解像度と色の設定が正しいことを確認してください。
- **サイズが小さくなる**

  HP ソフトウェアが、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 設定の変更方法の詳細については、製品ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ネットワーク フォルダにスキャンできない (ダイレクト デジタル ファイリング)

注記 ダイレクト デジタル ファイリング機能は、Windows の Active Directory をサポートしていません。

- **本体がネットワーク上で正しく設定されていない**
  本体が適切に設定され、ネットワークに接続されていることを確認します。 本体に対して PING コマンドを実行し、本体が応答することを確認します。
- **ネットワーク フォルダが正しく設定されていない**
  - サーバ上にフォルダが作成されていることを確認します。 詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
  - フォルダ名に A ～ Z (大文字または小文字) と数字の 1 ～ 9 以外が使用されていないことを確認します。
  - いくつかの一般的な句読点もサポートされています。 ただし、アクセント文字や特殊文字はフォルダ名に使用しないでください。
  - フォルダが共有され、ユーザーがフォルダの読み取りと書き込みの両方を実行できることを確認します。詳細については、使用しているオペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
  - フォルダ名が EWS に正しい形式で入力されていること、ユーザー名とパスワードが正しく入力されていることを確認します。 詳細については、EWS の情報を参照してください。
- **ディスクがいっぱい**
  フォルダが存在するサーバのディスクに十分な空き領域があることを確認します。
- **割り当てられたプレフィックスとサフィックスを使用して一意のファイル名を作成できない**
  同じプレフィックスとサフィックスで作成できるのは最大 9,999 ファイルです。 フォルダに多くのファイルをスキャンしている場合は、プレフィックスを変更します。
- **ファイルのプレフィックスが正しく設定されていない**
  フォルダ名に A ～ Z (大文字または小文字) と数字の 1 ～ 9 以外が使用されていないことを確認します。ただし、アクセント文字や特殊文字はフォルダ名に使用しないでください。 ファイル名のプレフィックスにサポートされていない文字が使用されていると、ファイルの作成時にその文字が正しく表示されません。
- **サーバ名を解決できない**
  セットアップ時に指定したサーバ名を特定の IP アドレスに解決できないと、ネットワーク フォルダへの送信に失敗することがあります。 ダイレクト デジタル ファイリング機能を設定するときは、以下を必ず行ってください。
  - 完全修飾 DNS 名を使用します。
  - 本体で DNS サーバが正しく設定されていることを確認します。
  - ヒント DNS の設定を最近変更した場合は、本体の電源をいったんオフにした後、再びオンにします。

ファックスの問題の解決

このセクションでは、ファックスのセットアップに関するトラブルシューティングについて説明します。 ファックスが正しくセットアップされていないと、ファックスの送信、ファックスの受信またはその両方で問題が発生する可能性があります。

ファックスに問題がある場合、ファックス テスト レポートを印刷して、本体の状態を確認できます。 本体でファックスが正しくセットアップされていない場合、テストに失敗します。 このテストは、デバイスのファックス機能のセットアップが完了した後に実行してください。 詳細については、ファックス設定のテストを参照してください。

テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。 詳細については、ファックス テストに失敗したを参照してください。

ファックス テストに失敗した

ファックス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。 詳細については、レポートでテストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当トピックで対処方法をご確認ください。

- 「ファックス ハードウェア テスト」に失敗した
- 「ファックスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した
- 「電話コードがファックスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した
- 「ファックスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した
- 「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した
- 「ファックス回線状態」テストに失敗した

「ファックス ハードウェア テスト」に失敗した

解決方法:

- コントロール パネルの **[電源]** ボタンを使用して本体の電源をオフにし、本体背面から電源コードを抜きます。 数秒経過してから、電源コードを再び接続し、電源をオンにします。 もう一度テストを実行します。 またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- テスト ファックスを送信または受信してみてください。 ファックスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

- **[ファックス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファックス セットアップ ユーティリティ]** (Mac OS) からテストを実行している場合、ファックスの受信やコピーなど他のタスクを完了するためにデバイスがビジーになっていないことを確認します。 コントロール パネル ディスプレイのメッセージで、本体がビジー状態であるかどうかを確認してください。 ビジー状態の場合、タスクが終了してアイドル状態になってからテストを実行します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファックスの送受信が正常に行われないことがあります。 本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファックス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファックスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファックス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファックスを使用することができます。[**ファクス ハードウェア テスト**] の失敗が続き、ファックスを使用できない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカル サポートにお問合せください。

「ファックスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した

解決方法:

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファックスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファックス テストをもう一度実行します。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。 ファックスを使用するための本体の設定の詳細については、デバイスのファックス機能のセットアップ (一部のモデルのみ)を参照してください。

- 電話スプリッターを使用していると、ファックスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファックスを送信または受信してみてください。ファックスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファックス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファックスを使用することができます。

「電話コードがファックスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

解決方法: 電話コードを正しいポートに接続します。

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 2-EXT ポートを使用して壁側のモジュラー ジャックに接続すると、ファックスの送受信はできません。 2-EXT ポートは、留守番電話や電話機などの機器接続専用です。

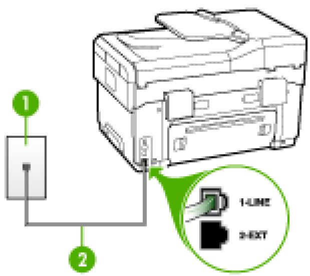


図 10-1 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

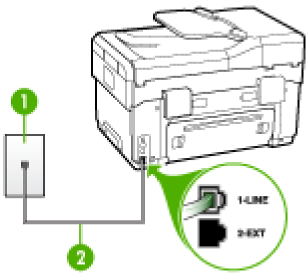
2. 1-LINE というラベルの付いたポートに電話コードを接続したら、もう一度ファックス テストを実行します。テストに成功すると、ファックスを使用することができます。
3. テスト ファックスを送信または受信してみてください。

- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファックスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファックス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファックスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ファックスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した

解決方法:

- 本製品に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を本体背面にある 1-LINE というラベルの付いたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。 カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。 自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。

- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファックスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファックス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファックスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した

解決方法:

- 本体と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。 他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。 他の機器を外したときに [**ダイヤルトーン検出テスト**] に成功する場合、他の 1 つ以上の機器が問題の原因になっている可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのたびにテストを実行します。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファックスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。 これは、ファックス送受信の問題の原因にはなりません。 テスト ファックスを送信または受信してみてください。
- お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。 国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファックスの送受信に問題が発生することがあります。

- 本体をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファックスを送受信できません。 電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。 通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。 本体をアナログ回線に接続し、ファックスの送受信を試します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファックスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファックス テストをもう一度実行します。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファックス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファックスを使用することができます。[**ダイヤル トーン検出**] テストに引き続き失敗し続ける場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

「ファックス回線状態」テストに失敗した

解決方法:

- 本体をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファックスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。本体をアナログ回線に接続し、ファックスの送受信を試します。
- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
- 本体と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを

確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。

  - 他の機器を外したときに [**ファクス回線状態テスト**] に成功する場合、他の 1 つ以上の機器が問題の原因になっている可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのたびにテストを実行します。
  - 他の機器を外して [**ファクス回線状態テスト**] に失敗する場合は、正常に機能している電話回線に本体を接続して、引き続きこのセクションのトラブルシューティングを実施します。

- 電話スプリッターを使用していると、ファックスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファックスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファックス テストをもう一度実行します。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファックス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファックスを使用することができます。[**ファックス回線状態**] テストに引き続き失敗し続け、ファックスができない場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される

解決方法: 間違った種類の電話コードを使用しています。 本体を電話回線に接続する際は、必ず付属の電話コードを使用してください。本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

解決方法: 本体と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話 (同じ電話回線を使用している電話で、本体に接続されていないもの) またはその他の機器が使用中でないこと、受話器が外れていないことを確認してください。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、本体のファックス機能は使用できません。

ファックスの送受信がうまくできない

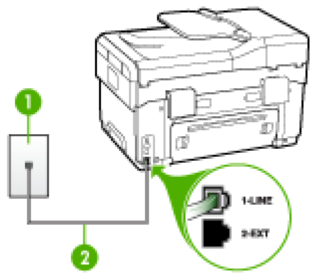
解決方法: 本体の電源がオンになっていることを確認します。 本体のディスプレイを見てください。 ディスプレイに何も表示されず、**[電源]** ランプが点灯していない場合は、本体の電源が入っていません。 本体の電源

コードが電源コンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。 **[電源]** ボタンを押して、デバイスの電源を入れてください。

本体の電源をオンにしたら、5 分ほど待ってから、ファックスの送受信を行うようお勧めします。 本体の電源をオンにしても、初期化中は送受信できません。

解決方法:

- 本製品に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を本体背面にある 1-LINE というラベルの付いたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する

本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。 自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 発信音が聞こえない場合、電話会社にお問い合わせください。
- 本体と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、本体のファックス機能は使用できません。
- 他のプロセスがエラーの原因となっていないか確認してください。 ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。 エラーが解決するまで、ファックスの送受信を行うことができません。

- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。 電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファックスの使用時に問題が発生することがあります。 電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。 ノイズが聞こえたら、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、もう一度ファックスしてみてください。 ECM の変更方法の詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。 問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- デジタル加入者線 (DSL) サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファックスを使用することができません。 詳細については、ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップを参照してください。
- 本体が、デジタル電話用のモジュラージャックに接続されていないことを確認してください。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。
- PBX (構内交換機) または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、本体が正しいポートに接続され、ターミナル アダプタがお住まいの国または地域に適した種類のスイッチに設定されていることを確認してください。 詳細については、ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップを参照してください。

- 本体が DSL サービスと同じ電話回線を共有している場合、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。 DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファックスの使用時に問題が発生することがあります。 電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。 ノイズが聞こえる場合は、DSL モデムをオフにして、少なくとも 15 分間電力を完全に除去します。 DSL モデムをもう一度オンにして、ダイヤル トーンを聞いてください。

  注記 今後、電話回線で再び雑音が聞こえる場合があります。 ファックスの送受信が停止する場合は、この手順を繰り返してください。

  電話回線のノイズが消えない場合、電話会社に連絡してください。DSL モデムをオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファックスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

手動によるファックスの送信がうまくできない

解決方法:

注記 この解決策は、本製品に 2 線式電話コードが付属している次の国または地域にのみ適用されます。 アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

- ファックスを実行するために使用する電話機が、本体に直接接続されていることを確認してください。 ファックスを手動で送信するには、

下図のように、本体の 2-EXT というラベルの付いたポートに電話機を直接接続してください。



1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する
3	電話

- 本体に直接接続された電話から手動でファックスを送信する場合、ファックス送信には電話機のキーパッドを使用する必要があります。 本体コントロール パネルのキーパッドは使用できません。

  注記　シリアル方式の電話を使用している場合、壁のプラグが接続された本体ケーブルの一番先に電話を直接接続します。

ファックスを受信できないが、送信はできる

解決方法:

- 着信識別サービスを使用していない場合は、[**着信識別**] 機能が [**全タイプ**] に設定されていることを確認します。 詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。
- [**自動応答**] が [**オフ**] に設定されている場合、ファックスの自動受信は行われません。ファックスを手動で受信する必要があります。 ファックスの手動受信についての詳細は、ファックスの手動受信を参照してください。

- ファックスと同じ電話番号でボイスメール サービスをお使いの場合は、ファックスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。 受信ファックスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 ボイスメール サービスをお使いの場合にファックスをセットアップする方法については、ケース F： 電話とファックスとボイスメール サービスを一緒に利用するを参照してください。ファックスの手動受信についての詳細は、ファックスの手動受信を参照してください。
- 本体と同じ電話回線上にコンピュータ モデムがある場合は、モデムに付属のソフトウェアが、ファックスを自動受信する設定になっていないことを確認してください。 ファックスを自動受信するよう設定されたモデムは、電話回線を占有してすべての受信ファックスを受け取るため、本体がファックス呼び出しを受信できません。
- 本体と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  - 留守番電話が本体に対して適切にセットアップされていない。
  - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために、本体がファックス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファックス機が切断されている。
  - 本体がファックス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。 この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

  以下のアクションを実行すると、これらの問題が解決される場合があります。
  - ファックスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I： 電話とファックスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話を本体に直接接続してください。
  - 本体でファックスを自動受信するように設定されていることを確認します。 本体でファックスを自動受信するように設定する方法については、ファックスの受信を参照してください。
  - [**応答呼出し回数**] 設定を留守番電話よりも多い回数に設定していることを確認します。 詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。

- 留守番電話の接続を解除し、ファックスを受信してみます。 この状態でファックスの受信に成功した場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
- 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。 約 10 秒の長さのメッセージを録音します。 メッセージを録音するときには、低い音量で、ゆっくりと話してください。 音声メッセージの後、沈黙した状態で 5 秒以上録音を続けます。 この沈黙時間を録音するときには、バックグラウンド ノイズが入らないよう注意します。 もう一度ファックスを受信してください。

  注記 デジタル留守番電話には、外出メッセージの最後に録音した無音部分を保持しないものもあります。 外出メッセージを再生して確認してください。

- 本体が、留守番電話やコンピュータ モデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファックスの信号レベルが低下することがあります。 スプリッターを使ったり、別のケーブルをつないで電話コードを延長しても信号レベルは低下します。 ファックスの信号レベルが低下すると、ファックスの受信に問題が発生する場合があります。
  他の機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、本体以外のすべての機器を電話回線から取り外し、ファックスを受信してみてください。 他の機器を外したときにファックスを正常に受信できる場合は、他の少なくとも 1 台の機器が問題の原因である可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 台ずつ戻し、そのたびにファックスを受信します。
- ファックス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、本体の **[着信識別]** 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。

ファックスを送信できないが、受信はできる

解決方法:

- 本体のダイヤル速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。 ファックス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。 たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、外線番号の後ろに間隔を挿入してください。 ダイヤルする番号が 95555555 で、9 が外線へのアクセス番号である場合、9-555-5555 のように間隔を挿入します。 9-555-5555 入力するファックス番号間に一定の間隔を入れるには、**[リダイヤル/ポーズ]** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 **[-]** が表示されるまで、**[スペース (#)]** ボタンを繰り返し押します。
  ダイヤルのモニタ機能を使用してファックスを送信できます。 これにより、ダイヤル時に電話回線の音を聞くことができます。 ダイヤルのペースを設定し、ダイヤル時にプロンプトに応答できます。 詳細については、ダイヤル モニタリングを使用したファックス送信を参照してください。
- ファックス送信の際に入力したファックス番号の形式が正しくないか、受信中のファックス機に問題が発生しています。 電話機からファックス番号をダイヤルし、ファックス トーンを聞いてください。 ファックス トーンが聞こえない場合は、受信側のファックス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。 受信者に、受信側のファックス機に問題がないか確認するように依頼してください。

ファックス トーンが留守番電話に録音される

解決方法:

- ファックスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I : 電話とファックスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話を本体に直接接続してください。 留守番電話を推奨される方法で接続しないと、ファックス トーンが留守番電話に録音される場合があります。
- 本体のファックス機能が自動受信に設定され、**[応答呼出し回数]** の設定が適切であることを確認してください。 デバイスの応答呼出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。 留守番電話と本体で設定されている応答までの呼び出し回数が同じ場合、電話とファックスの両方が着信に応答してしまうため、ファックス トーンが留守番電話に録音されます。
- 留守番電話の呼び出し回数を少なくし、本体の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、デバイスが電話回線を監視します。 本体がファックス受信音を検出した場合は、本体がファックスを受信します。 着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。

デバイスに付属の電話コードの長さが十分でない

解決方法: 本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

ヒント 本体に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合は、4 線式電話コードと合わせて使用して長さを延長できます。 2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください (日本では付属しておりません)。

電話コードを延長するには

1. 本製品に付属の電話コードの一方の端をカプラーに、もう一方の端を本体背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。
2. もう 1 本の電話コードを、カプラーの空いているポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。

写真 (メモリ カード) の問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

> **注記** メモリ カードの操作をコンピュータから開始している場合は、ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

メモリ カードを読み取ることができない

- **メモリ カードの確認**
  - 使用中のメモリ カードのタイプが本体でサポートされているタイプであることを確認します。 コンパクト フラッシュ II の場合は、ソリッドステート メモリのみがサポートされます。 詳細については、メモリ カードの挿入を参照してください。
  - 一部のメモリ カードには、その使用方法を制御するスイッチがあります。 スイッチの設定でメモリ カードの読み取りが可能になっていることを確認します。
  - メモリ カードの両端を調べ、穴にゴミが詰まっていないこと、および金属の接点が汚れて接触不良を起こしていないことを確認します。 糸くずのない布と少量のイソプロピル アルコールで接点をクリーニングします。
  - 他のデバイスでテストすることによって、メモリ カードが適切に機能していることを確認します。
- **メモリ カード スロットの確認**
  - メモリ カードが正しいスロットに完全に挿入されていることを確認します。詳細については、メモリ カードの挿入を参照してください。
  - メモリ カードを取り外し (ランプが点滅していないとき)、空いたスロットの中を懐中電灯で照らします。 内部に折れ曲がったピンがないかどうかを確認します。 少しだけ曲がったピンは、コンピュータがオフのときに、芯を戻した細いボールペンの先でまっすぐにすることができます。 別のピンに接触するほど折れ曲がったピンがある場合は、メモリ カード リーダーを交換するか、本体の修理を依頼してください。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。
  - スロットにメモリ カードが 1 枚だけ挿入されていることを確認します。 同時に 2 枚以上のメモリ カードを挿入すると、通常、コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示されます。

メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない

メモリ カードの確認

- メモリ カードが壊れている可能性があります。
- 写真のフォーマットが本体で認識できないフォーマットである可能性があります。 写真のフォーマットを認識できない場合、通常、コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示されます。 コントロール パネルから写真を印刷する手順を使用します。そうすると、より多くのフォーマットが認識される可能性があります。 詳細については、コントロール パネルからの写真の印刷を参照してください。 本体がコンピュータに接続されている場合は、メモリ カードからコンピュータに写真を保存した後、その写真をソフトウェア プログラムから印刷することができます。

メモリ カードの一部の写真が印刷されず、印刷ジョブがキャンセルされる

写真ファイルの確認

フォト シートを印刷し、データが壊れた写真がないかどうかを確認します。 データが壊れた写真を印刷対象から除外した印刷ジョブを設定します。 詳細については、フォト シートを使用した写真の印刷を参照してください。

ページの半分が印刷された後、用紙が排出される

インク カートリッジの確認

インク カートリッジのインクがなくなったため、印刷ジョブが取り消された可能性があります。インク カートリッジを交換し、印刷ジョブを本体に再送信します。詳細については、インク カートリッジの交換を参照してください。

本体の管理に関する問題の解決

このセクションには本体の管理に関する一般的な問題の解決策が記載されています。 このセクションでは、次のトピックについて説明します。

埋め込み Web サーバを開くことができない

埋め込み Web サーバを開くことができない

ネットワーク設定の確認

- 本体とネットワークとの接続に電話線やクロス ケーブルを使用していないことを確認します。 詳細については、デバイスの構成 (Windows)またはデバイスの構成 (Mac OS)を参照してください。
- ネットワーク ケーブルが本体にしっかりと接続されていることを確認します。
- ネットワーク ハブ、スイッチ、またはルーターがオンになり、正しく作動していることを確認します。

コンピュータの確認

お使いのコンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。

Web ブラウザの確認

Web ブラウザがシステム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、システム要件を参照してください。

デバイスの IP アドレスの確認

- コントロール パネルでデバイスの IP アドレスを確認するには (カラー ディスプレイ モデルのみ)、**[セットアップ]** ボタンを押し、[**ネットワーク**] を選択し、[**ネットワーク設定を表示**] を選択します。次に、[**概要を表示 (有線 LAN の場合)**] または [**概要を表示 (無線 LAN の場合)**] を選択します。
  2 行ディスプレイ搭載モデルの場合、IP アドレスを取得するには、ネットワーク設定ページを印刷します。 **[セットアップ]** ボタンを押し、[**ネットワーク**]、[**ネットワーク設定**]、[**ネットワーク構成ページの印刷**] の順に選択します。
- コマンド プロンプトから、本体の IP アドレスを使用して PING コマンドを実行します。
  例えば、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを MS-DOS プロンプトに入力します。
  C:\Ping 123.123.123.123
  応答が表示された場合、IP アドレスは正しいということです。 タイムアウト応答が表示された場合は、IP アドレスが間違っています。

インストールの問題のトラブルシューティング

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

- ハードウェアの取り付けに関連する推奨事項
- ソフトウェアのインストールに関連する推奨事項

- 位置調整ページに関連する問題の解決
- ソフトウェアのインストールに関連する問題の解決
- ネットワークの問題の解決
- ワイヤレス通信に関連する問題の解決

ハードウェアの取り付けに関連する推奨事項

本体の確認

- デバイスの外部および内部からすべての梱包材や梱包用テープが取り外されていることを確認します。
- デバイスに用紙がセットされていることを確認します。
- 準備完了ランプ以外のランプが点滅したり点灯したりしていないことを確認します。準備完了ランプは点灯している必要があります。 注意ランプが点滅している場合は、コントロールパネルに表示されているメッセージを確認します。
- 自己診断テスト ページを印刷できることを確認します。

ハードウェアの接続状態を確認する

- 使用しているコードやケーブルが良好な状態であることを確認します。
- デバイスが電源コードでコンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- 電話線のコードが 1-LINE ポートに接続されていることを確認します。

プリントヘッドとインク カートリッジを確認する

- プリントヘッドからオレンジ色のキャップが取り外されていることを確認します。
- すべてのプリントヘッドとインク カートリッジが、色分けされたスロットに正しくしっかりと装着されていることを確認します。正しく接するようにプリント ヘッドとインク カートリッジをしっかりと押し下げてください。 すべてのプリントヘッドとインク カートリッジが装着されていないと、デバイスは動作できません。
- プリントヘッドのラッチが正しく閉じられていることを確認します。
- 画面にプリントヘッドのエラー メッセージが表示された場合は、プリントヘッドの接触面をクリーニングします。

ソフトウェアのインストールに関連する推奨事項

コンピュータ システムを確認する

- コンピュータで、サポートされている OS のいずれかが実行されていることを確認します。
- コンピュータが少なくともシステムの最小要件を満たしていることを確認します。

インストールの準備

- オペレーティング システムに対応したインストール ソフトウェアが収録されているスタータ CD を使用します。
- ソフトウェアをインストールする前に、それ以外のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- 入力した CD-ROM ドライブへのパスが認識されない場合は、正しいドライブ名を指定していることを確認します。
- CD-ROM ドライブでスタータ CD を認識できない場合は、スタータ CD が破損していないかどうかを調査してください。 デバイス ドライバは、HP の Web サイト (www.hp.com/support) からダウンロードできます。

位置調整ページに関連する問題の解決

デバイスをチェックして、以下を確認します。

- 電源ランプがオンで点滅していない。 デバイスに初めて電源を入れた場合は、ウォームアップに約 45 秒かかります。
- デバイスがレディー状態で、コントロール パネルの他のランプが点灯、または点滅していない。 ランプが点灯または点滅している場合は、コントロールパネルに表示されているメッセージを確認します。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、デバイスにしっかりと接続されている。
- 梱包用のテープと梱包材がデバイスから取り外されている。
- 背面のアクセス パネルまたは両面印刷ユニットが固定されている。
- 用紙がトレイに正しくセットされ、デバイス内に詰まっていない。
- 各プリントヘッドからオレンジ色の保護キャップを取り外してある。
- プリントヘッドとインク カートリッジが、色分けされたスロットに正しく取り付けられている。正しく接するようにプリント ヘッドとインク カートリッジをしっかりと押し下げてください。
- プリントヘッド ラッチとカバーがすべて閉じられている。

ソフトウェアのインストールに関連する問題の解決

以下を確認、または実行します：

- 使用しているコンピュータがシステム要件を満たしていることを確認します。
- ソフトウェアを Windows コンピュータにインストールする前に、それ以外のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- 入力した CD-ROM ドライブへのパスが認識されない場合は、正しいドライブ名を指定していることを確認します。
- CD-ROM ドライブでスタータ CD を認識できない場合は、スタータ CD が破損していないかどうかを調査してください。 デバイス ドライバは、HP の Web サイト (www.hp.com/support) からダウンロードできます。

- Windows デバイス マネージャで、USB ドライバが無効にされていないことを確認します。
- コンピュータで Windows を実行していて、コンピュータがデバイスを検知できない場合は、アンインストール ユーティリティ (スタータ CD の util\ccc\uninstall.bat) を実行してデバイス ドライバのクリーン アンインストールを実行します。 コンピュータを再起動し、デバイス ドライバを再インストールします。

ネットワークの問題の解決

注記 以下を修正した後、インストール プログラムを再度実行します。

一般的なネットワーク トラブルシューティング

- デバイス ソフトウェアをインストールできない場合は、以下を確認します :
  - コンピュータとデバイスにすべてのケーブルがしっかりと接続されている。
  - ネットワークが使用できる状態で、ネットワーク ハブがオンになっている。
  - Windows を実行しているコンピュータで、ウィルス保護プログラム、スパイウェア保護プログラム、ファイアウォールを含むあらゆるアプリケーションが終了しているか、または無効にされている。
  - デバイスを使用するコンピュータと同じサブネット上にデバイスがインストールされていることを確認します。
  - インストール プログラムがデバイスを検知できない場合は、ネットワーク設定ページを印刷してインストール プログラムに IP アドレスを手動で入力します。 詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
- Windows を実行中のコンピュータを使用している場合は、デバイス ドライバに作成されたネットワーク ポートがデバイスの IP アドレスと一致していることを確認します。
  - デバイスのネットワーク設定ページを印刷します。
  - **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
    -または-
    [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
  - デバイスのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[ポート]** タブをクリックします。
  - デバイスの TCP/IP ポートを選択し、**[ポートの構成]** をクリックします。

- ダイアログ ボックスに表示された IP アドレスを比較し、ネットワーク設定ページに表示された IP アドレスと一致することを確認します。 IP アドレスが一致しない場合は、ネットワーク設定ページのアドレスと一致するようダイアログ ボックスの IP アドレスを変更します。
- **[OK]** を 2 回クリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを終了します。

ワイヤ ネットワークへの接続問題

- ネットワーク コネクタのリンク ランプが点灯しない場合は、「一般的なネットワーク トラブルシューティング」の項目がすべて満たされていることを確認します。
- デバイスに静的 IP アドレスを割り当てることは推奨されていませんが、これを行うことによってインストールの問題 (パーソナル ファイアウォールとの競合など) が解決される場合があります。

ワイヤレス通信に関連する問題の解決

ワイヤレス設定とソフトウェアのインストールを行った後にネットワークと通信できない場合は、以下の作業の 1 つ以上を実行します。

ワイヤレス通信設定を確認します。

- コンピュータのワイヤレス カードが正しいワイヤレス プロファイルに設定されていることを確認します。 ワイヤレス プロファイルは、指定のネットワークに固有の一連のネットワーク設定です。 1 つのワイヤレス カードに複数のワイヤレス プロファイルがある場合があります (例えば家庭用ネットワークとオフィス用ネットワークなど)。 コンピュータにインストールされたネットワーク カードの構成ユーティリティを開き、選択されたプロファイルがデバイスのネットワーク用のプロファイルであることを確認します。
- デバイスのネットワーク設定がネットワークの設定と一致することを確認します。 ネットワークの設定を見つけるには、以下のいずれかを実行します。
  - **インフラストラクチャ通信**： ワイヤレス アクセス ポイント (WAP) の構成ユーティリティを開きます。
  - **アドホック通信**： コンピュータにインストールされたネットワーク カードの構成ユーティリティを開きます。
- ネットワークの設定を、デバイスのネットワーク設定ページに示されている設定と比較し、違いがあれば書き留めます。 詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。 可能性のある問題：
  - WAP フィルタ ハードウェア アドレス (MAC アドレス)。
  - 本体の 通信モード、ネットワーク名 (SSID)、チャンネル (アドホック ネットワークのみ)、認証タイプ、または暗号化の設定が間違っている可能性があります。
  - 文書を印刷します。 それでも文書を印刷できない場合は、デバイスのネットワーク設定をリセットし、デバイス ソフトウェアを再インストールします。

ワイヤレス ネットワークの設定が正しい場合は、コンピュータが別のワイヤレスネットワークと関連付けられている可能性があります。 コンピュータが、デバイスと同じワイヤレス ネットワークと関連付けられていることを確認してください。

コンピュータのワイヤレス設定をチェックすることによってこれを確認できます。 また、コンピュータにワイヤレス ネットワークへのアクセスがあることも確認します。

ワイヤレス ネットワークの設定が間違っている場合は、以下の手順に従ってデバイスの設定を修正します。

1. デバイスを、ネットワーク ケーブルを使用してネットワークまたはコンピュータに接続します。
2. デバイスの埋め込み Web サーバを開きます。
3. **[ネットワーキング]** タブをクリックし、左枠にある **[ワイヤレス (802.11)]** をクリックします。
4. [ワイヤレス設定] タブのワイヤレス設定ウィザードを使用して、ネットワークの設定と一致するようにデバイスの設定を変更します。
5. デバイスの埋め込み Web サーバを終了して、デバイスからネットワーク ケーブルを外します。
6. デバイス ソフトウェアを完全にアンインストールしてから、ソフトウェアを再インストールします。

ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する

MAC フィルタリングはセキュリティ機能で、Wireless Access Point (WAP) が WAP を通じてネットワークへアクセスできるデバイスの MAC アドレス (ハードウェア アドレスとも呼ばれる) のリストに構成されています。 ネットワークにアクセスしようしているデバイスのハードウェア アドレスが WAP にない場合、WAP はネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。WAP で MAC アドレスをフィルタする場合、デバイスの MAC アドレスを WAP の容認された MAC アドレスのリストに追加しなければなりません。

• ネットワーク設定ページを印刷します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
• WAP の構成ユーティリティを開き、デバイスのハードウェア アドレスを、容認された MAC アドレスのリストに追加します。

ネットワーク設定をリセットする

デバイスがネットワークと通信できない場合は、デバイスのネットワーク設定をリセットします。

• **[セットアップ]** を押します。 矢印ボタンを押して **[ネットワーク]** に移動し、**[OK]** を押します。
• 矢印ボタンを押して **[ネットワーク デフォルトに戻す]** に移動し、**[OK]** を押します。
• ネットワーク設定ページを印刷し、ネットワーク設定がリセットされているかどうかを確認します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
デフォルトでは、ネットワーク名 (SSID) は "hpsetup"、通信モードは "ad hoc" です。

メディア詰まりの除去

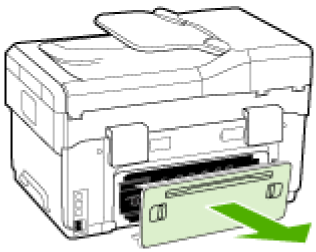
ジョブの実行中、本体内にメディアが詰まることがあります。 詰まったメディアを取り除く前に、以下のことを確認してください。

• 仕様に準拠したメディアで印刷していることを確認します。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
• しわが寄っていたり、折れ曲がっていたり、傷んでいるメディアを使用していないことを確認します。
• 本体がきれいであることを確認します。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
• 給紙トレイにメディアが正しくセットされていること、セットされているメディアの数が多すぎないことを確認します。詳細については、メディアのセットを参照してください。

本体に詰まったメディアの除去

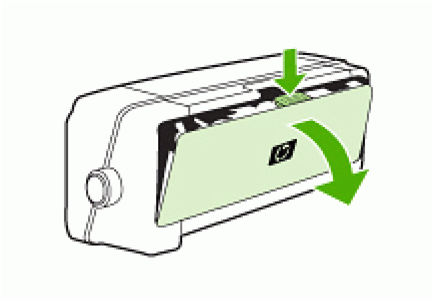
メディア詰まりを除去するには

1. すべてのメディアを排紙トレイから取り除きます。
2. 背面アクセス パネルまたは両面印刷ユニットを確認します。
   a. 背面アクセス パネルまたは両面印刷ユニットの一方の側面にあるボタンを押して、パネルまたはユニットを取り外します。



   b. 本体内部につまったメディアを見つけ、両手でつかんで手前に引きます。

c. そこにメディアがない場合は、両面印刷ユニット上部のラッチを押し、ユニットのカバーを下げます。 内部にメディアが詰まっている場合は、メディアを慎重に取り除きます。 カバーを閉じます。

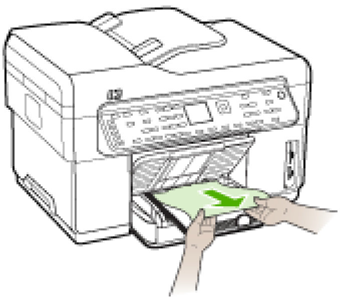


d. 背面アクセス パネルまたは両面印刷ユニットを本体に再び取り付けます。

3. メディアが見つからない場合は、排紙トレイを上げてトレイ 1 にメディアが詰まっていないかどうかを確認します。トレイにメディアが詰まっている場合は、以下を行います:

a. 排紙トレイを上げます。

b. 用紙を手前に引きます。



c. 排紙トレイを下げます。

4. メディアが見つからず、トレイ 2 が挿入されている場合は、トレイを引き出して詰まったメディアを取り除きます。 取り除くことができない場合は、以下を行います :

a. 本体の電源がオフになっていることを確認し、電源コードを外します。

b. 本体を持ち上げてトレイ 2 から外します。

c. 本体の裏面 (下側) またはトレイ 2 からつまっているメディアを取り除きます。

d. 本体をトレイ 2 の上に戻します。

5. プリントキャリッジ アクセス ドアを開きます。 本体内に用紙が残っている場合は、キャリッジが本体の右端に戻っていることを確認し、紙切れやしわの寄ったメディアを取り除いて本体上部からメディアを手前に引きます。

⚠ 警告　本体の電源が入っていて、キャリッジが戻っていない場合は、内部に手を入れないでください。 プリントキャリッジ アクセス ドアを開くと、通常、キャリッジは本体右側の位置に戻ります。 右側に戻らない場合は、詰まったメディアを取り除く前に本体の電源をオフにします。

---

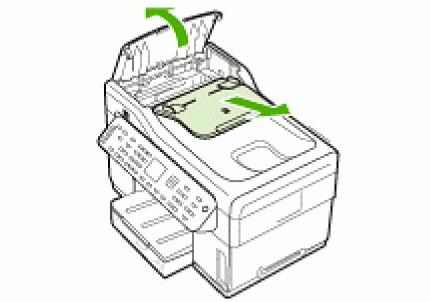
6. 詰まったメディアを取り除いた後は、すべてのカバーを閉じて本体の電源をオンにし (電源がオンになっていない場合)、印刷ジョブを再度送信します。

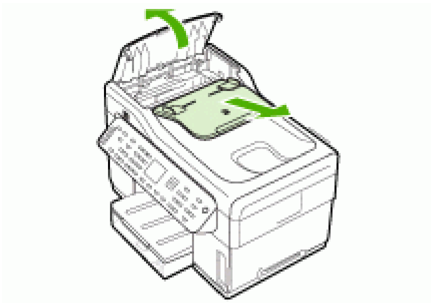
ADF のメディア詰まりの除去

ADF にメディアが詰まった場合は、詰まったメディアを取り除く前に以下を行ってください。 メディア詰まりを避ける方法について、メディア詰まりを避けるためのヒントを参照してください。

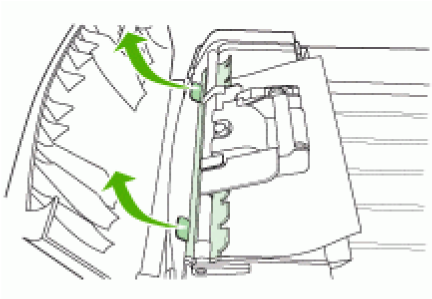
ADF に詰まったメディアを取り除くには

1. メディアがはみ出ている場合は、メディアが裂けないようにゆっくりと引き出します。 抵抗があり、メディアが裂けそうな場合は、次の手順を実行します。
2. ドキュメント フィーダを取り外し、ADF カバーを開きます。

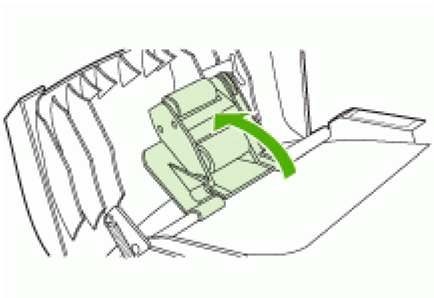




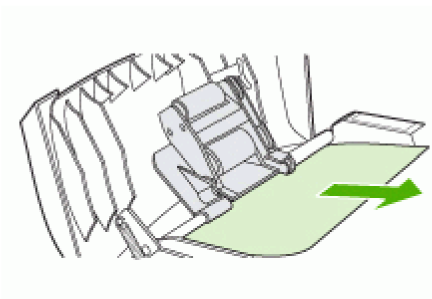
3. メディア詰まり除去部品を取り外します。 両手で 2 つのハンドルを持ち、部品を持ち上げて外します。 部品を取り出し、上下を逆にして本体脇に置きます。



4. 緑色のレバーを持ち上げながら、給紙機構を回転させて開いたままにします。



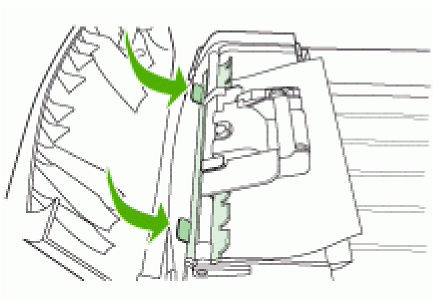
5. メディアが裂けないようにゆっくりと引き出します。 抵抗があり、メディアが裂けそうな場合は、次の手順を実行します。



6. ADF を開き、両手を使用してメディアをゆっくりとゆるめます。
7. メディアが動くようになったら、ゆっくりと引き出します。

8. ADF を閉じます。
9. 緑色のレバーを下げます。
10. メディア詰まり除去部品を図のように挿入して取り付けます。 カチッという音がするまで 2 つのタブを押し込みます。

> **注記** メディア詰まり除去部品を正しく取り付けないと、メディア詰まりの原因になります。



11. ADF を閉じ、ドキュメント フィーダ トレイを取り付けます。

メディア詰まりを避けるためのヒント

- 用紙の移動経路の障害がないことを確認します。
- トレイにメディアを入れすぎないでください。詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- 用紙のセットは、本体が印刷中でないときに正しく行います。 詳細については、メディアのセットおよび自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。
- 本体にトレイ 2 (オプション) を再度取り付けるときは、ゆっくりと挿入します。 用紙の束がセットされた状態で急にトレイを挿入すると、用紙が本体内でスライドして持ち上がり、用紙が詰まることや、同時に 2 枚以上給紙されることがあります。
- 曲がったりしわのよったメディアは使用しないでください。
- 仕様に沿ったメディアのみを常に使用してください。詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- 排紙トレイがいっぱいになっていないことを確認します。
- メディアがトレイの右端に沿っていることを確認します。
- メディアの縦と横方向の用紙ガイドがメディアの束にぴったりと合い、しわがよったり曲がっていないことを確認します。

A　HP サプライ品とアクセサリ

このセクションには、本製品の HP サプライ品とアクセサリについての情報が説明されています。 この情報は変更されることがありますので、最新情報については HP Web サイト (www.hpshopping.com) をご覧ください。 Web サイトから購入いただくこともできます。

- 印刷サプライ品のオンライン注文
- アクセサリ
- サプライ品

印刷サプライ品のオンライン注文

HP Web サイトに加えて、印刷サプライ品の注文には次のツールを使用できます。

- **埋め込み Web サーバ**： 埋め込み Web サーバの任意のページで **サプライの注文** ボタンをクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： **[推定インクレベル]** タブで、**[オンライン ショップ]** をクリックします。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[サプライ品ステータス]** を **[情報とサポート]** パネルからクリックし、**[HP サプライ品の注文]** ドロップダウン メニューをクリックし、**[オンライン]** を選択します。

アクセサリ

HP 自動両面印刷アクセサリ	C9278A	用紙の両面に自動的に印刷できる自動両面印刷ユニット
350 枚収納トレイ	CB007A	普通紙を最大 350 枚までセットできるオプションの第 2 トレイ
HP Jetdirect 175x Print Server-Fast Ethernet*	J6035C	外付けプリント サーバ (USB 1.0)
HP Jetdirect en3700 Fast Ethernet Print Server*	J7942A	外付けプリント サーバ (USB 2.0)
HP Jetdirect ew2400 802.11g Wireless Print Server*	J7951A	ワイヤレスまたは有線の外付けプリント サーバ
HP bt300 Bluetooth ワイヤレス プリンタ アダプタ	Q3395A	Bluetooth 互換 USB アダプタ

* 印刷機能のみサポートします。

サプライ品

- インク カートリッジ
- プリントヘッド
- HP メディア

インク カートリッジ

インク カートリッジを交換する場合は、現在使用中のカートリッジと同じカートリッジ番号のものと交換してください。 カートリッジ番号は次の場所で確認できます。

- セルフ テスト診断ページ 詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。
- 交換するインク カートリッジのラベル。
- **埋め込み Web サーバ**： [**情報**] タブをクリックし、左枠の [**インク サプライ品**] をクリックします。
- **ツールボックス (Windows)**： [**推定インクレベル**] タブをクリックし、[**カートリッジの詳細**] ボタンをクリックして、交換インク カートリッジに関する情報を表示します。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)**： **[情報とサポート]** パネルを開き、**[サプライ製品情報]** をクリックします。

注記 利用可能なインク カートリッジは、国/地域によって異なります。 ヨーロッパにお住まいの方は、www.hp.com/eu/hard-to-find-supplies で HP インク カートリッジについての情報を見つけてください。

プリントヘッド

HP 88 ブラックとイエロー	C9381A
HP 88 マゼンタとシアン	C9382A

HP メディア

HP プレミアム プラス フォト用紙または HP プレミアム用紙などのメディアを注文するには、www.hp.com にアクセスしてください。

お住まいの国/地域をお選びの上、[**購入**] または [**ショッピング**]を選択します。

B　サポートおよび保証

保守とトラブルシューティングの情報は、一般的な問題の解決策を提供します。 お使いの製品が正しく動作せず、これらの提案でも問題が解決されない場合は、以下のサポート サービスのいずれかを使用してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電子サポートの取得
- HP テレフォン サポートの取得
- Hewlett-Packard による限定保証
- 製品をお送りいただくための準備
- 製品の梱包

電子サポートの取得

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカル サポートにお問合せください。

また、この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、注文に関する情報のほか、次のようなオプションが用意されています。

- オンライン サポートのページにアクセスする。
- 質問を E メールで HP に送信する。
- オンライン チャットで、HP の技術者に問い合わせる。
- ソフトウェアのアップデートを確認する。

また、以下の電子ソースから、HP のサポートを得ることができます。

- **ツールボックス (Windows)**： ツールボックスには、一般的な印刷問題について簡単なステップごとの解決策が記載されています。 詳細については、ツールボックス (Windows)を参照してください。
- **埋め込み Web サーバ**： 本体がネットワークに接続されている場合、埋め込み Web サーバを使用してステータス情報の表示、設定の変更、およびコンピュータでの本体の管理などを行うことができます。 詳細については、埋め込み Web サーバを参照してください。

ご利用いただけるサポートオプションは、製品、国/地域、および言語によって異なります。

HP テレフォン サポートの取得

保証期間中は、HP カスタマ ケア センタから無料でサポートを受けることができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電話をかける前の用意
- 電話サポート番号

電話をかける前の用意

最新のトラブルシューティング情報、または製品のフィックスと更新を HP の Web サイト (www.hp.com/support) で見つけてください。

カスタマ ケア センター担当者がよりよくお手伝いできるよう、電話をかける必要がある場合は以下の情報をお手元にご用意ください。

1. デバイスのセルフ テスト診断ページを印刷します。 詳細については、自己診断テスト ページの理解を参照してください。 印刷できない場合は、次の情報を用意してください。
   - デバイス モデル
   - モデル番号とシリアル番号 (本体後部をチェック)
2. Windows XP などお使いのオペレーティング システムを確認します。
3. 本体がネットワークに接続されている場合は、そのネットワーク オペレーティング システムを確認します。
4. USB 接続、ネットワーク接続など、お使いのシステムに本体がどのように接続されているかを書き留めます。
5. HP Officejet Pro K550 Series バージョン : 60.52.213.0 など、プリンタ ソフトウェアのバージョン番号を入手します。 60.52.213.0. (プリンタ ドライバのバージョン番号を調べるには、プリンタ設定ダイアログ ボックスまたはプロパティ ダイアログ ボックスを開き、**[バージョン情報]** タブをクリックします)。
6. 特定のアプリケーションからの印刷に起因する問題の場合は、そのアプリケーション名とバージョン番号を確認します。

電話サポート番号

多くの地域で、HP は保証期間中、無料電話サポートを提供しています。 ただし、以下に一覧されている電話番号の中には無料番号でないものもあります。

電話サポート番号の最新リストについては、www.hp.com/support を参照してください。

www.hp.com/support

021 672 280	الجزائر
Argentina (Buenos Aires) Argentina	54-11-4708-1600 0-800-555-5000
Australia Australia (out-of-warranty)	1300 721 147 1902 910 910
Österreich	+43 0820 87 4417
17212049	البحرين
België Belgique	+32 070 300 005 +32 070 300 004
Brasil (Sao Paulo) Brasil	55-11-4004-7751 0-800-709-7751
Canada	1-(800)-474-6836 (1-800 hp invent)
Central America & The Caribbean	www.hp.com/support
Chile	800-360-999
中国	021-3881 4518 800-810-3888
Colombia (Bogotá) Colombia	571-606-9191 01-8000-51-4746-8368
Costa Rica	0-800-011-1046
Česká republika	810 222 222
Danmark	+45 70 202 845
Ecuador (Andinatel) Ecuador (Pacifitel)	1-999-119 800-711-2884 1-800-225-528 800-711-2884
(02) 6910602	مصر
El Salvador	800-6160
España	+34 902 010 059
France	+33 0892 69 60 22
Deutschland	+49 01805 652 180
Ελλάδα (από το εξωτερικό) Ελλάδα (εντός Ελλάδας) Ελλάδα (από Κύπρο)	+ 30 210 6073603 801 11 75400 800 9 2654
Guatemala	1-800-711-2884
香港特別行政區	(852) 2802 4098
Magyarország	06 40 200 629
India	1-800-425-7737 91-80-28526900
Indonesia	+62 (21) 350 3408
+971 4 224 9189	العراق
+971 4 224 9189	الكويت
+971 4 224 9189	لبنان
+971 4 224 9189	قطر
+971 4 224 9189	اليمن
Ireland	+353 1890 923 902
1-700-503-048	ישראל
Italia	+39 848 800 871
Jamaica	1-800-711-2884

日本 日本 (携帯電話の場合)	0570-000511 03-3335-9800
0800 222 47	الأردن
한국	1588-3003
Luxembourg Luxemburg	+352 900 40 006 +352 900 40 007
Malaysia	1800 88 8588
Mauritius	(262) 262 210 404
México (Ciudad de México) México	55-5258-9922 01-800-472-68368
081 005 010	المغرب
Nederland	+31 0900 2020 165
New Zealand	0800 441 147
Nigeria	(01) 271 2320
Norge	+47 815 62 070
24791773	عُمان
Panamá	1-800-711-2884
Paraguay	009 800 54 1 0006
Perú	0-800-10111
Philippines	2 867 3551
Polska	22 5666 000
Portugal	+351 808 201 492
Puerto Rico	1-877-232-0589
República Dominicana	1-800-711-2884
Reunion	0820 890 323
România	0801 033 390
Россия (Москва) Россия (Санкт-Петербург)	095 777 3284 812 332 4240
800 897 1415	السعودية
Singapore	6 272 5300
Slovensko	0850 111 256
South Africa (international) South Africa (RSA)	+ 27 11 2589301 0860 104 771
Rest of West Africa	+ 351 213 17 63 80
Suomi	+358 0 203 66 767
Sverige	+46 077 120 4765
Switzerland	+41 0848 672 672
臺灣	02-8722-8000
ไทย	+66 (2) 353 9000
071 891 391	تونس
Trinidad & Tobago	1-800-711-2884
Türkiye	+90 0212 444 0307
Україна	(044) 230-51-06
600 54 47 47	الإمارات العربية المتحدة
United Kingdom	+44 0870 010 4320
United States	1-(800)-474-6836
Uruguay	0004-054-177
Venezuela (Caracas) Venezuela	58-212-278-8666 0-800-474-68368
Viêt Nam	+84 88234530

Hewlett-Packard による限定保証

HP 製品	限定保証期間
ソフトウェア メディア	90 日
プリンタ	1 年
プリントまたはインク カートリッジ	HP インクが空になった時点か、カートリッジに記載されている「保証期限」のいずれか早い時点まで。本保証は、インクの詰め替え、改造、誤使用、または不正な改修が行われた HP インク製品には適用されません。
プリントヘッド	1 年
アクセサリ	1 年

A. 限定保証の有効範囲
1. Hewlett-Packard (以下 HP) は、ご購入日から上記の指定期間中、設計上および製造上の不具合のないことを保証いたします。
2. HP のソフトウェア製品に関する保証は、プログラムの実行エラーのみに限定されています。HP は、製品操作によって電磁波障害が引き起こされた場合は保証しません。
3. HP の限定保証は、製品の通常使用により発生した欠陥のみを対象とします。下記に起因する不具合を含むその他の不具合には適用されません。
   a. 不適切なメンテナンスや改修
   b. 他社により提供またはサポートされているソフトウェア、部品、またはサプライ品の使用
   c. 製品使用外の操作
   d. 不正な改修や、誤使用
4. HP プリンタ製品に HP 製品以外のインク カートリッジやインクを詰め替えたカートリッジを使用した場合は、保証の対象、または HP サポートの対象から外れます。ただし、プリンタの故障や損傷が HP 製以外の詰め替え用インクカートリッジの使用によって発生した場合は HP は標準時間と実費にて特定の故障または損傷を修理いたします。
5. HP は、保証期間中に HP の保証対象となる製品の不良通知を受け取った場合、HP の判断に従って製品を修理または交換するものとします。
6. HP の保証対象となる欠陥製品の修理や交換が適用範囲で行えない場合、HP は、欠陥通知を受け取ってからしかるべき期間内に購入代金返還を行います。
7. HP は、お客様が欠陥製品を HP へ返却するまでは、修理、交換、返金を行う義務はないものとします。
8. 交換製品は、新品、またはそれに類する製品で、機能的には少なくとも交換に出された製品と同等のものとします。
9. HP 製品は、パーツ、コンポーネントや素材を再利用して製造する場合がありますが、これらの性能は新しいものと同等です。
10. HP の限定保証は、HP 製品が販売されているすべての国と地域で有効とします。出張修理などの追加保証サービス契約については、HP 製品販売国/地域における正規の HP サービス センタ、または正規輸入代理店までご相談ください。.

B. 保証の限定
   国/地域の法律によって認められる範囲内で、当社および第三者の納入業者のいずれも、保証条件、製品品質、および特定の目的に関して本保証以外に明示的または黙示的に保証をすることはありません。

C. 限定責任
1. 国/地域の法律によって認められる範囲内で、本保証に規定された救済が、お客様のみに限定された唯一の救済になります。
2. 本保証に規定された義務を除いて、HP または第三者は、損傷について、直接的、間接的、特別、偶発的、必然的であるかどうか、あるいは、契約、不法行為、その他の法的理論に基づくかどうかに関わらず、またそのような損傷の可能性を説明しているかどうかに関わらず、責任は負わないものとします。.

D. 国/地域ごとの法律
1. 本保証によって、お客様に特定の法的権利が付与されます。この権利は、米国およびカナダについては州ごとに、その他の国については国ごとに付与されることがあります。
2. この保証書の内容と国/地域の法律が整合しない場合、本保証書は地域の法律に合致するように修正されるものとします。このような国/地域の法律の下で、一部の警告文と限定保証はお客様に適用されない場合があります。たとえば、米国の複数の州、また米国以外の政府 (カナダの州を含む) などでは、以下のとおりとなります。
   a. 本保証書の警告文と限定保証を、お客様の法廷権利の制限からあらかじめ除外する場合があります (例：イギリス)。
   b. その他に製造元が保証を認めないことや限定を設けることとについて規制すること。
   c. お客様に追加の保証権利を提供すること、製造業者が責任を逃れられない暗黙の保証期間を規定すること、および暗黙の保証期間に対する限定を認めないこと。
3. 本保証の条項は法律の及ぶ範囲内までとし、除外、制限、または修正などはしないものとします。また、義務づけられた法的権利は、お客様への HP 製品の販売に適用されます。

製品をお送りいただくための準備

HP カスタマ サポートへのお問い合わせ後、または購入店で製品をサービス担当にお送りいただくよう求められた場合は、製品をお送りいただく前に、必ず以下のものを取り外し、保管しておいてください。

- インク カートリッジとプリントヘッド
- コントロール パネル カバー
- 電源コード、USB ケーブルなど、製品に接続されているケーブル

- 給紙トレイにセットされている用紙
- 本体にセットされているすべての原稿

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 製品をお送りいただく前のインク カートリッジとプリントヘッドの取り外し
- コントロール パネル カバーの取り外し

製品をお送りいただく前のインク カートリッジとプリントヘッドの取り外し

製品をお送りいただく前に、インク カートリッジとプリント ヘッドを必ず取り外してください。

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。

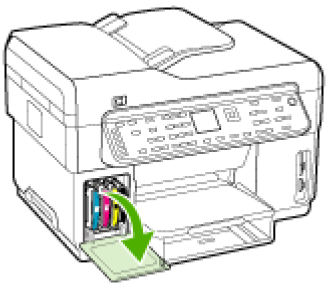
発送前にプリント カートリッジを取り外すには

1. 本体の電源を入れ、プリント カートリッジが停止して静かになるまでしばらく待ちます。 本体の電源がオンにならない場合は、この手順を省略してステップ 2 に進みます。

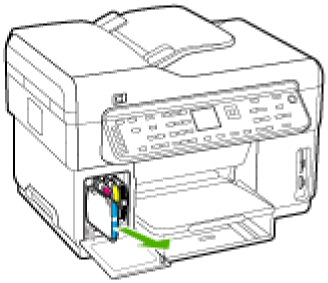
   注記 本体の電源がオンにならない場合は、電源コードを抜いて、手動でプリント キャリッジを右端まで動かすと、インク カートリッジを取り外すことができます。

   ---

2. インク カートリッジ カバーをゆっくりと開きます。



3. それぞれのインク カートリッジを親指と人さし指で挟んでしっかりと手前に引き、スロットから取り外します。



4. インク カートリッジの内部が乾燥しないようにカートリッジを密閉プラスチック容器に入れて保管します。 HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、本体と一緒に発送しないでください。
5. インク カートリッジ アクセスドアを閉め、カートリッジがホーム ポジション (左側) に戻るまでしばらく待ちます。
6. スキャナが停止して所定の位置に戻った後、**[電源]** ボタンを押して本体の電源をオフにします。

発送前にプリントヘッドを取り外すには

1. 上部カバーを開きます。
2. キャリッジが自動的に左に移動しない場合は、**[OK]** ボタンを 5 秒間押し続けます。 キャリッジが止まるのを待ちます。
3. プリントヘッド ラッチを上げます。
4. プリントヘッドのハンドルを持ち上げて、プリントヘッドをスロットから引き出します。
5. 乾燥を避けるたため、プリントヘッドを密閉プラスチック容器に入れて保管します。HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、本体と一緒に発送しないでください。
6. 上部カバーを閉じます。
7. スキャナが停止して所定の位置に戻った後、**[電源]** ボタンを押して本体の電源をオフにします。

コントロール パネル カバーの取り外し

インク カートリッジとプリント ヘッドの取り外しが終わったら、以下の手順を実行します。

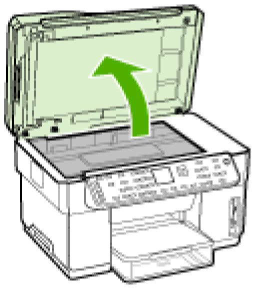
注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。

注意 必ず本体のプラグを抜いてから以下の手順に従ってください。

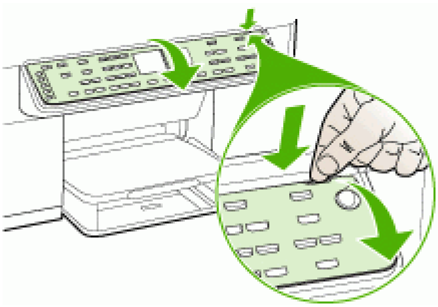
注意 本体の交換品に電源コードは付属しません。 交換品が到着するまで、電源コードは安全な場所に保管しておいてください。

コントロール パネル カバーを取り外すには

1. **[電源]** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
2. 電源コードをコンセントから抜いた後、本体から外します。 電源コードは本体と一緒に返送しないでください。
3. 以下の手順に従って、コントロール パネル カバーを取り外します。
   a. ADF を持ち上げます。

   b. 指を使用するか、薄いものをコントロール パネル カバーの右上のタブに差し込んで、コントロール パネル カバーを取り外します。

4. コントロール パネル カバーを保管します。 コントロール パネル カバーは HP オールインワン と一緒に返送しないでください。

△ **注意** 交換用のデバイスには、コントロール パネル カバーが付属していません。 コントロール パネル カバーは安全な場所に保管しておき、デバイスの交換品がお手元に届いたら取り付けてください。 デバイスの交換品のコントロール パネル機能を使用するには、交換前の製品に付属していたコントロール パネル カバーを交換品に取り付ける必要があります。

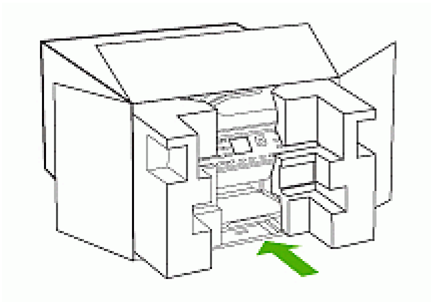
注記 コントロール パネル カバーの取り付け方法については、デバイスに付属のセットアップ ポスターを参照してください。 デバイスの交換品に、デバイスの設定に関する使用説明書が付属している場合があります。

製品の梱包

製品をお送りいただく準備ができたら、次の手順を実行してください。

製品を梱包するには

1. お手元にある場合は元の梱包材を使用して、または交換品に使用されていた梱包材を使用して、製品を梱包して発送します。

   元の梱包材がない場合は、他の適切な梱包材を使用してください。 不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。
2. 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。
3. 箱には、以下のものを入れてください。
   - サービス担当に宛てた、症状の詳細な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます)。
   - 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー。
   - 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号。

C デバイスの仕様

メディアおよびメディア処理の仕様については、「サポートされたメディアの仕様の理解」を参照してください。

物理的仕様

サイズ (幅 x 奥行き x 高さ)

- **A4/レター サイズのスキャナ ガラスを搭載したデバイス (L7300、L7500):** 505 x 402 x 356 mm (19.9 x 15.8 x 14 インチ)
- **リーガル サイズのスキャナ ガラスを搭載したデバイス (L7600、L7700):** 531 x 465 x 356 mm (20.9 x 18.3 x 14 インチ)
- **両面印刷ユニット取り付け時:** 64 mm (2.5 インチ) をデバイスの背面に追加します。
- **トレイ 2 取り付け時:** 76 mm (3 インチ) をデバイスの高さに追加します。

デバイス重量 (プリントヘッドまたはインク カートリッジは含まず)

- **A4/レター サイズのスキャナ ガラスを搭載したデバイス (L7300、L7500):** 14.2 kg (31.3 ポンド)
- **リーガル サイズのスキャナ ガラスを搭載したデバイス (L7600、L7700):** 14.76 kg (32.5 ポンド)
- **両面印刷ユニット取り付け時:** 0.95 kg (2.0 ポンド) を追加します。
- **トレイ 2 取り付け時:** 2.5 kg (5.5 ポンド) を追加します。

製品特性と機能

機能	容量
接続	• USB 2.0 高速準拠 • USB ホスト コネクタは、フル スピードまでしかサポートされていません。 • 有線ネットワーク接続用高速 Ethernet 10/100Base-TX (一部のモデルのみ) • 802.11b/g ワイヤレス ネットワーク (一部のモデルのみ)
印刷方式	オンデマンド型サーマル インクジェット印刷
インク カートリッジ	4 種類のインク カートリッジ (黒、シアン、マゼンタ、およびイエロー各 1 つ)
プリントヘッド	2 種類のプリントヘッド (黒、シアン、イエロー、およびマゼンタ各 1 つ)
印刷可能枚数	インク カートリッジの推定残量の詳細については、www.hp.com/pageyield/ を参照してください。
デバイスの言語	HP PCL 3 拡張

(続き)

機能	容量
サポートするフォント	US フォント： CG Times、CG Times Italic、Universe、Universe Italic、Courier、Courier Italic、Letter Gothic、Letter Gothic Italic。
負荷サイクル	7500 ページ/月まで
コントロール パネルの言語のサポート 使用可能な言語は国/地域によって異なります。	ブルガリア語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、簡体字中国語、スロバキア語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、繁体字中国語、トルコ語、ウクライナ語。

プロセッサとメモリの仕様

デバイス プロセッサ

192 MHz ARM946ES、ETM9 (medium)

デバイス メモリ

- L7300/L7500: 64 MB 内蔵 RAM、16 MB 内蔵 MROM +2 MB 内蔵 Flash ROM
- L7600:64 MB 内蔵 RAM、16 MB 内蔵 MROM + 4 MB 内蔵 Flash ROM
- L7700:64 + 32 MB 内蔵 RAM、16 MB 内蔵 MROM + 4 MB 内蔵 Flash ROM

システム要件

注記　サポートされているオペレーティング システムとシステム要件の最新情報については、http://www.hp.com/support/ にアクセスしてください。

オペレーティング システムとの互換性

- Windows 2000、Windows XP、Windows XP x64* (Professional Edition および Home Edition)
- Mac OS X (10.3、10.4)
- Linux

注記　Windows Server 2003 (32 ビット版と 64 ビット版の両方) 用のプリンタ ドライバおよびスキャナ ドライバを使用する場合は、最低でも Intel ® Pentium ® II または Intel Celeron ® プロセッサ、128 MB の RAM、200 MB のハード ディスク空き容量が必要です。ドライバは http://www.hp.com/support/ から入手できます。

最小要件

- **Windows 2000**：　Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB RAM、280 MB のハード ディスク空き容量
- **Windows XP (32 ビット):** Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB RAM、280 MB のハード ディスク空き容量
- **Windows XP x64:** Intel Pentium II または Celeron プロセッサ、128 MB RAM、280 MB のハード ディスク空き容量

- **Mac OS X (10.3.8、10.4.x):** 400 MHz Power PC G3 (v10.3.8 および v10.4.x) または 1.83 GHz Intel Core Duo (v10.4.x)、128 MB メモリ、300 MB のハード ディスク空き容量
- **Microsoft Internet Explorer 6.0**

推奨される要件

- **Windows 2000**： Intel Pentium III 以上のプロセッサ、256 MB RAM、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Windows XP (32 ビット):** Intel Pentium III 以上のプロセッサ、256 MB RAM、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Windows XP x64:** Intel Pentium III 以上のプロセッサ、256 MB RAM、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Mac OS X (10.3.8、10.4.x):** 400 MHz Power PC G3 (v10.3.8 および v10.4.x) または 1.83 GHz Intel Core Duo (v10.4.x)、256 MB メモリ、600 MB のハード ディスク空き容量
- **Microsoft Internet Explorer 6.0 以降**

ネットワーク プロトコルの仕様

ネットワーク オペレーティング システムとの互換性

- Windows 2000、Windows XP (32 ビット)、Windows XP x64 (Professional Edition および Home Edition)
- Mac OS X (10.3、10.4)
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services と Citrix Metaframe XP と Feature Release 3
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.0
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.0
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Metaframe XP と Feature Release 3
- Novell Netware 6、6.5、Open Enterprise Server 6.5

互換性のあるネットワーク プロトコル

TCP/IP

ネットワーク管理

- HP Web Jetadmin プラグイン
- 埋め込み Web サーバ

  機能

  - ネットワーク デバイスをリモート設定および管理する機能
  - myPrintMileage

埋め込み Web サーバの仕様

必要な条件

- TCP/IP ベースのネットワーク (IPX/SPX ベースのネットワークはサポートされていません)
- Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 5.5、Netscape 7.0、Opera 7.54、Mozilla Firefox 1.0、または Safari 1.2 以降)
- ネットワーク接続 (USB ケーブルで直接コンピュータに接続されている場合、埋め込み Web サーバは使用できません)
- インターネット接続 (一部の機能で必要)

注記 埋め込み Web サーバは、インターネットに接続しなくても開くことができます。 ただし、一部の機能は使用できません。

- デバイスとファイアウォールの同じ側になければなりません。

印刷の仕様

印刷解像度

モノクロ
ピグメント ブラック インクで最高 1200 dpi

カラー
HP ではフォト品質を Vivera インクにより改善しています (最高 4800 X 1200 dpi 最適化、1200 X 1200 入力 dpi で HP プレミアム プラス フォト用紙使用)

コピーの仕様

- デジタルイメージ処理
- 原稿のコピーは 100 枚まで (モデルによって異なります)
- デジタルズーム: 25～400% (モデルによって異なります)
- ページに合わせる、プレスキャン
- コピー速度: モノクロの場合最大 30 ページ/分、カラーの場合 24 ページ/分 (モデルによって異なります)
- コピー速度はドキュメントの複雑さによって異なります

モード	種類	速度 (ppm)	スキャンの解像度 (dpi)[1]
高画質	モノクロ	最大 0.8	最高 600 x 1200
	カラー	最大 0.8	最高 600 x 1200
標準	モノクロ	最大 8.5	最高 300 x 300
	カラー	最大 5.1	最高 300 x 300
はやい	モノクロ	最大 30	最高 300 x 300
	カラー	最大 24	最高 300 x 300

1 400% の倍率時の最大値。

ファックスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファックス機能。
- 最大 110 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)。
- 最大 120 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 手動ファックス送受信。
- 最大 5 回のビジー自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 1 回の応答なし自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート。
- CCITT/ITU Group 3 ファックス (エラー訂正モード対応)。
- 伝送速度 33.6 Kbps。
- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 3 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファックス/留守番電話の自動切り替え。

	写真 (dpi)	超高画質 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	196 x 203 (8 ビットグレースケール)	300 x 300	196 x 203	196 x 98
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

スキャンの仕様

- イメージエディター内蔵
- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (Windows のみ）
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度： 光学解像度 2400 x 4800 ppi、最大補間解像度 19200 ppi

- カラー： RGB カラーによる16 ビット、48 ビット合計
- ガラス板からの最大スキャン サイズ： 216 x 297 mm (8.5 x 11.7 インチ)

ダイレクト デジタル ファイリングの仕様

- ADF またはスキャナのガラス板からハードコピーの原稿をスキャンし、デジタル ドキュメントを作成してネットワーク フォルダに保存 (ネットワーク接続が必要)
- プログラム済みのネットワーク フォルダ パスをサポート
- デジタル ファイリング短縮ダイヤルをサポート
- 解像度： 75 dpi、200 dpi、300 dpi、600 dpi
- サポートされるファイル形式: PDF、JPG
- サポートされるネットワーク構成: TCP/IP ネットワーク

環境仕様

動作環境

動作温度: 5 ～ 40 C (41 ～ 104 F)
動作時推奨条件: 15 ～ 32 C (59 ～ 90 F)
推奨相対湿度: 25 ～ 75% 結露しないこと

保管環境

保管温度: -40 ～ 60 C (-40 ～ 140 F)
保管相対湿度: 65 C (150 F) の温度で最高 90%、結露しないこと

電気仕様

電源

ユニバーサル電源アダプタ (外部)

所要電力

入力電圧： 100 ～ 240 VAC (± 10%)、50/60 Hz (± 3Hz)
出力電圧： 32 Vdc、2500 mA

消費電力

- L7300/L7500: 印刷時 32 W、ファックスまたはコピー時 35 W
- L7600/L7700: 印刷時 33 W、ファックスまたはコピー時 37 W

発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル)

音圧 (そばに立っている状態)

LpAd 55 (dBA)

音響

LwAd 6.9 (BA)

サポートされているデバイス

USB フラッシュ ドライブ

HP では、このデバイスで次の USB フラッシュ ドライブを完全にテストしています。

- **SanDisk Cruzer Micro**： 高速、0120-256、256 MB
- **Iomega Micro Mini**： フル速度、064-0417450-YCAE032171、128 MB
- **Kingston DataTraveler II**： 高速、KF112504 f5274-006、128 MB および 256 MB
- **Sony Microvault**： 高速、D04825AB、256 MB
- **Lexar Media JumpDrive:** 256 MB

注記: デバイスには他の USB フラッシュ ドライブを使用できる場合もあります。 ただし、他のドライブは完全にテストされていないため、デバイスで適切に動作するかどうかは保証できません。

メモリ カードの仕様

- メモリーカード上の推奨最大ファイル数： 1,000
- 推奨最大ファイル サイズ(個別): 12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- 推奨最大メモリ カード サイズ: 1 GB (半導体メモリのみ)

注記 メモリ カードの最大推奨値に近づくと、デバイスのパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サポートされているメモリ カードのタイプ

- CompactFlash
- Memory Stick
- Memory Stick Duo
- Memory Stick Pro
- Secure Digital
- MultiMediaCard (MMC)
- xD-Picture カード

Memory Stick Magic Gate Duo、Memory Stick Duo および Secure Multimedia Card を使用するにはアダプタが必要です。 詳細については、メモリカードに付属する説明を参照してください。

D 法規について

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- FCC 準拠声明
- カナダ電話網ユーザーへの告知
- ヨーロッパエコノミックエリア電話網ユーザーへの告知
- その他の法規について
- ワイヤレス製品の法規規定
- 適合宣言書
- 環境認可プログラム

FCC 準拠声明

The United States Federal Communications Commission (in 47 cfr 15.105) has specified that the following notices be brought to the attention of users of this product. This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Shielded cables

Use of a shielded data cable is required to comply with the Class B limits of Part 15 of the FCC Rules.

Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company, may cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For further information, contact:

Manager of Corporate Product Regulations

Hewlett-Packard Company

3000 Hanover Street

Palo Alto, CA 94304

(650) 857-1501

Exposure to radio frequency radiation (wireless products only)

Exposure to radio frequency radiation

Caution The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

米国電話網ユーザーへの告知

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line might result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company might discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company might make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service. If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company might ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company.

Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making testcalls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided might not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

カナダ電話網ユーザーへの告知

Note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique Canadien/notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d'Industrie Canada. Le numéro d'enregistrement atteste de la conformité de l'appareil. L'abréviation IC qui précède le numéro d'enregistrement indique que l'enregistrement a été effectué dans le cadre d'une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d'Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l'appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s'assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d'alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d'alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.0B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution might be particularly important in rural areas.

Note The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface might consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5. The REN for this product is 0.0B, based on FCC Part 68 test results.

ヨーロッパエコノミックエリア電話網ユーザーへの告知

Notice to users in the European Economic Area

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

Notice to users of the German telephone network

This HP fax product is designed to connect only to the analogue public-switched telephone network (PSTN). Please connect the TAE N telephone connector plug, provided with the HP All-in-One into the wall socket (TAE 6) code N. This HP fax product can be used as a single device and/or in combination (in serial connection) with other approved terminal equipment.

その他の法規について

- EMI 規定 (韓国)
- VCCI 宣言 (日本)
- 規制モデル番号
- 電源コードの規定
- LED 分類

EMI 規定 (韓国)

사용자 안내문 (B 급기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 장해검정을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

VCCI 宣言 (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

規制モデル番号

規制上の識別を行うために、本製品には規制モデル番号が指定されています。お使いの製品の規制モデル番号は SNPRC-0602-01 または SNPRC-0602-02 です。この規制モデル番号をマーケティング名 (HP Officejet Pro L7300/L7500/L7600/L7700) や製品番号 (CB778A、C8157A、C8158A、C8159A) と混同しないようご注意ください。

電源コードの規定

電源コードは修理できません。 故障している場合は、処分するかサプライヤに返品してください。

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

LED 分類

CLASS 1 LED PRODUCT
LED KLASSE 1
APPARECCHIO LED DI CLASSE 1
PRODUCT CLASY 1 Z DIODAMI (EWHECYCMILED)
Appareil à Diode Electriuminescente de Classe 1
ZARIZENI LED TRIY 1
KLASS 1 LED APPARAT
LUOKAN 1 LED

ワイヤレス製品の法規規定

- Notice to users in Canada/Note à l'attention des utilisateurs Canadien
- Notice to users in Brazil/Notificação de Normas de Uso de Dispositivos Sem Fio do Brasil
- EU のユーザーに対する告知 (英語)
- フランスのユーザーに対する告知
- ドイツのユーザーに対する告知
- イタリアのユーザーに対する告知
- スペインのユーザーに対する告知

Notice to users in Canada/Note à l'attention des utilisateurs Canadien

Notice to users in Canada
Note à l'attention des utilisateurs canadiens/notice to users in Canada For Indoor Use.
This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from the digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. The internal wireless radio complies with RSS 210 and RSS GEN of Industry Canada.
For Indoor Use. Le présent appareil numérique n'émet pas de bruit radioélectrique dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le ministère des Communications du Canada. Le composant RF interne est conforme a la norme RSS-210 and RSS GEN d'Industrie Canada.

Notice to users in Brazil/Notificação de Normas de Uso de Dispositivos Sem Fio do Brasil

Notice to users in Brazil
Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito á proteçáo contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. (Res.ANATEL 282/2001)

EU のユーザーに対する告知 (英語)

European Union Regulatory Notice
Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:
- Low Voltage Directive 73/23/EEC
- EMC Directive 89/336/EEC

CE compliance of this product is valid only if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.
If this product has telecommunications functionality, it also complies with the essential requirements of the following EU Directive:
- R&TTE Directive 1999/5/EC

Compliance with these directives implies conformity to harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family. This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product.

The wireless telecommunications functionality of this product may be used in the following EU and EFTA countries:

Austria, Belgium, Cyprus, Czech Republic, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Liechtenstein, Lithuania, Luxembourg, Malta, Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Slovak Republic, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland, and United Kingdom.

Products with 2.4-GHz wireless LAN devices
France
For 2.4 GHz Wireless LAN operation of this product certain restrictions apply: This product may be used indoor for the entire 2400-2483.5 MHz frequency band (channels 1-13). For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band (channels 1-9) may be used. For the latest requirements, see http://www.art-telecom.fr.

Italy
License required for use. Verify with your dealer or directly withthe General Direction for Frequency Planning and Management(Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze).

フランスのユーザーに対する告知

Avis réglementaire concernant l'Union européenne
Les produits portant le marquage CE respectent les directives CE suivantes :
- Directive basse tension 73/23/CEE
- Directive CEM 89/336/CEE

Ce produit ne peut être considéré comme respectant les directives CE que s'il est alimenté par l'adaptateur CA portant le marquage CE fourni par HP. Si ce produit dispose d'une fonction télécommunications, il respecte également les exigences essentielles de la directive CE suivante :
- Directive RTTE 1999/5/CE

Le respect de ces directives suppose la conformité aux normes européennes harmonisées (Normes européennes) répertoriées dans la Déclaration de conformité CE publiée par HP pour ce produit ou cette gamme de produits. Les produits aux normes portent le marquage suivant.

La fonction télécommunications de ce produit peut être utilisée dans les pays de l'UE et de l'AELE suivants :

Allemagne, Autriche, Belgique, Chypre, Danemark, Espagne, Estonie, Finlande, France, Grèce, Hongrie, Irlande, Islande, Italie, Lettonie, Liechtenstein, Lituanie, Luxembourg, Malte, Norvège, Pays-Bas, Pologne, Portugal, République tchèque, Royaume-Uni, Slovaquie, Slovénie, Suède et Suisse.

Produits équipés de périphériques LAN sans fil 2,4 GHz
France
L'utilisation de cet équipement (2.4GHz Wireless LAN) est soumise à certaines restrictions : Cet équipement peut être utilisé à l'intérieur d'un bâtiment en utilisant toutes les fréquences de 2400 à 2483.5MHz (Chaîne 1-13). Pour une utilisation en environnement extérieur, vous devez utiliser les fréquences comprises entre 2400-2454 MHz (Chaîne 1-9). Pour les dernières restrictions, voir http://www.art-telecom.fr

Italie
Une licence est requise pour ce type de périphériques. Pour l'obtenir, adressez-vous à votre revendeur ou directement à la Direction générale de la planification et de la gestion des fréquences (Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze).

ドイツのユーザーに対する告知

Rechtlicher Hinweis für die Europäische Union
Produkte mit der CE-Kennzeichnung entsprechen den folgenden EU-Richtlinien:
- Niederspannungsrichtlinie 73/23/EEC
- EMC-Richtlinie 89/336/EEC

Die Erfüllung der CE-Richtlinien dieses Produkts ist nur gewährleistet, sofern die Stromversorgung über den ordnungsgemäßen Wechselstromadapter mit der CE-Kennzeichnung erfolgt, der von HP zur Verfügung gestellt wird. Falls dieses Produkt Telekommunikationsfunktionen aufweist, erfüllt es zudem die erforderlichen Anforderungen der folgenden EU-Richtlinie:
- R&TTE-Richtlinie 1999/5/EC

Die Erfüllung dieser Richtlinien impliziert die Konformität mit den harmonisierten europäischen Standards (Europäische Normen), die in der von HP für dieses Produkt oder die entsprechende Produktfamilie herausgegebenen EU-Konformitätserklärung aufgeführt sind. Eine entsprechende Erfüllung ist durch folgende Konformitätskennzeichnung auf dem Produkt erkennbar.

Die drahtlose Telekommunikationsfunktion dieses Produkts kann in folgenden EU- und EFTA-Ländern verwendet werden:

Österreich, Belgien, Zypern, Tschechische Republik, Dänemark, Estland, Finnland, Frankreich, Deutschland, Griechenland, Ungarn, Island, Irland, Italien, Lettland, Liechtenstein, Litauen, Luxemburg, Malta, Niederlande, Norwegen, Polen, Portugal, Slowakei, Slowenien, Spanien, Schweden, Schweiz und Vereinigtes Königreich.

Produkte mit drahtlosen LAN-Geräten mit 2,4-GHz
Frankreich
Für den 2,4 GHz Wireless LAN-Betrieb dieses Produkts gelten bestimmte Einschränkungen: Dieses Produkt kann in Innenräumen mit der gesamten Frequenzbandbreite von 2400-2483.5 MHz (Kanäle 1-13) verwendet werden. Für die Nutzung in Außenräumen ist nur die Verwendung innerhalb der Bandbreite von 2400-2454 MHz (Kanäle 1-9) zulässig. Die aktuellen Einschränkungen finden Sie unter http://www.art-telecom.fr.

Italien
Es ist eine Lizenz für die Nutzung erforderlich. Prüfen Sie dies zusammen mit Ihrem Händler oder direkt mit der General Direction for Frequency Planning and Management (Generaldirektion für Frequenzplanung und -verwaltung).

イタリアのユーザーに対する告知

Avviso relativo alle normative dell'Unione Europea
I prodotti con il marchio CE sono conformi alle seguenti direttive UE:
- Direttiva Bassa Tensione 73/23/CEE
- Direttiva CEM 89/336/CEE

La conformità CE di questo prodotto è valida unicamente se il prodotto viene alimentato con il corretto adattatore CA dotato di marchio CE e fornito da HP. Se questo prodotto è dotato di funzionalità per le telecomunicazioni, è inoltre conforme alle disposizioni essenziali della seguente direttiva UE:
- Direttiva R&TTE 1999/5/CE

La conformità a queste direttive implica conformità alle norme europee armonizzate (Norme europee) elencate nella Dichiarazione di conformità UE pubblicata da HP per questo prodotto o per questa gamma di prodotti. Tale conformità viene indicata dal seguente marchio di conformità collocato sul prodotto.

La funzionalità per le telecomunicazioni wireless di questo prodotto può essere utilizzata nei seguenti Paesi dell'Unione Europea e dell'AELS:

Austria, Belgio, Cipro, Repubblica Ceca, Danimarca, Estonia, Finlandia, Francia, Germania, Grecia, Ungheria, Islanda, Irlanda, Italia, Lettonia, Liechtenstein, Lituania, Lussemburgo, Malta, Paesi Bassi, Norvegia, Polonia, Portogallo, Repubblica Slovacca, Slovenia, Spagna, Svezia, Svizzera e Regno Unito.

Prodotti con periferiche di rete wireless a 2,4-GHz
Francia
Il funzionamento di questo prodotto in reti wireless a 2,4 GHz comporta determinate limitazioni: questo prodotto può essere utilizzato all'interno di un edificio per l'intera banda di frequenza da 2400 a 2483,5 MHz (canali da 1 a 13); per l'uso in ambienti esterni, è possibile utilizzare unicamente la banda di frequenza da 2400 a 2454 MHz (canali da 1 a 9). Per informazioni più aggiornate sui requisiti, vedere il sito http://www.art-telecom.fr.

Italia
È necessaria una concessione ministeriale anche per l'uso del prodotto. Verificare con il proprio distributore o direttamente presso la Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze.

スペインのユーザーに対する告知

Avisos de la Unión Europea

Los productos que llevan el marcado CE acatan las siguientes Directivas de la UE:

- Directiva de Baja Tensión 73/23/CEE
- Directiva CEM 89/336/CEE

La conformidad CE de este producto es válida, únicamente, si funciona con un adaptador de CA suministrado por HP con el marcado CE correcto. Si este producto incluye la funcionalidad de telecomunicación, también deberá cumplir con los requisitos esenciales que se incluyen a continuación.

Directiva UE:

- R&TTE 1999/5/CE

La conformidad con estas Directivas implica el cumplimiento de los estándares europeos armonizados (normas europeas) que se enumeran en la declaración de conformidad UE emitida por HP para este producto o grupo de productos. Viene representada por el siguiente marcado de conformidad incluido en el producto.

La funcionalidad de telecomunicación de este producto puede utilizarse en los siguientes países pertenecientes a la UE y a la AELC:

Austria, Bélgica, Chipre, República Checa, Dinamarca, Estonia, Finlandia, Francia, Alemania, Grecia, Hungría, Islandia, Irlanda, Italia, Latvia, Liechtenstein, Lituania, Luxemburgo, Malta, Países Bajos, Noruega, Polonia, Portugal, Eslovaquia, Eslovenia, España, Suecia, Suiza, y Reino Unido.

Productos con dispositivos LAN inalámbricos de 2,4 GHz

Francia

Se aplican determinadas restricciones al uso de este producto con redes LAN inalámbricas de 2,4 GHz: puede utilizarse en el interior para toda la banda de frecuencias que abarca de 2.400 a 2.483,5 MHz (canales 1-13). En el exterior, puede utilizarse, únicamente, para la banda de frecuencias entre 2.400 y 2.454 MHz (canales 1-9). Para conocer los últimos requisitos, consulte http://www.art-telecom.fr.

Italia

Se exige licencia de uso. Verifique esta información con su proveedor o directamente con la dirección general para la planificación y gestión de frecuencias (Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze).

適合宣言書

HP Officejet Pro L7500/L7600

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name: Hewlett-Packard Singapore (Pte) Ltd

Manufacturer's Address: Imaging and Printing Manufacturing Operations
60 Alexandra Terrace, #07-01, The Comtech
Singapore 118502.

declares, that the product

Product Name: HP Officejet Pro L7500 series
HP Officejet Pro L7600 series

Regulatory Model Number (1)**:** SNPRC-0602-01

Product Accessory Number: CB007A - 250-sheet Tray 2
C8255A - Duplexer

Product Options: All

conforms to the following Product Specifications:

Safety: IEC 60950-1: 2001 / EN 60950-1:2001
EN 60825-1:1994 + A1:2002 +A2:2001 Class 1 for LEDs

EMC: CISPR 22: 1993 + A1 +A2/ EN 55022:1994 +A1 + A2 Class B (2)
CISPR 24:1997 + A1 + A2 / EN 55024: 1998 + A1 + A2

IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000
IEC 61000-3-3:1994 +A1: 2001 / EN 61000-3-3:1995 + A1:2001

FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B (2)
ICES-003, Issue 4 Class B (2)

Telecom: TBR 21:1998

Supplementary Information:
The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC, EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE marking accordingly.

(1)This product is assigned a Regulatory model number that stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.
(2)The product was tested in a typical configuration with Hewlett Packard personal computer systems.

05 May 2006

Chan Kum Yew
Director, Quality

Local Contact for regulatory topics only:
European Contact: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany
USA Contact: Hewlett-Packard Company, HPCC, 20555 S.H. 249 Houston, Texas, 77070
Australia Contact: Hewlett Packard Australia Ltd, Product Regulations Manager, 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria 3130, Australia.

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name:	Hewlett-Packard Singapore (Pte) Ltd
Manufacturer's Address:	Imaging and Printing Manufacturing Operations 60 Alexandra Terrace, #07-01, The Comtech Singapore 118502.

declares, that the product

Product Name:	HP Officejet Pro L7700 series
Regulatory Model Number [1]**:**	SNPRC-0602-02
Radio Module Number:	RSVLD-0506
Product Accessory Number:	CB007A - 250-sheet Tray 2 C8255A - Duplexer
Product Options:	All

conforms to the following Product Specifications:

Safety:	IEC 60950-1: 2001 / EN 60950-1:2001 EN 60825-1:1994 + A1:2002 +A2:2001 Class 1 for LEDs
EMC:	CISPR 22: 1993 + A1 +A2/ EN 55022:1994 +A1 + A2 Class B [2] CISPR 24:1997 + A1 + A2 / EN 55024: 1998 + A1 + A2 IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000 IEC 61000-3-3:1994 +A1: 2001 / EN 61000-3-3:1995 + A1:2001 FCC Title 47 CFR, Part 15 Class B [2] ICES-003, Issue 4 Class B [2]
Telecom:	TBR 21:1998 EN 301 489-1: 2002 EN 301 489-17: 2002 EN 300 328:2004-11
Health:	EU:1999/519/EC

Supplementary Information:
The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC, EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE marking accordingly.

(1)This product is assigned a Regulatory model number that stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.
(2)The product was tested in a typical configuration with Hewlett Packard personal computer systems.

05 May 2006

Chan Kum Yew
Director, Quality

Local Contact for regulatory topics only:
European Contact: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany
USA Contact: Hewlett-Packard Company, HPCC, 20555 S.H. 249 Houston, Texas, 77070
Australia Contact: Hewlett Packard Australia Ltd, Product Regulations Manager, 31-41 Joseph Street, Blackburn, Victoria 3130, Australia.

環境認可プログラム

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。 HP は、製品の設計プロセスを常に改善し、オフィス環境、および機器が製造、出荷、使用される社会における環境汚染を最小限に抑えるように努めています。 HP では、製品寿命を終えた機器の廃棄による環境汚染を最小限にするプロセスを開発してきました。

HP 環境認可プログラムの詳細については、www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html を参照してください。

削減と排除

リサイクル紙の使用

本製品の両面印刷と N-up 印刷機能 (複数の文書を一枚の用紙に印刷可能) により、用紙の消費を削減し、自然資源の要求に応えることができます。 これらの機能の使用については、本ガイドを参照してください。

インクの使用

本製品のエコノモードでは、使用するインク量が少なくてすむためカートリッジの寿命を延ばすことができます。 詳細については、プリント ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。

オゾン層を破壊する化学物質

HP 社の製造プロセスでは、オゾン層を破壊するクロロフルオロカーボン (CFC) などの化学物質が発生しません。

消費電力

PowerSave/スリープ モードでは電力消費が極端に減少し、本製品の高性能に悪影響を与えることなく自然資源の節約とコスト節減につながります。

バッテリ情報

このデバイスには、以下の水銀を使用しない電池が含まれています。

仕様	値
電池の製品番号	1420-0887
電池の材料	リチウム ポリカーボン モノ フルオライド
電池の種類	ボタン型電池/コイン型電池
製品 1 台当たりの使用数量	1
重量	2.50 グラム (0.09 オンス)
電池の製造者	松下電器、日本

注記 寿命に達した電池は、リサイクルまたは適切な処理が必要となる場合があります。



Dit HP Product bevat een lithium-manganese-dioxide batterij. Deze bevindt zich op de hoofdprintplaat. Wanneer deze batterij leeg is, moet deze volgens de geldende regels worden afgevoerd.

材料の安全性に関するデータ シート

材料の安全性に関するデータ シート (MSDS) は、以下の HP Web サイトから入手できます。 www.hp.com/go/msds.

再利用

この製品は再利用を考えた設計を取り入れています。

- 高度な機能と信頼性を確保する一方、素材の種類を最小限に抑えました。
- 素材の異なる部分は、簡単に取り外せるように作られています。
- 金具などの接合部品は、見つけやすく手の届く場所にあるので、一般的な工具を使って簡単に取り外すことができます。
- 重要性の高い部品もすばやく手の届く場所にあり、取り外しや修理が簡単に行えます。

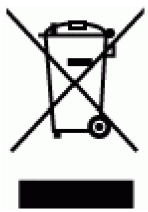
製品梱包

この製品の梱包材は環境への影響を最小限にし、再利用を促進する一方、最小のコストで最大限に製品を保護するという理念で選ばれています。 製品の丈夫な作りも、梱包材の削減と、故障率低下につながっています。

プラスチック

25 グラム以上のプラスチックのパーツには、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理

	製品またはそのパッケージ上にあるこの記号は、本製品を家庭の廃棄物と共に廃棄するべきではないことを示します。廃棄機器は、お客様の責任で廃棄電気および電子機器のリサイクル用に指定された収集地に持ち込んで、処理してください。廃棄に際して廃棄機器の分別収集とリサイクルを行うことにより、天然資源を大切にするとともに、人の健康と環境を保護する形でリサイクルを確実に行うことができます。廃棄機器をリサイクルに出す場所に関する詳細については、市役所、家庭廃棄物処理サービス、または製品を購入したショップにお問い合わせください。

HP 製品とサプライ品

HP の Planet Partners™ 再利用サービスにより、あらゆるブランドのコンピュータ機器または HP 印刷サプライ品を簡単に再利用できます。 HP の最新のプロセスにより、不要なハードウェアや HP 印刷サプライ品が、資源を節約する方法で再利用されます。

詳細については、www.hp.com/recycle を参照してください。

索引

記号/数字

[サービス] タブ、ツールボックス (Windows)　108
[プリンタの追加] によるインストール　150
[情報] タブ、ツールボックス (Windows)　107
2 行のディスプレイ、コントロール パネル　21
2 面印刷　55

A

ADF (自動ドキュメント フィーダ)
　クリーニング　181
　メディア詰まりの除去　234
　原稿のセット　34
　使用可能なメディアのサイズ　38
　容量　35
ADSL、ファックスのセットアップ
　パラレル方式の電話システム　124

B

Bluetooth
　Mac OS、印刷　163
　Windows、印刷　161
　カラー ディスプレイに表示されるアイコン　21
　セキュリティ設定　164
　セットアップ　160
　デバイスの接続　161
　ドングル、オンライン注文　237
　使用できる機能　22

C

cables
　regulatory compliance　254
CompactFlash メモリ カード
　スロット、位置の確認　16
　挿入　67

D

DOC　266
DPOF ファイル　68
DSL、ファックスのセットアップ
　パラレル方式の電話システム　124

E

Ethernet ネットワーク ポート、位置の確認　17
Ethernet 接続　21
EWS. 埋め込み Web サーバを参照

F

FCC 準拠声明　254
FoIP　96

H

HP Instant Support (HP インスタント サポート)
　アクセス　111
HP Photosmart Studio
　プログラムへのスキャン画像の送信　63
HP Photosmart ソフトウェア
　プログラムへのスキャン画像の送信　63
HP Planet Partners　269
HP Web Jetadmin
　機能　102
　説明　110
HP インスタント サポート
　myPrintMileage　110
　セキュリティおよびプライバシー　111
　説明　110
HP ソリューション センター　29
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS)
　パネル　109
　管理者の設定　105
　機能　102
　起動　108

I

IP アドレス
　デバイスの確認　224
　静的、設定　186
IP 設定　118
ISDN 回線、ファックスのセットアップ
　パラレル方式の電話システム　125

L

LED 分類規定　259

M

Mac OS
　Bluetooth　163
　HP Photosmart Studio　29
　HP プリンタ ユーティリティ　108
　システム要件　248
　ソフトウェアのアンインストール　167
　ソフトウェアのインストール　151
　デバイスの共有　151, 152
　ドライバでのアクセサリのオン/オフ　24
　ネットワーク プリンタ セットアップ ユーティリティ　109
　プリント設定　55
　フチ無し印刷　49
　ワイヤレス通信のセットアップ　158

特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアの印刷 47
両面印刷 56
Memory Stick カード
スロット、位置の確認 16, 68
挿入 67
MMC メモリ カード
スロット、位置の確認 16
挿入 67
myPrintMileage
アクセス 112
機能 101
説明 112

O
OCR
スキャンした文書の編集 65
トラブルシューティング 202
OHP フィルム 37
OK ボタン 18
On ボタン 19

P
PBX システム、ファックスのセットアップ
パラレル方式の電話システム 125
PCL 3 サポート 247
Photosmart Studio
プログラムへのスキャン画像の送信 63
Photosmart ソフトウェア
プログラムへのスキャン画像の送信 63
PictBridge モード 68, 69
PictBridge 対応デジタル カメラ ポート、位置の確認 16, 68

R
radio frequency radiation 255
readme 12

S
Secure Digital メモリ カード
スロット、位置の確認 16
挿入 67
Secure MMC メモリ カード
スロット、位置の確認 16
SecureEasySetup (SES)、ワイヤレス通信 157

T
TWAIN
スキャン 64
ソースを有効にできない 203

U
USB ケーブル、注文 237
USB フラッシュ ドライブ 253
USB 接続
Bluetooth アダプタ 160
Mac OS のセットアップ 150
Windows のセットアップ 146
デジタル カメラ 68
ポート、位置の確認 15, 17
仕様 247
使用できる機能 21

W
Web サイト
Apple 152
HP Web Jetadmin 110
アクセシビリティ情報 14
カスタマ サポート 239
サプライ品とアクセサリの注文 237
ヨーロッパ向けインク カートリッジ 238
ワイヤレス セキュリティ 154
印刷可能枚数データ シート 247
環境プログラム 268
再利用 269
材料の安全性に関するデータ シート 269
Web スキャン 64
WIA (Windows Image Application)、スキャン 64
Windows
[プリンタの追加] によるインストール 150
Bluetooth 161
HP Photosmart ソフトウェア 29
HP ソリューション センター 29
システム要件 248
ソフトウェアのアンインストール 166
ソフトウェアのインストール 145, 146
デバイスの共有 147
ドライバでのアクセサリのオン/オフ 24
ネットワークのセットアップ 148
プリント設定 54
フチ無し印刷 48
ワイヤレス通信のセットアップ 155
特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアの印刷 47
両面印刷 56
Windows Image Application (WIA)、スキャン 64

X
xD-Picture メモリ カード
スロット、位置の確認 16, 68
挿入 67

あ
アクセサリ
インストール 23
ドライバでのオン/オフ 24
自己診断テスト ページ 113
注文 237
保証 242
アクセシビリティ 14

い
イベント ログ 113
インク カートリッジ
オンライン注文 237
サポート 169

パーツ番号　113, 238
位置の確認　16
印刷可能枚数　247
交換　170
使用可能　247
取り外し　243
状態　103, 113
保証　242
有効期限　113
インク カートリッジ カバー、位置の確認　16
インク カートリッジとプリントヘッドの取り外し　243
インクがにじむ、トラブルシューティング　193
インク残量アイコン　20
インストール
[プリンタの追加]、Windows　150
Mac OS 用のソフトウェア　150
Windows ネットワーク ソフトウェア　148
Windows 用のソフトウェア　145
アクセサリ　23
トラブルシューティング　224
両面印刷ユニット　23
インターネット
ファックス、使用　96
インチあたりのドット数 (dpi)
ファックス　18

え
エラー メッセージ
TWAIN ソースを有効にできません　203
コントロール パネル　27
エラー レポート、ファックス　98
エラー補正モード、ファックス　94

お
オゾン層を破壊する化学物質　268

か
ガラス、スキャナ
クリーニング　180
位置の確認　15
ガラス版、スキャナ
原稿のセット　35
カード
ガイドライン　37
サポートされているサイズ　39
トレイのサポート　41
カートリッジ. インク カートリッジを参照
カスタマ サポート
HP インスタント サポート　110
電子　239
電話サポート　239
カスタムサイズのメディア
ガイドライン　38
サポートされているサイズ　40
印刷　46
カメラ
DPOF ファイルの印刷　68
コントロール パネル ディスプレイのモード　21
コンピュータへの写真の保存　79
ポート、位置の確認　16, 68
メモリ カードの挿入　67
接続　68, 70
カラー
トラブルシューティング　195
にじむ　194
印字が薄いか色が鮮やかでない　194
間違った色　194
仕様　250
白黒で印刷される、トラブルシューティング　194
カラー コピー　58
カラー テキスト、および OCR　65

き
キーパッド、コントロール パネル
位置の確認　18
文字と記号の入力　31
キャンセル
コピー　59
スキャン　66
印刷ジョブ　56
キャンセル ボタン　19

く
グラフィックス
コピーにムラがある　200
スキャン原稿と異なって見える　204
印字ムラが出る　193
線やドットが欠落している　195
グループ、短縮ダイヤル
設定　50
クリーニング
ADF　181
スキャナ ガラス　180
プリントヘッド　174, 175
外側　185
クロロフルオロカーボン (CFC)　268

け
ケーブル
USB ケーブルの注文　237

こ
コネクタ、位置の確認　17
コピー
キャンセル　59
コントロール パネルから　58
トラブルシューティング　197
原稿のトリミング　59
仕様　250
設定　58
品質　199
コピー スタート ボタン
カラー　19
モノクロ　19
コピー ボタン　18
コピー メニュー　26

コピーがかすれてしま模様になる、トラブルシューティング 199
コピーが薄い 198
コピーに縦のしま模様が入る、トラブルシューティング 199
コピーのざらざらしたまたは白い帯、トラブルシューティング 200
コントロール パネル
カバー、取り外し 244
コピー 58
スキャン 60
ステータス アイコン 20
ディスプレイ 21
デバイスの管理 101
ネットワーク設定 116
プログラムへのスキャン画像の送信 63
ファックスの送信 81
ボタン 18
メッセージ 27
メニュー 26
ランプ 18
位置の確認 15
画像のトリミング 59
管理者の設定 103
写真の印刷 71
設定、変更 28
文字と記号の入力 31
コンピュータ モデム
ファックスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 143
ファックスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム) 132
ファックスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム) 138
ファックスとの共有 (パラレル方式の電話システム) 129

さ
サイズ
コピーのトラブルシューティング 199
スキャン、トラブルシューティング 205
さいりよう 269
サブスクライバ識別コード 91
サプライ品
myPrintMileage 112
オンライン注文 237
印刷可能枚数 247
自己診断テスト ページ 113
状態 102
サプライ用品
状態 103
サポート. カスタマ サポートを参照
サポートされているオペレーティング システム 248
サポートするフォント 248

し
ジョブ
設定 28
システム要件 248
シリアル番号 113
シリアル方式の電話システム
セットアップの種類 120
国/地域 119

す
ズーム (-) ボタン 19
ズーム (+) ボタン 19
スキャナ ガラス
クリーニング 180
位置の確認 15
スキャナのガラス板
原稿のセット 35
スキャン
OCR 65
TWAIN 互換または WIA 互換プログラムから 64
Web スキャンから 64
エラー メッセージ 203
キャンセル 66
コントロール パネルから 60
スキャン スタート ボタン 19
スキャンの仕様 251
スキャンの送信先ボタン 18
ダイレクト デジタル ファイリング 61
トラブルシューティング 200
プログラムへの送信 62
フォト シート 74
フォトプリント ボタン 19
メモリ カード 63
画像の編集 65
設定 66
遅い 201
品質 203
スキャン スタート ボタン 19
スキャン メニュー 26
スキャンのストライプ、トラブルシューティング 204
スキャンの送信
プログラム 62
スキャンの送信先ボタン 18
スキャン画像の送信
OCR 用 65
トラブルシューティング 200
ステータス
メッセージ 27
ステータス アイコン 20
ストレージ デバイス
サポートされている USB フラッシュ ドライブ 253
接続 70

せ
セキュリティ
Bluetooth 164
HP インスタント サポート 111
ワイヤレス設定 154
ワイヤレス通信 159
管理 102
セット
ADF (自動ドキュメント フィーダ) への原稿のセット 34
トレイ 1 43
トレイ 2 44
セットアップ
Bluetooth 160

DSL (パラレル方式の電話システム)　124
ISDN 回線 (パラレル方式の電話システム)　125
PBX システム (パラレル方式の電話システム)　125
Windows　145
Windows ネットワーク 148
コンピュータ モデム (パラレル方式の電話システム)　129
コンピュータ モデムとボイス メール (パラレル方式の電話システム)　143
コンピュータ モデムと電話回線 (パラレル方式の電話システム)　132
コンピュータ モデムと留守番電話 (パラレル方式の電話システム)　138
ファックス　118
ファックスのシナリオ 120
ファックス、パラレル方式の電話システム　119
ボイス メール (パラレル方式の電話システム)　128
ボイス メールとコンピュータ モデム (パラレル方式の電話システム)　143
共有電話回線 (パラレル方式の電話システム)　127
接続の種類　21
単独のファクス回線 (パラレル方式の電話システム)　123
着信識別 (パラレル方式の電話システム)　126
留守番電話 (パラレル方式の電話システム)　136
留守番電話とモデム (パラレル方式の電話システム)　138
セットアップ ガイド　12
セットアップ ポスター　12
セットアップ ボタン　19

そ

ソフトウェア
HP Photosmart　29
Mac OS からのアンインストール　167
Mac OS へのインストール　150
OCR　65
Web スキャン　64
Windows からのアンインストール　166
Windows へのインストール　145
アクセサリの設定　24
管理ツール　101
接続の種類　21
保証　242
ソフトウェアのアンインストール
Mac OS　167
Windows　166
ソリューション センター　29

た

ダイヤル モニタリング　82, 83
ダイヤルアップ モデム
ファックスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 143
ファックスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム)　132
ファックスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム)　138
ファックスとの共有 (パラレル方式の電話システム)　129
ダイヤルトーンのテスト、失敗　211
ダイヤル方式、設定　94
ダイレクト ファイリング
設定　61

つ

ツールボックス (Windows)
[サービス] タブ　108
[情報] タブ　107
[推定インク レベル] タブ 107
開く　107
管理者の設定　105
機能　101
説明　107

て

ディスプレイ、コントロール パネル　21
デジタル カメラ
DPOF ファイルの印刷　68
コントロール パネル ディスプレイのモード　21
コンピュータへの写真の保存　79
ポート、位置の確認　16, 68
メモリ カードの挿入　67
接続　68, 70
デジタル ファイリング
スキャン　62
デジタル ファイリング ボタン　18
デバイスの共有
Mac OS　151
Windows　147
デフォルトの設定
コピー　58
コントロール パネル　28
ドライバ　54
印刷　54
テキスト
コピーがはっきりしない、トラブルシューティング　200
コピーが汚い　200
コピーにムラがある　200
スキャンが鮮明でない 205
スキャンされない、トラブルシューティング　202
スキャン後に編集できない、トラブルシューティング　202
トラブルシューティング 190, 193, 195
テスト、ファックス
ダイヤルトーン、失敗 211
ハードウェア、失敗　207

ファックスに使用している電話コードの種類のテストに失敗した 210
ファックス回線状態 212
ポート接続、失敗 209
失敗 207
設定 96
電話の壁側のモジュラー ジャック 208
テレフォン カスタマ サポート 239

と

ドット/インチ (dpi)
印刷 250
ドライバ
アクセサリの設定 24
バージョン 240
設定 54
保証 242
トーン ダイヤル 94
トラブルシューティング
HP インスタント サポート 110
インクがにじむ 193
インストール 224
カラー 194, 195
カラーがにじむ 194
コピー 197
コピーが曲がっている 200
コピーの品質 199
コントロール パネルのメッセージ 27
スキャン 200
スキャンの品質 203
テキストまたはグラフィックスに印字ムラが出る 193
トレイ 2 の取り付け 195
ネットワーク設定ページ 114
はみ出したページ、テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない 190
ヒント 185
プリントヘッド 188
ファイアウォール 188
ファックス 207
ファックス テスト 207
ファックス ハードウェア テストに失敗した 207
ファックスに使用している電話コードの種類のテストに失敗した 210
ファックスのダイヤルトーンのテストに失敗した 211
ファックスの受信 213, 217
ファックスの送信 213, 216, 220
ファックスの電話コードの接続テストに失敗した 209
ファックスの壁側のモジュラー ジャックのテスト、失敗 208
ファックス回線のテストに失敗した 212
ページが曲がっている 196
メディアがトレイから供給されない 196
メモリ カード 222
一度に 2 枚以上給紙される 197
印刷 186
印刷速度が遅い 189
印刷品質 191
何も印刷されない 187
給紙の問題 195
空白ページが印刷される 189
自己診断テスト ページ 112
情報の一部がないか正しくない 190
線やドットが欠落している 195
電源 187
埋め込み Web サーバ 224
無意味な文字が印刷される 192
留守番電話 221
トレイ
デフォルトの設定 45
ドライバでのオン/オフ 24
トレイ 2 の取り付け 23
メディアのセット 42
メディアの供給のトラブルシューティング 196
メディア詰まりの除去 231
ロック 45
位置の確認 15
管理ツール 102
使用可能なメディアのサイズ 38
使用可能なメディアのタイプと重量 41
容量 41
用紙ガイド図 15
トレイ 1
メディアのセット 43
位置の確認 15
使用可能なメディアのサイズ 38
使用可能なメディアのタイプと重量 41
容量 41
トレイ 2
オンライン注文 237
ドライバでのオン/オフ 24
メディアのセット 44
位置の確認 15
使用可能なメディアのサイズ 38
使用可能なメディアのタイプと重量 41
取り付け 23
取り付けのトラブルシューティング 195
容量 41
トレイのロック 45

ね

ネットワーク
Ethernet 接続 21
HP Web Jetadmin 110
IP 設定 118
Mac OS のセットアップ 151
Windows のセットアップ 148
コネクタ図 17
システム要件 249
デジタル ファイリング ボタン 18
ファイアウォール、トラブルシューティング 188

リンク速度 117
ワイヤレス セットアップ ウィザード 116
ワイヤレス設定 114, 153
ワイヤレス通信のセットアップ 152
共有、Windows 147
使用可能なオペレーティング システム 249
使用可能なプロトコル 249
自己診断テスト ページ 112
詳細設定 117
静的 IP アドレス、設定 186
設定の表示と印刷 116
設定、変更 116
ネットワーク プリンタ セットアップ ユーティリティ (Mac OS) 109
ネットワーク フォルダ
スキャン 62
トラブルシューティング 205
ネットワーク フォルダ、短縮ダイヤル 52

の

ノイズ
規定情報 259
ノイズ情報 252

は

パスキー認証、Bluetooth 164
パスポート写真 77
バックアップ ファックス受信 85
パノラマ写真 75
パラレル方式の電話システム
DSL のセットアップ 124
ISDN のセットアップ 125
PBX のセットアップ 125
セットアップの種類 120
モデムとボイス メールのセットアップ 143
モデムと留守番電話のセットアップ 138
モデムのセットアップ 129
共有回線のセットアップ 127
国/地域 119
単独回線のセットアップ 123
着信識別のセットアップ 126
電話回線と共有するモデムのセットアップ 132
留守番電話のセットアップ 136
パルス ダイヤル 94
ハードウェア、ファックス セットアップ テスト 207
はみ出したページ、トラブルシューティング 190

ひ

ビデオ
アクション (動画) の印刷 78

ふ

プライバシー、HP インスタント サポート 111
プリンタ ドライバ
アクセサリの設定 24
バージョン 240
設定 54
保証 242
プリント カートリッジ. インク カートリッジを参照
プリント ドライバ
アクセサリの設定 24
バージョン 240
保証 242
プリントキャリッジ アクセスドア、位置の確認 16
プリントヘッド
オンライン注文 237
クリーニング 174
トラブルシューティング 188
パーツ番号 238
メンテナンス 171
位置の確認 16
位置の調整 173
交換 177
使用可能 247
取り外し 243
手動でのコンタクトのクリーニング 175
状態 103, 113, 172
状態、確認 172
保証 242
プリントヘッド ラッチ、位置の確認 16
プリントヘッドの位置の調整 173
プロセッサの仕様 248
ファイアウォール、トラブルシューティング 188
ファクス
単独回線のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 123
ファックス
DSL、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 124
ISDN 回線、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 125
PBX システム、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 125
インターネット経由 96
エラー レポート 98
エラー補正モード 94
スキャン 19
セットアップ 118
セットアップの種類 120
ダイヤル モニタリング 82, 83
ダイヤルトーンのテスト、失敗 211
ダイヤル方式、設定 94
テストに失敗した 207
トラブルシューティング 207
ネットワーク フォルダの短縮ダイヤル エントリ 52
バックアップ ファックス受信 85
パラレル方式の電話システム 119
ヘッダー 91
ボイス メール、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 128

メモリから削除 87
モデムとボイス メール、共有 (パラレル方式の電話システム) 143
モデムと電話回線、共有 (パラレル方式の電話システム) 132
モデムと留守番電話、共有 (パラレル方式の電話システム) 138
モデム、共有 (パラレル方式の電話システム) 129
リダイヤル オプション 95
リダイヤル/ポーズ ボタン 19
レポート 97
ログの消去 87
ログ、印刷 99
応答モード 92
応答呼び出し回数 92
回線状態のテスト、失敗 212
確認レポート 97
間隔 31
共有電話回線のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 127
再印刷 87
仕様 251
自動応答 19, 92
手動受信 84
受信 84
受信、トラブルシューティング 213, 217
設定のテスト 96
設定、変更 91
送信 80
送信、トラブルシューティング 213, 216, 220
速度 95
短縮ダイヤル エントリ、設定 49
短縮ダイヤル グループ、設定 50
着信識別のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 126
着信識別音、パターンの変更 93
転送 87
電話コードが短すぎる 221
電話コードの種類のテスト、失敗 210
電話コードの接続テスト、失敗 209
番号の拒否 18, 89
文字と記号の入力 31
壁側のモジュラー ジャックのテスト、失敗 208
留守番電話とモデム、共有 (パラレル方式の電話システム) 138
留守番電話のトラブルシューティング 221
留守番電話、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 136
ファックス スタート ボタン
カラー 19
モノクロ 19
ファックス ポート、位置の確認 17
ファックス メニュー 26
ファックス メニュー ボタン 18
ファックスの一斉送信
送信 83
ファックスの受信
トラブルシューティング 213, 217
応答呼び出し回数 92
自動 84
自動応答モード 92
手動 84
転送 87
番号の拒否 89
ファックスの送信
ダイヤル モニタリング 82, 83
トラブルシューティング 213, 216, 220
基本的なファックス 80
手動 81
ファックスの転送 87
フォト シート
スキャン 74
印刷 72
塗りつぶし 74
フォト シート ボタン
コントロール パネル ボタン 19
フォト メディア
ガイドライン 37
使用可能なサイズ 40
フォト メニュー 26
フォトシート ボタン 19
フォトプリント ボタン 19
フォトメニュー ボタン 18
フチ無し印刷
Mac OS 49
Windows 48

へ

ページ/月 (負荷サイクル) 248
ヘッダー、ファックス 91
ヘルプ
HP インスタント サポート 110
も参照 カスタマ サポート
ヘルプ ボタン 19

ほ

ボイス メール
ファックスおよびコンピュータ モデムとのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 143
ファックスのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 128
ポート、仕様 247
ポーレート 95
ボタン、コントロール パネル 18

ま

マニュアル 12

め

メディア
2 面印刷 55
ADF の容量 35
HP、注文 238
カスタムサイズの印刷 46
トレイ 1 へのセット 42
トレイ 2 へのセット 44
トレイのロック 45
フチ無し印刷 48

ページが曲がっている 196
メディアの供給のトラブルシューティング 196
メディア詰まりの除去 231
仕様 38
使用可能なサイズ 38
使用可能なタイプと重量 41
選択 36
メディア詰まり
ADF 234
回避方法 236
除去 231
メニュー、コントロール パネル 26
メモリ
ファックスの再印刷 87
ファックスの削除 87
ファックスの保存 85
仕様 248
メモリ カード
DPOF ファイルの印刷 68
コントロール パネル ディスプレイのモード 21
コンピュータへの写真の保存 79
スキャン画像の送信 63
スロット、位置の確認 16
トラブルシューティング 222
ファックス 19
フォト シート 72
仕様 253
写真の印刷 71
挿入 67
メモリ デバイス ランプ、位置の確認 15
メモリからのファックスの削除 87

も
モデム
ファックスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 143
ファックスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム) 132
ファックスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム) 138
ファックスとの共有 (パラレル方式の電話システム) 129
モデル番号 113
モノクロ ページ
コピー 58
ファックス 80

ゆ
ゆがんでいる、トラブルシューティング
コピー 200
スキャン 204

ら
ライン フィード キャリブレーション 174
ラインフィード、キャリブレーション 174
ランプ、コントロール パネル 18

り
リダイヤル オプション、設定 95
リダイヤル/ポーズ ボタン 19
リリース ノート 12
リンク速度、設定 117

れ
レポート
エラー、ファックス 98
ファックス テストに失敗した 207
確認、ファックス 97

ろ
ログ、ファックス
印刷 99
表示 99
ログ、ファックスの消去 87

わ
ワイヤレス セットアップ ウィザード 116
ワイヤレス接続アイコン
アドホック 20
接続が存在しない場合 20
ワイヤレス通信
Bluetooth 160
Ethernet のセットアップ 155
Mac OS でのセットアップ 158
SecureEasySetup (SES) 157
ウィザード 155
オフにする 158
セキュリティ 159
セットアップ 152
ノイズの減少 158
規定情報 259
設定 153
無線、オフにする 117
ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン 18

ん
暗い、トラブルシューティング
コピー 199
スキャン 205
一度に 2 枚以上給紙される、トラブルシューティング 197
印刷
Bluetooth 160
DPOF ファイルの写真 68
キャンセル 56
トラブルシューティング 186
パスポート写真 77
パノラマ写真 75
ビデオ アクション (動画) 78
ファックス 87
ファックス レポート 97
ファックス ログ 99
フォト シート 72
メモリ カードの写真 71
自己診断テスト ページ 114
設定 54
短縮ダイヤル エントリ 52
遅い 189
両面 55

印刷ドライバ
設定　54
印刷速度が遅い、トラブルシューティング　189
印刷品質
トラブルシューティング　191
診断ページ　172
印刷品質診断ページ　172
印刷枚数ボタン　18
右矢印　18
応答呼び出し音のパターン
パラレル方式の電話システム　126
変更　93
応答呼び出し回数　92
温度仕様　252
音圧　252
解像度
ファックス　18, 19
印刷　250
解像度ボタン　18
回線状態のテスト、ファックス　212
回転ボタン　19
確認レポート、ファックス　97
環境仕様　252
環境認可プログラム　268
監視ツール　103
管理ツール　101
管理者
管理ツール　101
設定　103
韓国 EMI 規定　258
規制モデル番号　259
規定情報　259
記号、入力　31
技術情報
コピーの仕様　250
スキャンの仕様　251
ファックスの仕様　251
メモリ カード仕様　253
給紙の問題、トラブルシューティング　195
拒否されたファックス番号
コントロール パネルのボタン　18
拒否するファックス番号
リストの表示　91
設定　89
共有　22
曲がっている、トラブルシューティング
印刷　196
空白ページ、トラブルシューティング
コピー　198
スキャン　205
印刷　189
警告メッセージ　27
原稿
ADF (自動ドキュメント フィーダ) へのセット　34
スキャン　60
スキャン画像の編集　65
トリミング　59
原稿のトリミング　59
言語、プリンタ　247, 248
後部アクセス パネル
図　17
交換
インク カートリッジ　170
プリントヘッド　177
黒い点または縞、トラブルシューティング
コピー　199
スキャン　205
左矢印　18
再印刷
メモリ内のファックス　87
再利用　269
材料の安全性に関するデータシート (MSDS)　269
仕様
システム要件　248
ネットワーク プロトコル　249
プロセッサとメモリ　248
メディア　38
電気　252
動作環境　252
発生音量　252
物理的仕様　247
保管環境　252
紙詰まり
避けるメディア　37
自己診断テスト ページ
印刷　114
情報　112
自動ドキュメント フィーダ (ADF)
クリーニング　181
メディア詰まりの除去　234
原稿のセット　34
使用可能なメディアのサイズ　38
容量　35
自動応答ボタン　19
湿度仕様　252
縞、トラブルシューティング
コピー　199
スキャン　205
写真
DPOF ファイルからの印刷　68
PictBridge カメラの接続　68
コントロール パネルからの印刷　71
コンピュータへの保存　79
スキャン画像の編集　65
ストレージ デバイスの接続　70
パスポート　77
パノラマ　75
ビデオ アクション (動画) の印刷　78
フォト シート　72
フチ無し印刷　48
メモリ カードのトラブルシューティング　223
メモリ カードの挿入　67
表示　71
取り付け
インク カートリッジ　170
トレイ 2　23
手動ファックス
受信　84
送信　81, 82
重要なエラー メッセージ　28
縮小/拡大ボタン　18
情報の一部がないか正しくない、トラブルシューティング　190
状態
サプライ品　102
サプライ用品　103
ネットワーク設定ページ　114
自己診断テスト ページ　113

正しいポートのテスト、ファックス 209
製品の梱包 246
製品の送付 242
静的 IP アドレス、設定 186
接続
Bluetooth 160
使用できる機能 21
設定
コピー 58
コントロール パネル 28
スキャン 66
ドライバ 54
ネットワーク 116
ファックスのテスト 96
管理者 103
速度、ファックス 95
着信識別音 93
線
コピー、トラブルシューティング 199
スキャン、トラブルシューティング 204, 205
線やドットが欠落している、トラブルシューティング 195
速度
スキャナのトラブルシューティング 201
印刷上のトラブルシューティング 189
短縮ダイヤル
グループ、設定 50
デジタル ファイリング 61
ネットワーク フォルダ 52
ファックスの送信 80
ファックス番号、設定 49
ボタン 18
ワンタッチ ボタン 18
印刷と表示 52
着信識別
パラレル方式の電話システム 126
着信識別音
変更 93
注意ランプ 18
適合宣言書 (DOC) 266
点または縞、トラブルシューティング
コピー 199
点、トラブルシューティング
スキャン 205
電圧仕様 252
電気仕様 252
電源
トラブルシューティング 187
電源コードの規定 259
電源ボタン 19
電源入力、位置の確認 17
電力
仕様 252
消費 268
電話コード
延長 221
種類のテストに失敗した 210
正しいポートに接続完了テストに失敗した 209
電話によるカスタマ サポート 239
電話の壁側のモジュラー ジャック、ファックス 208
電話、ファックス
受信 84
送信 81
電話回線、応答呼び出し音のパターン 93
動作環境仕様 252
日本 VCCI 宣言 259
排紙トレイ
位置の確認 15
使用可能なメディア 41
背面アクセス パネル
メディア詰まりの除去 231
白い帯またはしま模様、トラブルシューティング
コピー 199
白い帯またはストライプ、トラブルシューティング
コピー 200
スキャン 204
白黒ページ
トラブルシューティング 194
発生音量 252
表示
ネットワーク設定 116
ファックス ログ 99
拒否するファックス番号 91
写真 71
短縮ダイヤル エントリ 52
品質ボタン 19
品質、トラブルシューティング
コピー 199
スキャン 203
印刷 191
診断ページ 172
負荷サイクル 248
部品番号、サプライ品とアクセサリ 237
封筒
ガイドライン 37
サポートされているサイズ 39
トレイのサポート 41
文字
コントロール パネルからの入力 31
壁側のモジュラー ジャックのテスト、ファックス 208
編集
OCR プログラムのテキスト 65
スキャンした画像 65
保管環境仕様 252
保証 242
保存
デフォルトの設定 28
メモリ内のファックス 85
写真のコンピュータへの保存 79
法規について 254
埋め込み Web サーバ
Web スキャン 64
システム必要条件 249
トラブルシューティング、開くことができない 224
バックアップ ファックス受信、セットアップ 86
ファックス ログの消去 87
ファックス ログ、表示 99
ファックスのヘッダー、設定 92
ファックスの転送 88
ページ 106
応答呼び出し音のパターン、ファックス 94
開く 106
管理者の設定 104

機能　101
拒否するファックス番号、表示　91
説明　105
無線ノイズ
減少　158
無線、オフにする　117
明るい、トラブルシューティング
コピー　199
スキャン　205
迷惑ファックス モード　89
迷惑ファックスを拒否ボタン　18
戻るボタン　19
余白
設定、仕様　42
両面印刷ユニット　42
容量
ADF　35
トレイ　41
用紙
使用状況　102
留守番電話
ファックス トーンが録音される　221
ファックスおよびモデムとのセットアップ　138
ファックスのセットアップ (パラレル方式の電話システム)　136
両面ボタン　19
両面、印刷　55
両面印刷　55
両面印刷アクセサリ
オンライン注文　237
両面印刷ユニット
インストール　23
サポートされているメディア サイズ　38
ドライバでのオン/オフ　24
メディア詰まりの除去　231
位置の確認　17
使用　55
使用可能なメディアのタイプと重量　41
余白、最小　42

www.hp.com

invent